昭和13年

全國高校蹴球 球組合せ

第十五回全國高校蹴球大會は一日から東大球場で參加校二十七校を集め六日間に亙つて擧行されるが組合せは卅一日左の如く決定した

◇第一日（一日）一回戰 早高―弘前（8時）武藏―浦和（9時10分）成蹊―新潟（10時20分）成城―五高―松本（11時30分）成城―靜岡（10時40分）鹿島―山形（11時50分）八高―一高（3時）

◇第二日（二日）一回戰 七高―東京（8時30分）富山―四高（9時45分）松山―松江（11時）關立―六高（10時15分）▽二回戰 二高―北大豫科（11時30分）山口―水戸（2時45分）

◇第三日（三日）佐賀―一高、八高勝者（8時30分）

S13・1・1

全國高校蹴球 第一日の成績

第十五回全國高等學校蹴球大會第一日は一日午前八時から本鄉帝大球場で一回戰七試合を擧行、成績左の如し

早高	3	0	弘前
武藏	1	0	浦和
新潟	2	0	成蹊
松本抽	1	1	五・高
靜岡	1	0	成城
鹿島	1	0	山形
一高	5	0	八高

S13・1・2

全國高校蹴球（第二日）

第十五回全國高等學校蹴球大會第二日は二日午前八時半から東大球場において第一日に引續き一回戰四試合、二回戰二試合を擧行

◇一回戰

東高 3―0 0 七高
八時半開始 審判市山（主）小野 安原（線）三君 東高先蹴

【七高】

牧尾 隈野原 亜田 玉川 川島
井邊 藤 橋河 泉尾 亜 賀田
宝渡瀬 森 土亜有 小野 芳岸
【東高】

FW	2	1
HB	1	5
FB	7	0
GK	5	0

小西 朝桑宮 八池 兒有 荒盛

四高 4―0 0 富山
九時四十五分開始 審判 築島（主）大槻、小林（線）三君 四高先蹴

【富山】

上井 友澤 田田 本田
水石 林 吉米 奥島 高江 綿 陳
知田 兼垣 橋田 上 間 本井 上
可坂 重西 高飯 二 安 松 中 椙
【四高】

FW	6	0
HF	6	0
FB	5	8
GK	2	9

CK	6	0
FK	6	0
GK	5	8

松山 2―0 1 松江
2―1
十一時開始 審判 安原（主）市山 原（線）三君 松山先蹴

◇二回戰

北大豫 3―2 二高
一時半開始 審判 森（主）政家

【六高】

近原 直淺山 大中辻 荒
重口 木田下 野村野 川 朴
【二高】

FW	7	2
HB	6	4
FB	1	2
GK	1	8

CK	7	2
FK	6	4
GK	1	2

福志矢二中 中山中 中原久
島島
【府高】

富賀野 野村岡（章）（靜）出野

六高 2―0 1 府高
2―1
十二時十五分開始 審判 橿田（主）藤岡、關（線）三君 六高先蹴

【松山】

井內本 本山 谷中本 井橋田
中河西 山松井 田岡河 高鶴
【松山】

FW	3	3
HB	1	3
FB	7	2
GK	2	2

CK	3	3
FK	1	3
GK	7	2

立澤 谷本田原田波野
足加戸 吉川富石松維山
【松江】

伊藤（線）三君、二高先蹴

【二高】

出澤月輪分田部尾藤田村
山佐秋 兼國柳長本伊松中
國居口原 水丹村田澤沼藤
下鳥川 藤潟伊奥德奥生加
【北豫】

FW	4	7
HB	4	4
FB	3	4
GK	2	1

CK	4	7
FK	4	4
GK	3	4

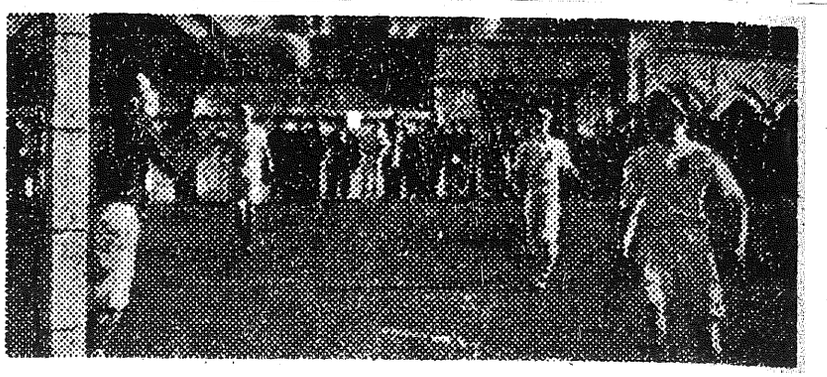
水戸 9―0 0 山口
4―0
二時開始 審判 森（主）渡邊、菊池（線）三君、山口先蹴

【山口】

田田行富成山永橋中 富
鳥坂國安富堀光大田 林 吉
林井地庄石川田島村島津
小今菊本城宮島 齋木川石
【水戸】

FW	2	0
HB	2	8
FB	6	0
GK	4	0

CK	2	0
FK	2	8
GK	6	0
	4	



【寫眞は東京府立高校對六高戰＝後半十五分府高のゴールキーパー落球一點を失ふ】

S13・1・3

S13-1-4

全國高校蹴球（第三日）

第十五回全國高等學校蹴球大會第三日は三日午前八時半から東大球場に於て第二日に引續き第二回戰殘り六試合を擧行、成績左の如し

一　高　4（0―0 4―0）0　佐　賀

八時三十分開始、審判補田（主）奧田、田村（線）三君、一高先蹴

【佐　賀】

田所林田引宗森
慎南ノ浦崎
福勝小内船宮小
FW HB FB GK
谷田野内尻輪山津父甲内
9 2 1

0 2 34
CK FK GK

大喜若山池三大水柳上竹

【一　高】

【廣　島】

1（0―0 1―0）0

九時四十五分開始、審判藤岡（主）種田、築島（線）三君、靜岡先蹴

【靜　岡】

場木川田田根貴川元津尾
久柏樹園藤白小小松矢長
FW HB FB GK
坂原町野原澤井石本野井
3 6 8

2 6 14
CK FK GK

久石大岡桑長石大橋平土

【廣　島】

東　高　3（0120 0002）2　四　高

十一時開始、審判森（主）原田、眞鍋（線）三君、東高先蹴

【四　高】

知田兼垣橋谷上間本井上
可坂重西高熊二安松中稻
FW HB FB GK
谷邊藤橋河泉尾亜賀田
生森
丹渡瀬土亜有小野芳岸
5 5 8

2 3 30
CK FK GK

【東　高】

六　高　5（2―1 3―0）1　松　山

十二時廿五分開始、審判菊地（主）河西、岩動（線）三君、松山先蹴

【松　山】

井內本本山谷中本井橋田
中河西山松井田岡河高龜
FW HB FB GK
重口木田下村野川野
近原直朝山中大辻呂朴荒
6 2 4 1

1 2 20 0
CK FK GK P

【六　高】

武　藏　1（0010 0010）1　早　高

（抽籤勝）

一時四〇分開始、審判森（主）小林松村（線）三君、早高先蹴

【早　高】

川山橋岡西田宅井田川田
吉橫高末河村三折益石島
FW HB FB GK
賀部槻川田間
筧
志岡大山池笹岡巻鍋井
八小櫻

6 2 11
CK FK GK

1 5 2

【武　藏】

松　本　5（3―0 2―0）0　新　潟

三時一〇分開始、審判小野（主）安邑、原（線）三君、松本先蹴

【新　潟】

田村原間邊村所田島田
福田永本田森竹富金中本
FW HB FB GK
形井中浦野原内本島木田
山金田杉海杉大山中鈴岡
9 8 5

3 8 16
CK FK GK

【松　本】

S13-1-3

朝日招待蹴球四代表の横顔 ①

新春我が蹴球界への良き贈物として期待される第二回朝日招待蹴球大會は既報の如く來る九日午後零時四十分より甲子園南運動場で慶大對關學、東大對京大のプログラムで擧行されることとなつたが、以下東西夫雄四チームの紹介を試みる【寫眞は慶大チーム】

試合巧者の慶大

個人技も一段と進歩

春の全日本選手權大會には關東を代表して出場し十二年度の選手權保持チームとなり愈々滿を持へたのであつたが今次の事變勃發によつてこれを見合せた春好調のスタートを切つたので中たるみが來やしないかと案じられたのであるが主將增田の病氣などがあつて

一部內を引締め

これ幸ひして引き締つた感があり夏の山中合宿では相當故障者も出來たがシーズンに入るや明大、文大を零敗せしめ東大とは引分け商大を粉碎し、早大を堂々と卻け四年振りに關東學生リーグに制覇した東大と引分けたのが玉に瑕であるがこの五試合におけるスコアは23—2この邊に慶大のチーム力を窺ふ事が出來よう

關東十二日行はれた東西學生リーグ優勝校對抗戰においては京大を3——0で仕止めた手際はFW線の不調はあつたにしても無得點に卻けたのは先づ順調な結果であつた、兎角バックスにウイーク・ポイントがあるが如く傳へられるが

松元、笠原をHB兩翼とし石川の後退で布かれる宮川、加藤との三B制は强味に事欠かうとも

巧味に依つて

相手の攻撃力を封じてゐる上巢敏な津田のプレイは前線の活動に後顧の憂ひをなからしめてゐる、FW線は播磨の老巧なプレイは巧にFW線をリードしその得點力を遺憾なく發揮してゐる、十月以降四年振りに關東學生リーグに制覇した東大と引分けたのが玉に瑕であるがこの五試合におけるスコアは23—2この邊に慶大のチーム力を窺ふ事が出來よう

關東十二日行はれた東西學生リーグ優勝校對抗戰においては京大を3——0で仕止めた手際は

れたわけである、メンバーは

姓名	出身校	體重	身長
猪俣 一穂	慶 豐	一五、三〇	五、五
小畑 實	慶 豐	一四、八〇	五、五
二宮 洋一	神一中	六、〇〇	五、二〇
播磨幸太郎	神一中	一五、三〇	五、四
篠崎 三郎	慶 豐	一五、〇〇	五、三
松元 一見	慶一中	六、一〇	五、四
石川 洋平	府五中	一七、〇〇	五、六
笠原 隆	神一中	一七、〇〇	五、三
宮川 光之	鳳 中	六、〇〇	五、五
加藤 國夫	慶 豐	一五、三〇	五、四
津田 幸男	神一中	六、〇〇	五、三
增田 正純	府五中	六、〇〇	五、九
西本 修吉	松山高	六、〇〇	五、四
高島	長輔	明倫中	六、〇〇	五、二
乙骨	亨二	府五中	一五、〇〇	五、五
渡邊	吉郎	慶 豐	一四、〇〇	五、四
小島	正	熱田中	六、三〇	五、四



513-1-K

明日招待蹴球四代表の横顔

鐵壁の後衛陣

東大、忍従に花咲く

今シーズンのリーグ戦前に於て東大は早慶と共に優勝を續る三強として球界凝視の的となつてゐたのであるがリーグ戦冒頭の對文大との試合は油が乘らず豫想を裏切り黒星を殘してしまつた、然しその後の精進は次第に効果をあらはして商大明大を降し全勝を豫想されてゐた慶大に挑んで遂に1―1の半星に卸け早大をも打とつてスタートの黒星を償しまれ乍らもその

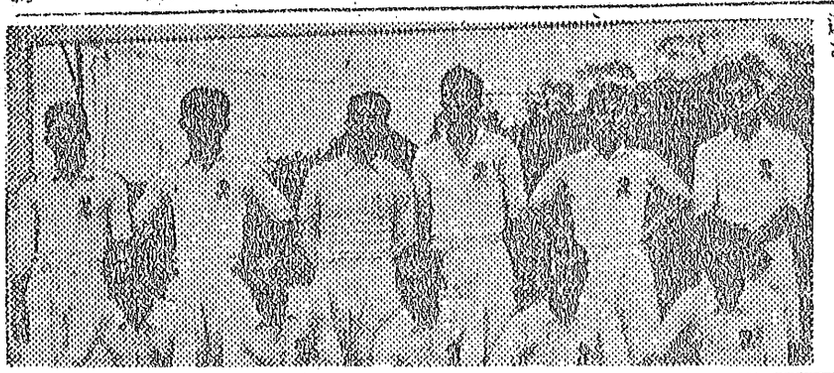
……尻上りの强味……

には最大の讃辭を贈られたものであつた、リーグ戦前の豫想に合致したこの戰績を續り上げる迄には他のチームに見られない辛酸が續込まれてゐる、黄金時代の再現を目ざす前の捨て石として本シーズンの精進は立派に成功したといへやう、FW線の整備には殊の外に苦心が拂はれ未だ理想的のものといふ事は出來ないかも知れないが、高橋を主軸として松村、大槻、渡邊、阿部といづれも特異性を持つてゐる

この連絡は斷たれてゐるが如くに見えても混亂の中に

……實に緊密なる……

ものゝあるのを見逃す事は出來ない、シューテング・レンヂが狭いやうに言ひふらされてもゐたのバックスであり鐵桶の守備陣といふのは東大にはうがつた形容詞れと見る事が出來るが、リーグ戰の終了を待つてこの招待試合に備へ雨の日も風の日も猛練習を積んでよくその欠を補つてゐる、東大はこのシーズン再生のチームで臨むといふ事も出來るバックスは福田主將が下がつて菊池、藤岡と共に三B線を布き關、森がHB線兩翼となつてゐるがこの守備力は事實關東においてもその右に出るものはないといふ强いものである、慶大の攻撃力を殺ぎ加茂兄弟を擁する早大の鋭い攻撃力を完封し去つたものは實にこのバックスであり鐵桶の守備陣といふのは東大にはうがつた形容詞



といふ事が出來るだらう。濵しの速さ

……マークの完璧……

は好走好位を占めての興味ある守備となつて示される、GK岩動のボールの處理は若さがうかゞはれるが沈着なるプレイが感ぜられるものならばさしたる不安はないシーズン中に斯かるチーム力の昂潮を見せたといふ事は異數に屬しシーズン深まれば深まる程その威力を示すところは全く驚異に値するものである高關關は東大チーム

姓名	出身校	身長	體重
		糎	キロ
松村達夫	府立一中	五五	五五
大槻忠夫	二高	六〇	五五
高橋豐二	成城高校	五九	五五
渡邊操	武藏高校	五九	五五
阿部榮夫	東京高校	五八	五五
奥田正明	成蹊高校	五六	五五
河西清	東京高校	五七	五五
大屋宏	大高	五八	五五
關義雄	成城高校	五六	五五
種田孝一	水戸一高	五六	五六
森孝雄	東京高校	五八	五八
田村三郎	武藏高校	五五	五五
菊池宏	二高	五八	五五
藤岡卓人	水戸一高	五五	五五
岩動洋二	山形高校	五九	五五
高橋弘	成城高校	五六	五六

朝日招待蹴球四代表の横顔 ⑥

作戦に巧な京大

攻撃より守備に優る

新チームを組織して間もない時ではあつたが昨春花園で行はれた關西學生蹴球大會における京都帝大の試合振りには幾多の拙劣さが現はれたので同大學が關西學生蹴球界の覇權を奪取するまでにはかなり道が遠く余程の鍛錬を見ない限り先づ無理であらうとの風評が高かつた。しかもその余り芳しくない批評はリーグ戰が開始されてから以後も時折り耳にした言葉だつた。しかるに同チームは例年のことではあるが試合を重ねるごとに見違へるばかりにチーム力を向上し遂に前年の覇者神戸商大及び今春最も強力を謳はれた關西學院大學をも堂々と降して三年振りに覇權を掌中のものとしたのであつた同大學の

……各ポヂション……

を仔細に檢討するならば勿論そこには長所短所がありまたどちらかといへば攻撃よりも守備の方が優れてゐるが、しかしよく纒まりのとれたチームである

同チームの特徴と見らるべきものは作戦に巧みで有機的に試合を運ぶ點である、例へば攻撃に際してはFW山中君を中軸として縦横自在に相手バック陣の虚を巧みに衝いて出たり或は守備に際しては〇H大塚君を中心として形くスリー・フルバック制は位置及び判斷よく相手方フオワードに難攻不落の觀を與へしむるものがあつた、過般大との東西學生優勝試合にはたとひ敗れたとはいへ、その好防振りは絶讃を博したものであつた

同チームを一瞥してみると先づフオワード・ライン左のウイングの市山君は對關學戰には長驅單身よく關學の陣深く攻め入りしかも貴重な得點を稼ぐの殊勳を樹てたプレーヤーで足も早くキックも利くからそのタッチプレーには期待すべきものがある、LI小野君は國際試合代表候補選手として選ばれただけあつてその技術は圓熟し〇F山中君は一見師足の如く見ゆるも球感豊かな選手だけに味のある球捌きでリーグ戰ではゴールゲッターとして華々しい活躍振りをなした



……RI森君は主將……

の重任を帶びてゐるが同君はシューターとしてよりはむしろOF或はウイングのよき連繫者として縦横にグラウンドを馳驅した働き振りは眞に涙ぐましい程であつた、RW伊藤君は日によつて當りムラがあるのが惜しまれる

ハーフバックは〇H大崎君が下つてスリー・フルバック陣を布くことになつてゐるが政家、安原兩君のサイドハーフはよくこのポヂションをマスターし攻防の兩面に大きな力添へをしてゐる〇H大崎君は積極性に缺けるといふ非難はあるがしかし防禦力の強い點は完璧の觀がある、フルバックの左側は對慶大戰にはリーグ戰で活躍した眞鍋君は足の負傷のため出場せず安井君が起用されたが兩選手ともキックもよく判斷もよいプレーをするので何れも無難である右側の井上君は果敢なプレーをもつて屢々危地を脱してたが右側のキックにムラのあるのが瑕であるだが最後の門を守るゴールキーパーの岡本君は前シーズンより著しい向上振りを見せ捕球の正確と進出の判斷のよさはかつて鳴らした先輩の金澤君を彷彿させるものがある、過般の對慶大戰には殊勲美技を演じて關東のファンをうならせたものであつた

「京都帝大チーム」

姓名	身長	體重	出身校
市山 武夫	五尺六寸	十六貫	五高
小野 禮年	五・六	十六	四高
山中 泰男	五・七	十七	成城
森 正夫	五・五	十五	五高
伊藤 慶次	五・五	十六	東高
政家 英作	五・五	十四	松山
大崎 小二郎	五・七	十六	松本
安原 良憲	五・六	十五	六高
安居 律	五・七	十七	四高
井上友三郎	五・六	十七	松本
眞鍋恭四郎	五・九	十九	松本
岡本 純一	五・六	十六	成城
若林 隆	五・五	十四	四高
大澤 誠一	五・六	十七	富山
朱 永馨	五・六	十六	早高
唐原友三郎	五・五	十四	松山
増山 理勝	五・五	十四	九高

S 13-1-5

S13－1－6

朝日招待蹴球四代表の横顔

個人技術の圓熟

堂々たる關學攻撃線

……昨年十一年度……

關西學生リーグにおいて一頭地を拔く實力を持つチームだと評判された關西學院大學は、京大戰の一戰に敗度放つた白星も京大のゴールを割り得ず覇權を失したものであつた、關西學院大學にとつては、この招待大會は名譽恢復のため絶好の機會となり、選手達の張り切り方はまた格別で冬季休暇となるや直に練習を開始した

……昨年十一年度……

のリーグ戰においても同大學は神戸商大のため不覺な敗北を喫して覇權を逸したため第一回招待大會には勇躍參加して全日本學生界のナンバーワンたる早大に對して堂々と戰ひ2－1の善闘記錄を殘してファンの絶讃を博したものであつた

同大學の誇りとするところは全體の個人技術がかなり高度に圓熟し東都の兩雄にさして遜色を認めないであらう、守備陣にはやや雜色を殘してはゐるが、然し攻撃線は堂々たるもので フオアワード・ラインの一人一人の技術を見ても何れも一癖あるプレーヤー揃ひで關西學生リーグ戰に擧げた得點總計は優勝した京大より多かつたほどである

LWの梅園君は快足の持主で自ら放つシュートには相當強力なものがありLI野澤君の強いキックは定評のあるところ、主將として最後の試合であるから存分の活躍を見せるにちがひない、OF岡野君は京大山中君のプレーとは趣を異にしてゐるが、如何なる體勢においても正確に素早くシュートを放つ點はリーグ屈一である、RI田島君は野澤君とともに斯界にその存在を認められてゐる好プレーヤーで好調の波に乘れば凄い動きを見せRW田中君は快足を誇りチャンスメーカーとしての職責を よく果してゐたが相手のバックマンに面した場合時折脆さを暴露するのが欠點である

……HB線では左側……

の那須君は幾分見劣りしたが新人としては先づ無難なプレーヤーだといひ得べく、OH三田君及びPH田邊君は體驅に惠まれないが、しかし精力的なプレーヤーでキックも強くまたキープ力も豐かである、フルバック陣の林君及び笠井君は頑健な體の特主で闘志旺盛、長驅のよく利くプレーヤーで對人防禦の鋼點はどの程度まで牽止されるだらうか

ゴールキーパーの中村君は對京大戰には不手際なプレーを演じたが、六尺といふ長身に惠まれてゐるので高いボールに對しては餘に強く自信をもつてゐる、だが巨漢選手をづらりと列べてゐる關慶大戰に對する用意は如何

姓名	身長	體重	出身校
梅園 弘	五尺三	十四貫	灘中
野澤幸四郎	五・七	十六	灘中
岡野 二郎	五・三	十五	明星商
田島 昭策	五・四	十四	神一中
田中 元一	五・六	十六	神二中
中村 信一	五・六	十七	神二中
三田 英夫	五・三	十六	神二中
田邊 信彦	五・二	十三	桃山中
林 彌三郎	五・六	十六	神二中
笠井 利直	五・六	十七	甲陽中
中村 敏次	六・〇	十五	明星商
那須喜生夫	五・四	十四	灘中
中村 重夫	五・六	十四	關學中

慶大軍大阪着

【大阪電話】九日甲子園南運動場に於て開催される本社主催第二回朝日招待蹴球大會に出場する關東學生界の覇者慶應大學は四日夜東京驛出發五日朝八時三十七分大阪驛着列車で來阪逸早く市橋、右近兩先輩に迎へられて直に宿舍甲子園濱のスポーツマンホテルに投宿した

S13・1・6

B13-1-5

六高、一高敗る

全國高校蹴球 準々決勝

全國高校蹴球大會第四日は四日午前十時から東大球場で準々決勝四試合を擧行、優勝の呼び聲高かつた六高はこの日遂に東高のため敗れ去つたが一高が廣島のため零敗したのと共に番狂はせといふべきだらう、結局東高、武藏、廣島、水戸の四校が今五日の準決勝に進む事となつたが東高對武藏の一戰が本大會の覇權を賭けた準決勝戰と見られるに至つた

◇…東高は強敵六高を破つて愈々優勝候補の色濃くなつた、貴重なウインニング・ゴールは前半13分LW丹生谷のセンターリングを六高RB朴がミスしCF潮勝が拾つて突込んで得たラッキーなものであつた、六高は武藏と覇を爭ふものと目されただけに試合大半に攻勢に立ち後半風上に位置しての攻撃は東高のナロー・リードも危く見えたがCF直木に賴り過ぎ中央で細まかくかき廻はすだけでオーブンに運び得なかつたのが欠點で加ふるにこの日東高の示した完全なマークに容易に潰され機を逸して了つた、とまれ前半の一點のリードで六高の逆襲をよく阻んだ東高の好防は賞されてよい

武藏 5 (3—1 / 2—0) 1 松本
（11時20分武藏先蹴審判森（主）安居、小野（線）三君）

【松本】

縣井中浦川原内本島木田
河
山金田杉笹杉大山中鈴岡 2
FW 1
HB 3
FB 1
GK 1
CK 7
CFK 1
GPK 0

田部槻川間賀卷編井 7
覓 0
池岡大山 笹志八小櫻 10

【武藏】

◇…武藏の各ラインは松本のそれと比べて一日の長あり殊に武藏FWのコンビと出足は格段勝り前半風下の不利にありながらバツクスの好フイードに惠れ堂々三點を揚げて勝敗を決した、松本は後半に立直り相當見るべきものがあつたがLI金井CF田中光るのみでウイングに人なく何れも持ち過ぎが祟り從つて粗末に終りたゞ前半PKで物した一點で零敗を免れた

東高 1 (1—0 / 0—0) 0 六高
（10時東高先蹴審判藤岡（主）奥田、松村（線）三君）

【六高】

重口木田下村野呂野川
近原直朝山中大辻朴荒
FW
HB
FB
GK
CK 4
FK 10
GK 12

谷澤藤橋河並尾泉賀出
生森 土亜野小有芳岸
丹渡瀬

【東高】

廣島 2 (1—0 / 0—0) 0 一高
（12時40分廣島先蹴、審判楽島（主）渡邊、大槻（線）三君）

【一高】

谷田野内尻輪山津父甲内
大喜若山江三大水柳上竹
FW
HB
FB
GK
CK 2
CFK 5
GPK 0

坂原町野原澤井石坂野非
久石大岡楽長石大木中十
3
3
12
1

【廣島】

◇…廣島は練習の跡よく見え鋭い出足とコンビに一高を壓迫、前半9分RI岡野の大きなクロス・パスを受けたLW久坂が好シュートを放つて右隅を割り一點をリード、また後半には一高RH上甲ハンドのPKを久坂がものにして堂々シヤット・アウトを喰はせた、一高にはかなりのチヤンスがあつたが何れもパスの時機惡く加ふるに決定的シューテイング無く、また闘志にも廣島に一歩を讓つてゐた

水戸 0 (0000 / 0000) 0 北大豫
（抽籤勝）
（2時北大豫先蹴、審判赤（主）田村、岩動（線）三君）

【北大豫】

國居口原水丹村田澤沼藤
下鳥川藤清伊奥德奥生加
FW
HB
FB
GK
CK 2
CFK 7
GPK 0

林井地庄星川田島村井津
小今菊本八宮島蔓木藤石
5
9
6
1

【水戸】

◇…最後の試合は技の水戸に力の北大豫で當日隨一の熱戰を見せた、全般に水戸優勢であつたが北大豫も後半風上を利してキックを盛に用ゐて逆襲又々チヤンスを迎へたがいづれもシューテイングと突込みに欠け得點に至らず延長戰では水戸再び斷然優勢に立ちFWは再三シュートを放つたがいづれもキーパー正面を衝いて空しく結局抽籤で水戸に凱歌が上つたが北大豫としても敗れて悔いなき健闘振りであつた、しかし水戸がキックオフ直後5分PKを得CF菊地のキックはキーパー正面を襲つて空しかつたが若しあれでリードを得てゐたらあゝまで苦戰はしてゐなかつたであらう、水戸はかなり繰つてゐるがFWは右ウイングが劣りベスト・フオアに殘つたなかでは一番見劣りがしてゐた（大橋正路）

S13-1-6

東京、廣島勝殘る

高校蹴球 準決勝

第十五回全國高等學校蹴球大會第五日は五日午前十一時より東大球場において準決勝二試合を擧行、前日强敵六高を破つた東高は余力を驅つて前年の優勝校武藏を降し水戸高を卻けた廣島と共に決勝戰に進んだ

◇事實上の優勝戰と見られた東京武藏戰はこの日前年優勝校武藏が連日の苦戰で疲勞してをり、好技は見られず體力に秀でた東京が勝ちを占めた、しかし兩軍技術伯仲で接戰を演じ前半は兩軍ノー・ゴールに終ると見えたが漸く29分に東京は左より攻めRI森のパスをCF瀨藤受け左よりシュート氣味に右へ捌けばGK櫻井出遲れて外しゴールをカバーしたRB小倉がバックしながら止めたが處理惡く自殺の一點を獻じてしまつた

◇しかし後半風上に立ち武藏はよく球をキープして東京陣を壓し容易にタイにしさうに見えたが8分岡部のロングシュートは惜しくも右へ外れまた11分左CKからの好球を東京バックス外す間に岡部また狙つたがタイミング合はず左へ蹴上げるハード・ラックあり惜しいことをした、試合を東京のものに決定的にした二番目のゴールは16分に右タッチより攻めた瀨藤よりRW土橋に渡り土橋の左への大きな好センターリングをLW久保田は左ポストにつかまり伸び上つて見事なヘッデイングで極めて作られた、武藏は疲勞で走力欠け球につき得ず連絡なく、また終始岡部とLI池田が中央で球をいぢくり過ぎウイングを動かさずまたゴール・ゲッター岡部が自分のポジションよりかなり左に球を捌いてゐた爲肝腎なゴール前でのシュートが利かなかつたのが災ひとなつてゐた

◇第二試合では試合數を經た廣島が調子に乘つたフオームを見せキックオフより10分間にCF大町、RW桑原が夫々ゴールを揚げ、前半は殆んど水戸エーリヤで試合を運んで樂に勝つた、廣島は馬力のあるFWが會心の動きを見せ殊にRW桑原の活躍目覺しく前半後半に各一點宛得點して光つてゐた、マークを忘れた拙劣なバックスで前半一方的に追ひ込まれた水戸は後半風上に廻り逆襲を見せ再三チヤンスを作つたがコンビのないFWは突込み足らず零敗に終つた（大橋正路）

東京 2（1―0 1―0）0 武藏
（11時武藏先蹴審判福田（主）高橋、關（線）三吉）

【武藏】
田部 槻川 巻賀 岡 間瀨井
覺 池岡 大山 八志 笹小櫻
FW HB FB GK
CK 5 3 9
FK
FG

【東京】
田谷藤 橋河亜 尾泉賀 田
保生 森 土亜野 小有芳 岸
3 0 17

廣島 4（2―0 2―0）0 水戸
（2時水戸先蹴審判 山中（主）森、小野（線）三吉）

【水戸】
林井池田 石川田島村井津
小今菊本城宮島義木藤石
FW HB FB GK
CK 0 5 9
FK
FG

坂原町野原澤井石坂野井
8 4 12
久石大岡桑長石大木平土

【廣島】

S13-1-7

地力の廣島制覇

高校蹴球 東京後半崩る

東西兩帝大主催第十五回全國高校蹴球大會第六日は六日午後二時から東大球場で竹腰（主）菊池、領島（線）二君審判の下に還來の廣島と東京兩校の決勝戰を擧行。東京は一點を先取し試合を有利に運んだが廣島は前半よく盛り返し漸次好調に立つて後半は試合を一方的にし第五回大會以來二度目の榊覇を續げた

廣　島5【1―1】1東　京

◇…決勝に前年度の榊冑戰を勝つて十分の覺悟を豫想された東京高校が6―1の點差で敗れようとは夢にも考へられなかつた、殊にキックオフより見事な出足を示し7分にして五度目の右のCKよりの好球をCF淵像がダイレクトで極めるきれいなヘッディングでリードに出たあたりから見て廣勝は確實と思はれたのだが、結局は體力を着板にファイトに旺盛な廣島イレヴンが豫想を裏切つて堂堂たる勝ちを占めた

東京が互角に對抗し得たのは最初の十二分位であとは懸命に氣迫を馳つてリードに追ひついた廣島の攻勢に壓せられ一方的に慘敗を喫したのであつた、これには LW 室井の故障でサブの丹生谷を使はねばならぬ不運があり、これがプレーヤーとなりFW全員の動きを統率し得なかつた恨みあり、加ふるに前日までに疲れてしまつた



優勝した廣高チーム

それからの廣島は快調なコンビを見せ鋭い出足と併せて未だ大會中見せなかつた好技を續々して重ね東京陣攻略に成功してしまつた、この中にも兩インサイド岡野、石原、RB平野の動きは偉彩を放つてゐた、これに反して東京は殆ど全員ガタ落ちとなりFWは責任逃れのパッシングで終りフオローなくたゞ狼狽に終れるのみであつた

◇…この一戰は地力を持つ者が技のテームを破つたもので試合を重ねる毎にインプルーブして來た廣島に對して技はあるが氣力に欠ける東京の敗は順當であの激闘しい地力を得たのは廣島平素の練習量豐かな賜と云へよう（大濱正藏）

【廣島】

坂原 町野 原澤 井石 坂野 井
久石大岡 桑長石大本平 土
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
谷澤 隆 橋河 亟尾 泉賀 田
生 森 土市野 小有 芳 邑

【東京】

5
12
9
10
9
18
/

S13-1-9

けふ四豪の熱戰

朝日招待蹴球大會順序決る

【大阪電話】慶應大學、關西學院大學、京都帝大、東京帝大の四チームが參加試合を展開する本社主催第二回朝日招待蹴球大會はいよいよ今日より甲子園南運動場に於て開催されるが各チームとも參加來の猛練習と陣容の再整備に異常の充實を示して居るだけに目覺しい熱戰を演ずること、期待される大會順序は左の如し

◇開會式（正午）第一試合（零時四十分開始）第二試合（午後二時四十分開始）

S13-1-11

慶大蹴球勝つ

【名古屋電話】慶應大學對全名古屋學生選拔チームの蹴球試合は十日午後二時半から名古屋鶴舞公園球場で熊井氏審判の下に擧行、四對一で慶大勝つ

慶　大4（2―0　2―1）1全名古屋

S13-1-5

東西對抗蹴球

大日本蹴球協會主催第七回東西選拔對抗蹴球戰は來る廿三日午後二時から甲子園南運動場で擧行されるが關東代表軍陣容は去る十一日の關東蹴球協會理事會で左の如く決定、十四日正午發表

◇監督兼コーチ　手島（東大卒）

◇マネヂヤー　川井（明大卒）辻（早大）

◇選手【FW】笹俣（慶大）加茂健（早大）二宮（慶大）羅勢（同）篠崎（同）加茂正（早大）【HB】關野（早大）種田（東大）笠原（慶大）【FB】森（東大）菊池（東大）石川（慶大）【GK】佐野（早大）津田（慶大）

關西側代表

【大阪電話】來る二十三日甲子園南運動場において擧行される東西選拔對抗蹴球試合に出場すべき關西側選手は十四日關西蹴球協會から次の如く發表した

【FW】赤川（京大出）市橋主將（慶大出）右近（慶大出）大谷（神商大出）前川（神商大）小野（京大）西野（關學）【HB】後藤（關學出）前田（關學出）木下（神商大）三田（關學）田邊（關學）【FB】井上（京大）吉江（神商大）前川光（神高商）【GK】上吉川（關大）吉田（阪大）監督田邊（大商大出）マネヂヤー津田（關大出）

關東蹴球代表勝つ

關東代表チーム對東大L・B蹴球試合は十六日午後四時から東大球場に於て高山（主）川井、小林（線）三君審判代表軍先蹴で擧行されたが四對〇で代表軍勝つ

代　表4（3―0　1―0）0東大L・B

【帝大L・B】

村西部勝川林原田須村野

松河阿後小小笠輿高田佐

FW

HB

FB

GK

0 0 1 0

CK KK KK

CF GP

10 2 3 0

辻茂宮藪崎野田　地

加加二幡塚關根森菊關津

【關東代表軍】

關西選拔軍も勝つ

【大阪電話】關西選拔軍對關西學生OB混合軍の蹴球戰は十六日午後二時半から甲子園南運動場で中島君レフエリーの下に擧行選拔軍勝つ

選拔軍　4（2―1　2―1）2　混合軍

關東倶樂部蹴球戰

關東倶樂部蹴球リーグ戰第八日は十六日午後零時半からアラン對KFSE、東倶對體育島の二試合を東大球場で、東蹴對YCACの試合は午後三時からYCAC球場でそれ〳〵擧行、成績左の如し

KFSE3（3―0　0―1）1アラン

【木野宅垣畑村村原中野勝

松海三稻大中西北田藤加

FW

HB

FB

GK

7 0 1 3

CK KK KK

CF FG

【アラ】

【KFSE】

川川田湯（蹴）田（蹴）中木村本

黒鳴奥渡加和加田澤木峰

（蹴）（蹴）

3 5 20

東倶10（4―2　6―1）3體島

澤口川井田川貝山黒根木

金關清横村前須越小關中

FW

HB

FB

GK

7 0 14

CK KK KK

CF FG

【體島】

【倶】

地腰島部忠島丸田内村村

東

翁竹手塚高福松山竹田大

2 2 13

YCAC4（2―1　2―1）2東蹴

【YCAC】

ーソン

ギーニールーントネクス

ーヤナデセウトツーツリ

レギラロツドブコヨイリ

クロプブラエアスシデハ

FW

HB

FB

GK

ソン

【蹴】

【東】

田川口水毛原木田本野田

吉粉山清笠根鈴關邑西八

S13-1-7

蹴球關東代表勝つ

關東代表對東京聯合軍蹴球戰は十八日午後三時四〇分から東大球場で小林（主）川井、辻（線）三君審判聯合軍先蹴で擧行二對一で關東代表勝つ

S13-1-19

蹴球代表を パリへ派遣

大日本蹴球協會理事會は十九日午後六時半から協會事務所において鈴木、野津、野村、資田、竹腰、山田の各理事と小野委員出席して開會、來る六月三日パリにおいて開かれる國際蹴球聯盟總會に代表を派遣する事を決定し人選は次回理事會にかけてなす事とし、この他東西OB選拔戰を三月廿日甲子園球場で行ふ事に決定し、各理事所管事項の報告あつて午後九時半散會した

S13-1-20

S13-1-7

朝日招待蹴球大會 豫想【上】

強豪慶大に迫る

關學の玉砕的戰法

關東では東大が壓迫し關西では京大が前シーズンの汚名を雪いで堂々と優勝の榮冠を獲得したので第二回朝日招待蹴球大會は前回の出場早大、神戸商大を喪つたが慶大、關學大の二回連續登場に本大會としては新顏の東西兩帝大を迎へてその淋しさを補ふ事が出來るとになつた

東西兩帝大

の對抗戰が復活を見んとする愛國氣の中において兩帝大の會戰を見るといふことは極めて興味が深い、關東西の四傑はとりもなほさず全日本の四傑、今を時めく蹴球界のビッグ4である

愈々目睫の間に迫つた來る九日を期して兩帝大對關學大、東大對京大の豪華の二大戰が展開されるのである各チームはリーグ戰の終るを待つて文字通りの猛練習を續けてチーム力の完璧を期した、この效果は妙技となつてあらはれ奥技として示され秘技として紹介されるや否や

關東學生リーグの王座を獲得し、關西十二日東西對抗戰に於て京大を降した慶大は昨春全日本選手權をもその掌中に握つてゐるので名實共に日本のナンバー・ワンである

これに挑む

關學大は關西學生リーグ戰に於てその實力を示し得すに敗れ臍を噛んだのであるが事實優勝の京大に對しては優るとも劣らぬ强力なるチームである、然し蹴に定評のある慶大に對しては玉砕の戰法を以て臨まんとする事は火を睹るよりも明らかな事であり、また斯する事が當を得たる作戰といふ事が出來よう

自らが十二月二十三日敗戰を喫した當の相手京大はその後二旬を出でずして3―0に敗れ去つてゐる、この戰績からすれば短軀と雖も三田の肉彈プレイを中心として那須、田邊、林、等井のバックスは死力を盡して攻撃し立てる結果、小柳、二宮、[illegible]の快速攻撃陣の[illegible]に潰して出でる多彩を誇る攻撃力を半減せしめる事に死力を盡すであらう

また攻撃にあたつてはロビングボールによつて慶大バックスの虚を衝きまくらんとするものと思はれるがこの玉砕の策は老巧樹園以下對澤、岡野、田島、田中の布くFW線の出來、不出來よりも

バックスの

出來如何がこの一戰を對峯に進め得るかどうかといふ事になるものと見られる關學大のFW線がバックスのロビングボールに並行する餘く速い突つ込みが確實に行ふ事が出來れば松元、等原、宮川、右川加藤の守備線を破り津田のゴールも陷れる事が出來てこの試合を有利に導く事が出來るかも知れない

關學大はその優れたキッキングをチームの生命として慶大の纖細なパスワークに釣られる事がなければ一瞬の勝路を見出し得るといふ事も考へられるが要は慶大FW線の猛攻に對しバックスが中村のキービングと共にどの程度に奮闘するか、慶大に有利と見られるこの試合も關學に死關の覺悟があれば必ずしも斷言出來ない

S/3-1-8

朝日招待蹴球大會豫想【下】

鍵はFWの得點力

伯仲の東西兩帝大

シーズン深まるに連れて反撥の意氣を示した同盟略を辿る東西兩帝大の對戰は年頭における高校大會において共に山上御殿下の東大球場の合同的の練習に結ばれてゐる

互に敵陣を完全に偵察した後の會戰である。こゝにおいて吾々はその微妙多彩の頭腦的作戰の上に最大の興味を感ずるものである

松村、大澤、高橋、渡邊、阿部の東大FW線に對する京大の川B兩鹽政家、安原と眞鍋（又は安居）井上、大崎の3FBとの華々寶々の爭ひは市山、小野、山中、森、伊藤の京大FW線と東大の關、森、種田、菊池、藤岡のバックスの對戰と孰れが優れるとは斷ずる事が出來ないが京大のFW線が對應大との一戰に於て無得點に止んだがそれは應大バックスの力闘がもたらした許りではなく京大FW線の不關があつた事は否み難い事實である。應大と1—1で引分けた東大に對するのに應大と3—0で敗れた京大といふこの戰績が尺度として許されるものならば京大は東大に敗れるといふ事になる

しかし、これは如何に豫想であつても取り上げ得ない

京大のFW線が沈着にボールを處理するものならば瞬間一の折紙をつけられてゐる東大のバックスも應援に違なくまた苦戰も覺悟せねばならない譯である

また大崎を主軸とするバックスは種田を中心に放射陣を布くバックスに比して稍々攻撃的には見劣りするが小野、森に依つてこの點は補强が可能である。GKは岩動と岡本のいづれが優れてゐるとは斷じ兼ねるが岡本に試合經驗の豐富から生み出される沈着のプレイを採殺する事は出來ない

共にまとまつたチームである。要はそのフォアワーズの得點力が遺憾なく示されるかどうかが勝敗の鍵になるのではなからうか

いづれにしても前戰に優る激烈さと内容豐かな一戰が展開されようし文字通り綿を削る白兵的の結びの好試合とならう。果していづれが早く好調の波に乘るかこの邊からも勝敗が決定づけられるのは言ふ迄もない（山田生）

東大軍大阪着 大阪電話

本社主催朝日招待蹴球大會に出場する東大チーム一行は七日午後五時三十七分大阪驛着車で着阪、直ちに甲子園スポーツマン・ホテルの宿舍に入つた

S13-1-10



慶大對關學戰　前半戰、關學のゴールに迫る—大朝社寫眞

前半の大量得點
慶大、關學を一蹴
東大は京大に敗る

第二回朝日招待蹴球大會
【本社主催】

【大阪電話】本社主催第二回朝日招待蹴球大會は九日甲子園南運動場にかて擧行、關からの微風あれど近來の快晴に惠まれ絶好の蹴球日和、正午參加四大學選手の入場に始まり君が代齊唱、四大學主將の手によつて國旗を揭揚の後宮城遙拜を行ひついで主催者を代表して本社副主筆和田取締役開會の辭を述べ、深尾大日本蹴球協會長の祝辭があり開會式を終り、零時四十分待望の大試合が開始された、試合は兩ダークホースとも後半に肉薄戰を見せて興味一入加へられたが東西の優勝校慶應大關と京都帝大は堂々東西の覇者の眞祿を示し四時十分第二試合終了後和田本社副主筆の挨拶後國旗を降下し大會の幕を閉ぢた

慶大 6(6—1, 0—2)3 關學大

【關學大先蹴、赤川(主)上吉川、前川(線)三君審判】

◇…遊躍の地の利を持つ關學は此大會においてリーグ戰の不成績を挽回せんと張切り、慶大また全日本學生界のNO・1の名譽にかけて不敗記錄を傷つけまじとし激戰を豫想され前半6—1の大差を示したが後半關學が風を背にして遮二無二慶應のゴールを鳥をもつかず押しまくり慶應をして職々危機に瀕せしめるなど試合は多角的な彩りを添へた

◇…この日關學はフオアバーツライインで田島と野津と、ハーフライインで中村と三田と位置を變更するなど部署の配置周到を極めてゐた、また試合の運用も從來の小策を弄して慶應守備網を一氣に割るべく長蹴戰法が用ひられそのロングパス戰法はキックオフと同時に田島の右ウイング

※次のページへつづく

S/3－1－10

※前のページからつづく
（朝日招待大会・慶大ー関学大戦）

[illegible]の[illegible]に[illegible]して[illegible]の[illegible]の[illegible]の

S13-1-21

伯仲・老練と新鋭

二點と開かぬ接戰か

東西對抗蹴球豫想

シーズン後半のビッグ・ミートとして新春初頭に行はれた本社主催第二回招待蹴球大會で活氣を呈した蹴球界は來る二十三日甲子園に行はれる恒例の東西選抜對抗戰を擁して賑ふ一戰として贈る事になつた、既に東西ともに精鋭を網羅してチームの編成を終り關東にあつては東大LB、早帝混合軍を核心として三戰を試み、關西側は關西學生OB混合軍との一戰によつてチームワークの完成を急ぎつゝある

兩軍選抜經過の跡を見るに從來の戰績は關西側が四勝二敗でしかも二連勝を記錄し、更に三連勝を目前にしてゐるのに對し、關東側はこの一戰によつて三連勝を擧げつゝ共にタイの戰績を築かんとして戰れも慘憺を極めた練習が行はれた

關西側は若將市橋再び主將として起ち右近、赤川、大谷、後藤、前田等の老巧圓熟の士を動員してゐるに反し關東側は鋭氣溌剌としてゐる現役の俊々たる所をよりすぐつてゐるが、この點を異にする鋭さ巧さの特色が盛られてゐるのでこの對戰の興味は深い

だが　この選抜を一瞥する時、何かしら關東側の經驗料の乏しさと視角の狹小とが感じられる、力量本位からすれば早大吉田の關紀國の守備を買つてもよかつたと惜しまれもし、戰に力を以てして制し切れない精神力の統制に老巧の一枚を加へる事も必要ではなかつたか、老いたりと雖も千軍萬馬の間を往來した古強者松丸の老練にもう一度物をいはせるといふ手もあつたと慨かしめたものであるが試合迫つた二十日に至つて石川、猪俣の辭退により松丸と高山（東大OB）が補充された、この老巧二枚を加へたのは關東側に氣分の落ちつきを見せるものとして或る期待を持たせる、いづれにしても關東側は完璧の技陣に鋭氣の一本槍、關西側は消極的に見えても老練の柔を以てあの手この手に剛を制するものと見られ、この一戰は正攻、奇襲に內容を豐かに盛り上げるものと見られる

OB　として關西球界第一線に不動の地位を築く市橋は今シーズンの練習が十分に積まれてゐるから老巧のタッチプレイは愈々冴えてチャンスメーカーとしてまたシューターとして一軍を率ゆるに足るものとして自他共に許されてゐる主將市橋を中心としてオールラウンドプレーヤーの右近を配し、小野をLWに据えて名コンビを謳はれた大谷、前川で中央に精彩を放つてゐる、去る九日の招待試合を契機として高潮の一途を辿る小野に自由奔放のプレイを敢行させて神商大と鐵壁の好コンビに期待するのに對し關東は左側を加茂兄弟に撮らしめ右に二宮播磨、篠崎を列べて早慶混合のFWラインである、バックスの活躍如何にあるが、この對立は巧緻のシューター二宮と老練を謳はれる大谷が著しく趣を異にしてゐる對立で總體的には鋭氣と愼重の衝突となり力量の程は五十步百步ではなからうか

HB　線は關西側が後藤の起用に迷つてゐるらしいが木下を主軸として三田、田邊が配されるのではないかと見られる、後藤か木下か、木下はキックにおいて活動力の稍々缺つた後藤に劣るが判斷よくヘッディングは早大吉田と共に優れ性と巧妙を誇つてゐる三田は體格に劣るが執着性に富むプレイはよくその欠を補ひ活動麗の豐富な田邊と共にハーフ團としては申分ない、強力なる後藤を主軸として寄せの鋭い關東FW線を完封せんとするか若さの危氣あるとしても木下を斷然起用するか、これによつて關東側の作戰も自と異るものがありこの點の割引きは興味深く見られるところのものである

關東は洗練された種田は不動、ハーフ兩翼は關野、森の粘り強いところで布かれよう、攻守の範圍は悠に關西を凌ぎ追込みも強いから均衡のとれてゐるそのFW線の攻擊源として遺憾なからう、勝敗の分岐をなすものは御多分に漏れずこの一線の出來榮え如何にかゝり、變化に富むそれ〴〵のFW線の潰しがどの程度に成功するか、このあたりから勝敗が自づと分れよう

FB　線は關西が粘り強く攻擊的の吉汎にポヂション・プレイに大成した井上を配して幾らか不安を宿す前線の增強を期してゐるが井上が一身上の都合で出場が危まれてゐるから前川となるかも知れぬ、然しそれによつて不安が加はるとは考へられない、之に對し關東はHBプレイヤーとして完成した關を後池のベートナーとしてゐるが關の進退に一抹の不安な一中出身で氣組の揃ふところに强味が認つてゐる、殊に大谷を中心とする激しい動きは種田の後退によつて布かれる關東の鋭りBB陣も警戒する要がある

殊に　關西の覺ふところは過般の招待試合に於ける東大の守備線を主力とする關東バックスについて知悉してゐる點でこれにつけ入つて多角的の攻擊を敢行せんとするところにあると見られ、關東は守備的に多少勝念を持つ關西守備線を激刺さに奇策を交へて衝かんとしてゐる

關東の一氣呵成、關西のいなしは種々實々、戰術的にまた技術的に最高度のものを示して快戰を展開するものと豫想される

總體的にそのチーム力を比べれば精神的に破綻を招く事がない限りは眞に伯仲の間にあり、果していづれの制勝となるか全く逆睹を許さずスコアの開きも二點內外と見られ、何れが勝つもシーソーゲームにスタンドを沸かすものと期待される

（山田生）

今年までの戰績

七年	關西	6—3	關東
八年	關東	3—2	關西
	關東	5—3	關西
九年	關西	6—1	關東
十年	關東	6—5	關西
十一年	關西	3—2	關東
十二年	關西	4—0	關東

S13.1.23

成蹊蹴球第三部へ

關東高專蹴球リーグ第二部順位決定戰は廿二日午後二時半から東高球場で擧行、接戰の末東醫勝ち、成蹊は次シーズン第三部にまはる事となつた

東醫 1—0 成蹊

クラブ蹴球（第十日）

二十三日午前十時於帝大球場

豐島 4 引13—22 4 アラン
東京蹴球團 7 3—1 2 アストラル
4—1
SK 3 3—1 2 オールブラック
EF 3 0—1 2 ス

S13.1.24

S 13-1-24

關西意外の凡戰
關東の雪辱成る
東西對抗選拔蹴球



前半關西のレー前川君シュート見事に極つて一點を擧げる

【大阪電話】第七回東西選拔對抗蹴球試合は二十三日午後一時から甲子園運動場で杉村（主）河本清水（線）審判の下に關西の先攻に開始、この日寒氣強く濱からの微風ありグラウンドは稍濕つてコンヂションは良好ではなかつた、關東は前半の優位を最後まで押切つて遂に四對一で勝ち四勝四敗の同成績となつた

關東 4（3—1 1—0）1 關西

◇…激烈の地の利も空しく關西の三連覇は不振低調によつて遂に自ら斷つてしまつた、ハーフタイム近く迄スコアの示す如く蹴況はミッドフヰルドの渡合で互格と見られたが關東側が試合の運びに連れて團調を示すに反し關西側は一連の緊密なる聯絡乏しい上に個々の動きは小策を弄して失敗すること多くたゞ後半三十五分頃大谷前川が位置を變へてから數分反撥の意氣あるを印象づけられたゞけで止んだ、

勝敗は實力の相違、戰績は當然の結果であつたに過ぎない個々のプレーには玩味の價値はあつたが關東側は兎も角關西側はこれをチーム力として示すに至らず試合は豫期に反した內容の乏しきを咎めぬわけには行かないものであつた、關西側はHB線のキープ力の不足、ボールの徹ちな處理等に非難さるべきものは數多あつたが敗因の主なるものとして擧げられるのはそのフオアワーヅの低調凡戰にあつた、期待された殊功味は主將市橋によつて代表されただけのものでありボールの操作においてその右に出づるものなしと謳はれた大谷に會心のプレーなく右近は低調の殼を脫し切れず止み

關西	小前	大右	市三	永田	林吉	上
	W	B	B	K	K	K
	H	B	F	G	C	F
關東	正健	宮	鷹崎	野田		川
	淺良			池		谷
	加加	二播	篠關	權	菊	聿

野川谷近橋田下邊上江川 吉 17560 9261

【關西】

【關東】

◇…關西側は兎も角關東側は全線に張りこれが渾然一體をなして試合を常にリードしてゐた、これが關東の强味でありチーム編成の成功であつた若さを求めた關東、豫後備現役の混成により若さと老巧とを按配しようとした關西、この結果が必ずしも今後選拔チーム編成の金科玉條として推すには當らぬとしてもこの一戰においては關東に軍配が擧げられる後半風向は兎角亂れ勝ではあつたが關西側バックスが傳家の寶刀ロングキックの鉾を收めて萎縮したキックを通してFW線に無理なキープを强ひたのは關東バックスが遖に關西のお株を奪つて後方攪亂に成功したのとは妙な對照であり之は關西の策倒れといふべきもので關西が試合運行においても劣つてゐた一例である

◇…關西のため惜しむのは大谷が最後の策として採つた前川との交代であるが既に遲かつたことである後半に入つて十九分市橋のセンターリングのチヤンスを津田の好判斷によつて壞されたその直後に敢行しても良かつた程關西は優勢にあつた、大谷のこの苦肉の策も施す時機を失し練習不足とともに關西側のために惜しまれる（山田生）

試合經過

◇前半 關東風上に立つて優勢を持するうち七分加茂正の絕好の左CKを播磨ヘッヂイングしてゴール、關東一點を先取す、關西二十五分頃遲から右にCKを得市橋キックを關東バックスをクリーヤすれば關西吉江受けてゴール前へ出で前川拾つてゴール▲關東は二十九分後崎のセンターリングを二宮シュートGK上吉川がはたいた球を播磨飛び込んでプッシュ得點▲關東は43分加茂正のセンターリングを播磨うけ左よりドリブルしてシュートGK上吉川の背後を衝いて關東3—1とリードす

◇後半 關東調子よく關西をよく壓迫し9分得點機あつたが關西奪還にも逃げ▲關東39分加茂健、二宮と渡し二宮のシュートで得點

S13-1-28

技術萬能に警鐘

主なる試合は全部關東優勝

〝蹴球日本〟躍進一路

蹴球界の全日本的の行事は去る二十三日甲子園球場で行はれた東西對抗の一戰を以て結末がついた

一昨年ベルリン・オリンピックに代表を送つて活氣を呈したのに比べれば四月北支チームの來朝で湧き開けた本年度は海外から北支から迎へたこの北海道神宮、そして海外に乘り出したのは事變前の五月早大の上海遠征が擧げられるだけであつたに過ぎない、だがオリンピック東京大會を經て强化のためには關東蹴球協會主催本試後援で六人制大會が創設され一方初めて國際代表選手を銓衡して竹腰、市橋、田邊、工藤、竹内、手島、川本、大谷の技術指導委員に依る山中湖畔の合宿練習が行はれた、この最初の試みは代表選手二十余名の戰術的、技術的の向上ばかりではなく一般の啓發に與るところは多かつた、外國チームの招聘、國際試合などはいづれも向上發展の良劑ではあるがベルリン・オリンピックの經驗が齎した檢討時味の課題が多い際であるから彩大なるプログラムを擔げ競手古舞の末に洗ひ拔くよりは先づ內省して充實をはかり强化を期した本年度は消極的といふ譏りはあらうとも衆の得たものといふ判定が下されよう

"躍"つて本年度の戰績を繙いて驚異せしめるものは

一慶應

の蹴球部であらう、六月全日本選手權を獲得して以來、關東學生リーグに轉じ、東西對抗で關西學生リーグの覇者京大を破り朝日招待大會に於て關西のNO2關學を一蹴しNO1の實績を擧々と示した事である

松丸監督を中心にして打つて一丸とした力がこの結果を生んだのであるがその練習心得として「如何に旺盛な闘志の選手と雖も技術的方面に欠けてはその実質は完全に生かされない、又如何に技術優秀な選手も闘志の裏附なくては全機能を發揮する事は不可能である、又あらゆる困難に打克つだけの闘志と明敏な判斷の所有者こそ技術の獲得者たり得るばかりでなく眞の蹴球家の名に値するのである……委細と懇心と仲良しになつたものは永久に高い段階に上る事は出來ない云々」とあり「意氣こそ技の眞附け」を合言葉として服膺し實踐する事によつて成果を收めた、誇るところのものはとりわけ目新しいものではない、然し實踐に移す事において成功した、當ふ事は易く行ふ事の難きを服膺は克服したのである

これと同列に置かれるのは東にあつては東大、西にあつては春秋く覇みられなかつた

一京大

の意想外の反撥であつたら、春上海遠征に遠征チームとしては立派な戰績を擧げ、秋は明治神宮選手權に優勝した早大が續々の敗北が續いに續つた結果であつたとはいふものゝ余りに脆めな崩落の姿を曝したのは十分の力量を持つた關學が關西に於て失敗したと共に精神力に欠けた緩みが多く東西戰を同じうするものであり前記の諸チームとは質的に置かれる點にも思はれる

新春行はれた全國高校大會にかける靑島高校の優勝は一般の驚異を裏切つたかに見られた、然しこの優勝のかげには血の滲み出る樣な闘爭の練習があり、意力、體力の高調に亜々ならぬ苦心が拂はれた、技術の洗煉にのみ重點を置き意力、體力の切磋琢磨を等閑にする一般の傾向に向つて打たれたこの警鐘、こゝに本年度の收穫があつたやうにも思はれる、慶應、東大、京大、靑島高校の本年度のその躍み斷は探究し以て指針とするに足るものではなからうか

春は全體成が全鮮を代表し秋は全く關東の外にあつた滿津が代表となつて全日本、明治神宮の各選手權に出場したが依然として個々の技術の卓絶に驚嘆せしめるだけであつた、個人重視の殼を破る日がなければ

一全鮮

蹴球界の眞の覇權は知し難いのではなからうかとまれ本年度は行事のまなるものはすべて關東勢の手中に歸した、更に行はれた全國中等學校選手權は第十九回目において初めて埼玉師範によつて關東にもたらされた、靑島關東府縣對抗において不運にも宿敵靑山師範のためにこの偉業は創痍を負つたがそれは關東勢同士の相撲であつてその功名は毫々として不朽のものである

オリンピックを卽して特に意するものは少かつたにしても內省の資料によつて將來への道は立派に拓かれつゝありといふ事が出來よう（山田生）

廿九日の運動

◇蹴球　實業リーグ

第一生命 3(0—2)2 千田代

S13.1.30

S13-2-7

學窓を出る名選手

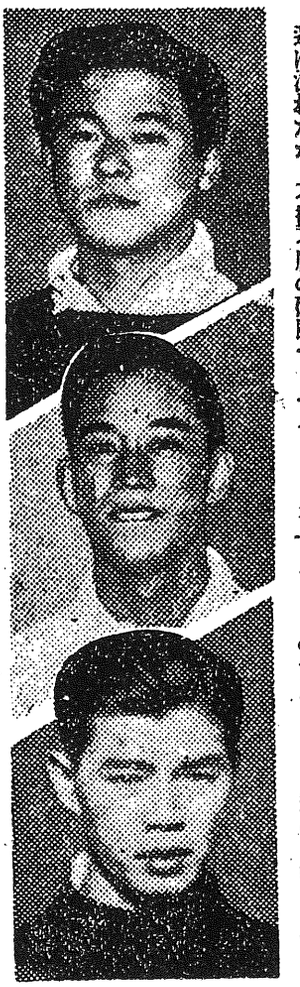
【B】蹴球

慶大

春全日本選手權を掌握し、秋は四年振りに關東學生リーグで覇を稱へ、また東西對抗に優勝して〝日本一〟となつた慶大は只一人松元一見君と袂別を惜しむだけである五尺四寸五分、十六貫といふ慶大にあつては比較的短軀の松元君は技術的より慶大を背負つて立つといつた氣魄に凝り固まつた勇猛果敢さはそのプレイによくぶされてゐたものである

早大

不動の王座を希つた早大も西邑君の應召、金容植君の歸學が手違ひのもとになつて一般の豫想を裏切り苦境に陷つてしまつた、斯る中からGK佐野、FW線から加茂兄、HB線から關野、FB線からは上野と四君が最後を飾り得ず恨みを呑んで退陣する——「リ」といふ愛稱で呼ばれ親しまれた佐野君ベルリン・オリンピックにおける後藤果敢拔身の華々しいプレイこそ選手生活のこよなき思ひ出であらう、加茂君の輕快にして確實な球の操作は獨自の妙技關野君は一昨年オリンピックの選に洩れたが、不撓不屈の研磨



(上)慶大の松元君
(中)東大の種田君
(下)早大の佐野君

八寸、十八貫の巨漢に似ず器用なプレイヤーで一昨年ベルリンのオリンピックに於てこの偉材は既に勇名を馳せたベルリン・オリンピックの土産

大東

東大の守備線は種田、藤岡の兩君の卒業のみに止まらない、HB線から森孝雄君が一枚欠ける事になつてゐる、手堅いプレイ、粘り强さに森君の生命があつたによつて、第一線を行くHBプレイヤーとなつた、上野君は努力に叩き上げた負けん氣の强いFBプレイヤー、早大魂の塊のやうに素つ飛んで行くのは印象として殘る一つではなからうか復活東大に後髮ひかれて去るのは種田、森、藤岡の三選手である、主將の大任を果した種田君は五尺の如く球界の新課題とされた3B制について奥義を極めた種田君を送り出す東大は意、技、力に優れた菊地君と共に3B制の協和點に立つた藤岡卓人君を送るのと共にその守備線の崩壞を嘆ぜしめるものである、約二十一貫の重量をきかして試みる決定的のスライデングタックルは東大守備線の華であつたと言へよう

大理文

文大からは久下君が主將としての血の滲み出る力戰に報いられる事なく去つて行くのは商大の鈴木主將が轉落の憂き目に遭つて去り難き思ひにかられてゐるのと對をなすものであらう

走力を利するキック・アンド・ラッシュの好典型として伸びて來た久下君のプレイは文大の傳統を汲み自らをよく知つて特技とした賢いものであつた

大明

明大は二ケ年連續主將の重任を負つてゐた鈴木君を送る、ハーフ戰としては體格に恵まれなかつたが德によつてチームを率ゐ更生明大の礎を築いた功績は名將として推すに足る

關西

關西で卒業生を最も多く送り出すのは今シーズン覇業を遂げた京大である

京大

は森主將、市山、山中のFW線の主軸と、大崎、安原、井上のバックスの三關士を數へるFW線とHB線をその忠實なプレイに依つて緊密に結んだ森君は廣範圍の動きの中に捨て石として使命を果してゐた、これが森君の身上であり京大の今日を築くに役立つたものである

チヤンス・メイカーとしての市山、ゴール・ゲッターとしての山中はバックスとして頑丈な體軀と洗練された技倆によつて堅い守備線を布いた大崎、安原、井上君等と共に京大復活の殊勳者としての名は朽ちない

關學

は野澤君の卒業だけであるが老功なプレイにFW線を率ゐてゐるだけに相當の痛手である

關大

關大主將上吉川君の殿剌たるプレイは關東の佐野君と並び稱されたものだが惜しまれ乍ら巢立つ一人の中に加へられる

S13・2・2

倶樂部蹴球

關東倶樂部蹴球リーグ第十二日は六日午後二時より東大、横濱YCAC兩球場において二試合を擧行、東京蹴球團とYCACが勝つ

東　蹴　3—3
　　5—2　5KFSE
（東蹴先蹴、審判三宅（主）、川井、内山（線）二君）

【KFSE】

川崎　巻保田藤中木村本

【東蹴】

黒熊篠渡猪和加田澤木橋　3 4 19 0
FW
田口水田森原川室本野田　5 6 7 1

吉山潤八大槻粉安宮西井

AY　8　5—0　1
CC　3—1　ラックス

（AB先蹴審判奥井（主）クライ、ベンデイク（線）二君）

【A B】

井シクブミーツク
デンラーイスニ川池
新フソブレパンデス
　ワフソブザ西菊アーナサー
FW　ルーロングマイヤー
HB
FB
GK

【YCAC】

ーンスイルンシトクンセル
ギソナデネソトツコールツ
レーヤーラークブコイアスルミラ
クジプデロ

六日の運動

◇蹴球
神戸　11—2　高松
YCAC　3—0　商學OB
ご軍

S13・2・7

S13-2-7

青師埼師引分け

青山師範對埼玉師範の蹴球戰は六日午後二時半から青山球場で讀澤君審判埼玉師範の先蹴で開始、兩軍好機あつたがFW線の決定力を欠き遂に無得點引分けとなつた

青山師範 0〔0—0〕0 埼玉師範

【埼　玉】
谷中藤田藤靜田田田喜田
岡山近和伊藤池森吉齋吉
FW
岡川立藤川村藤井里藤木
松小橋遠清野加藤小齋佐々

HB
FB
GK

CK 2
FK 3
GK 11

【青　山】

關東實業團蹴球

關東實業團蹴球決勝リーグ第二日は六日午前十一時より東大球場において二試合を擧行

千代田生命 1〔0—0〕0 マツダ
第一生命 5〔4—0〕4 日本鋼管

關東高專蹴球

新幹事校決定

關東高專蹴球聯盟は八日午後六時から東朝社會議室で第三次總會を開催九日左の如く發表した十三年度の各部幹事校は第一部は東高、二部は成蹊、三部は東工藝と決定、又來シーズンより大倉高商の新加入を滿場一致承認しこれを第二部に編入する事となつた

S13・2・10

第一生命優勝

實業團蹴球

關東實業團蹴球決勝リーグ第二日は十一日午後一時より東大球場で擧行、二戰二勝で第一生命優勝

日本鋼管 6〔2—0 4—2〕2 千代田生命

【千代田】
藤森
安松栗稻西岩中吉村小
FW
城原川橋井井島井保橋老
高海矢大折酒松白原久高

HB
FB
GK

CK 9
FK 7
GK 11

【日本鋼管】

第一生命 3〔1—1 2—0〕1 マツダ

【マツダ】
住橋岡村口澤川汀竹本瀨
黒矢長西山中西小小山深
FW
崎塚森部口木田本上庭
山大大塚澤二山松浦大岡

HB
FB
GK

CK 3
FK 10
GK 9

【第一生命】

十一日の運動

◇蹴球
アラン會 5〔2—1 3—1〕2 青蹴會

S13・2・12

S13-2-14

關東倶樂部蹴球戰

關東蹴球倶樂部リーグ戰第十四日東京蹴球團對豐島倶樂部の蹴球戰は十三日午後二時から東大球場で福島（主）川井、中村（線）三君審判豐島の先蹴で開始

東京蹴球團 6〔2—0 4—2〕2 豐島倶樂部

◇豐島のFW線は東蹴守備線の穴を衝いてチヤンスを作るがパスに變化を求め過ぎて失敗し一方平凡なショットと共に前半優勢に試合を運び乍ら得點なく止み後半4—0後東蹴バックスの出足の鈍いところを衝いて二點を擧げ辛くも零敗を免れた

◇これに反し東蹴はFW線のスピードに物を言はせ少いチヤンスをよく決定して案外苦戰の試合を勝ち取つた、東蹴の老巧が勝を制したと言へば言へるやうなものの倶樂部チームの中でも精氣橫溢たるメンバーを擁する豐島としては闘志と試合の運びについて一度は考へてみねばなるまい

【豐島】
藤井水口本川貝山澤根木
伊橫清關牒前須鎌金關亞
FW
田口田川室原水木本野倉

HB
FB
GK

CK 8
FK 2
GK 11

【東蹴】
吉山八粉安桃酒鈴宮西宮

S13・2・14

關西都市對抗蹴球　神戸優勝

【大阪電話】第二回關西都市對抗�蹴球選手權大會第二日は十三日午前十時から甲子園運動場で準決勝戰から擧行、結局神戸が優勝した

◇準決勝
神戸 2〔1—1 1—0〕1 京都
大阪 8〔3—1 5—1〕1 和歌山

◇決勝
神戸 5〔2—1 3—1〕1 大阪

S13・2・17

早大二軍蹴球勝つ

早慶兩二軍の蹴球試合は十六日午後三時より日吉台球場に於て擧行

早二軍 1〔0—0 1—0〕0 慶二軍

【慶二軍】
上田田池岐田島谷本川屋
井和太尾志宮高三塚石大
FW
林田島西田宅川田川田
中村川武川莊三宮益石島

HB
FB
GK

CK 0
FK 8
GK 10

【早二軍】

S13・2・17

青學勝つ　OB蹴球

關東學生OB蹴球リーグ戰第一日の明大對青學蹴球戰は廿日午後一時廿分から網町球場で塚本（主）家永、友澤（線）三君審判、明大の先蹴に開始

◆…明大は松澤、青學は長澤、可知の得點でリードを爭ひシーソーゲームを演じたが結局チームバランスのとれた青學がタイムアップ間近に明大バックスの虚をついて奥井の得點に勝敗を決定づけた

青　學 5〔1—1 4—2〕3 明　大

【明　大】
松田内澤田田井内田島見
飛熊木松原上川大星三速
FW
村井田坂知部田口鄕島田
岡奥增長可安川山炭多管

HB
FB
GK

CK 5
FK 6
GK 1
PK 1

【青　學】

S13・2・18

二十日の運動

◇蹴球
YCA 一軍 4〔3—1 1—2〕3 慶大
コモリ號 3〔2—0 1—0〕0 YCA二軍
日本銀行 2〔0—1 2—1〕2 東京朝日

S13・2・21

S13-2-21

關東倶樂部蹴球

第十五日目は二十日午後一時より東大球場に於て二試合を擧行、東倶、豐島が夫々勝つた

東　倶　6（3―0）2（3―2）KFSE

（KFSE先蹴審判　溝口（主）塚部、栗田（線）三君）

【KFSE】

川川俣吉徳方中田木村野井				
黒鴨猪渡波綿田和澤木小澤	FW	CK	2	15
岡丸英谷忠波崎島村越池田	HB	CK FK	3	
長松高小高岩福田塚菊山長山	FB	FK GK	6	3
【東　倶】	GK		9	3

豐島3（1―0　2―1）1　オール・ブラックス

（AB先蹴審判藤井（主）フアナンデス、宮永（線）三君）

【A　B】				
井ンクーミイ				
デンレープ				
新ワフWソセ石ザ	FW	CK	6	
イ川ニックス		FK	3	
パスナンサーブレーミイ		GK	17	
藤口木原元根目井黒川堂	HB			
松	FB			
伊關清小腰關須横小前西	GK			
【豐　島】				

實業蹴球鋼管二位

關東實業團蹴球決勝リーグ最終日

日本鋼管對マツダの試合は二十日午後零時より東大球場において擧行、日本鋼管が3―1で勝つ、斯くて第一生命が三戰全勝で優勝、二位は日本鋼管で二勝一敗、三位千代田生命で一勝二敗、四位は全敗のマツダの順位となつた

日本鋼管3（1―0　2―1）1マツダ

日鋼先蹴審判塚部（主）菊池、富（線）三君

【マツダ】

住橋岡村竹口川澤本打瀬				
黒矢長西小山西中山小深	FW	CK	4	
島原川幡井井島田保橋	HB	FK	3	9
老原久高	FB	GK	9	
矢海矢大折坂松美	GK		5	
【日本鋼管】			2	
			20	

S13.2.21

慶大と東大勝つ

東京大學OB蹴球

東京大學OB蹴球リーグ戰第二日は二十七日午前十時四十分より東大球場に於て二試合を擧行、精鋭を揃へた慶大と東大が試合を一方的に運んでいづれも快勝を博し、早大は慶大の棄權により一勝した

慶　大　8（4―0　4―0）0　OB大

（10時40分慶大先蹴審判藤井（主）川井栗田（線）三君）

【慶　大】

田前川田木谷井田能台溝				
富大西城鈴磯石森伊中横	FW	CK	1	
	HB	FK	6	19
	FB	GK	0	
多山丸淵口波部崎越池田	GK	CK	8	
		CK	1	
		FK	2	
		GK	1	
本杉松馬溝岩塚大塚小島		PK		
【慶　大】				

東京OB11（5―0　6―0）0青學OB

（零時東大先蹴審判松丸（主）溝口、杉山（線）三君）

【青　學】

加奥園藤可安川長浜多菅				
川英島田忠島内澤内村部	FW	CK	0	
山山	HB	FK	0	37
小高手和高生大宮竹田阿	FB	GK	37	
【東　大】	GK			
			12	
			1	
			1	

早大OB　乘福　慶大OB

OB蹴球リーグ戰績（27日）

早大	0×1	負	0
慶大	0×2	負	1
慶大	2×0	明大	1
大大大合勝	1	青學大	0
慶慶早試勝	1	東大×2	1
		大學大合勝	1
		東青明試勝	1

S13.2.28



◇…昭和五年の極東大會に蹴球日本代表軍マネジャーとして活躍した東大出身阪野潤中尉は昨年十一月北支で壯烈な戰死をとげたが此の程その遺骨が到着、二十七日午後一時から鄕里茨城縣結城郡菅原村に於て葬儀を營むこととなつた

倘蹴球團體からは大日本及び關東兩協會を代表して關東協會理事山川敏夫氏、東大OBを代表して竹腰重丸氏等が參列蹴球界に盡した故人の英靈を弔ふ筈

◇…慶大ソッカー部先輩岩崎玄君は今度千代田生命仙台支店勤務となり二日午前十時上野發列車で赴任の筈

S13.2.26

東蹴大勝

倶樂部蹴球

關東倶樂部蹴球リーグ戰第十六日東京蹴球團對アラン會の試合は二十七日午後二時より東大球場において審判田村（主）川井、野原（線）三君東蹴先蹴で擧行、東蹴の猛攻は前半早くも勝敗を決定づけアラン會バックスの崩壞に乘じて後半大量得點し19―0の大差で勝敗を決定した、次いでYCACと豐島の試合を擧行5―0でYCACが快勝した

東　蹴　19（7―0　12―0）0、アラン會

【アラン】

野尾宅畑尾幸垣村原太				
海中三大長中稻西北中村	FW	CK	3	
	HB	FK	0	25
	FB	GK	25	
田川口田村原水木本野倉	GK	CK	11	
吉粉山八枝梶清鈴宮西宮		FG	2	
【東　蹴】		GK	6	

YC　5（1―0　4―0）0　豐島

AC

（3時豐島先蹴審判長岡（主）淺田、パーマー（線）三君）

【豐　島】

藤口水原田井貝木黒根島				
松	FW	CK		
伊關清小村横須青小關野		FK		
【豐　島】	HB			
	FB	GK		

【YCAC】

シンスイルドントネクスルヤソナデネートツーリジラローードプコーミロブブクエアスシルヘ

S13.2.28

S13-3-4

東大三連覇成るか

OB蹴球 慶大との爭覇

東京學生OB蹴球リーグ戰も來る六日の早慶、帝明二試合を以てAB兩組の代表チームが決定し十三日の決勝戰を以て本シーズンの覇者が決定する事になつてゐる

◇…本來ならば六日の早慶戰はOBとはいふものゝ相當興味を喚ぶのであるが慶大が在京OBの比較的多いのに對し早大は多く地方に分散してゐる結果チーム編成難に喘ぎ乍らも飛脚動員せず有り合せの野村、高岡、螺良、幸田、西川等の顏觸れで臨まんとするので勝敗の數は既に決してゐるやうなものである

一方帝明戰も明大が川井、栗山、關口、飛松、木内、三島、速見等が總起となつても手不足は爭はれず豐富な陣容を誇る帝大に對しては これまた全然勝味はなく結局六日の試合はそれ〳〵慶帝を葬むしく決勝戰に送り込むといつた試合に過ぎまい

◇…シーズン毎に加盟チームの激動を見るこのリーグは關係をかへれば慶帝爭覇のために存するものとも云へる程に熱意が足りず稍低調の憾みを殘してゐる、前シーズンの文大、法大は參加を見合せてゐるので加盟六チーム、これがAB二組に分れて行ふリーグ戰であつて見れば決勝戰に臨み得るものでも僅に三試合、慶帝の爲め野山の眼はひとなる餘りのチームに至つては一季二試合といふ甚だしいものである

スケヂュールが組まれるに過ぎない寂しい

僅々二試合の爲めに最善の努力が拂はれたものならば在京選手に事欠かうとも二十日の早慶戰の如き双方八名づつの選手を集め得たに過ぎぬといつた事にもならず延期せずに濟んだであらう、然もこの試合は一週間後に於て慶大の棄權といふ不始末となつてゐる、當の慶大にも責任はあるがこれは關係各方面の猛しく考慮せねばならぬ事であり共同責任である

慶大は一試合を棄權し慶大と一戰を交へたゞけ、早大も同樣である一季一試合では手眞似ひてゐたOBにとつては思ふ樣に活動出來よう筈はない、試合數ばかりの問題ではなく飽くも球界の一角を守り指導と啓發に任ずる此リーグとしては使命遂行に物足らなさを痛感せしめるものがありはしないか

◇…OBリーグとは言へ慶帝の充實には及ぶべくもないとしても對抗意識を盛り内容のある試合が欲ましい、たゞ吾々をして滿足せしめるものは何と言つても慶帝の決勝戰であらう、東大OBの三連覇大優勝が成るか、慶大が四年振りに三度目の優勝成るか

東大は竹腰、千島、高山、小川等新鞏OBの足許揃つたFW線に對して慶大は松丸、塚部等の優秀選手はあつても動不足の嫌ひがあるバックスは東大が新進氣鋭を交へて竹内、田村、大内、生島、宮澤等々豐富であるに引かへて慶大は大崎、塚越、岩波等の慶大黄金時代の關將と小池等の古巢が加はつてゐる、然し守備陣に於ても東大が優つてゐるやうに思はれる

期する折に慶大は岩崎を仙台に送つた事は何といつても痛手である、ゴールキーパーにしても島田の老練に對して阿部の俊敏は若いだけに物をいふであらう、圓熟したプレイの對立に試合は内容があらうが先づ勝利は帝大か【山田生】

S13-3-5

日本蹴球代表決定

國際試合への常備軍

大日本蹴球協會理事會は三日午後六時から銀座ビル内協會事務所において鈴木、野澤、野村、關田、田邊、竹腰、山田の七理事、小野委員出席の下に開會、日本代表選手銓衡委員會がオリンピック準備と現狀即應を主眼として數次の會合を重ねて慎重銓衡した日本代表二十五選手を決定し、四日午後三時竹腰委員長の經過方針と共に左記の如く發表した

蹴球日本代表選手

◇FW　加茂正五（早大）加茂健（早大）大谷一二（神商大出）鳥居喜太郎（慶大）鈴木三郎（慶大）小野剛平（京大）鈴木鎭（普成出）二宮洋一（慶大）右近德太郎（慶大出）西邑昌治（慶大出）

◇HB及びFB　鳥居正藏（早大）鈴木雄（東大）關田等一（東大）鳥居雄（東大）井上武二郎（京大）木下勇（神商大）金容福（普成出）李裕擧（延禧專）蒲池宏（東大）

◇GK　關田幸男（慶大）佐野剛平（早大）

◇補欠　HB、FB吉江秀雄（神商大）朴鍾擧（普成）吉田雅臣（早大）GK中垣內勝久（京大）

銓衡方針

（竹腰委員長發表）

昨年度昭和十二年度日本代表選手候補者を發表しました時この趣旨を說明して置きましたが大日本蹴球協會では國際試合が實現される場合即應出來る樣に、言はゞ代表選手常備制ともいふべき方針を採つて居るのであります、これはオリンピック準備の强化策の一つでもあります、昨年七月に代表選手候補者を强化する候補者指導練習會を山中湖畔に開催して好果を收めました、此練習會以降秋から冬にかけての諸試合を參考として二月中に數次銓衡委員會を開催の結果二十一正選手四補缺選手を決定し三日の理事會で確認されたのであります、最强チームを編成するのに必要且十分のメンバーであります、尙右代表選手の一段の强化を期して來る二十三日から四月七日迄甲子園又は日吉台に於て合宿練習を行ひ今春最强チームを編成の必要あれば即應し得る樣になつた

將來板

◇…慶大と東大の蹴球部本年新役員は次の如く決定した

【慶大】△主將鳥居喜太郎△マネジヤー渡邊、昆池△委員石川、鶴見、宮川【東大】△主將蒲地宏△マネジヤー後藤△委員鍛島、阿部、

S13.3.5

S13-3-6

實業團蹴球組合せ

關東蹴球協會主催第七回關東實業團蹴球大會は參加十七チームを以て來る十三日から五日間に亙り開催されるが五日午後六時から協會事務所で主將會議を開いた結果組合せは左の如く決定し、第一日は第一回戰一試合と第二回戰一試合を行ひ、第二日には第二回戰七試合を第一生命、東大の兩球場で行ふ事になつた

◇第一回戰
日本鐵兵對鶴見製鐵（13日前10時東大）

◇第二回戰
千代田生命對淺野セメント（13日前11時20分、東大）日鐵鶴見の勝者對日本銀行（27日前11時）三共製藥對日立製作所（後0時20分）東京ガス對ツバサ（後1時40分、以上第一生命）市役所對マツダ（前11時）第一生命對東京火災（後0時20分）フオード對明菓（後1時40分）東京朝日對共同火災（後3時）

第二回戰は四月三日午前十時から東大で四試合を、準決勝戰は十日午前十時から同じく東大で二試合を行ひ決勝戰は十七日行ふ筈であるが球場は未定

五日の運動

◇蹴球（神戸）
横濱外人 2——2 神戸外人

S13-3-7

慶大、東大決勝へ

東京學生OB蹴球

東京學生OB蹴球リーグ戰第三日は六日午前十時半から東大球場でA組早大對慶大、B組東大對明大の二試合を擧行、豫想されたやうに慶大、東大が勝ち、兩チームは全勝の成績を以て第一位を獲得し來る十三日行はれる決勝戰に於て覇を爭ふ事となつた

◇A組

慶	大	1（0—0 1—0）0	早	大

小野（主）川井、本多（線）二君



學生OB蹴球早大對慶大戰

◇B組

東	大	8（3—0 5—0）0	明	大

福島（主）高山、石井（線）二君

審判東大先蹴で開始

【早大】
藤部直村義村保形川藤田
木木木
伊宮鈴野鈴中鈴村西工幸
FW
HB
FB
GK
川田部塚口波丸辻池崎磯
徳島塚大溝岩松小大鋼
【慶大】

3	CK	2
4	FK	7
7	GK	25

【明大】
赤熊木川速土奥大星宅原
FW
HB
FB
GK
木田内井見田谷内田口田
池腰島川田島澤内内村部
【東大】
菊竹手小和生宮山竹田阿

0	CK	2
2	FK	0
30	GK	1

審判東大先蹴で開始

【A組】

慶	早	農	負	0	1	2
慶	農		0	0	×	1
慶	×	0	0	×	2	
慶	早	農	2	2	0	
試合			2	2	1	
勝			2	2	1	

【B組】

東	青	明	負	0	1	2
東	×	青	0	0	×	2
東	×	2	2	2	1	
東	青	明	2	2	1	
試合			2	2	1	
勝			2	2	1	

六日の運動

◇蹴球
明治製菓5（4—3 1—2）5東京朝日

S13·3·7

東西OB蹴球
關東選手決る

東西選拔OB蹴球戰は來る二十日甲子園運動場で行はれるが關東側選手は銓衡委員會において銓衡中のところ十二日午後左の如く發表された

【FW】小川潤一（東大出）菊池武美（東大出）竹腰重丸（東大出）松丸貞一（慶大出）長岡三郎（東大出）【HB】岩波常道（慶大出）高山英輔（東大出）鈴木保雄（早大出）【FB】竹内悌三（東大出）田村富次郎（東大出）【GK】大村亨（東大出）

S13·3·13

横濱外人優勝
倶樂部蹴球

關東倶樂部蹴球リーグ戰第十七日YCAC對KFSEの試合は十三日午前十一時半から横濱YCACグラウンドで審判小長谷（主）藤井、ペーマー（線）二君YCACの先蹴で擧行、YCAC十一對零で大勝した

YCACはこれで七戰七勝の全勝成績を以て同リーグ戰に優勝するところとなつた

YC 11（6—0 5—0）0 KFSE
AC

【KFSE】
藤川崎邊田川藤目俣本野

2	CK	5
5	FK	2
18	GK	5

加黒後渡岩隈加夏猪藤小
FW
HB
FB
GK
ギールスンルネントンクソン
レーナルネートツネーイク
クカブミクシアスヒルデ
【YCAC】

S13·3·14

實業團蹴球（第一日）

第七回實業團蹴球選手權大會第一日は十三日午後二時半より東大球場において第一回戰一試合を擧行

十三日の運動

◇蹴球
日本兵2（1—0 1—1）1鶴見製鐵
鶴見製鐵
YCAC二軍 7（3—0 4—0）0 横濱生糸檢査所
關西OB 6—2 明星OB
東京朝日3（3—1 0—1）2東蹴OB

S13-3-14



OB蹴球 決勝東大對慶大戰（前半慶大ゴール前）

大學OB蹴球 東大三連覇

慶大無得點に敗る

東京大學OB蹴球リーグ最終日東大對慶大の決勝戰は十三日午後一時より東大球場において審判長岡(主)福島、奥井(綱)二君、慶大先蹴で擧行、東大は3——0で勝ち三年連覇を遂げた

東大 3（2——0 1——0）0 慶大
OB

◇…決勝戰に相應しく接戰で好試合であつたが技に優れたプレーヤーを集めた東大に豫想通り凱歌が揚つた、優れたコンビと鋭い寄せを持つ東大FWはバックスの好フイードに惠まれ前半を殆んど慶大陣に壓迫を續け25分までに左右六のCKを得る優勢差を示しながらも決定的シューテイングを欠き、慶大バックスの死守に遭ひ無得點に阻まれたが、26分慶大ゴール前の混戰からCF手島が左より綺麗にシュートしてゴールを割り、續いて34分RW高山中央線でノーマークに球を得ドリブル、LI竹腰ゴール前で受けて第二點を揚げ試合を決定的なものとした

◇…後半に入り慶大はよく立直り五分に戰を進めたが關西から市橋を動員し乍らもFWにシューテイングなく加ふるに東大バックスの好守に一點の回復も成らずに終つた

◇…若さでは慶大側勝つてゐたが闘志には東大ベテランに一歩を讓つてゐた、東大も後半再三好機を迎へたがFW焦つて凡蹴に終つて得點差は開かず、僅かに6分慶大辻のブッシングでPKを得竹腰がものにした一點で甘んじた

【慶　大】

田川	橋部	口波丸	池崎
島德	市塚	溝岩松	辻小大
	FW		
川腰	島田	忠澤央	內內村
	BH		
小竹	手和	高宮高	大竹田
	FB		
	GK		

【東　大】

山	山	山	綿
	FW		
山	山	山	綿
	BH		
小	小	小	綿
	FB		
	GK		

9	3	8	1		2	2	2	6	0	
					CK	CK	CK	CK	PK	

S13-3-16

大學！東京大會へ
蘭印から快報
馬來蹴球團も參加

來るべきオリンピック東京大會は東洋に初めて開催される全世界的大盛典であるといふので東洋諸國からの來會者は相當多數に上るものと豫測されるが十五日南洋方面からの快報が組織委員會に齎された、それによると蘭領印度のボルネオ、ジヤワ、セレベス、ニューギニア、スマトラ諸島の東京大會熱は大したものでこの難局に於ても東京大會の成功を望み土民代表として同地の獨立運動に重きをなしてゐるスタールジヨ博士を初め蘭民黨總裁ダムリンス代議士、東印度黨のスカルジヨ代議士等巨頭連が率先して數百名の見學團を編成しこれを東京大會と日本見物に送る計畫を立てゝ居り亦目下シンガポールに在留中のトルコ人富豪で親日家のアルカフ氏はマレー人によつて蹴球チームを編成しこれを蘭印代表として東京に派遣すべく計畫してゐるといふ、此情報の提供者は蘭印情報社の編輯長木檜九朗氏で同氏は十五日組委會事務局を訪ねて東京大會の宣傳物を配布する役を買つて出ることを約した

第一生命蹴球西下

先に關東實業團蹴球リーグ戰に優勝した第一生命チームは來る二十日午後三時四十分から甲子園球場で行はれる關西リーグ優勝チームと對抗戰を行ふため山崎主將、大森マネジヤーの一行十二名は十九日午後一時東京驛發かもめで西下する事になつた

S13-3-20

蹴球代表選手は 廿三日から合宿

適般大日本蹴球協會から發表された十二年度全日本國際蹴球代表選手廿五名は來る廿三日午後一時宿舍日本青年館に集合、竹腰指導委員指揮の下に四月七日迄春季合宿練習を行ふ事となつたが球場は目下選定中

S13・3・18

OB蹴球關東 選抜軍西下す

二十日甲子園南球場で行はれる東西選抜OB蹴球戰に出場の關東選抜OB軍一行は竹腰主將に引率され十九日午後一時東京驛發「かもめ」で西下した、尙一行と共に關東實業團リーグ戰の覇者第一生命チームも同車西下した

英蹴球團快勝

比島の王座はラザール占む

【マニラ特電十八日發】英國コリンシアン蹴球チームのマニラにおける第五試合レトラン大學との試合は本日午後八時半から開始レトラン組意外の健闘に前半1―0でリードされたが後半コリンシアン組實力を發揮して盛返し結局3―1で快勝した

これに先立ち先日共にコリンシアンと0―0の無勝負に終つたラザール大學とサント・トーマス大學の比島リーグ戰決勝試合があつたが3―1でラザール勝ち、本年度の王座を占めた

關東連勝（OB蹴球）

實業團對抗戰は引分

【大阪電話】第八回東西O・B選抜對抗蹴球試合は二十日午後二時から甲子園南運動場で杉村（主）阿部、前田（線）三君審判の下に關西の先蹴に開始實からの軟南風あつたが快晴先づ良コンデションであつた、試合は關東方前半に4―1と引離して大勢を決し結局6―2のスコアで關東連勝した、これで關東は四勝、二引分、二敗の成績となつた

關東 6｛4―1 2―1｝2 關西

【關西】

大伊大右大岡赤前川後西
（大）（大）（大）（大）（大）（學）（學）（學）
商
（神）（關）（關）（早）（神）（關）（關）（關）
（谷）（橋）（近）（越）（田）（川）（田）（西）（藤）（川）
FW 6
HB 2
FB 12
GK 0

【關東】

大大大大大大大大大大大
東東東慶慶東早東東東東
川地曜丸岡波山木內村村
CK 7
FG 3
GK 16
PK 0

小菊竹松長岩高鈴竹田大

【關東】

尙同競技場で午前十時半から行はれた東西實業團蹴球對抗戰は前半第一生命が3―2とリードしたが結局3―3の引分けとなつた

第一生命 3｛3―2 0―1｝3 大阪市役所（關東）

【崎塚森部口木田本上庭岡】

【第一生命】

山大大塚溝二山松浦大
（線）
FW 10
HB 5
FB 5
GK 4

【大阪市役所】

塚田舟藤本崎水野川原田
（線）
CK 0
FK 6
GK 6

【市元藤三瀬山岡渭浦小横新】

二十日の運動

◇蹴球

東京蹴球團OB 2｛0―0 2―2｝2 東京朝日YCA

6｛2―0 4―0｝0 ナルデラ號

S13・3・21

廿一日の運動

◇蹴球（東海選手權大會）

愛知一師 4―1 熱田中

芳野倶 3―2 名古屋高工

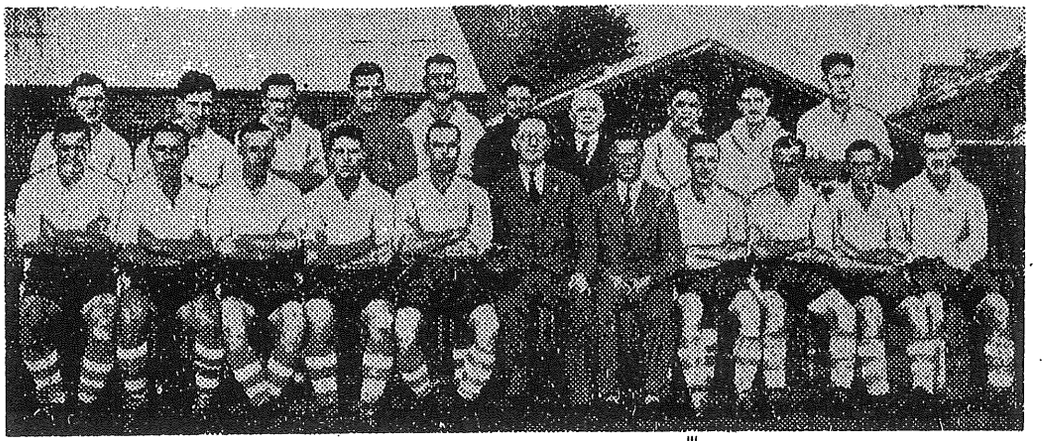
掲示板

◇…明大蹴球部は四月十日から八幡山新設綜合球場で春季練習を開始する事になつた、尙先輩松澤正次君は應召、過日某方面に向つて勇躍出動したが同部關係出征先輩は上田勝平、關口英之助、丸山實の諸君と合せて四君となつた

S13・3・22

S13-3-23

日英國際フツトボール試合



遠征七十戰三敗の強豪・親日コ蹴球團

七日全關東軍と對戰

世界蹴球行脚の途次目下マニラに於て、轉戰中のイズリントン・コリンシアン倶樂部チームが蹴球を通じての日英親善を切望し大日本蹴球協會にあて交驩試合を申出たので同協會では去る五日の理事會に於て愼重協議を遂げた結果オリンピック強化策と友好關係の助長に資するためこの申出を容れ來る七日神宮競技場に於て午後二時から全關東軍との對抗試合を行ふ事に決定しマニラ滯在中の同チームと折衝を續けてゐたが一切の交渉が成立したので二十二日午後協會から正式に發表された

【寫眞はコリンシアン蹴球團】

蹴球界が歐洲チームの招聘を計畫したが遂にその實現を見ず、オリンピック東京大會を前にして初めて歐洲チームを迎へるの好機に惠まれたのであるが

昨秋ロンドン出發以來各地に轉戰し遠征の不利を克服してよく七十余戰僅か三敗の超人的記錄を持つ强チームを迎へてのこの一戰は一昨夏ベルリンにおけるスエーデン打倒によつて世界的水準に達した蹴球界のその後の躍進を檢討打診するものとして大なる期待が懸けられてゐるコリンシアン倶樂部は蹴球本場英國のロンドン市の北部イズリントン區にあるアマチユアチームでロンドン・ミツドウイーク・リーグの强力なるメンバーである、今回の世界一周チームはこのコリンシアン倶のヌンバーを主體としてロンドン市のクラブ・チームから優秀選手を選び編成されてゐる

一行はマネージヤーのトーマス・スミス氏、コーチ兼トレーナーのH・コウ氏に引率され選手は二十名でこの中に國際選手九名を含み英國最强チームとして誇つてゐる、ロンドン渡以來歐洲各地、エヂプト、インド、ビルマ、海峽植民地等で七十戰に及んでゐることが判明した、戰績だけでも

	敗	分	勝
	3	2	27
試合數	1	1	22
54	4	3	2
32	2	1	1
21	5	4	3

洲及度ン峽港島

歐医印ビ海香比

となつてゐる、ポートサイド軍とは1―4、ダツカ協會軍（インド・ベンガル）は0―1、ビルマ軍（ラングーン）と0―1となつてゐるがこの敗戰も暑熱の惡コンデイションに禍ひされた結果である事は想像に難くない

一行のメンバー

◇FW ブレースウエート（ロンドン區代表選手）ソーントン（英國際選手）ブラットベリー（同上）ストーン（ロンドン區代表選手）シヤーウツド、タラント（寒蘭國際）ピアース（國際選手候補）ベーンズ（英國際選手）ルンゲン（和蘭國際選手）

◇HB ホイツトテーカー（ロンドン區代表選手）ホーレツト（同上）ダンス（英國際選手）R・ライト（國際選手候補）J・ライト（同上）イーストヘム伍長（英國際選手）

◇FB マーチン（ロンドン區代表選手）サージエント（國際選手候補）クラーク（蘇格蘭國際選手）

◇GK ロングマン（ロンドン區代表選手）ウイングフイールド（國際選手候補）である

日英親善に全員努む

熱意を披瀝

右の謎表と共に協會は親日英國蹴球團の熱望と好意を披瀝した書信を左の如く謎表し、この試合が一はオリンピック强化に資するためと一は大國民の抱擁力の大なるを示しスポーツの紳士性を强調せんとするものである事を聲明した

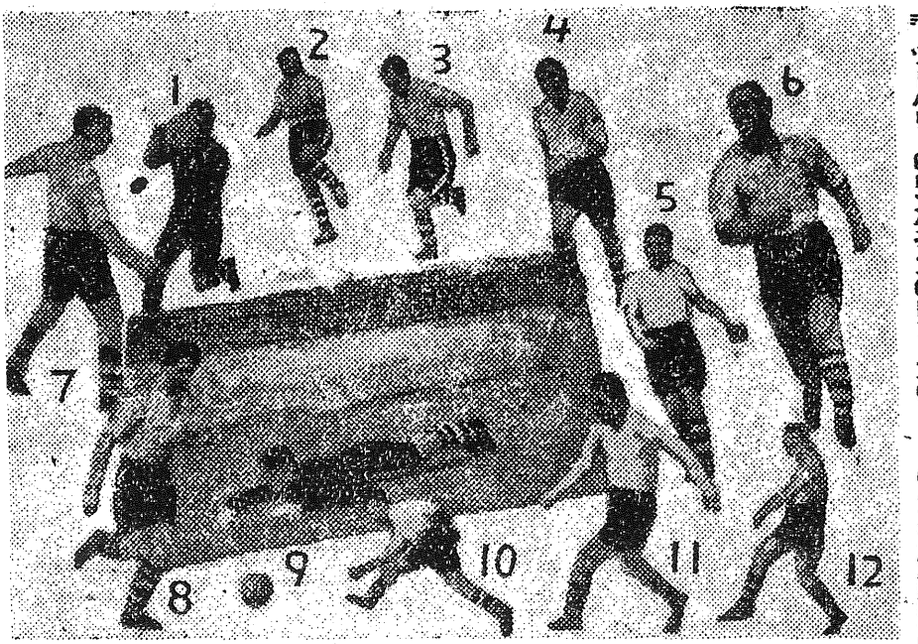
昨秋吾々は蹴球を通じての國際親善を希ひ錬磨を志して蹴球世界遍歷の途につきました、吾等はロンドンを出發するに當り貴協會の應諾の快報を手にするに至りまして既に七十試合を重ねて三敗の記錄を殘しマニラに向はんとするものであります、香港にがて IOCカイロ總會を前にして反オリンピック東京大會意見がロンドンの一部の人々に依つて叫ばれて居る事を承知致し一同はこの有意義な行脚の目的を破壞されるものとして切齒致したものであります、スポーツには國境なく又政治的問題は混入すべきものではないと確信して居りまする吾々はスポーツマン精神により誠意を披瀝し信念を吐露して親善の實績を擧げたいと熱望して居るものであります、從つて吾々は代表チームの選に入る事を得ましたならばオリンピック東京大會には欣然馳せ參ずる事を今日晝ふものであります、行脚の日程が變動を來しうるはしい日本魂に觸れ得る時間は少いのでありますが此の間にがて吾等の宿願とする一試合を御豫定下さい

S13-3-24

渾然たるチームワーク

C・Fシャーウッドの超人振り

來朝の英國蹴球團



【マニラ特電廿三日發】去る七日タンダ號で來島した稀しい全世界遍歴蹴球團——イズリントン・コリンシアン倶樂部の一行は大日本蹴球協會から試合快諾の電報に接して宿願が叶つたと欣喜雀躍してゐる【寫眞はコリンシアン蹴球團 ①ウイングフイールド②ホイットテーカー③ブレースウエート④タラント⑤シャーウッド⑥ブキャナン⑦バットクラーク⑧ブラットバリー⑨ロングマン⑩ピアース⑪リード⑫ダンスの諸選手】

コリンシアンは廿七日の試合をマニラの名殘りとして廿八日エンプレス・オブ・ジヤパン號で離島し、上海に赴き四月二日同地でオール・スター軍と試合し、六日神戸入港、七日東京における試合を終つてホノルルに向ひ同地で二試合後、米國に渡り次いでカナダと各地を轉戰し六月中にロンドンに歸着する豫定であるとの事である

一行はスミス マネジヤー、H・ロウコーチと二十名の選手に女流新聞記者が加はつてゐるマニラにおける試合には大體左の如きライン アップを以て戰つた

トー　ドエー　ーカー
ーンツウドベテートニチ
ウス　トー
ラヤー　ーツイラーン
ミタシブリブホラクマロ

FW
HB
FB
GK

これ迄の試合を見るとコリンシアンはインサイド・フオワードを思ひ切り下げたW型のフオーメーションを採つてゐる、そして正確なキックと絶妙ともいへるところのショートパスに依りヒタヒタと攻撃線を進めてゐるまた防禦はマス・デフエンスに依つて敵の得點を許さない、渾然一體をなしたチーム・ワークは全く驚異に値するものがあり全員の忠實な動きそしてボールにフオーローして攻防轉換の機をつかむあたり流石は本場仕込みのプレイとして首肯させるものがありウイークポイントを持ち合せないところに敗戰記錄の少いのが當然であるやうだ

東京に於ては一試合ではあるが蹴球界ばかりではなく春のスポーツ界に贈る最大のものといふに憚らない、ゴールゲッターは何といつてもCFシャーウッドである、當地に於ける在留支那人チームとの第一戰に於て前半五點をあげて勝敗を決定したが、この五ゴールはいづれもシャーウッドの擧げたものである

しかも第五點といふのは五メートル前あたりからのバック・キックでゴールを擧げたがこの美技には全觀衆が思はず立ちあがつて拍手歡呼を放つた、記者の見聞は狹いとしてもシャーウッドは超人的プレイヤーとして推されるに十分であると思ふ

第二戰のサント・トーマスはコリンシアンに對するのに勝ち味なく對等の試合を進め得ないのを知つて冒頭から攻撃を斷念し九人でデフエンスラインを形成した、これにはコリンシアンの鋭鋒も遂に示す事が出來ず0——0の引分けといふ結果を殘したがマネジヤーのスミス氏も九人のデフエンスチームといふのは初めて經驗したと微笑してゐた

比島で初の黒星

その後十六日の第四戰、十八日の第五戰にイコ倶樂部を2—0レトラン大學を3—1のスコアで破り依然たる無敵振りを示したが、第六戰たる廿日の對オールマニラ戰に遂に比島における初めての黒星を印した

この試合は前半激戰が演ぜられ双方無得點に終つたが、後半八分オールマニラは逆襲に出でコリンシアンのゴール前十ヤード邊りにおいてシユートを放てば前進せるコリンシアンキーパーの頭上を越して見事にゴール、得點を先取したマニラはその後俄然調子づき二十五分コリンシアンゴール前における混戰中キーパーのハンブルするを逸さず躍り込んでゴールし二對零と差を開けた、コリンシアンは形勢を挽回せんと力戰奮鬪頻にマニラの陣營を脅かすもマニラの守備固くして容易に拔けず反對にタイムアップ三分前マニラの爲に又も得點を加へられて結局三對零のスコアをもつてコリンシアン敗退した

この試合に於てシャーウッドはサント・トーマスのゴール前で蹴かせられて轉倒ししかも額は靴先で傷つけられた、故意の反則が頻繁に行はれてゐたがレフエリーは全くこれを默殺してゐた、然しこれに對して抗議せず飽く迄スポーツ道に則つて快く試合を運んでゐた

第三回戰ラサル大學との試合はサント・トーマスとの不快、危險な試合に苦しんだあとの事であるためか大事をとつて試合して これまた引分けに終つた

S13-3-25



蹴球日本代表軍の初練習

外人何者ぞ

蹴球代表の初練習

合宿を開始した蹴球日本代表選手の練習初日二十四日は豫定の勘銀グラウンドを都合のため本郷東大グラウンドに變更して竹腰委員長指導の下に午後二時半軽い練習から開始、第一日のことゝて基本的技術のみで終始に終つた、尚練習に先だつて竹腰委員長は語る

昨年合宿では個人技術やスリー・バックの理論を主として研究したので今度はこれを實踐に移すことを主眼にし又練習試合は相手を身體の大きく、そして硬い外人選手と假定してこれに對應する激しいプレーを會得させて行きたい考へです

S13・3・28

實業團蹴球（第二日）

第七回實業團蹴球選手權大會第二日は二十七日午前十時より東大、東高兩球場に於て二回戰八試合を擧行成績左の如し

東京朝日フォー 7—1 1 火災同盟
3—0
5—0
明治製菓 0
千代田生命 1—0 淺野セメント 0
1—0
（以上東大）
日本徴兵保險 3—0 0 日本銀行
2—0
1—0
日立製作所 11—0 0 三共
6—0
5—0
ツバサ 4—3 3 東京瓦斯
3—1
3—0
マツダ 4—3 0 東京市役所
1—0
0—0
第一生命 5—0 0 東京火災
0—0
5—0
（以上東高）

ラ大を破る

比島の英國コ蹴球團

【マニラ特電二十三日發】英國コリンシャン蹴球チームの當地における第七回戰本年度比島リーグの覇者ラサール大學との試合は二十三日午後八時半から開始された兩軍は去る十三日顏を合せ激戰の後0—0の無勝負に終つて居るだけに双方今日の決勝を爭つて試合の最初から燃ゆるが如き鬪志を示し緊張した場面を見せたがコリンシャン軍は頗る好調を辿り絶えずラサール軍を壓迫し遂に4—1で快勝したコリンシャン 4（2—1 2—0）1 ラサール大學

パリ蹴聯總會
我が代表決定

大日本蹴球團では來る六月三日からパリに開催される國際蹴球聯盟總會に派遣すべき我が代表につき數次に亙る理事會の協議の結果同協會理事野村正二郎男並に顧問岩田孝一博士兩氏を推すことに決定、兩氏の承諾を得たので二十四日これを正式發表したなほ兩代表は四月二十七日午後三時横濱出帆の郵船大洋丸で出發、米國經由パリに向ひ五月二十六日到着の豫定である

S13-3-25

比島の最終戰

全マニラに再敗

コ蹴球團香港に向ふ

【マニラ特電二十七日發】當地におけるコリンシャンの最終試合全マニラとの第二回戰は先日3—0の敗戰の雪辱を期し終始敵を壓し好調を示したが全マニラの防禦堅くして破り得ず、前半0—0後半十二分全マニラが味方ゴール前から長驅、前進せる敵後陣を拔き右ウイングよりの好パスを受けてセンター・フオアワーズ群かに決めて一點を先取したに反し、コリンシャンは數回の好チャンスが何れも僅に外れてゴール成らず遂に1—0にて惜敗した

コリンシャンの當地における試合成績は八勝四敗二引分けにて全マニラに二敗を喫したことは熱帶遠征の疲勞に因るものか好調とはいひ難い

彼等は二十八日出帆のエムプレス・オブ・ジヤパン號で香港、上海經由日本へ向ふ筈である

S13-3-29

S13-3-29

審判台



日英蹴球試合

◇四月の七日に英國のアマチュア蹴球團コリンシヤンチームを神宮競技場に迎へて關東選拔チームと一戰交へる事になつた◇國内一部の反英氣分にこの遠征軍を迎へるに蹴球協會も多少躊躇したらしいが決行と肚を極めた蹴球協會の果斷は賞されてよい。◇日英蹴球競技會を立派にやる事は反日英國人に反省を與へる絶好の機會である。日本人は勇猛果敢にして公正を愛する國民である事を英國人に知らしめる絶好な機會到來である。◇選手は堂々たる態度を以て英國人に日本人の眞價を示さねばならぬ。フエアプレーの點に於て英國以上のものを示して英國人の認識を是正してやらねばならない。◇日本選手は聊かも卑怯未練の振舞があつてはならない。同時に英國人に呑まれて怯懦な態度を見せては日本人の恥等であり、かくてはこの競技會を無價値にする。◇此の點に於て日本選手に絶對な信頼を置く。同時にスポーツを解する觀客に公正ならざる應援をなす日本人ありとは考へられない。◇選手と觀衆を通じて日本人の眞價を彼等に徹底せしめたならば彼等は祖國に歸つて英國人の誤れる日本人觀の打破に努めるであらう。かくて彼等も日本の聖戰の由來も悟るに違ひない。◇徒らに鎖國のラインを引くは大國日本の名を恥かしめるものである。

S13・3・29

▽來朝する英國蹴球團のコリンシヤンといふのは何から來た名前だらうかと話題となつたが

▽英國のスポーツ史に十八世紀の末葉、英國アマチュア・スポーツの勃興時代に貴族富豪階級にコリンシヤンといふクラブあり盛んに拳闘、競馬等を行つたといふ史實を發見しギリシヤの地名コリントからだとか、聖書のコリント書からだとか或はコリント・ゲームからではなからうかといふ馴れ飛んだ諸説も一時影をひそめたが果して然るや來朝まではお預かり

掲示板



◇…來る七日神宮競技場で行はれる訪日蹴球團コリンシアン倶樂部對全關東軍の對抗蹴球戰入場券（指定席及び一圓券）は一日からプレイガイド、芙津濃、三省堂において前賣をするはず

S13・4・1

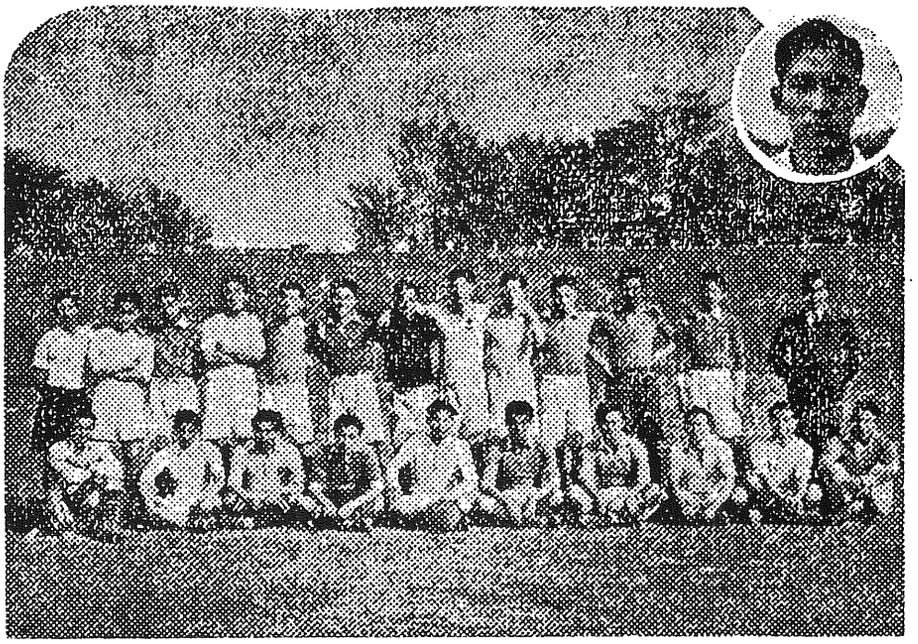
蹴球三地域對抗戰提案

大日本蹴球協會十三年度全國代議員は來る十日午前十時から新橋駒場ビル内協會事務所で開催されるが今年度の中心議題は八月の全國中等學校大會並に十二月の東西選拔對抗戰に對する朝鮮の參加希望提案で、前者は年齢制限にからんで出場中止のやむなきに至つてゐた朝鮮代表の復活、又後者は現在の東西對抗戰を更に擴大して朝鮮をも加へ日本蹴球界三强剛と稱せられる關東、關西、朝鮮の三地域對抗リーグ戰にしたいといふ二提案である

S13・4・2

S13-4-3

英蹴球團を迎へる
全關東軍陣容成る
正、補廿一選手を發表



蹴球全關東チーム（圓内は主將種田君）

蹴球世界行脚の途にあるイズリントンコリンシアン倶樂部チームは愈〻來る六日神戸入港翌日上京の上七日神宮競技場において全關東軍と唯一回の對抗蹴球戰を行ふがこれに備へて全關東軍のチーム編成は竹腰監督を中心に指導委員の手許で愼重銓衡中のところこの程編成を完了したので二日午後大日本蹴球協會から左の如く發表された。この對抗戰の決定が早急のものであるがために理想的の新陣容を布く事は不可能であつたが先發行はれた東西選拔對抗戰に送つた關東の主力を以てして連日猛練習が積まれてゐるから初の國際大試合にも相當の期待がかけ得よう

◇正選手 【FW】加茂正五（早大）加茂健（早大）二宮洋一（慶大）蒲國辛太郎（慶大）篠崎二郎（慶大）【HB】關野正隆（早大出）主將種田孝一（東大出）森孝雄（東大出）【FB】菊池宏（東大）關義雄（東大）【GK】津田幸男（慶大）

◇補欠 右近德太郎（慶大出）金容植（WW）李裕雲（延禧出）中垣内勝久（文大）吉田義百吳（早大）朴圭夔（普成）小野禮年（京大）碧海鎗（普成出）木下勇（神商大）吉江經雄（神商大）

竹腰監督談

今回の試合は急に決定されたために準備期間が短く全然新しい陣容を以て相對する事は不可能であるので、去る一月末行はれました關東對關西選拔對抗戰に出場した關東軍を充てゝ還來のチームと一戰を交へる事に致しました、目下日本代表選手強化の合宿練習を行つて居りますので選手に故障がある場合はこの合宿に參加して居る選手中から、拔いて充てる豫定にして居ります、オリンピックベルリン大會參加以來吾々は所謂るB制の研究を重ねて居りますがこれに日本蹴球人の特色ともいふべき勤勉果敢な性格を織り込んで日本式3B制完成の緒につきましたので英國式サードバックゲームの粹を示すといふイズリントンコリンシアンが巨艦から繰り出す力とその技術とを基礎にしたその戰法とを比較するに絶好の機會であります、今日までの辛苦の研究の結果が如何にあらはれまするか、目下ベスト・コンヂションに持つて行くことに努めて居ります

S13-4-5

迫る日英國際蹴球

全關東、布陣に新味

イズリントン・コリンシアン蹴球團は明六日神戸入港七日朝着京するがマニラに於ける豫定は一試合追加されて八試合となつたゝめに上海のオールスターとの試合を加へれば十月四日イングランドを出發して七十七試合を算し明後七日神宮に於ける試合は世界一周蹴球團が歐に跨つての第七十八回目のものとなるわけである、四日午後大日本蹴球協會から來朝チームの正式のメンバーが發表されたが上海の敗戰を加へて56勝6敗15引分けの戰績を揭げる同チームはスミス監督の個人技を鉋く活用しコンビネーションに重きを置く指導に徹底してゐる同チームが世界一周の途についてからの

試合 においてオランダにおける試合、またシンガポールにおける一戰はいづれも相手方の個人技が優れて居り前半1―3、0―2とそれ〳〵リードされたものであるがこれを優れたコンビネーション・プレイによつて逆轉せしめ4―3、3―2で討ち取つてゐる香港に於ける試合前にもコンビネーション・プレイの精華を示したチームと激賞してゐるが、このあたりに同チームの卓越せるところが窺はれる

情報を綜合するとインサイド・フオアワードは普通より深目に下がつたW型フオーメーションのやうであつて攻撃に際してその中一人が殘るのでN型フオーメーションとも言へるものである、これが一つの特色でありヘツヂングの確實無比は第二の特徴とも言へよう、殊にCFシヤーウッドのヘッヂング・シュートは堂に入つたものと傳へられてゐる

第三はバックスの

確實 なタックルでありドリヴルに際してよいコントロールの下に迅速である事が擧げられるといふ事である

防禦のマス・プレエンスはゴール安を寨に導き神速果敢のショウト・パスによる攻撃はまた絶讃に値するといふから遠征の不利をよく克服して今日の戰績を誇示しつゝ來朝し得る譯である

これに對する全關東軍は今日猛練習の疲勞まだ殘るはしないが殘る三日間にベスト・コンディションに持つて行ける見透しはついてゐる早慶によつて編成したFW線は好連絡を示しショットも一段と冴えを見せてゐるHB線は前に發表された陣容が變更されて金、福田、森（右近の出場可能なれば交代）となりFB線は菊池、吉田となつた、相手の體格が考慮されてのこの變更の苦心は必ずや酬いられるものがあらう

激撃 の利を失ふまいとしての努力、それは全關東軍と雖ても全日本軍として信賴し得る足るものがある、初の歐洲チームを迎へてのこの一戰は體力的に相違がありひけ目を感じるであらうが他は優るとも劣るものとは思はれず快闘の末打破るであらう、鬼まれ

來征チームの典型的サイドバックと日本式サイドバックの比較と、正統派の試合の選びとは觀戰の鍵として興味が繋けられる

メンバーを發表

四日午後大日本蹴球協會から發表されたイズリントン・コリンシアンのメンバーは左の通りである

【GK】ロングマン・ウイングフイード【RB】マーチン【LB】クラーク、ブカナン【RH】ライト【CH】ホイットテーカー【LH】ブラッドベリー、ダンス、マンニング【RW】リード【RI】ブレースウエート【CF】シヤーウッド【LI】タラント【LW】ピアース、W・ミラー、J・ミラー

S13-4-5

全上海に零敗す

コ蹴球團けふ神戸着

【上海特電四日發】イズリントン・コリンシアン蹴球團は三日上海のエンプレス・オブ・ジヤパン号で神戸に向つたが同蹴球團は三日午後一時上海着と同時にフランス租界カーニドロム・レース・コートでオール上海と試合したが3―0で敗退した

試合は午後三時十五分コリンシアンのキックオフで開催終始オール上海を壓迫して確實なシュートと果敢な攻撃力とで常に上海軍のゴール近くに戰を展開して居たがFWもバックも全部が敵陣に突つ込んで行く戰法がときにむらを生じ上海軍にチヤンスを與へ溢れる鬪志をグラウンド一杯に漲らせつゝも遂に四十分、四十八分、五十一分に各一點宛を上海軍に與へて敗退した

全上海 3（3―0 0―0）0 コリンシアン

FW アース、ウッド、アラヤー、ウエート、ビミシ、ブレースウエート、ブラッドベリー

HB ダンス、ホイットテーカー、ライト

FB ブカナン、クラーク

GK ロングマン

全日本、全關東の蹴球紅白戰

春季合宿練習中の全日本蹴球の代表軍は三日午後三時二十分から神宮競技場でイズリントン・コリンシアンに相對する全關東軍を紅組として紅白試合を行つたが2―1で紅軍が勝つた

紅 組 2（1―0 1―1）1 白 組
野 口（英）、野 下、内 野、腰 近（英）
（白）裏 山（慶大）、野 口（木）、杜 垣
小 竹、右 高、木 下、江 中
2 3 14
FW
HB
FB
GK
（紅）弟 兄、宮 崎、田 地、田
（白）茂 茂、加 加、二 瀧、篠 金、福 森、菊 吉 津
5 1 13

關東實業團蹴球（準々決勝）

第三日は三日午前十時から東高球場で準々決勝四試合を擧行、成績左の如し

日立製作所 4（4―0 0―0）0 蹴 球 兵
マツダ 2（1―0 1―0）0 ツバサ
フオード 2（2―0 0―0）0 命 第一生
千代田生命 2（1―1 1―0）1 東京日朝

S13.4.5

S13-4-6

あす日英蹴球戰

コ蹴球團・輝く戰績

イズリントン・コリンシアン蹴球チームは七日午前八時東京驛着、午後二時より待望の全關東事と試合するが同チームが昨秋ロンドン出發以來歐亞に轉戰七十七試合の戰績が五日午後大日本蹴球協會から左の如く五十六勝六敗十五引分けの記錄が發表された

◇和歌、瑞西（10月5日―12日）對V・U・S0―0、對ハーレム2―0、對D・W・V1―1對ヴインテルツール3―0、對ペルン4―1

◇埃及（10月22日―31日）對カイロ選拔軍1―1、對アレキサンドリア2―1、對ポートサイド1―4敗

◇印度（11月13日―12月30日）對マホメダンスポーテイング0―0、對オールブルー5―2、對オールブルー第二回戰1―0、對モハンバガン1―0、對印度蹴球協會1―1、對全印度2―0、對ダツカスポーツ協會0―1敗、對同上第二回戰1―0、對マイメンシング6―0、對キミヨルガニ3―0、對コミラ・デイストリクト3―0、對チツダゴン・デイストリクト1―0對カメロニアンスライフル2―0、對カルカツタ陸軍2―0

◇ラングーン（1月3日―5日）對ラングーン1―1、對ビルマ0―1敗

◇アラヤ（1月11日―2月9日）對ムルシダベト・デイストリクト3―1、對マイウルプハニ1―0、ベンガルナグプールレイ3―1、對印度蹴球協會第二回戰1―0、對全印度0―0、對ヤマルプールスポーツ協會2―1、對ベハール5―0、對ユナイテッドプロビンス4―1、對同上第二回戰0―0對デリイ2―0、對ライピタナ3―1、對デリイ1―0、對N・W・フロンテイアプロビンス3―0、對印度陸軍2―1、對印度NW印度蹴球協會1―1、對ベナール7―1、對印度蹴球協會第二回戰2―0、對全ブルシピリアンス4―1、對マラツカ第二回戰6―0、對全マラヤ3―0、對ジヨホール7―1

◇サイゴン（2月11日―13日）對サイゴン選拔軍0―0、對同上第二回戰5―2、對全交趾支那1―0

◇香港（2月19日―3月1日）對南部支那協會1―0、對コンバインドサービス3―1、對シビリアンス3―1、對全香港5―1、對マカオ選拔軍1―1、對香港倶樂部4―2

◇マニラ（3月9日―27日）對支那軍9―0、對聖トーマス大學0―0、對ラサール大學0―0、對イコ倶樂部2―0、對レトラン大學3―1、對全マニラ0―3敗、對ラサール大學第二回戰4―1、對全マニラ第二回戰0―1敗

◇上海（4月3日）對全上海0―3

コ蹴球團に記念品

英國コリンシアン蹴球團の來朝に際しオリンピック組織委員會では記念品を贈呈する事となり、七日神宮競技場に於ける日英對抗試合前德川會長から授與する

S13-4-7

愈けふ日英國際蹴球戰

〝此一戰に全力を！〟

神戸着の蹴球團 張り切つて東上



寫眞【上】歩る三月上海のカニドロム・レース・コースで行はれた既報のコリンシアン對全上海蹴球戰（白シャツがコリンシアン軍）横本直特派員撮影【下】神戸に着いたコリンシアン蹴球團一行＝大阪電話＝

【大阪電話】世界一周の途にある英國のイズリントン・コリンシアン蹴球團はロンドン出發以來フレンドリー・ゲームを含めて二十八勝、十六引分、六敗の好成績を以て六日午後四時半神戸入港のエムプレス・オヴ・ジャパン號でスミス監督以下一行二十一名は野村出發、野津、前田等の大日本蹴球協會理事を始め水谷關西協會參與及びその他關西協會の役員等多數の出迎へを受けて來朝、上陸後神戸外人クラブに立寄り午後八時五十五分三宮發列車で東上した。

審判員決定

大日本蹴球協會では晴れの日英國際戰の審判員を絶衝中のところ杉村正三郎（主）永野武、塚邪徳三（線）三君を決定して六日午後當日のプログラムと共に發表した

◇プログラム

一、兩軍メンバー發表（1時30分）

一、選手入場式（1時45分）

一、深尾協會長挨拶に記念品贈呈

一、德川組參會長挨拶に記念品贈呈

一、本社寄贈記念品贈呈

一、試合開始（2時）試合時間一九十分

一、試合終了（3時35分）

尚當日の混雜が豫想されるので開門は午前十一時と決定した

選手は長途の旅と八十回といふ多數の試合後にも拘らず非常な元氣で七日午後二時から神宮競技場で行はれる對全關東選抜軍との試合には〝スポーツマンらしくベストを盡して戰ふと張り切つてゐるから定めし待望の好試合が演ぜられる事と期待される、スミス監督は語る

英國はオリンピック東京大會に參加しないといふ噂も聞きましたが、私のクラブには約二百人位のメンバーがゐるので關係したらプライヴエートにでもチームを作つて參加するつもりだ、初めの豫定では日本に長らく滯在したいと思つてゐたが船の都合で一試合より出來ないのは甚だ殘念に思つてゐる、ロンドン出發の時選手は二十名ゐたがエヂプトで一人と西貢で一人が一行と別れた、今までに八十試合を行つて來たので幾分試合過多で飽き氣味である、然し私達は日英親善のために大いに頑張る考へで七日の試合にはベスト・メンバーを以て對戰する心算である

メンバー次の如し

グマン	トテイカー	
ロングテーカナトツスドツトンウツド		
クプライホインーラヤーアー		
ダリプダシピ		
GKBBHHWIFIW		
GRLLRHCLRRCLL		

ロー・コーチ談

良いコンデイションを持ち續けるといふ事に最大の注意を拂つて居ますが何分永い旅を續けて居る事故中々困難です、この度の選抜中調子が良いと思つたのは僅か二、三回程です、併し七日の試合は日本におけるたゞ一回の試合ですから調子の最も良い選手を以て布陣します、尤もコンビネーションを第一義として居ますので個人技の優れて居るミラーを休ませた程です

英大使の招待

大日本蹴球協會主催イズリントン・コリンシアンチームの歡迎會は七日午後六時から赤坂幸樂に於て行はれるが同日午後八時から英クレーギー大使主催のレセプションがある等

S13－4－8

蹴球團の不出來

4—0 全關東に零敗す

唯一の日英戰を失ふ

英國蹴球團イズリントン・コリンシアン對全關東選抜軍の國際親善蹴球戰は各報既報の如く七日午後二時から神宮外苑競技場において杉村(主)水野、塚部(線)三君審判の下に開始この日風なく暑く垂れて小雨に見舞はれ芝生はシットリとしたフイールドコンヂションオーミングアップ後日本青年館側に陣—全關東軍は時計台側で英軍のキックオフにより初の國際試合の幕は切られた氣遣はれた天候も前半中頃から好轉して薄陽を見せ最後の一分まで激しく競り合つたが關東軍は後半十二分のゴールを以て快勝の止めを刺し遂來のチームに八十一戰第七回目の黒星を喫し、伯林オリンピック後の著しい躍進を示す事が出來た

【寫眞は前半十分全關東隅蹴の後英軍クラーク頭蹴でクリヤ】

英軍に勝味なし

戰前の評・影を潜む

全關東軍 4(1—0)0 英國軍

英軍が日本に於ける唯一回の試合を失つたが前歐遠戰八十回の試合中これが第七回目の黒星であり然もかゝるスコアはかつて見ないところのものである英軍長途の旅の疲れが顯はれるのに反し全關東軍は一、二の不調なプレイヤーはあつたがチームとしては實によい纏まりを見せて前半中頃からは試合を壓倒的に進めて居たこの體力の相違が勝敗の分岐となつたのはいふ迄もないが戰術的にまた技術的に英軍を克服する實力が全關東軍に藏されてゐたのは否み難い

來朝以前もたらされた英軍の實力に對しては優れたチーム・コンビネーション、個々の卓越せるキツキング、密に絡ぶパッシングと水も洩らさぬデフエンス・ラインが特色として數へられたものであるがこの日の試合に於てはボールをマスターしてゐるといふ一點をその優秀な體格で作る壓の強味と共に認めたに過ぎない典型的の3B制にもチームコンビネーションにもこれと言つて特筆するものもなくまた訓へられる何物もなかつた、假令英軍がベストコンヂションにあらうともFW線の俊敏果敢の鋭い突つ込みと好ショット、瞬つてパックスの怯む所なく然も確實なタックルとマークを強靭に結び合せた全關東軍の前には勝味ありとは思はれぬ

寧ろ飽く迄忠實なプレーに



の體形に於ては是非を論ずる相違はなく

羨ましいのはその體重を利したプレーでありボールをマスターしてゐる點であるが後者は到達し得る技術的のものであつて攻撃的にも守備的にも戰術は何等變れをとつてはゐない、問題の3B制はホイットテーカーを主軸とする英軍も種田を主力とする關東軍も戰術的に終始した關東軍に軍配はあげられるしいづれかのインサイドが前線とHB線との連絡にあたる點も神出鬼沒の加茂兄によつてなされた關東軍が優れてゐた

英軍は好技の主ミラーを却けビアースを拔擢しチームコンビネーションに重きを置いたがピアースの不調に左側から當然生れるチヤンスを失つたのは惜しまれもする、後半鬼三點が決定して勝敗を分つたが飽く迄試合を捨てなかつた英軍のスポーツ精神に徹した點を稱讃し關東軍の攻撃線がチヤンスを捉へパックスが全技全能を傾け屢く確實に動いてピンチからのがれ得た快腸に紹讃を送り、一方英軍に許したフリーキック13の過半數が不覺のオフサイドによるものであつた事を置めて置くものである(山田生)

【關東】		【英軍】
田池		ホプクラ
崎岡		ライダリプタシピ
津吉菊		ツヤラ
森金		ラヤラ
種	FW	ンーナ
篠		グンラカ
加茂(弟)	HB	ンーナイーントーベ
加茂(兄)		マーナ
金	FB	ンクントーカーベドートドス
田	GK	リッベ

	英軍	關東
得點	0	4
反則	15	14
コーナーキック	0	1
フリーキック	13	2
オフサイド	1	13
	PGFK	KKKK

試合經過

◇前半　英軍はキックオフを輕く右に流して出たが關東HB線を拔き切れず關東軍は1分LH金の前送球を加茂兄とつて中央に寄せ二宮シュートしたがゴールアウトとなつて止む▲12分關東軍は森の好フイードでチヤンスとなつたが二宮オフサイドに止み18分頃英軍は關東陣に强攻を開けたが拔き切れずに終り▲23分LWビアースの好センターリングあつたが右側の追走

※ 次のページの上段につづく

S13-4-8

※前のページからつづく

（試合経過）

◇後半　1分關東軍はRI播磨トリプルしてノウマークの加茂弟にパスし加茂弟クリーンシュートして左隅を破り一點を加へ英軍は▲5分頃から關東陣深く出でて強攻を續けたが關東軍パックスよく動いてこれを潰す▲8分英軍はPKを得たがシャーウッドの強蹴はGK津田の正面に出て空し、關東軍はこの直後逆襲しLH金の左隅に寄つて好センターリングを失したが▲13分LW加茂弟—二宮—加茂兄の好パスは加茂兄クリーンシュートして得點し勝敗を決定した▲15分頃から英軍は關東陣に球を奇せるがパスワーク亂れて空しく關東軍は▲22分加茂弟の好センターリングを失し、續いてLH金の強蹴ゴール右を衝いたがGKロングマン挺身のクリヤとなつて終る▲35分英軍はリードからシャーウッドへの定石のパスをシャーウッドがヘデイング・シュートしたが弱くGK津田のクリヤとなる▲43分關東軍は強攻に失敗したが播磨のパスに端を發して好連絡で出で篠崎—加茂弟に渡つた球を加茂弟シュートして得點し英軍遂に零敗す

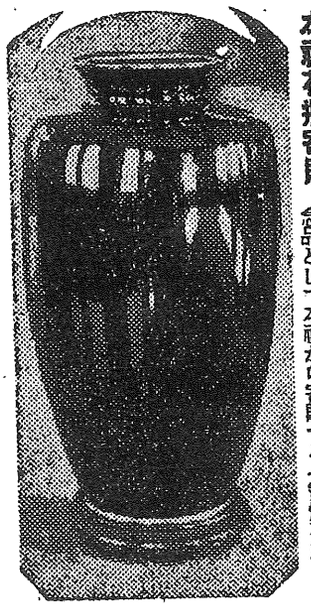
出發を延期

試合終了後兩球團は打ち揃つて六時から幸樂に開かれた大日本蹴球協會主催の歡迎會に臨みスキヤキに舌鼓をうつて交驩の後、八時からクレーギー英大使招待の英大使館に開かれたレセプションに臨んだがコリンシアン一行はMジヤパン號に搭乘チフス發生の疑の爲八日の出發は延期となつた

進歩せる戰術

ロウ・コーチ談

ロンドン出發以來こんな不出來の試合はない、選手が疲れてゐるのは事實だが好プレーを以て相見える事の出來なかつたのは非常に遺憾である、然しこれを全關東軍について見る時は試合開始後十五分迄はFW線も不調であつたが次第によいパスとよいコンビネーションを以てムラのない試合を進めた事とバックスの手堅いマーキングは感服のほかなくこれがわが軍の不調と共に勝敗を分つに至つたものと思ふ、日本の球界のレベルが高いことフエアプレーと進歩せる戰術と好審判によつてクリーンゲームを行ふ事が出來たのに感謝し感服してゐる



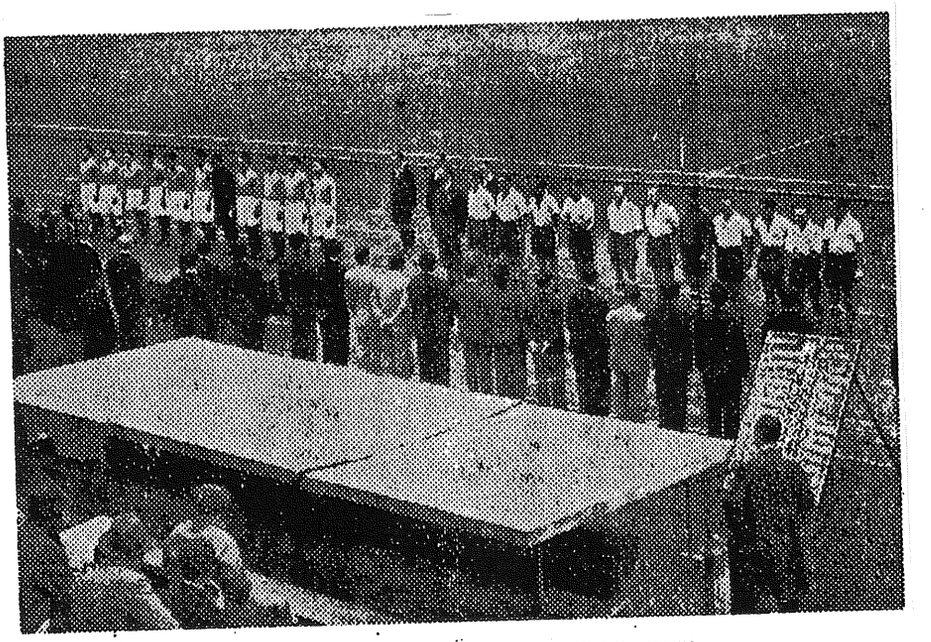
本社花瓶寄贈

過來の英國蹴球團コリンシアン倶樂部に記念品として本社から寄贈する七寶燒花瓶

S13・4・8

小雨を衝いて 日英蹴球戰

余裕をみせた試合前の一刻



世界一周試合の途上來朝した英國イズリントン・コリンシアン蹴球團一行は七日朝八時東京驛着列車で神戸から上京、宿舍丸之內ホテルに入つた、スミス監督以下一行二十一名は長途の旅の疲れも見せず、いかにもスポーツマンらしくはち切れるやうな元氣だ

顏と聞もなく九時半には打ち揃つてバスに飛び乘り先づ宮城前へ、森嚴の氣にうたれながら宮城遙拜し靖國神社に詣でてから上野の櫻を賞でた後、今度は日本橋の三越へバスを乘りつけた、ごつたりと並べたてられてある美しい日本の商品に眼を奪して樂しい買物の一刻を過して正午ホテルに引揚げ晝ごしらへの上

早速全關東選拔軍と試合に神宮競技場に赴き午後一時四十五分小雨烟る中を全關東は淡青色のユニホーム、英軍は純白のユニホームで颯爽と入場し深尾會長から協會寄贈の大楯を德川組委會長からは組委會の記念品、本社寄贈の七寶花瓶を贈呈があつて二時頃れの國際戰は杉村主審のホイッスルで開始された【寫眞は入場式】

◇前半成績

全關東 1——0 コリンシアン

S13・4・8

英蹴球團一行出發

【横濱發電話】チフス患者發生で二日間横濱滯在を餘儀なくされた世界一周英國蹴球團イズリントン・コリンシアン選手一行は船の完全消毒も終つたので九日午後八時港内浮標に繫留されたエンプレス・オブ・ジヤパン號に乘船午後十二時バンクーヴアへ向け出發した

S13・4・10

關東實業蹴球（第四日）

第七回關東實業團蹴球大會第四日は十日午前十時から東高球場で準決勝二試合を擧行、日立製作所千代田生命が決勝戰に進む事となつた

日立 1 2 0—0 0 マツダ
千代田生命（抽籤勝） 1 0 0—0 1 フオード

S13・4・11

S13-4-12

中央集權を斷行

蹴球協會の改組成る

大日本蹴球協會全國代議員會は十日午前十時から藏前工業會館に於て北海道、東北、北陸、關東、東海、關西、中國、朝鮮の八地方協會十九代議員と來賓會長、鈴木、野津、山田、野村、竹腰、田邊の各理事、小野委員出席の下に開會、決定事項は左の如く十一日午後六時發表されたが協會の組織を加盟團體竝に維持會員（假稱）を單位にする事とし現在の比例代表制による代議員制を廢し會長の指名による評議員制を敷いて評議委員會を決議機關に改め、地方行政機關としての從來の地方協會を支部に改變して事實上の實權を中央に集める英斷斷行的の憲章改正綱領案が承認された事は一元化による統制强化の上から特に注目される、決定事項の主なるものは次の通りである

一、パリに開かれるFIFA總會出席代表として島田孝一顧問、野村正二郎理事の派遣を確認

一、大毎主催全國中等學校大會に關しては統制强化のため協會內に委員會を設置し、朝鮮代表の參加については協會として實現のため盡力すること

一、台灣蹴球協會設置に決定し台北に事務所を置く

一、關東關西選拔對抗に關しては朝鮮協會提案の關西對朝鮮、關東對朝鮮、關東對關西に改め實施する事とし細目は理事會において決定すること

一、憲章改正綱領案

（一）組織　大日本蹴球協會は加盟團體竝に維持會員（假稱）をもつてその組織單位とする

（二）機關　役員は①現在の評議員に相當するものを參與とする②現在の比例代表制に依る代議員を廢止し會長の指名に依る評議員を置く③理事は評議員の互選とし④監事を設け⑤書記長を設く

（三）會議　①評議員會は決議機關とし②理事會は執行機關とする理事會に緊急の事態に即應するため從來よりその權限を擴張する、この結果は理事會に一部の決議權を附與③地方主事會議を設け連絡機關とする

（四）地方行政　①地方行政機關として現在の地方協會を支部とし②地方支部には原則として府縣支部を置き③地方の特殊情勢に順應するため地方に自治的部分を存置す

蹴球二代表の出發決る

六月パリに開かれる國際蹴球聯盟總會（FIFA）に出席の島田孝一代表は十二日午前九時東京驛發西下し十四日神戸解纜の檪名丸で渡歐する、一方野村正二郎代表は二十七日横濱解纜の大洋丸でアメリカ經由出發する事に決定した

S13.4.12

S13-4-13

島田代表壯途に

六月パリで開かれる國際蹴球聯盟（FIFA）總會にわが代表として出席する島田孝一顧問は十二日午前九時東京驛發新號で蹴球關係考、早大學園關係者多數の見送りを受け元氣で西下したが同代表は十四日神戸解纜の檪名丸で一路渡歐する

S13-4-16

六人制蹴球大會

今年からは二部制

大學高專、倶樂部を第一部とし、實業團を第二部、中等學校を第三部として三部制に分つ事にした

▲試合方法　一チーム六名を以て制し、組合せは各部をもトーナメント式、試合時間は20分としハーフタイム5分、この間に勝敗決せざる時は3分宛エンドを更へ6分の延長戰を行ひ尙勝敗決せざる時は抽籤に依るが決勝戰の場合はこの方法を採らず、同一人にして二

▲大會期日　四月廿六、廿九、三十、三十一の四日間

▲會場　青山師範球場

▲參加資格　協會加盟團體に限り一加盟團體の參加チーム數は制限せず、參加料は參圓

▲申込場所　東京市芝區新橋三丁目一六朝場ビル內關東蹴球協會メ切は四月廿日

主催　關東蹴球協會

後援　東京朝日新聞社

S13.4.18

六人制蹴球會期訂正　關東蹴球協會主催本社後援第二回關東六人制蹴球選手權大會の會期は四月二十六、二十九、三十、五月一日の四日間に付き訂正す

S13-4-17

日立優勝す

實業團蹴球

第七回關東實業團蹴球大會最終日の決勝日立製作所對千代田生命の試合は十七日午後二時から東高球場で竹內（主）塚部、奧井（線）三君審判、日立の先蹴で開始、粒を揃へた日立は前後半各一點を擧げて結局二對零で勝ち第一回大會制覇以來二度目の制覇を遂げた

日立製作所 2（1—0 1—0）0 千代田生命

【千代田】上井崎松丸村藤木田澤森
【日立】村吉岩村松西安藤稻中
GK FB HB FW
島崎藤川倉田澤內木
中宮瀨御芳西鎌橫大鈴
林
法
CK FK GK
4 8 9
0 5 11

十七日の運動

◇蹴球
青山師範 2—0 アラン
青山師範球場

◇六人制蹴球
東蹴一軍 2—0 東朝一軍
東蹴二軍 3—2 東朝二軍

S13.4.18

S13-4-23

六人制蹴球大會 組合せ決る

豪華 四十一チーム參加

關東蹴球協會主催本社後援第二回關東六人制蹴球選手權大會は第一部20チーム、第二部9チーム、第三部12チームの合せて41チームといふ殆ど前回に倍する多數チームを集めて豫定の如く二十六日を第一日とし五月一日を最終日として青山師範場で開催される事になつたが二十二日午後六時から本社大會議室において主將會議を開き抽籤を行つた結果各部の組合せは左の如く決定した（第一部は一日に準決勝と決勝を行ふ）

◇第一部

一日（卅日）二十六日

（11時30）
（4時30）東京蹴（3時）法大A
（4時）東大A（11時30）
（3時30）日歯（2時30）文大B（11時）
（3時）東大B（1時30）早大A（11時）
（11時）東高（12時）日體（12時30）
（3時）東大C（10時30）YOS（10時）
（3時）明大A（2時）MTR（2時）
（3時）東醫倶（1時）豐島倶（12時30）
（3時）明大B（10時）WMW（11時）

◇第二部

一日 二十九日

（3時30）
（12時30）千代田（3時）日本銀行（2時30）東京朝日B
（12時）第一生命（2時）ママツダB
（3時30）東京朝日A（3時）日本徽兵（11時）東京火災

◇第三部

一日（卅日）廿九日

（2時30）
（10時30）埼師附高（2時30）青師A
（10時）豐島師（1時）青師C
（2時）青師附中A（1時）市二中（12時30）神師
（1時）青師附中B（11時30）埼師B（12時）東高

S13.4.19

關東六人制蹴球 本社後援 大會愈あす締切

關東蹴球協會主催第二回關東六人制蹴球選手權大會の三部制採用は好評を博し豫想以來準日參加申込を受付けてゐるが申込〆切は二十日

S13.4.24

早大辛勝す

對立大蹴球戰

第一回早大對立大定期蹴球春季一回戰は二十三日午後二時半より東伏見早大球場にて審判西松（主）小山、長谷川（綴）三君、立大先蹴にて開始、兩軍練習日淺く新布劇のためコンビネーション調はず加ふるに泥濘のフイールドに惱まされ苦戰無得點引分に終ると見えたが後半30分加茂、末岡續引に突込みキーパーのファンブルするを加茂拾つてプッシュし貴重な一點を擧げ1―0で早大辛勝す

早 大 1 0―0 0 立 大

S13.4.26

野村蹴球理事あす出發

六月パリに開かれる國際蹴球聯盟總會に出席する大日本蹴球協會理事野村正二郎氏は二十七日午後零時半東京驛發臨港列車で出發午後三時解纜の大洋丸でアメリカ經由渡佛先行の島田代表と落ち合ふ

【大】石崎勝野田上田田吉村
【立】白澤岡内藤武井肥植二中
GK FB HB FW
OK FK GK
【早】不吉荘栄二西渡末加笹島
破田田田毛村渡岡茂野橋
6 0 4

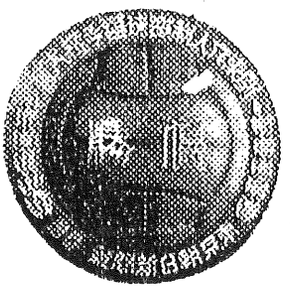
早 大 1―1 1 立 大
軍 3 2―0 1 軍

S13-4-26

輝く優勝楯何れへ

關東六人制蹴球大會

愈々けふ開幕



關東蹴球協會主催本社後援第二回六人制蹴球選手權大會は今二十六日を第一日として新たに作かれた三部制三選手權を續つて行はれるがこの程優勝チームの榮譽を飾る新製の優勝楯も完成した、第一日は第一部（大學高等倶樂部）の第一、二回戰を左の組合せによつて行ふが前回の經驗からして戰術的に新しい工夫が凝らされて盛りまた三月以降の個人強化訓練が行はれてゐるので好組合せではあり勝負が展開されるものと見られてゐる

◇第一回戰

（A）WMW對明大B（10時）
（B）YOS對東大LB・C（10時30分）
（C）文大對早大B（11時）
（D）東大LB・A對法大A（11時30分）

◇第二回戰

法大B對東高（12時）
日體對豐島倶（12時30分）
東醫倶對早大A（1時）
東大LB・B對日歯（1時30分）
MTR對慶大（2時）
明大A對東京蹴球團（2時30分）
（A）勝者對（B）勝者（3時）
（C）勝者對（D）勝者（3時30分）

【寫眞は本社寄贈の優勝楯】

S13-4-23

六人制蹴球座談會 上

スピードを必要

布陣は三人二人一人



山田　昨年はじめて試みました六人制蹴球大會も個人技の擴充といふ點において相當効果を擧げまして茲に引續き第二回大會を開く事になりましたが各方面に六人制の獨得の戰術があらうと思ふがそれについて聽き度いといふ希望がありますので、本大會に直接關係を持つて居られる各位の御意見を拜聽させていただき度いと存じます。小長谷さんに進行を擔當していただいてこの會を進め度いと思ひますから宜しく御願ひたします

小長谷　昨年の大會を反省して見てどういふ點が今度の大會に最も必要かといふ事を考へて見たいと思ひます。今回から大學高專倶樂部と實業團、中等學校の三部制を布いてそれ〳〵の特徴を出す事に致しました、これが爲められた點でこの他は前回通りであります、そこで本大會の目標といふものを一度考へて見たいと存じます、小野さん一つ

小野　去年は第一回戰、第二回戰などは何が何だか判らず夢中でやつて居るといふ感じを深くさせられたものでした、六人制の主要目的とするところは個人技の擴充にある、急速なテンポに即應する個人技の調和點の上昇正確なパスワーク、ポジションの對位、觀見能力の伸長、耐久力の養成、死點の遲來とその消散の遲速等々は六人制の効果として擧げられるものである、この効果意識をハツキリ持つ事が大切だと思ひます

小長谷　正規の蹴球のための一つの手段としてやるのであるからそのためにはどんな個人技術をを主として考へたらよいか…

小野　六人制だから時間と個人技をどうしなければいけないといふ事はないと思ひます、先程申上げた樣に非常にスピーデイだから、スピーデイなテンポに個人技術といふものが調和するやうに强制される譯ですね、例へば同じ守備の側に廻つても球をとるのは速くやらなければならぬ、正規の蹴球にては余り目立たなかつたことが目立つやうになる、從つてさういふ技術が要求されて來るといふ事になります

小長谷　試合の運び方、配陣についても相當に考へてもよいと思ひます、必ず前の方に三人あとに二人ゴールキーパーが一人といふ必要はないやうに思ひますが、何かそれ等についてどうしたら一番良いかといふやうなことを…パスについても昨年の大會を反省しますとショートパスの方がよいやうに思ひますね

塚部　グラウンドの大きさが判らないので隅の方にかたまつてやつた關係ちやないですかさうなるとショートパスの方が良いが

朝生　去年なんかグラウンドを一杯に使ふことが出來ないといふ感があつた

小長谷　グラウンドは兎に角正規の廣さがあるのですからそれをどういふやうに使つたら、試合が效果あるやうに運べるか考へなければならぬと思ひます

小野　效果意識を持つといふ事は大切です、去年の試合で早稻田Aなどは徒らに球を持ち過ぎて非常にゲームを緩慢なものにしてゐたのは得點にならなかつた主要原因だと思ひます、結局配置は三人二人一人となるのが良いと思ひます、CFのピボットが相當に良い判斷を以て相手を引つけて置いてパスを出すとかいふやうな方法に行かなければならぬと思ひます

小長谷　非常に個人技術が上手になつてそしてロングパスが本當に利くやうになつたらグラウンド一杯に使つて上手に敵のゴールまで運んで行けるといふことになると思ひますが、去年通りから攻撃がらなければならないといふことは云へないと思ひます

小長谷　キーパーを上手に使つてバックパスなどを多くすれば試合をよく展開するやうなことになりませんか

塚部　人數が少いからやつぱりキーパーを利用する範圍も大きくなるでせうね、全然出るといふのでなしに……

小長谷　去年邊りはへばりついて余り出なかつたですね

小野　キーパーの活動範圍といふ問題は十一人の場合は完全に敵を眞に入れて、キーパーの所に行くまでにボールをとる可能性が多分にあるが、六人制の場合は寧ろ敵の攻撃をとめるといふ方法に出るべきやないかと思ふ、これは勿論十一人の場合だつてさうですが

塚部　六人制の時はその場合が多いです

小長谷　そこで配陣は別に考慮しなくても良いでせうか

小野　戰況如何によるが大體三人二人一人の布陣が一番合理的だと思ひます

小長谷　ロングパスだけで行くと試合がスピーデイに行かないし直ぐオフサイドになるが……

小野　それはパスワークが悪いからで、結局スピーデイなそして正確なパスワークを以て綴るといふのが重要眼目にならなければいかんと思ひます、人數が少いからパスはスピーデイに行かないのはポジションの配置つまり守備が攻撃に出たやうな場合にどこに動いて行くかはつきりされてゐないからだと思ひます

【寫眞は右から朝生、小長谷、山田、野村、小野、塚部の諸氏＝本社小會議室で】

出席者（略敬稱）

蹴東蹴球協會理事　朝生　要人
同　小野　卓爾
同　清水　隆三
同　塚部　總三
同　小長谷亮策
大日本蹴球協會理事　野村正二郎
本社側　山田　午郎

S13-4-24

六人制蹴球座談會 下

球の把持力強く

攻防ともに六人一體

小長谷　試合時間の二十分は妥當と思ひますが如何でせう

小野　本當に動けば七分ハーフ位で良いでせう、短時間にスピードを上げるといふのが一つの方法だと思ひます

朝生　耐久力の養成といふことは動きの大きさも含まれてゐる大事なものですね

小野　勿論肉體的な問題と精神的な問題と兩方含まれてゐるのです

朝生　今のところ六人制の蹴球で勝たうといふやうな意識を有つてゐるチームは少いです、正規の蹴球の練習といふ氣持で參加してゐるのが殆ど全部ぢやないですか

小野　さうですね

清水　苦しくて面白くないです、身體の鍛錬といふ事を意識しないではやれないですよ

朝生　十一人制より各自の責任の範圍といふことがはつきりするのでサボつてゐられない

清水　直ぐ球が來ますからね

野村　結局十分といふ所が適當なんぢやないですか

小長谷　去年計つたのによると決勝戰で前半が5分41秒、後半が7分11秒が正味動いたといふことになるのです、そこで結局どういふ風に試合を運んだらうまい工合に得點が出來、上手に試合が運べるかといふやうな事を……

清水　兎に角一度球を味方に收めたら相手側に渡さぬといふことが一番大事な事ですね

塚部　時々緩急を取りまぜて……

清水　強調されるスピードといふものにプレイヤーの技術といふものが調和されて行つた場合にその人の個人技術といふものはそれだけ上つたといふことになると思ひます、さうなると得點も殖えて來ると思ひます

小長谷　結局各個人がボールの把持力が強いといふことが完全な條件ですね、そして六人が全部攻撃者であり又同時に全部防禦者でなければならぬといふことになりますね

清水　緩急を按配して……

小野　緩急の變化が不足ですよ、それをもつと考へなければうまくはならないと思ひます、今のやうに一本調子では……

小長谷　六人制が六人制蹴球としてそれ自體の發達を遂げるか又飽迄も正規の蹴球の補助的なものとして發達するかといふことを……

小野　それは去年行ふにあたつて目的を決定して居ります、所謂補助的のものとして發達せしめねばなりません

清水　六人制で鍛へたら實際十一人制は樂ですね、そこに補助的のものとして効果があるわけでせう

山田　オフサイドを止めるといつた六人制のルール制定は如何ですか

野村　オフサイドを止めるとプレイの樣式が變つてしまふし試合も次第に興味を殺ぐ事になると思ひます

小長谷　瞥見能力を減らしてしまふし

小野　球をキープするための練習としてはオフサイドなしゴールなしでゴールラインをゴールとした所謂フリーフットボールをやります、そしてパスとドリブルでゴールラインを突破するといふ練習方法はありますがさういふのは寧ろボールを持つといふことを强調するために執られる方法だらうと思ひます、これとは全然違ひますね

山田　六人制の創案者は協會なんだから目的を明示する一方何かしら戰術的に參加チームに暗示があつてもよいと思ふが

小長谷　協會が考へるメソードが結局一番良いと思ひますがそれは奇想天外なものでなく合理的な方法を示さなければならぬと思ひます

小野　然し戰術と名がつけばどれが良いか悪いかといふことはいへないと思ひます、究極の所に行けば十一人でやらうが六人でやらうが戰術としての最上のものは同じ所に落着くのだと考へます、又落着かねばならぬと考へます

野村　パスといふことだけを考へると十一人の場合よりも六人の方が樂な場合が多いのぢやないかしら、正確なコントロールがなくても良いやうに思へるし

小野　それが反對ですよ、一人の持つボックスといふのは廣いです、だからそこに入つて來た球を自分が或一定の時間だけキープしてそして味方が空いたボックスを持つ時そこへ球を流し込む、それが去年の早稻田のA組がとつた方法だつたんですよ、六人制はそれとは反對に非常にスピーディな中に、蹴球するといふやり方をとらなければ點は入らないと思ひます、結局攻撃の方も十一人制のより遲くなるからより以上正確なスピーディなパスが要求されるといふことになります

野村　相手を引離すといふパスは六人制の方が十一人制よりももつと正確を必要とするかも知れないが、大きいパスとかオープンの場合には逆の効果が現はれて來やしないかと思ひますが

小野　さういふことはあり得るですね

小長谷　去年の例から見てロングシュートは餘り効果がないですか

小野　さうでもないですね、優勝候補だつた帝大が早稻田のAにやられた時にはロングシュートだつたです

野村　日本のキックは總體的に弱いですね、もつと正確なそして强いシュートが出るやうにならねば駄目ですね

清水　日常は相當强いシュートを練習してゐますが

野村　自信を持つところまでの練習が足らないとも思はれますね

小野　それから浮いたボールの處理が問題にならんですね、グラウンドにくつついてゐる場合の處理はとてもうまいが浮いてゐる球がとても下手です

小長谷　最近ボールは低く〳〵といふことが主張されてゐますがさうなるともう一體日本の蹴球といふものが浮いたボールの處理といふことを考へて見る必要があると言ふ譯ですね

小野　研究と練習を必要とします

小長谷　ではこの位で……去年の經驗を持つてゐるチームは相當面白い戰術をあみ出して、纏つたゲームが展開されると思ひます、今まで我々の考へたやうな個人技については各人とも自信をして高い技術とヘッドワークとを養ふ事が一番大切な點だと思ひますが、この六人制の機會に正規の蹴球の時にある缺陷といふものを十分に反省してみてそれを直すやうに努めて欲しいと思ひます

山田　御多用中有益な御話をどうも有難うございました

出席者（敬稱略）

關東蹴球協會理事

朝生　翼人
小野　卓爾
同　清水　龍三
同　塚部　憲三
同　小長谷寅藏

大日本蹴球協會理事

野村正二郎
本社側　山田午郎

S13-4-27

六人制蹴球 第一日

關東蹴球協會主催本社後援第二回關東六人制蹴球選手權大會第一日は二十六日午前十時から青山師範球場で第一部(大學、高擧、倶樂部)第二回戰四試合と不戰一勝の第二回戰八試合を擧行

◇…前日の雨はフキールドに適度の濕氣を與へ南の和風あれどもコンヂションは上乘で個人技の試練完成に供へるには申分なく第一回戰は劈頭から延長戰を行ふといふ熱闘を演じ、この日結びの第二回戰最終の文大對東大Aは妙技を傾け祕術を盡してフキールド一杯の快闘を演じて觀衆を魅了し去つた

◇…斯くて明大B、東高、日體、早大A、東大B、MTR、東京蹴球團、文大の八チームが準々決勝に進む事となつた、前回に比すれば個人技はさる事ながら各チームとも六人制戰法に工夫の跡著るしく、總員無駄のない動きにより試合を圓滑に進めてゐたのは特に目立つてゐた、中には縱パスのみに依つて中央突破の失敗を再三繰返してゐたのがあつた

◇第一回戰

明大B 0(0000)0 ‖ 0000 ‖ 0(WM抽籤勝)
【F】兄龍野澤中【B】
【G】川藤西宅田形【WMW】

東大L 4(2—0 2—1)1 YOS 大B・C
【F】吉瀬河三村村【B】
【G】屋機島西島田【C】

大 3(0—0 3—0)0 早大B
【F】浦島浦田内【B】
【G】野島岡村田田【大】

東大L 2(0—0 2—0)0 日體 B・B
【F】尾本串野部本【倶】
【G】瀬山大矢阿松【東】

早大A 6(4—0 4—0)0 東醫倶
【F】茂邊田田川破【B】
【G】加渡吉亜石不【大A】

東大L 2(0—1 2—0)1 法大A B・A
【F】村部木池動【A】
【G】山永田木平端【大】

大 2(0—0 0—0)0 法大B
【F】柳井田鼻原杉【B】
【G】青櫻永猪篠高【法】

東高 2(2—0 0—0)0 法大B
【F】泉橋賀血中【B】
【G】有十芳野田【東】

日體 4(2—0 2—1)1 豐島倶
【F】上【B】
【G】尾【倶】

文 大 3(0—0 3—0)0 早大B
【F】兄龍野澤中【B】
【G】小西中赤高里【農】

東大L 2(1—0 1—0)0 明大A
【F】田田川水木本【蹴】
【G】濱竹石井渡【東】

明大B 2(1—1 1—0)1 東大L B・C
【F】水岡內川出邊【大】
【G】滑竹石井渡【明】

文 大 1(0—0 1—0)0 東大L B・A
【F】原浦崎塚田內【大】
【G】槇松原三藤中【文】

MTR 1(1—0 0—0)0 農 大
【F】林藤井樫本【大】
【G】尹小佐石富川【農】

東京蹴 2(1—1 1—0)1 明大A
【F】河藤妻藤田田【MTR】
【G】迎瀨渡加有久【東京蹴球團】

東大L 2(0—0 2—0)0 日 醫 B・B
【F】尾本串野部本【倶】
【G】瀬山大矢阿松【東】

東大L 4(2—0 2—1)1 農 大 B・C
【F】吉瀬河三村村【WMW】
【G】屋機島西島田【C】

大 2(0—0 0—0)0 東醫倶
【F】茂邊田田川破【B】
【G】加渡吉亜石不【早大A】

東大L 2(0—1 2—0)1 法大A B・A
【F】村部木池動【A】
【G】山永田木平端【大】

大 3(0—0 3—0)0 早大B
【F】兄龍野澤中【B】
【G】小西中赤高里【農】

東大L 2(0—1 2—0)1 法大A B・A
【F】村部木池動【A】
【G】山永田木平端【大】

東大L 4(2—0 2—1)1 農 大 B・C
【F】吉瀬河三村村【WMW】
【G】屋機島西島田【C】

大 2(0—0 0—0)0 東醫倶
【F】茂邊田田川破【B】
【G】加渡吉亜石不【早大A】

◇第二回戰

東 高 2(2—0 0—0)0 法大B
【F】泉橋賀血中【B】
【G】有十芳野田【東】

日 體 4(2—0 2—1)1 豐島倶
【F】上【B】
【G】尾【倶】

文 大 3(0—0 3—0)0 早大B
【F】浦島浦田內【B】
【G】野島岡村田田【大】

東大L 2(0—1 2—0)1 法大A B・A
【F】村部木池動【A】
【G】山永田木平端【大】

大 2(0—0 0—0)0 法大B
【F】柳井田鼻原杉【B】
【G】青櫻永猪篠高【法】

東京蹴 2(1—1 1—0)1 明大A
【F】田田川水木本【蹴】
【G】濱竹石井渡【東】

明大B 2(1—1 1—0)1 東大L B・C
【F】水岡內川出邊【大】
【G】滑竹石井渡【明】

文 大 1(0—0 1—0)0 東大L B・A
【F】原浦崎塚田內【大】
【G】槇松原三藤中【文】

MTR 1(1—0 0—0)0 農 大
【F】林藤井樫本【大】
【G】尹小佐石富川【農】

東京蹴 2(1—1 1—0)1 明大A
【F】河藤妻藤田田【MTR】
【G】迎瀨渡加有久【東京蹴球團】

東大L 2(0—0 2—0)0 日 醫 B・B
【F】尾本串野部本【倶】
【G】瀬山大矢阿松【東】

早大A 6(4—0 4—0)0 東醫倶
【F】茂邊田田川破【B】
【G】加渡吉亜石不【早大A】

東大L 2(0—1 2—0)1 法大A B・A
【F】村部木池動【A】
【G】山永田木平端【大】

大 2(0—0 0—0)0 法大B
【F】柳井田鼻原杉【B】
【G】青櫻永猪篠高【法】

東高 2(2—0 0—0)0 法大B
【F】泉橋賀血中【B】
【G】有十芳野田【東】

日 體 4(2—0 2—1)1 豐島倶
【F】上【B】
【G】尾【倶】

野村蹴球代表出發

六月三日からパリで開かれる國際蹴球聯盟(FIFA)總會に出席する正式代表大日本蹴球協會理事野村正二郎氏は廿七日午後零時半東京發綾臨濱列車で深倉協會長その他多數關係者の見送りを受けて出發、午後三時横濱解纜の大洋丸でアメリカ經由渡佛の途についた

S13・4・28

第二部、三部も 愈けふ登場

六人制蹴球第二日

關東蹴球協會主催本社後援の第二回關東六人制蹴球選手權大會第二日は二十九日午前十一時から青山師範球場で行はれるが愈この日から第二部(實業團)と第三部(中等學校)が登場する事になつてゐる、第二部は第一二回戰を、第三部は第一回戰のみを行ふが組合せは次の通りである

【第二部】…實業團

◇第一回戰

(A)東京火災對日本體兵(11時)

◇第二回戰

第一生命對マツダA(2時)
マツダB對東京朝日B(2時30分)日本銀行對千代田生命(3時)
(A)勝者對東京朝日A(3時30分)

【第三部】…中等學校

◇第一回戰

青山師A對TSC・B(11時30分)埼玉師B對東高等(12時)
市立一中對神奈川師(12時30分)
青山師B對TSC・A(1時)

S13・4・29

S13-4-30

力量全く伯仲
熱戰好鬪の連續
六人制蹴球第二日

關東蹴球協會主催本社後援第二回關東六人制蹴球選手權大會第二日は廿九日午前十一時から青山師範球場で擧行、この日は實業團の第二部と中等學校の第三部第一、二回戰を行つたが三部制を布いたため力量伯仲し强風に災されながらも好試合に終始した

◇第三部では東高等の小粒ながらの優れた個人技は埼玉師範のまさる體力に抑へられるところなく制勝したのは注目に値するものであり、新興チーム市立二中が先進神奈川師範と堂々對戰した末に惜敗したのは發賣の價値が十分にある、また青山師範對TSC・Aの試合はフオールド全面に熱戰を展開してTSCの惜敗となつたが敗れて悔なき一戰であつたといふ事が出來る

◇第二部ではマツダA對第一生命の一戰マツダの力闘酬いられず日銀が千代田に對して好鬪したのと共に惜しまれる敗戰である日本徵兵が實業團チームとして二試合に耐へ準決勝戰に進んだのは偉とするに足るものでベスト・フオアとして日徵、第一生命、マツダ、千代田が殘つたのは先づ順當といふ事が出來よう

第二部（實業團）

◇第一回戰

日本徵兵 2（1―0, 1―0）0 東京火災

【蹴澤、小山、本堂三君審判】

（徵）GBF 野牛田岡美田
（火）GBF 本定大藤川田

（日）鴨朝山吉澤松
（東）武小小遠濱右

◇第二回戰

第一生命 2（1―0, 1―0）0 マツダ・A

【田村、山田、西川三君審判】

（第一生）GBF 庭田森部塚
（マツダ）GBF 勝竹村野藤生

（阿）大山大塚大
（マ）伊小岡片佐黒

◇第一回戰

青山師A 棄權 東京朝日B

東高等 1（1―0, 0―0）0 埼玉師B

【宮本、粉川、西川三君審判】

（朝）GBF 田師野田出椋
（埼）GBF 木田谷田中谷

（東）山島瀬梅小小
（埼）鈴森濱和山國

第三部（中等學校）

◇第一回戰

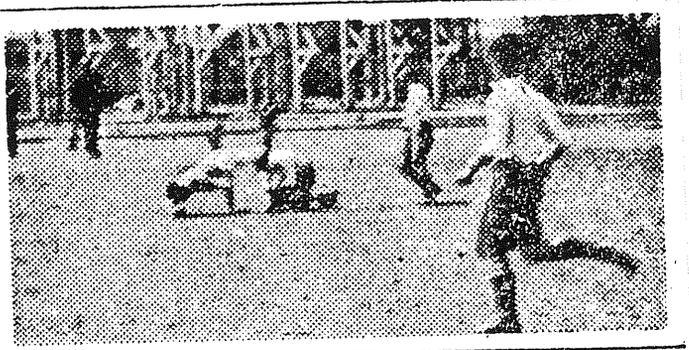
青山師A 棄權 TSC・B

東高等 1（1―0, 0―0）0 埼玉師B

（芝地、本堂、勝井三君審判）

（高等）GBF 破淵田吉田池
（東）GBF 不田山住吉菊

（師）GBF 木田谷田中谷
（埼）GBF 鈴森濱和山國



神奈川師範 2（1―0, 1―0）0 市立二中

（蹴澤、田村、芝地三君審判）

（師）GBF 植田永合橋部
（神）GBF 栢宮福落三阿

青山師B 2（1―1, 1―0）1 TSC・A

（西川、本堂、山田三君審判）

（青）GBF 澤藤村里藤井
（師）GBF 唐濱野小加藤

（市二中）GBF 田藤井安崎
（T）GBF 徐菱佐下秩原

【寫眞は埼玉師（B）對東高等戰後半二分中央附近の凌ぎ】

けふの組合せ

◇第一部

明大B對東高（3時）日體對早大A（3時30分）東大B對MTR（4時）東京蹴球團對文大（4時30分）

◇第二部

青山師A對東高等（1時）豐島師對青山師C（1時30分）神奈川師對青山師B（2時）埼玉師A對府高等（2時30分）

S13-5-1

準々決勝の熱戦

六人制蹴球第二日

蹴東蹴球協會主催本社後援第二回關東六人制蹴球選手權大會第二日は二十日午後一時から青山師範球場で第一、二部の準々決勝八試合を擧行、南風ありフイールドは乾燥してゐるが兩部とも精選された八チームが洗煉された技倆と戰術を以て制覇の鬪志を振らしての對戰であつたので内容極めて豐かな好試合を展開した、第三部では尚山師範A、Bと豐島、埼玉の兩師範チームが勝ち殘り第一部では早大A對日體が接戰の末延長戰となり他二試合も熱戰を演じ結局明大B、早大A、東大LB・B、東京蹴球團が準決勝に進む事となつた

◇第三部の東高等は勝味乏しかつたが守備の失點よりも攻撃に際して厚味のなかつたために敗れた憾多く神奈川師範は技倆過信と突つ込みの不足に潰走したものであつた、青山師範Cの敗戰は未熟の然らしめる所であり、府高等の敗退は氣組に於て全く壓せられたといふ感が深い、先づ順當な結果があらはれたものであるが豐島、埼玉のベスト・チーム編成に對する青山の分割せるチームの對立はそれ〴〵特色をもつてゐるので準決勝戰は興味あるものとならう

◇第一部は明大B、早大A共に攻法の單的であつたゝめにゴール攻落が案外手間取つた、東大Bが旗TRを制壓したのはバックスの健鬪に負ふ所多く倶樂部チームとして唯一つ東京蹴球團がラッキイポイント乍らよくキープして勝ち殘つたのは純正倶樂部テームのため氣を吐いたものとして稱讃に値するが、寧ろこの一戰は文大FW線のボールの組織な扱ひが非難されてもいゝ等である

第一部（大學高等、倶樂部）

◇準々決勝

明大B 1（1―0）0 東高
【清水、村形、藤井三君審判】
GB F
大 中澤野熊島
GB F
高 中亜賀 森 景橋
南
【東田野若 有士
明田友川田中
早大A 1（1000）0 日體
【清水、本堂、石川三君審判】
GB F
體 上
GB F
大 破川田邊田茂
【早不石莊渡吉加
帝大B 2（1―0）0 MTR
【鈴木、村形、清水三君審判】
GB F
大B 林石山田田西
【帝 小力大奥山河
東蹴 1（1―0）0 文大
【塚部、鈴木、田村三君審判】
GB F
蹴 本波木原川田
【東 宮岩鈴樺粉吉

GB F
TR 井藤河村山々
【MTR 堀瀬亜田横佐
GB F
文 大 内田塚崎浦原
垣 中藤三原松槇

◇準々決勝

青山師範A 1（1―0）0 東高等
【本堂、井出、石川三君審判】
GB F
師 高 破濵田池田吉
【青黒松遠橋滑小
豐島師 2（0―0）0 青山師C
【本堂、井出、石川三君審判】
GB F
師 山山口定田井
【豐亜大横松小伊
埼玉師 4（1―0）0 府高等
【村形、本堂、石川三君審判】
GB F
師 高 藤井石井藤山
【府近永白安須遠
青山師B 2（2―0）0 神奈川師
【村形、井出、石川三君審判】
GB F
師 植長田部橋合
【神石福岩阿三落

第二部（中等學校）

◇準々決勝

青山師範A 1（1―0）0 東高等
【本堂、井出、石川三君審判】
GB F
師 高 破濵田池田吉
【東不田山菊吉住
豐島師 2（0―0）0 青山師C
【本堂、井出、石川三君審判】
GB F
師 山山口定田井
【青宮 小丸田國安白
埼玉師 4（1―0）0 府高等
【村形、本堂、石川三君審判】
GB F
師 高 藤井石井藤山
【府近永白安須遠
青山師B 2（2―0）0 神奈川師
【村形、井出、石川三君審判】
GB F
師 植長田部橋合
【神石福岩阿三落

けふの組合せ（準決勝）

◇第一部
明大B對早大A（11時）
東大B對東蹴（11時30分）

◇第二部
日體對第一生命（0時）
マツダB對千代田（0時30分）

◇第三部
青山師A對豐島師（10時）
青山師B對埼玉師（10時30分）
尚決勝戰は第三部が二時半第一部三時、第二部が三時半から開始される事になつてゐる

F・A杯爭奪蹴球

【ロンドン特電二十日發】英國民の血をかゝげた年度F・Aカップ蹴球決勝戰はプレストン（昨年のウインナースアストンとハダーズフイールドとの間に三十日午後ウエンブレー球場においてジョージ皇帝及び十萬の大觀衆を集めて擧行、戰の末プレストンは延長戰に貴重なる一點を擧げて勝ち一八八年と併せて二度目の榮冠を收めた

プレス 1（0100）0 ハダーズフイールド

S13.5.2

S13-5-2

一部は早大A

二部第二生命、三部豐師優勝

六人制蹴球大會終る

關東蹴球協會主催本社後援第二回關東六人制蹴球選手權大會最終日は一日午前十時から引續き青山師範球場で各部準決勝及び決勝戰を擧行、好晴なれども風強くフキールドは乾燥し切つてコンヂションは前日同樣不良であるがベスト・フオアとして殘つた強豪そろひで各試合とも力戰熱闘が演じられた末第一部では前回の優勝チーム早大のメンバーを主力とする早大Aが連覇を完成し、新制の第二、三部にあつては第一生命、豐島師範がそれぞれ初の優勝を記錄し、本社寄贈の大優勝楯は以上三チームに授けられ四日間に亙る本大會は豫期以上の成果を收めて終了した

◇…第一部決勝戰は早大Aが消極的に出て却つて苦戰に陷つたのに反し東大はバックのフオローよく強攻を續けてチヤンスを作つてゐたがシュートの不確實によつて延長戰に入り然も不運のペナルティキックを與へるに及んで優勢な試合を自ら失ふ結果となつた、快闘に報いられるには餘りに無念な死の一點であつたと言へる

◇…第二部決勝は第一の先取得點も後半十代田の力闘で同點となり第一延長も空しく第二延長戰に入る、第一好機を逸し千代田また好機を逸し第三延長戰となり稀有の力闘が續けられた末に第一生命は巧みな攻撃で得點し千代田の惜敗となつた

◇…第三部決勝はベストチームを編成した豐島とバックマンでまとめた青山の對戰はチヤンスを巧みにとらへる豐島の勝利は順當なものであつた、然しこの日の結果から見れば本大會の指標である個人技の强化といふ見地からすれば明大B、東大B、マツダB、青山師範A、Bの敗戰は無念長蛇を逸したとは言へ個々の長短を究め將來に處する上に役立つた事を思へば自ら慰めるに足ると言へよう

第一部（大學高等、倶樂部）

◇準決勝

早大A 1（1―0 0―0）0 明大B

【塚部、清水、小野三君審判】

GB F 大 破田田茂橋川 明 中澤野 島熊 F GB

早 不吉荘加高石 南 中田 友川

◇準決勝

東大L 1（1―0 0―0）0 蹴球團

B・B 【村形、本堂、鈴木三君審判】

GB F 大 林石山田村西 蹴 本水木原川田 GB F

東 小力大奥田河 東 宮清鈴梶粉吉

◇決勝

早大A 1（0100 0000）0 東大L

B・B 【清水、鈴木、本堂三君審判】

GB F 大 破田田川茂橋 大 林石山田村西 GB F

早 不荘吉石加高 東 小力大奥田河

第二部（實業團）

◇準決勝

第一生命 1（1―0 1―0）0 日本興業銀行

【山田、山口、村形三君審判】

GB F 國 庭田崎部緣 國 鹽田生井田美岡 F GB

一 岡 大山山緣太 日 山朗油松雄吉

千代田生命 3（0―1 3―0）1 マツダB

【山口、村形、山田三君審判】

GB F 田 上井松田丸藤 マ 關野崎橋本本 F GB

千 村吉村稻松安 マ 梁久官矢鈴山

◇決勝

第一生命 2（0―0 0―0 1―0）0 千代田生命

1（0―0 0―0 0―0）0

【清水、村形、山口三君審判】

GB F 一 田庭塚部崎 田 上井松田丸藤 GB F

第 岡 山大大塚山 千 村吉村稻松安

第三部（中等學校）

◇準決勝

豐島師 2（1―1 1―0）1 青山師A

【清水、本堂、井出三君審判】

GB F 島 木島井木黑藤 山 田川岡立藤川 GB F

豐 亞大横青小伊 青 黑濱松橋遠小

青山師 2（1―1 1―0）1 埼玉師B

【清水、本堂、井出三君審判】

GB F 山 澤藤村井藤野 玉 田田田藤藤藤 GB F

青 唐齋野藤加小 埼 吉池吉伊近齋

◇決勝

豐島師 2（1―0 1―0）0 青山師B

【小長谷、横原、村形三君審判】

GB F 島 木島黑藤井木 山 澤藤村井藤里 GB F

豐 亞大小伊横青 青 唐齋野藤加小

S13-5-8

東大、早大を破る

蹴球 早大のFW不調

東大對早大蹴球戰は七日午後二時四十五分より東伏見早大球場に於て審判西松（主）石川、中橋（線）三君早大先蹴に擧行、東大2對1で勝つ

東大 2（0―1 2―0）1 早大

◇東大は元氣よくオープン・プレイに終始攻勢を續けLW松村が7分と27分にゴールを揚げて前半早くも試合を決定づけ、早大は後半開始直後LW高橋のゴールで活氣づけられ善く闘つたがFWの出來惡く東大のリードを覆へし得ず敗れた

◇東大の勝因は早大よりも選手を多く擁した點にもあつたが、滑るフイールドを一杯に使つて常にオープンに闘つた點にありこれに反し早大はその新布陣に未だ纏りを得ずFWはインサイドの位置惡く拙劣なパス・ワークで終始し當然の敗戰となつたバックスは兩軍共に好調ではなかつたが早大の方はフイールド惡く殆ど球を離プレーヤーに與したゴール前の守備には未だ若い故かマークもゴール・カヴアリングも怠つてゐた

◇二軍戰

早大二軍 3（0―0 3―0）0 東大二軍

【清水、本堂、井出三君審判】

大 破田田宅田邊島茂野橋 2

早 不吉荘栗三村濱川加堆高 1

GK FB HB FW 12

大 勘島山村堆 島木部棚村 8

東 岩栗大田菊 飯眞阿大松 2 10

二日の運動

◇蹴球

農 大4（1―0 3―0）0 立大

S13・5・3

八日の運動

◇蹴球（關西學生大會第二日）

京 大8―0 京醫大

關學大19―0 大高醫

神商大3―0 大商大

S13・5・9

關東大學豫科蹴球リーグ戰

關東大學豫科蹴球リーグ戰は來る十五日から開始、加盟校の早、慶、法、立、農商、中七校をA、B兩クラスに分けて（A組は法、商、中、農、B組は早、慶、立）リーグ戰を擧行、兩クラスの一位を以て優勝を爭ふ

S13・5・7

S13-5-12

早大勝つ

對商大蹴球戰

早大對商大の蹴球試合は十一日午後三時十五分から東伏見で審判西松（主）中谷、杉（線）三君、早大先蹴で開始、早大勝つ

早大	4	1—0	0
		3—0	
商大			

【商大】
森川 橋崎 野西 瀬田 尾井 水
狩荒高（岩早小（菅吉池金清
GK FB HB FW
田田川（田宅村邊岡（茂藤橋
島吉荘（石）柴三西渡荘加瀬高
（末）野
【早大】
14 1 8
1 1 17
K K K
C F G

十五日の運動

◇蹴球（關西學生大會第二日）
神商大 6—0 阪大
神高商 2—1 神高工
關大 6—1 和高商
關學 1—0 京大
△（關東大學豫科リーグ第一日）
商大豫 4—1 農大豫
法大豫 1—1 中大豫
早高 2—1 立大豫
△（關關戰リーグ）
日歯 12—0 東學

S13・5・16

蹴球團米て第一戰

先月初め日本に寄つた世界一周英國蹴球團イズリントン・コリンシヤンは同月下旬アメリカに渡りその第一戰を四月二十四日加州サンタモニカに於てダグラス飛行機會社と擧行無得點の引分けに終つた

S13・5・17

蹴球關東豫選

全日本蹴球選手權大會は六月十八九の兩日神宮競技場で全國各地代表を集めて行はれるがこれに先立つて行はれる關東地方豫選は關東の强豪二十一チーム參加の下に來る二十一日を第一日として六月五日迄六日間に亘り靑山、東高、東大の三球場において行はれる事となつた、十七日午後七時から協會事務所で主將會議を開き組合せを左の如く決定したが大會規定により二代表チームを選出する事が出來るのでABに分たれてゐる、組合せの中で特に注目されるのはB組で早稻が第一回戰で顏合せをみる事で予選は序頭から熱戰が展開される

【A組◇第一回戰　東京農業大學豫科對東大（22日後1時）MTR對法大（22日後2時30分）埼玉蹴球團對商船（22日後4時以上靑師）
◇第二回戰　埼玉蹴球團對商船勝者對慶大（28日後4時）野ボール對慶大（29日前10時）高獸對WMW（29日前11時30分以上東高）
【B組】◇第一回戰（A）商大對豐島俱（21日後2時）（B）東大對早大（21日後3時30分）◇第二回戰A勝者對B勝者（28日後1時）千葉醫大龍子會對上智大（29日後1時）日體對BRB（29日後2時30分）農大YOS對明大（29日後4時以上東高）
兩組とも準決勝は四日決勝は五日東大球場で行はれる豫定である

S13・5・18

商大豫科勝つ

對中大豫科蹴球

關東大學豫科蹴球リーグ第二日商大豫科對中大豫科の試合は十九日午後一時から東伏見球場に於て西松、中林、小山三君審判、商大先蹴で擧行三對零で商大豫科快勝す

商大	3	1—0	0
豫科	2	2—0	中大豫科

S13-5-20

全日本蹴球關東豫選第一日

早大、東大を破る

豐島俱幸運の抽籤勝

全日本蹴球選手權大會關東豫選第一日は二十一日午後二時から靑山師範球場でB組第一回戰二試合を擧行、東大對早大の一戰は關東の代表的チーム同士の試合であり過般の練習試合からすれば早大にとつては復讐の試合で終始熱戰を演じ同點延長に入つて早大は遂に復仇を遂げ、豐島俱對商大戰は商大に四回の得點機あつたが空しく延長戰に入つて勝敗決せず抽籤により豐島俱幸運にも勝ち殘る

豐島俱（抽籤勝）0—0—0—0 0 商大（竹内、飯井、梨田三君審判豐島先蹴）

【豐島】
木島田澤黑川田澤川澤飯
血大須瀧小前村松澗金伊
GK FB HB FW
澤川橋倫野田瀨田尾井水
10 6 7
3 5 14
C K K
C F G

【商大】

早大 3（0—1—1—0）2 東大（線部、梨井、舩邊三君審判、早大先蹴）

【東大】
勵島山村池　谷永部榊村
岩梨大田菊　大植岡大松
GK FB HB FW
破田田田宅村岡野後藤編
不吉花堀二西末笹加瀨眞
4 9 12
C K K
F G G
6 0 10

【早大】
◇試合は東大の滑り出しよく返り討ちを思はせるものあつたが早大よく防いで立ち直り、加茂の突出した個人技で東大守備線を攪亂して一點を先取
◇後半に入り東大一點を返して1—1の同點となり更に2—2と再び同點となつて延長戰に入つたが、東大の動きの鈍いのに引きかへて早大は鋭く迄加茂を中心として攻擊線を進めバックス

また過般東伏見で行はれた試合の際よりも興味を增して、東大の變化ある攻法からのがれ復仇を遂げた

S13・5・22

S13-5-23

文大、東蹴に勝つ

蹴球關東豫選第二日

全日本蹴球選手權大會關東豫選第二日は廿二日午後一時から引續き青山圓技場でA組第一回戰二試合を擧行豫想された如く好勝の文大對東蹴の一戰は終始一進一退の熱戰を續け前半の一點を文大死守して辛勝するところとなつた

文大 1(1—0 0—0)0 東京蹴球團

(竹内、中村、三宅三君審判、文大先蹴)

【東蹴】
倉野本木水泉室川田原田
GK
FB FB
HB HB
FW FW
内浦塚酸口村林止敬和原
中松三佐川中小原原多楨

【文大】

◇凡球にゴールを許した東蹴にも前半において挽回の得點機會はあつたが突つ込みに鋭さを欠いて逸機し文大リードの儘で後半に入る

◇文大も後半FW兩翼の球捌き緩漫に過ぎて惜しまれる數度のチヤンスを凡失し東蹴また絶好のチヤンスを屢々迎へたが中堅内の美技に卻けられ最後の十分の猛攻も空しく敗れた

◇この一戰双方數ヶを出さずして終了

	文大	東蹴
CK	5	11
FK	11	18
GK	7	8

判斷の惡いところがあり文大の辛勝は中堅内の卓拔の技倆が然らしめたといふ危いものである

MTR3(3—0 0—1)1法大

(高山辻藤井三君審判法大先蹴)

【MTR】
部賀村泉山河橋井藤
森
川芳田有横亜土堀瀬米
GK
FB FB
HB HB
FW FW
田島平原木柳野田井山
張
和猪大篠鈴青河池邊平

【法大】

	MTR	法大
CK	3	2
FK	15	5
GK	2	14

埼玉蹴球團3(2010—0001)1商船

(田村、辻藤井三君審判埼玉先蹴)

【商船】
鄕木
壁田中羽野林川田
本鈴
明川田出水中井松
GK
FB FB
HB HB
FW FW
島久橋子滿笠藤藤木藤田
大地高堀地武伊藏鈴進町

【埼玉】

	商船	埼玉蹴球團
CK	4	3
FK	18	13
GK	13	5

關學が關西代表

【大阪電話】關西學生蹴球聯盟春季トーナメント大會最終日は二十二日午前十時から花園競技場で擧行關學大優勝し六月十八、十九兩日神宮球場で行はれる全日本選手權大會の關西代表の資格を獲得

◇準決勝

關學 6(3—0 3—0)0 神商大

關大 2(1—1 1—0)1 神高商

◇決勝

關學 4(1—0 3—1)1 關大

S13·5·23

S13·5·30

早、文、農勝殘る

蹴球關東豫選第三日

第四回全日本蹴球選手權大會關東豫選第三日は二十八日午後一時から東高球場で第二回戰三試合を擧行、A組の農大對埼玉蹴球團の一戰は延長戰に入つて農大の辛勝するところとなつた

◇B組

早大 6(2—0 4—2)2 豐島サッカー

◇A組

文大 4(1—0 3—1)1 東TR

農大 1(0100—0100)0 埼玉蹴球團

S13·5·29

二十五日の運動

◇蹴球 關東大學豫科リーグ

關大 3(1—0 2—2)2 法大

農大 1(1—1 0—0)1 立大

S13·5·26

廿九日の運動

◇蹴球

桐生高工 9—2 東高工

東農 5—1 東獎

(東京府中等低學年大會第一日)

△第一回戰

市二中 棄權 附屬中

暁星中 3—0 府高等

府二中 3—1 成城等

△第二回戰

豐島師 3—0 府九中

青山師 1—0 府五中

S13·5·30

慶大快勝す

蹴球關東豫選第四日

全日本蹴球選手權大會關東豫選第四日は廿九日午前十時から東高球場で第二回戰五試合を擧行、A組優勝と目される慶大は前半聖ボール(立大)の健闘に無得點であつたが後半に入つて立大バック線の疲勞に乘じ二宮を主軸とするFW線の猛攻に成功して快勝した

◇A組

慶大 4(0—0 4—0)0 聖ボール

(福島、山田、栗田三君審判)

【聖ボ】
石野崎藤田田上仁田宮村
白藤岡内武肥井今植二中
GK
FB FB
HB HB
FW FW
田藤川原川島崎邊宮畑俣
津加宮笠石高優雅二小塚

【慶大】

	聖ボ	慶大
CK	1	2
FK	18	6
GK	6	2

◇B組

WMW 4(3—0 1—0)0 高獸

(溝口、本宮、石井三君審判)

【高獸】
中澤エチエル
本井
田佐ソムデ
金關張松邱櫻陳
GK
FB FB
HB HB
FW FW
田野田野川田西島保野林
島矢益多宮村河川小關中

【WMW】

	高獸	WMW
CK	0	4
FK	19	3
GK	3	2

◇蹴球

關學 3(2—1 1—0)1 上智大

(小川、藤井、中村三君審判)

【上智】
井兄
辰神
GK
FB FB
HB HB
FW FW
高河福山石今杉加源外大
木桑津谷田弟尾中
盧
鈴選石赤永神土田
橋野島田田井村藤田村内

【關學】

	上智	關學
CK	0	2
FK	27	3
GK	6	5

BRB 5(5—0 0—0)0 日體

(村形、芝地、塚本三君審判)

【日體】
徐李洪陳管金
中
文崔
GK
FB FB
HB HB
FW FW
家川谷邊田波畝部丸池
大石三渡吉吉志塚松尾
島
永田
德和
辻

【BRB】

	日體	BRB
CK	2	5
FK	11	2
GK	2	4

農大 2(0—1 2—0)1 明大

YOS

(辻、塚本、藤井三君審判)

【YOS】
田内能方台坂川橋前
里武伊貞中磯西高大
GK
FB FB
HB HB
FW FW
野澤野川中
今友生石田
南
山中鈴中清
成
佐
田兄木弟水
島島

【明大】

	YOS	明大
CK	0	3
FK	20	7
GK	1	2

S13-5-30

S13-6-2

商大豫科勝つ

關東大學豫科蹴球リーグ第四日一試合は卅一日午後四時から小雨に於て行はれ成績左の如し

商大豫 4(1—1 3—0)1 法大豫

S13.6.1

参加を電請

愚圖つく國際蹴聯總會

國際蹴球聯盟總會は愈〻來る二、三兩日パリに於て開催、我が野村島田兩代表も之に出席し東京大會準備進捗狀況を說明し各國多數の參加を慫慂する筈であるが各國においてはブロークンタイム・ペイメント問題並に日本は遠距離である等の理由にこじつけて不參加を唱へるものもあり形勢我に不利の狀態にある旨兩代表から一日我が蹴球協會宛電報があつたので同協會では直に組織委員會に通知、組織委員會永井事務總長は同日直に國際蹴球聯盟會長リメー氏並に同名譽主事シュリッカー氏宛多數國の參加方を電請した

S13-6-6

蹴球關東豫選

準決勝

全日本蹴球選手權大會關東豫選第五日は四日午後一時からA、B兩組の準決勝四試合を擧行

◇A組

文大	2	0	0	慶大
	0	0	0	
慶大	5	0	0	WMW
	5	0	0	

◇B組

早大	6	4	0	YOS
	2	0	0	
BRB	0	抽籤	0	龍子會
	0	勝	0	

四日の運動

◇蹴球（東京低學年大會第二回戰）

暁星中 1—0 市ヶ谷二中

府二中 1—0 府八中

S13.6.5

關東代表は早慶

蹴球豫選・文大善戰す

全日本蹴球選手權大會關東豫選最終日の五日は午後三時から東大球場で慶大對文大、早大對慶大BBBのAB兩組決勝戰を擧行、慶大對文大の試合は文大がよく慶大の不調に乘じてキック・アンド・ラッシュの猛攻を以て對し1—1の同點から延長戰まで進めたが慶大次第に好調に立つて延長戰に五點といふ締らない得點を擧げて勝ち早大と共に關東代表となつた

慶 大 6(3201—0001)1 文 大

（高山、村形、芝地三君審判）

（文 大）

内海	塚越	口村	林原	敬和原
垣				崎
中松	三佐川	中小	榊原	多根
GK	FB		HB	FW
田辺	藤川	原川	島崎	豐宮畑俣

10	6	13
CK	FK	GK
6	2	26

慶大 BRB

（慶 大）

早 大	4	1—0	0	慶大
	3		0	BRB

津加宮立石高篠播二小猪

（BBB）

家川谷池丸邊	部田田上		
大石三尾松渡辻塚增大井			
GK	FB	HB	FW
破田田田毛村倉岡茂野橋			
不吉壯榮三西米笹加齋高			

3	9	28
CK	FK	GK
5	13	

五日の運動

◇蹴球（低學年大會決勝）

青 師 2—0 暁 星 中

（早 大）

S13-6-7

明大蹴球部

十五日西下

明大蹴球部は十五日正午横濱出帆の龍田丸で西下、左の如きスケジュールで三試合を行ふ事になつた

△16日對神戸商大（3時甲子園）

△17日對關大（2時甲子園）

△18日對京大（等時京大）

S13-6-9

早大蹴球連勝

對立大定期戰

第一回早大對立大定期蹴球試合春季二回戰は八日午後二時半から石神井球場で擧行、一、二軍共に早大が連勝した

早 大 3(3—0 0—0)0 立 大

（早 大（先攻））

破田田田毛村谷野茂藤橋										
不吉壯榮三西米笹加齋高										
K	B	B	H	H	W	I	F	I	W	
G	R	L	R	C	L	R	R	L	L	
石谷崎田田藤上藤田村仁										

6	4	7
CK	FK	GK
2	2	15

白澤岡肥武內井齋植中今

（立 大）

早大二軍	3	0—0 1	立大二軍
	3		

S13-6-11

スーユニツーポス外海



英獨對抗蹴球試合は五日午後二時半から神宮外苑競技場で擧行されたが當日は朝來の雨で場内は一面の泥濘と化し觀衆僅に二千人足らずの寂しさであつた【ルーゴの目回三の國英は選】たつ

世界蹴球選手權

玖馬二回戰へ

【ツールース（フランス九日發同盟）】世界蹴球選手權大會第一回戰で去る六日三對三の無勝負に終つたキューバ對ルーマニア戰の再試合は九日當地において擧行、結局キューバ勝ち、十二日アンチープにおいて第二回戰にスウェーデンと對戰する事となつた

瑞西、獨逸に勝つ

【パリ九日發同盟】世界蹴球選手權大會第一回戰スキス對ドイツ戰は九日當地において擧行、結局四對二でスキス勝ち十二日リールにおいて第二回戰にハンガリーと對戰する事となつた

S13.6.11

S13-6-15

體力の朝鮮代表？
技術の關東勢か

全日本蹴球選手權大會豫想

全日本蹴球選手權大會は來る十七日から三日間に亙つて第一日は東大、第二、三日は神宮外苑競技場で行はれる事になつた

◇…**昭和**　十年の第一回は朝鮮代表京城蹴球團が勝權を掌握し第二、三回は慶大が連續勝利を收め本年は第四回に當る

出場は地元關東代表は三連覇を目指す慶大と早大、東海の名古屋高商、關西にあつては關學大、朝鮮からの全延禧と合せて四地方五代表チームで關東、關西、朝鮮の三地域から全日本代表級四チームを集め得て内容において申分ないものがある、殊に各地方豫選激闘の跡を繰るとき全日本選手權爭覇に眞に相應しいものがあるといふ事が出來よう

◇…**關東**　西の關學は數において多少の差はあつたが共に第一線の蹴豪を動員して行はれた末に慶大が勝ち殘り早大がまた數に入り關學大が代表權を獲得してゐるが、慶大は野ボール、WMW、文大を相手にして必ずしも坦々たる制勝の途を辿つたとはいふを得ないし、早大の進出を阻むものに東大があつたそうに關學大の前進を遮らんとする京大があつたまた朝鮮豫選においては全延禧と全普成との間に激闘血戰實に百七十分を要したといふ記錄が殘されたものである

◇…**全日**　本代表選手金（容）裴（杓）朴（華）等を含む全普成と第一回の選手權を獲得した京城蹴球團のメンバーとして活躍した鄭（龍）李（松）金（成）を擁する全延禧との試合は午後三時のキックオフで前半四十五分に全延禧が四點を擧げ全普成ノーゴールで勝敗は既に決定されたと見られたのであつたが後半に入つて攻守は全く地をかへ全普成が同點に漕ぎつけて第一回の延長に入つた、この二十分は無得點で更に第二回、第三回の延長戰が試みられて尚勝敗決せず第四回の延長戰に入つて全延禧がペナルティ・キックの絶好の得點チャンスがめぐり來つたが凡失に止みその後半全延禧はまた一點を加へて勝敗を決し六時を過ぎてタイムアップとなつたといふ球界のレコードを作つた未曾有の試合の後に登場する朝鮮代表である

◇…**如何**　にも球界の誇るに足る三地域らしい豫選が行はれたものである、これに引きかへ東海は名古屋高商が獨擅場に擅場つて極めて容易に代表權を握つての出場である

この中で慶大はFW線から增田HB線から松元を送つただけで前回の陣容をその儘と言ひ得る不動の陣であり、全延禧また新舊取り交ぜた編成ながら延禧一系のベストチームと稱し得るものであり、關學大また野澤、朝田、林を欠いてゐるがチームの動は局部的のもので總勢を感する程のものではなく名古屋高商の異動も極めて小範圍であつて二年選手を主力としてゐる

◇…**五代**　表のうち春の新陣編成に苦心を拂つたのは早大である、主將帶野がFW線に進出するなどは神經工作の甚々ならぬものを物語る一例であると云へよう、第一戰の相手は全延禧であるが、能く百七十分の試合に耐へ得る全延禧のタフネス、早大はこれに相當抗する事は覺束ない、技倆は互角としても體力の優劣は勝敗を決定づけるものと見られ先づ早大に勝味は乏しい

名古屋高商は銳氣に物を言はせ捨て身で出ようとも關學大の老功には制せられるものと見られる、名高商を首途の血祭りとして進む關學大は準決勝に於て慶大と相見えるのであるが一月の本社招待試合に於ての一戰からすればその内容は局部的に異動を見せてゐるだけでこれから推せば七分三分の開きでよく見ても六分四分慶大の勝利は全く動くまいと見られる

◇…**早大**　が戰略的に成功するところがなければ晴れの決勝は慶大と全延禧の間に行はれるものといふ豫想であるが技倆が物をいふか、體力が勝敗決定の鍵を握るかと技の蹴戰で鍋を削るのであるが慶大がその眞味を持つ守備線を衝れる前に優れた攻撃線を整へて得點を先取すればこの一戰慶大がよく追ひ込んで三連覇の壯業が成就するものと見られ、全延禧が慶大の鼻を早く衝けば慶大は死鬪を奮ひ起せねばならず勝敗の關鍵は全く此處にあるものがある【山田生】

組合せ決定

十二日午後七時大日本蹴球協會事務所に於て組合せ抽籤を行つた結果左の如く決定し十四日午後協會から發表された

◇第一回戰　（A）關西學院大對名古屋高商（17日午後4時東大）

◇第二回戰　慶大對（A）勝者（18日午後1時30分神宮）早大對全延禧（18日午後3時神宮）

尚決勝戰は十九日午後二時キックオフで行はれる事になつてゐる

朝鮮代表入京　全日本蹴球選手權大會朝鮮代表全延禧チームは林監督引率されて十四日午前十一時着京し日本青年館に入り、關西代表關西學院大學チームは十五日入京の豫定である

S13-6-16

關東蹴協理事に手島氏追加

關東蹴球協會十三年度代議員會は十二日午後一時から新橋協會事務所で開催、朝生主事以下各理事及び十代議員出席、先づ前年度事業報告並に決算承認と型通り進め、次いで十三年度の事業計畫並に豫算を協議大日本蹴球協會の憲章細則改正に關して各理事より詳細な說明を加し理事に手島志郎氏を追加することに決定、後五時散會した

S13.6.13

蹴球協會新評議員決定

大日本蹴球協會では今春の全國代議員會に於いて改正を決定、六月十日より施行する事となつた新憲章による評議員廿名を會長指名で決定し十五日午後六時發表した尙來る十九日日本青年館で初の評議員會を招集し理事、監事を互選、參與の推薦を行ふこととなつた、評議員左の如し（イロハ順）

賀田龍吉、新田純興、千野正人、小野卓爾、神田清雄、田邊治太郎、竹腰重丸、高田正夫、中島道雄、野津謙、野村正二郎、山田午郎、前田純一、小長谷亮策、朝生要人、北村春吉、岸本武夫、鹽澤幹、島田孝一、鈴木重義

伯國勝つ（世界蹴球選手權）

【パリ十四日發同盟】世界蹴球選手權大會第三回戰ブラジル對チエコ戰は十四日當地において擧行ブラジル 2——1 チエコ

十六日の運動

◇蹴球（甲子園運動場）

明 大 3（1—1 2—0）1 神商大

S13.6.17

關學大勝つ

全日本蹴球第一日

第四回全日本蹴球選手權大會第一日は十七日午後四時から東大球場で關學大（關西代表）對名古屋高商（東海代表）の第一回戰一試合を擧行、連日の雨に洗はれた球場のコンヂションは極めて惡く剩へ降雨激しいために動き鈍く名古屋高商の捨て身の對戰も遂に空しく老巧關學大の勝利に歸した

關學大 5（1—0 4—0）0 名古屋高商（東海）

◇…戰果は順當のものである、試合は後半四分迄に名高商LI近藤がノウマークの左側を活用する事を再度に亙つて試みた頃までが山であり全試合の二十余分を除いては關學大の一方的試合であつたといふに盡きるものである、潰滅の名高商陣にあつてよく得點を此程度に防ぎ得たものはバックスの出足の早さとGK長崎の投蹴の優れた技倆と好判斷にあるは言ふ迄もないが、一方關學大FW線が條件を無視した細技巧の球捌きに敵陣を陷れんとした失當の戰法も加へられる、名高商バックスの疲勞に乘じて勝敗決定の大量得點は擧げ得たが假令前半の一點は同一コースを採つた攻法によるものとしても攻撃角度は狹小拙劣であつたといふ譯は免れ得ない

◇…名高商はキックオフに際いてからは全く萎縮してゐたが都築の强力にたのんで反撃の擧に出る策をとる事に成功してゐたならば後半擧めな戰果を殘さずに濟んだであらう、キープを忘れ科那の滿足は自ら敗走といふ事になる、技の巧拙は兎も角として鋭氣に依つて老巧を陷さんとする氣組の乏しさを名高商のために惜しむものである（山田生）

【名高商先蹴、松丸、小長谷、福島三君審判】

【關學大】
村本（笠岩）
間井（那田）
田須邊（中田）
信中（岡中）
野重（村田）
島園（梅林）
（藤倉）
（近藤）

【名高商】
GK 長西
FB 内柴
FB 都津
HB 新鬼
HB 村見
FW 山田
FW 澤村
FW 綺村

	CK	FG	PG
10	4	1	0
0	6	3	2



雨中の關學大對名高商戰

明大關大に快勝（蹴球）

【大阪電話】明大蹴球部の西下第二戰たる對關大戰は十七日午後二時から甲子園南運動場で擧行、勝敗は前半既に決し明大の快勝するところとなつた

明 大 5（4—0 1—1）1 關 大

S13.6.18

伊、洪で決勝

世界蹴球選手權

【マルセーユ十六日發同盟】世界蹴球選手權大會準決勝イタリー對ブラジル戰は十六日當地において擧行、イタリーは二對一の接戰裡に强豪ブラジルを破り決勝に出場

【パリ十六日發同盟】世界蹴球選手權大會準決勝ハンガリー對スエーデン戰は十六日パリに於て擧行、結局五對一でハンガリーの壓倒的大勝に歸した、かくて世界蹴球爭覇は愈々イタリーとハンガリーとの間に行はれる事となつた



◇…關東高等蹴球リーグ春季總會は十七日午後六時から本社會議室に開催、大倉高商、橫專、商大專三校の新加盟を承認し、加盟校二十一校となつたので從來の三部制を四部になす事と決定、山川蹴夫君を委員主任に推し九時散會した

S13.6.18

十八日の運動

◇蹴球

日 銀 7——3 動 銀

S13.6.19

S13-6-19

決勝は早慶の對戰

全延禧抽籤に敗る

全日本蹴球 日二第

第四回全日本蹴球選手權大會第二日は十八日午後一時から、神宮競技場で入場式を擧げ主將の國旗掲揚、深尾競會長の訓辭あつて後、一時半から準決勝慶大（關東）對學大（關西）早大（關東）對全延禧（朝鮮）の二試合を擧行、珍しく半晴半曇の日を迎へたが連日の雨にたゝかれたフキルードは濕氣多く脚を奪つてコンデイションは上乘でないが四精鋭の對戰は晴れの對戰に相應しく熱戰を展開した、かくて慶大勝ち、早大は延長戰後抽籤で勝ち殘り結局決勝戰は關東代表の間に行はれることになつた

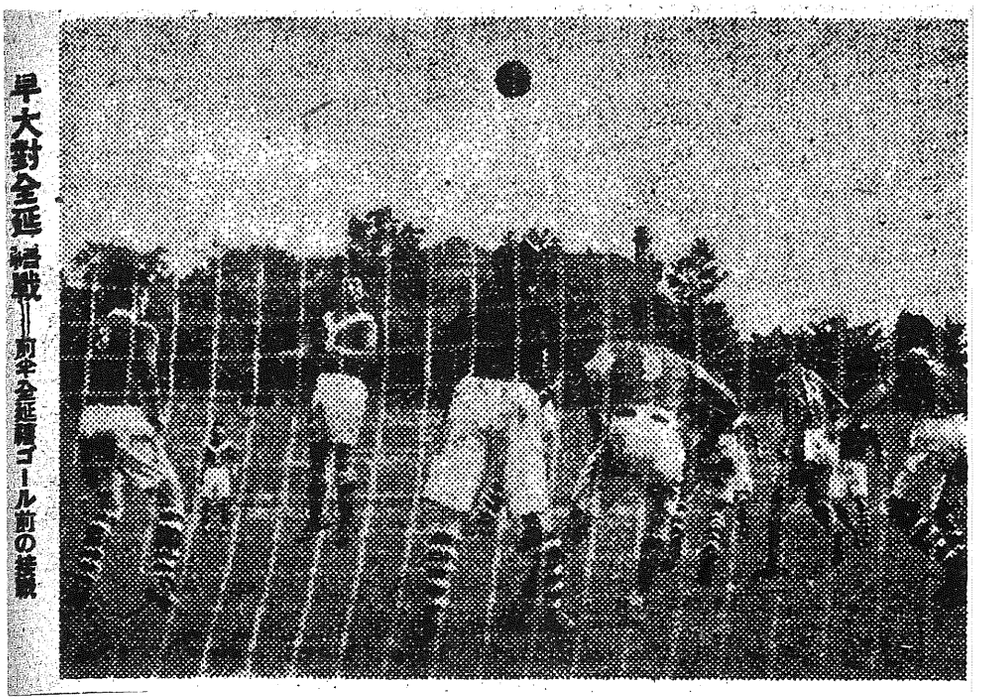
慶大（關東）5（2―2）2（關學大）
（3―0）
【一時半慶大先蹴、高山忠、溝口山田三吾各判】

【慶大】
田部川原川島崎鷹吉畑俣
津加宮笠石高篠塚二小猪
GK
FB　FB
間井田邊田信中野直島園
HB　HB
村　村
本等岩田三中田岡中田梅
FW　FW

7	CK	11
3	FK	2
15	GK	12

【關學大】

◇…關學は優れたキッキングを持つ强味を示して2―0の頭勢をよく挽回したが前半2―2の拮抗も後半に入つて前日の疲勞が敗略を拓き拍車をかけて善戰記錄を殘り得ずに終つたのは氣の毒であつた、兎に角2―2に追ひ込んだ有利を持ち耐へ得たならば關學が慶大打倒成つたとも思はれるものでもあつたとは言へる、深いW型にあつて攻撃に轉ずるにあたつてHB兩翼の前進加增が圓滑に行はれてゐたならばこの事は可能であつたと思はれる



早大對全延 結戰―前半全延禧ゴール前の接戰

◇…それに慶園ほどの老巧がCF中村にあつたならばといふ感は深い、後半互角の對立を期待し得なかつたのは鍛運よりも鍛への不足にあつたと思ふ

◇…慶大は三點を右CKから三點擧げてゴール前の巧みさをよく示したが胸のすくシヨットを缺いてゐるかに見えたのは物足らぬものとして數へられよう、慶大の特味は決勝戰を見越しての事としても七分程も示されてはゐなかつた

早大（關東）2（0011 ＝ 0020）2（全延禧）（朝鮮）
（抽籤勝）
【三時、全延禧先蹴、竹腰、村形塚部三吾各判】

【早大】
破田田宅村谷岡茂藤福
不吉荘柴三西米末加齋高
GK
FB　FB
HB　HB
（敦永）（雨裕容）（成文）（廷）
（金崔鄭村李李宋金韋朴崔）
FW　FW

3	CK	3
14	FK	21
4	GK	7
11		

【全延禧】

◇…第二試合は地力に賴つて行く全延禧のゴール前の無策に前半の興味は欠けてゐたが後半2―0と早大のリードから十二分容易に開かなかつた早大ゴールが漸く開けるに及んで試合はオープンとなり個々の技量に全面高潮して熱度を加へた

◇…第一試合が漸次低調を加へたのに反し追撃反撃の激しいために攻め口にも變化を求めたのと相俟つて内容は豐かな試合となつて運ばれ結局延長戰となつたが六分四分の戰勢を以て勝敗を決し得なかつた全延禧は强い感じを持たせようとも巧いとは斷じられない、巧味はウイークポイントをよく被覆し乍ら試合を運んだ早大にあると言へるものであつて、整つてゐれば全延禧は相雜未完成といふ事になる

◇…巧みなフットワーク、ドツヂング、優れたキッキング、カツテングなどいづれもこれをチーム力に綜合し得て勝てる試合も自ら延長戰に追ひ込んで墓穴を掘つた

◇…結局早大が幸運を拾つたものの加茂を活用出來ぬ嫌がある、加茂の擧く好球を如何に處理するかはFW線のみならず追走するHB兩翼も篤と考へねばならぬ事である（山田生）

明大、京大に敗る（蹴球）

【京都電話】來征中の明大對京大蹴球戰は十八日正午から京大球場に京大先蹴で擧行、4―0で京大快勝し遠征以來明大初めて敗る

京大	4（3―0）	0 明大
	（1―0）	

S13.6.19

S13-6-20

雪辱に燃ゆる早大
慶大の二連覇阻む
闘將播磨の缺場痛手

全日本蹴球選手權

第四回全日本蹴球選手權大會最終日は十九日午後二時から神宮競技場で早慶の關東兩代表の間に決勝戰が行はれた

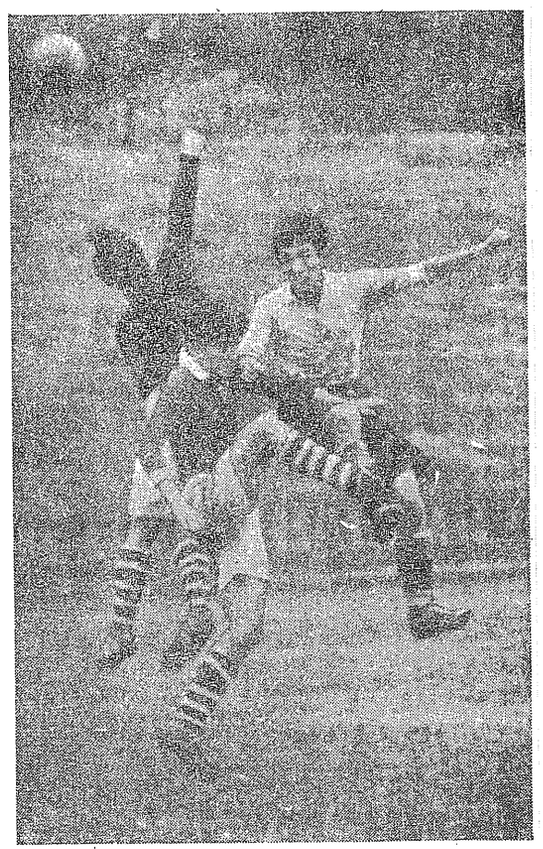
雲は低いが氣温はれた小雨も見ず軟風あつたが三日間を通して最も良い條件の下に高山、永野、福島三君審判慶大の先蹴で開始

試合は前半において再擧し優勢を傳へられた慶大不調で早大は加茂の長蹴を以て試合を決定づけて初めて優勝し慶大の三年連覇は遂に斷たれてしまつた

早大 4(3—1)1 慶大
1(1—0)

◇…無敗記錄に輝く慶大の三年連覇制霸が豫想され決勝戰も六分四分早大の不利とされたのであるが結果は前半において作られた3—1のスコアは優るべくもなく榮冠は善戰早大の上に燦と輝いた

◇…試合は水物とは言へ闘將一人を欠く事が如何に大きく影響するものであるかを痛感させられた。早大が西村に代つて主將笹野の出場となり一方慶大は主將播磨病んでビッグ・ゲームに經驗ない新入渡邊を起用した、この相異は精神的の開き許りではなく慶大は試合の運びの上に痛烈なる打擊となつた、攻擊の鍵



前半十分早大陣の接戰

器とした二宮が孤立無援の中に全くその影を沒したのはその例證である、播磨あつての二宮であり、播磨あつての無敗記錄に輝く慶大であつた

◇…新人渡邊が慶大の持味として誇るコーナー・キックの後に傳統を傷つける事なくリードの一點を挙げ起用に報いるに十分のものはあつたが播磨の老練を遺憾なく補ふには未だ若い

結局ストーム以て臨み得なかつたのは徹頭徹尾災した

◇…試合は慶大がコーナー・キックを活用すれば前日に比して闘志漲る早大FW線は渡邊、末岡の血進に部厚いキープを以て得點して悪へ同點に漕ぎつけたがこの早大の猛攻は慶大守備線の踏張をよく働いたものであり更に米谷の好送球に渡邊が理想的のチャージを試みて堂々と一點を加へ戰勢は忽ち早大に有利なものとなつた

このあたり迄慶大の攻勢は期待されたのであつたが加茂の長蹴は遂に二度目に成功して3—1と開くに及んで慶大の攻勢は絶望と見られた、そして後半の猛攻は全しく止んだ

◇…バックスのフイードはさして早大のそれに比し劣つてゐたとも思はれず不足してゐたのでもないが早大後方陣が常に前線に對し強力なる後援といふ氣分を注入してゐたのに較べるならば慶大に欠けたところがあつたと思ふ

◇…慶大は戰ひ拔いたといふに乏しく早大は死力を盡したといふ感は試合の全局面によく表れてゐた、早大笹田が翼々としてオーヴア・ヘッドの二つの過失を演じてゐるが慶大にはこれと取上げるものはないにしても見えないバックスの過失が次ぎ〳〵と續り込まれてゐた

◇…勝敗の分岐は慶大の播磨を欠いたところに端を發してゐたのはいふ迄もないがこの一戰早大の悲壯な決意と相手を恐れなかつた意氣がこれ迄に蓄へられた全技倆を遺憾なく發揮したのに因るといふのが妥當であらう（山田生）

【早大】破田田田宅野谷岡茂邊橋
【不吉笹柴三笹米末加渡高】
GK
FB
HB
FW
【慶大】田幾川原川島崎邊宮畑俣
【津加宮笠石高篠渡二小猪】

5 7 17
7 5 14
OK FK GK OFG

試合經過

◇前半　慶大は五分LW猪俣のセンターリングをRW篠崎失したが右CKを得、これをRI渡邊シュートして一點を先取▲十分早大は加茂の長蹴パアを聯いてアウトとなつたが十四分LH笹野のフイードを加茂リレーして左前に拠げば渡邊、末岡亟進し末岡シュートして得點1—1の同點となる▲二十五分早大はRH柴田の送球をRW米谷辛くもとつたが左前に好送球LLI渡邊のチャージ奏効して得點早大のリードとなる▲更に二十七分柴田、末岡とパスされて後CF加茂の長蹴は强くゴール直前で不規則バウンドしてGK津田の側方を掠めてゴールイン3—1と開く

◇後半　慶大挽回につとめるが得點なく▲早大は四十二分中央を割つて出でRI末岡クリン・シュートして左隅を破り一點を加へ4—1で勝つ

蹴球協・評議員會

大日本蹴球協會では十九日午後四時から日本青年館に於て機構改革後の第一回評議員會を開催、深尾會長以下新評議員十八氏が出席し先づ深尾會長が會長を任命し理事、監事の互選を行つた結果前理事八氏の重任となつたが多年名參主事として功勞のあつた鈴木重義氏は一身上の都合で固辭したので評議員會もこれを諒承し新理事會は結局七名を以て構成する事とし二十日發表した

尚この席上において參與の推薦も行ふ筈であつたがこれは新理事會において選定の上評議員會の承認を求めて會長の手許に推薦する

◇理事　野村正二郎、野津謙、山田午郎、竹腰重丸、田邊治太郎、前田純一、賓田豁吉◇監事　新田純興、小長谷亮策◇書記長　小野卓爾

S13-6-21

S13-6-21

早大闘志で押切る

慶大前線の大穴後陣に影響

連絡なき全延禧自滅

山田午郎

梅雨期の會期三日間としては第一日の豪雨は兎も角、第二日の半晴半曇、第三日は雨雲低く垂れこめてはゐたが小雨さへ見せず晴れの準決勝戦としては先づ申分ない天候であつた、新陣編成後數旬を閲してゐるに過ぎない爲に技術的には完成途上にあるといふ感を深からしめるものはあるが全日本選手權爭覇としてはこれ迄にない内容を持ち合せてゐたといふことが出來る

全日本蹴球選手權總評

東大で行つた第一回戦一試合の關學大對名古屋高商の試合は豪雨に叩かれ球がフキールドに浮いたためにその特味は十分に示されたといふを得ないが第二、三日の準決勝、決勝の三試合はフキールドが固つてゐたとはいふものゝ數れもその實力を示し得た、戦前の豫想は慶大が三年連覇するであらうといふのであつたが全く覆されて同じく關東代表の早大が最後の勝利を獲得してしまつた

準決勝戦において百七十分といふ血戦死闘の末に登場した全延禧と2——2の同點で延長戦に入り勝敗決せず抽籤で勝ち殘つた早大が關電一番堂々と慶大に挑んで六分四分といふ不利な豫想を覆し初制覇を遂げた

京城 蹴球團によつて一度第一回選手權が拉し去られたほかは二、三回が慶大の掌中に收められ今また早大がとつて代つて關東勢のため萬丈の氣を吐き面目を保つたのであるが早大の制覇は技倆を超越した氣組のもたらした實に輕々しいものであつた、慶大は主將播磨が不幸にも前夜病んで二宮を孤立せしめ攻撃力を半減するに至つたのは同情に値するがこの補手を蒙り乍ら敢然起する氣組の乏しさは戦線に如實に示された決勝戦の初頭に於ては些程目立ちもしなかつたのであるが戦局の進展につれて唯一無二のゴールゲッターとして押しも押されもせぬ二宮が何處に在り矣と嘆ぜしめたものはいふ迄もなく播磨を欠いた爲であつた、主將播磨に代つて登場した渡邊が初陣の若武者としてよく重責に感奮し血みどろの戦に面目を施すところはあつたがこの懸命の努力も影の形に添ふが如くにして生み出されてゐた播磨、二宮のコンビには及びもつかぬものがあつたこれは一朝一夕にして成つたものではなく斯く成らざるが故に劃期初陣の渡邊を責めるにはあたらずまた二宮を同情するは當を失するものである事は言ふ迄もない

二宮 により播磨を欠いたといふ事は心體を挽りとられたも同然、此結果は更に慶大のみにとどまらず訓ふるところが多かつたと思ふ、不測の災によつて慶大は強靭の背運に哭くところとなつたが二宮、小畑のコンビについてまた二宮自身も將來ある身としてその動きについて反省考慮を拂ふ要がある、この前線の大穴は勿論後陣に影響するところが多かつた前線の球のキープ力が微弱となればこれに連れて後に前線の活躍に増強されてゐたといふ欠陥を暴露した

石川、宮川の古豪、加藤、笠原高島の中堅どころが必死の防禦にあたつてはゐたが立ち直るべくも左側これに應ずるを誤り打てば響く連絡協調の妙を體得してゐない、優れた個人技をチームカに綜合し得るならば百七十分の試合に耐へ得る強い體力が京城蹴球團の業績を繼承し得たであらうが徒らに長戦を放つて時機を誤り、不用のパスに相手の防備を嚴ならしめるの拙劣は自ら自滅したといふ感は深い

試合の運びは素人受けのする華麗にして豪壮と雖へ得るものであるが勝つ術を知らずといふべき絶過を逃つて固に過ぎないといはれても致し方はあるまい、CF草のドラヂングなど類例少い程に傑出してゐるがドツヂングのためのドツヂングといふに過ぎないなどはこの中に加へて批評さるべきものである、これ程までよく球をマスターしてゐながらといふ嘆、之等の弊から脱却して相倚り相たすけるコンビネーションプレイの眞髄を捉へる事に腐心せねば全延禧の價値は今日以上に認められる日は來ない

豪雨 の中に力闘した關學大は準決勝に進んで慶大と2—2のタイに試合を運んだ、三田が加はつて意氣頓にあがるものはあつたとしても前半の健闘は慶大に比し遜色ないものであつた、惜しい事には前日の疲勞に祟られて後半潰走したが今秋を期待し得る望みがありありとうかゞはれた、OL梅園のゴールは可能と見受けられた

名高商GK長崎は五點を許しはしたが堅もれるには惜しい名キーパーとして推賞し得る、これを惨敗のキーパーたらしめたのは結局技倆の巧拙よりも試合運び引の若さがもたらしたものであつて名高商の戒心を要するところである、たゞ東海の球史を繼承するものとして意氣に奮起する事を望んで置かう

S13-6-26

世界蹴球伊國制覇

【パリ發同盟戰信】一九三八年世界蹴球選手權大會最終日のイタリー對ハンガリー優勝戰は六月十九日パリ、コロンブス・スタディアムで五萬の觀衆熱狂裡に開始タフネスを誇るファシスト若人は勇頭より矢繼早の速攻を敢行これを持前の鋭いダッシュで生かして前半三對一と開いた、一方ハンガリーもあざやかなコンビネーションでこれに拮抗し後半に入つて優勢を持したが決め手なく兩軍一點に止り結局四對二でイタリーに凱歌が上つた

◇決勝
イタリ 4(3—1)2 ハンガリー
(1—1)

蹴球新人强化策

關東蹴球協會技術部では新人指導養成に乘り出す事となり各中學校から希望するコーチの斡旋をはじめ充實、統制のため管轄下にある各大學の優秀選手中コーチ適格者を登錄せしめ、七月上旬コーチに關するコツ亞に技術指導の方針を指示して派遣する事となつた

廿六日の運動

◇蹴球（東京醫齒藥リーグ戰）
日 齒 3——0 東 齒

S13.6.27



◇…早大蹴球部では今年度夏季合宿練習を來る八月二十三日から二週間輕井澤の同校運動場で擧行する事となつた

S13.7.1



◇…關西實業團蹴球の雄、鐘淵紡績及び新興三菱兩チームは今般東部遠征する事となり關東實業團のNO・1第一生命と試合する
△七月十日午前十時三菱對第一生命、午後四時三菱東西對抗（以上神大）△七月十七日鐘紡對第一生命（時間下場所未定）

S13.7.8

蹴球候補四十六名

富士山麓で合宿練習

大日本蹴球協會では東京大會夏の强化策として來る十日から二十四日迄富士山麓山中湖畔山中山莊において第三次合宿し竹腰指導委員長ほか各指導委員の下に練習が行はれるが、協會は五日午後日本代表選手候補者四十六名を左記の如く發表した

何指導は自宅研究を待つて個人技の擴充に留意し乍らセンター・フオアワードとウイング・フオアワード、インナーとサイド・ハーフ、センター・ハーフとフルバック、ゴールキーパーの緊密なる連絡關係にある四部門に分つて行はれる事になつてゐる

【GK】中垣內勝久（文大）津田幸男（慶大）不破盛（早大）岡本純一（京大）

【FB、HB】植田孝一（東大出）關野正隆（早大出）金容植（普成專出）李炳奎（延禧專出）石川祥平（慶大）加藤誠夫（慶大）平原隆（慶大）吉田義臣（早大）柴田淑彦（早大）三宅信好（早大）菊地宏（東大）關義雄（東大）大山政行（東大）松浦利雄（文大）三澤忠男（文大）安井準（京大）水下勇（神商大）川北光男（關學大）

【FW】大谷一二（神商大）右近德太郎（慶大出）加茂健（早大出）福島幸太郎（慶大）二宮祥一（慶大）篠崎三郎（慶大）小畑實（慶大）加茂正吾（早大）高橋英辰（早大）末岡榮孝（早大）渡邊襲淸（早大）直木和（東大）片岡萬二（明大）原崎敏二（文大）小野禮年（京大）岡野二郎（關學大）中村直雄（關學大）室山知（神商大）田中元一（關學大）裴宗鎭（全普成）金成玕（全延禧）李惠德（全延禧）

S13.7.6

S13-7-15

オリンピック大會中止
木戸厚相返上を聲明

オリンピック東京開催問題は各方面の注意を惹いてゐたが萬國博覽會の延期と同時にオリンピックの返上已むなしと十四日木戸厚相は遂に決意し或ひは十五日の閣議においてこれが返上に關する政府の態度を正式に表明することになる模様である

木戸厚相談 オリンピックを萬國博と切離して考へることは出來ぬと思ふ、オリンピックに對する政府の態度を決定すべき時期が到來した譯だが國を擧げて戰時體制に備へてゐるときオリンピックだけをやることは不可能だ、眞に仕方がないと思ふ

一九四八年を希望する

國際オリンピック委員 副島道正伯談

延期するは中止の形式問題で萬博は事變後まで延期とすることが出來るがオリンピックは一九四〇年を延期する事が出來ない、又之を主催するは政府に非ずして德川公を會長として水井郁三氏を事務總長とする東京オリンピック組織委員會にあり東京組委員はIOC（國際オリンピック委員會）の委囑をうけたものであるから中止と決定すればこれをまづIOCに返上せねばならない、かくてIOCは臨時總會を開いてこれを東京以外の開催を希望する都市に改めて委囑することになるであらう、現在としては夏季はロンドンに冬季はフインランドのヘルシンキ若くはノルウエーのオスロが開催を最も希望して居る都市である

米國のオリンピック委員ブランデーヂ氏よりの通信は日本が侵略國ならば英國もまた然り米國も同樣であるこの際英國に讓るといふ事は同じ侵略國に讓るのであつて寧ろ戰爭の渦中にある英國に讓るといふのは當を失してゐるといふ事が記されてあつた今日返上も情勢から見れば止むを得ない吾々は今後一九四四年は無理であらうが一九四八年の大會を希望するこれは明年ロンドンに於けるIOC會議の際に强調する事にするつもりである

十六日の運動

◇蹴球 北日本高專選決勝 二高 3—1 東農、北大豫 1—0 高岡高商

S13.7.17

廿三日の運動

◇蹴球 中等東海豫選決勝 愛知商業 2—0 刈谷中學
△同九州代表決定戰 海星中學 5—0 嘉穗中學

S13.7.24

慶大蹴球部渡滿

慶大蹴球部は廿七日午後九時東京驛發列車で滿、鮮遠征の途に上つた、一行は廿八日正午神戸出帆の熱河丸で大連に直行、卅一日の對大連全日本人選拔軍戰をふり出しに、奉天、新京、哈爾濱、京城と轉戰六試合を行つて八月十三日頃歸朝する豫定である

S13.7.28

第一生命敗る（蹴球）

湯淺蓄電池對第一生命の蹴球戰は十七日午後二時から東高球場で竹内、福島、奥井三君審判第一生命の先蹴で開始、東西の實業團を代表するナンバー・ワン同士の試合だけに內容は豐かなものであつたがリーグ戰を終つて殘何もない湯淺は練習が積まれてゐるだけにプレイに無駄なく殊にゴールゲッター三崎を中心とするセンタースリーの洗練されたプレイは練習不足に加へ陣容編成に苦しんでゐる第一生命とタイに試合を運ぶうちにもチヤンスをよく捉へて勝利を得た、先づ順當の結果であらう

湯淺 3（1—0 2—1）1 第一生命

【湯淺】
GK 遠田 元井 田本 田崎 南 田
FB 吉三 平
HB 高鍬 津岡
FW 遠田 本崎 塚森 部葉

【第一生命】
GK 7
FB 2 6
HB
FW 3 4 19

大浦 横山 松山 大大塚 千

北日本蹴球 二高三連勝

【仙台電話】本社後援東北帝大主催第九回北日本高專校蹴球大會二高對北大豫科の決勝戰は十七日午後二時から東北帝大工學部グラウンドで猛雨中を擧行

二高 2（2—0 0—1）1 北大豫

S13.7.18

二十九日の運動

◇蹴球 全國中等山神靜豫選第一日（靜岡）
見付中 3（1—1 2—0）1 甲府商

S13.7.30

S13-8-1

慶大蹴球大勝【大連三十一日發同盟】慶應蹴球部渡滿第一戰たる對大連全日本人選拔蹴球戰は三十一日當地に於て擧行六對零で慶應の大勝に歸した

慶應 6 (2—0 4—0) 0 全日本人選拔軍

卅一日の運動

◇蹴球 全國中等山神郡地方豫選最終日

△準決勝

甲府中 6 (2—1 4—1) 2 神奈川師

韮崎中 3 (2—0 1—2) 2 湘南中

△決勝

韮崎中 4 (2—0 2—0) 0 甲府中

中等蹴球開東代表は埼玉師

大毎主催全國中等學校蹴球選手權大會開東豫選第二日の決勝は一日午後三時から浦高球場で擧行埼玉師範快勝し滿蹴代表となる

埼玉師範 8—2 浦和中學

◇京滋奈豫選 全國中等蹴球京滋奈豫選第一日

八幡商 8—1 福知山中

叡賢師 4—2 京都師

一日の運動

◇蹴球【大連發同盟】

慶大 3 (2—1 1—0) 1 大連滿洲人軍

S13·8·2

開成中、青師勝つ

中等蹴球東京豫選

大毎主催全國中等學校蹴球選手權大會東京豫選第一日は三日午後零時半から參加十八校を集めて開幕第一日は第一回戰二試合を行つたが慶曾は豫想を裏切つて敗れ、青山師は獨協中に大勝を博した

開成中 2 (1—0 1—0) 0 慶曾

(小長谷、平井、榎原三君審判)

青山師 6 (7—0 9—0) 0 獨協中

(吉田、西川、阿部三君審判)

S13·8·4

四强勝殘る〔中等蹴球東京豫選〕

大毎主催全國中等學校蹴球選手權大會東京豫選第二日は四日午後零時半から東大球場で第二回戰四試合を擧行、附中、東高等、府八中は一方的試合を以て堂々と勝ち殘り曉星中對青學中の試合は接戰の末延長戰に入つて勝敗決せず曉星中が抽籤で殘る事になつた

附屬中 12 (5—0 7—0) 0 府二中

東高等 10 (6—0 4—0) 0 附學中

府八中 8 (6—0 2—0) 0 東農師

曉星中 2 (1—1—1 0—0—1) 2 青學中

(抽籤勝)

S13·8·5

中等蹴球東京豫選

第三日二回戰成績

大毎主催全國中等學校蹴球選手權大會東京豫選第三日は五日午後零時半から東大球場で第二回戰四試合を擧行、順當に五中、豐島、青山の兩師範が快勝し、本郷中對府高等は無得點で延長戰に入り勝敗決せず本郷中が抽籤で殘つた

五中 5 (3—0 2—0) 0 府一商

本郷中 0 (0—0—0 0—0—0) 0 府高等

(抽籤)

豐島師 9 (5—0 4—0) 0 倉中

青山師 7 (3—0 4—0) 0 開成中

野村蹴球代表 來月三日歸朝

六月パリに開催された國際蹴球聯盟總會に日本代表として出席した大日本蹴球協會理事野村正二郎氏は、その後獨、伊、英の蹴球協會を訪れ、目下郵船龍島丸で歸朝の途にあるが、五日同氏より蹴協宛に九月二日神戸着の旨入電があつた

S13·8·6

中等蹴球東京豫選

第四日準々決勝成績

大毎主催全國中等學校蹴球選手權大會東京豫選第四日は六日午後零時半から東大球場で準々決勝四試合を擧行、曉星、青師共に惜しい試合を落し結局附屬中、府八中、府五中、豐島師が準決勝に進む事となつた

附屬中 4 (2—0 2—0) 0 東高等

府八中 2 (2—0 0—0) 0 曉星中

府五中 2 (1—0 1—0) 0 本郷中

豐島師 2 (2—0 0—0) 0 青山師

S13·8·7

豐師、八中殘る

中等蹴球東京豫選

大毎主催全國中等學校蹴球大會東京豫選第五日は七日午後一時半から東大球場で準決勝二試合を擧行府八中對附中の試合は附中の强攻を八中よく凌へ無得點の儘延長戰に入つたが共にFW線の決定力を缺いて勝敗なく抽籤で八中が殘り一方府五中は反撥絶く一點を挽回したに止まつて豐島師が快勝した

府八中 0 (0—0—0 0—0—0) 0 附屬中

(抽籤勝)

豐島師 3 (2—1 1—0) 1 府五中

◇…

【大阪電話】阪和地方決勝

明星商 4 (2—2 2—0) 1 和歌山師

◇……◇……

【神戸電話】兵庫豫選第二回戰

神戸一中 3—0 關西學中

縣立一商 2—1 灘中學

第一神港 2—1 甲陽中學

姬路中學 2—0 龍川中學

S13·8·8

東京代表は豐師 中等蹴球

大毎主催全國中等學校蹴球大會東京豫選第六日の八日は午後三時から東大球場で豐島師範對府八中の決勝戰を擧行、試合は八中先蹴、竹內、小長谷、西川三君審判で開始、豐島前半CK後の波瀾の中を衝いて一點を先取すれば八中は後半これもCK後の混を衝いて1—1となり互に勝機をねらふうち豐島またもCK後のチヤンスをとらへてゴールをあげて勝敗を決定

豐島師 2 (1—0 1—1) 1 府八中

【八中】

谷山 板本 原澤 川澤 藏倉 親

仲 船矢 松松岡 横寺越 永大

KB FB HB

GF FW

木島田澤 黒谷堂澤 木井 藤

10 2 6

3 12 14

KK CK

CK FG

【豐島】

S13·8·9

十一日の運動

◇蹴球【京城電話】

全京城 2 (2—0 2—0) 2 慶應

S13·8·12

中等蹴球 組合せ

大日本蹴球協會主催第二十回全國中等蹴球選手權大會は二十五日から五日間甲子園南運動場で擧行されるが組合せは左の如く決定した

△第一日　愛知商對熊本師、滋賀師對台北師、宮崎中對廣島一中、富山師對明星商

△第二日　埼玉師對高知商、函館師對崇仁商、東北學院對海星中、豐島師對神戸一中

S13・8・24

全國中等蹴球 第一日

【甲子園電話】大阪毎日新聞社主催第二十回全國中等學校蹴球選手權大會第一日は廿五日午前十時から甲子園南運動場で一回戰を擧行

◇一回戰

愛知商業	7	1―1―0	0	熊本師範
滋賀師範	6	1―1―1	2	台北一中
豐島一中	5	4―1―0	0	宮崎中學
明星商業	2	1―1―0	0	富山師範

S13・8・26

全國中等蹴球 第二日

【大阪電話】大毎主催大日本蹴球協會主管第二十回全國中等學校蹴球選手權大會第二日は二十六日午前十時半から甲子園南運動場で第一回戰殘り四試合を擧行

◇第一回戰

埼玉師範	4	2―1 2―0	1	高知商業
崇仁商業	2	0―1 2―0	1	函館師範
海星中學	4	1―1 3―0	1	東北學院
神戸一中	3	1―1 2―1 1―0 2―0	0	豐島師範

S13・8・27

埼玉師範敗る

【大阪電話】大毎主催大日本蹴球協會主管第二十回全國中等學校蹴球選手權大會第三日は二十七日午前十時半から甲子園球場で第二回戰を擧行

滋賀師範	3	2―1 1―1	1	愛知商業
豐島一中	3	1―1 2―0	0	明星商業
崇仁商業	2	0―0 2―0	0	埼玉師範
神戸一中	3	2―1 1―0	0	海星中學

S13・8・28

全國中等蹴球

準決勝成績

【大阪電話】大毎主催大日本蹴球協會主管第二十回全國中等學校蹴球選手權大會第四日は二十八日午後一時半から甲子園球場で準決勝二試合を擧行

滋賀師範	2	1―1―0 1―1―1	1	豐島一中
神戸一中	2	0―0 2―0	0	崇仁商業

S13・8・29

神戸一中優勝

全國中等蹴球

【大阪電話】大毎主催大日本蹴球協會主管第二十回全國中等學校蹴球選手權大會第五日は二十九日午後二時から甲子園球場で神戸一中對滋賀師範の決勝戰を擧行神戸一中は五度目の覇業を樹立した（主審杉村、線審西川、後井）

神戸一中	5	2―0 3―0	0	滋賀師範

【神戸】

畑木　田浦澤貞島川末藤

小荒　宮松水友田貫增加

GK　KB　KK　338

GF　HB　CK　FW

HB　CF　FG

F野川上中原井井元井本　1　6　22

谷野水長村田桑白今石重山

【滋賀】

S13・8・30

S13-9-1

東日本氣力乏し
悉く後半に崩る
全日本中等蹴球總評

昨夏關東代表として甲子園における第十九回全國中等學校蹴球大會に五度目の陣を進めた埼玉師範が堂々たる試合を續けた末に初めて榮冠を東日本に奪つて來たのであつたが去る二十五日から熾烈のもと五日間に亘つて行はれた第二十回大會は連覇を期した埼玉も一勝者となつただけで翌日は本大會から返り咲いた朝鮮地區の代表崇仁商業のため組み敷かれて却き山神顏の非崎中學、北海道の函館師範東北を代表する東北學院中、東京の豐島師範等々はいづれも覇を競して第一回戰に消え失せてしまつた、實に悲運に悲まれたならば埼玉は勿論豐島にしても非崎にしても覇權は遠からうともベスト・フオアの列にその名を連ねる得たらう

▽第一回戰に於て恨を呑んだ非崎、豐島は共に前半一點を奪はれ東北學院中は1―1、函館は1―0でリードするといつた工合で戰況は殆んど互角か乃至は有利に運ばれてゐたものである、第二回戰に進出した埼玉も然り、ところが揃ひも揃つて後半に入るや脊しく止めを刺されてゐる

東日本を通覽すれば體力は東北學院中を除けばいづれも優るとも劣らず、相手の如何にもよるが技術においても總退却をせねばならぬ程見劣りもせず結局は力、技、意の綜合をチーム力に運び得ないのと戰法の變化乏しさが看破されて後半に衝きまくられた爲である、就中チーム力の要素としての氣力の欠如は最も甚だしいものであつた、この種の大會においては氣力體力のいづれかを欠いては勝利への道は進み得ないと心得てよいこれ等を戰術的に見れば非崎の一定したコースを逆り迎へた一即應の妙なき戰術は小型にはまり切つたといふ感を強うせしめた、また埼玉はHB線のフオロウ・アップを怠れた進退は對崇仁戰に於いて齟齬により補足されはしたが對東知戰の場合と同樣に相手FW線に絕好の足場を定めしめてゐた

▽豐島についていふならばインナーの後方陣强化はよく行はれてゐたがFW線の進攻に際し復歸する事が遲い嫌ひあつたのは些程影響するところないにしてもFW線兩翼の非力は著るしく目立つてゐた

▽兩翼の攻撃活動地區が極めて狹小であつたが爲めにチームの圍外にあるといふ感を深うせしめた、これは甚だしく誤れる戰術である

▽中等級チームはなまじ戰術に沒頭し小技に生きて籠城にまるよりも基本技術を修得し研磨して巧味よりも强味を感得せしめるチームとして起つべきである、基礎のないところに完成はない、榮冠を掌握した神戸一中は强味よりも巧味が一際目立つてゐたがその基礎は堅く、傳統の闘魂に地の利が輝うつたとは言へ勝つべく條件を具備してゐた【山田生】

板東投手招かる



◇…元早大蹴球部主將井出多米夫君は東京火災小倉出張所勤務中の所名譽の應召し、勇躍出發

S13・9・1

S13-9-10

秋に備へ各大学蹴球

體當りの力強化

野性的な練習方法

上

大慶

潮鮮遠征を終つた慶大は八月末から日吉台に立籠つて夏の第二次合宿練習を續けてゐる、潮鮮遠征は旅から旅へ、試合また試合といふ無理な日程であつたが最後の對全京城が二對二の引分けであつただけで連勝の記錄を殘してゐる、顧れば初夏六月三年連覇を豫想された全日本蹴球選手權大會の決勝で早大のために一敗地に塗れた、この屈辱を雪ぐべく、猛練習を續けてゐるのだ、

この練習は從來あまり顧みられなかつた體力の強化、體當りの強味を增強するといふところにある、敏捷な技術の極地に立つてからの頑張りを求めつゝある、換言すれば野人に還つて無双の體力を築きこの體力にも物をいはせんとしてゐるのだ、

七月中旬から行つた山中山荘の合宿は潮鮮遠征の間であり、目下行ひつゝあるものは勿論リーグ戰に備へての練習である、この練習の目標は從來あまり顧みられなかつた體力の強化、體當りの強味を增強するといふところにある、敏捷な技術の極地に立つてからの頑張りを求めつゝある、換言すれば野人に還つて無双の體力を築きこの體力にも物をいはせんとしてゐるのだ、

二十七日の合宿練習開始以來殆ど雨に祟られてゐるが、この間一日の休養もとらず午前は日吉台を中心とし大倉山、多摩川、川崎などと放射狀にコースを選び十キロ內外を走つてゐる、これに依つて耐久力が高められつゝある事は云ふ迄もない、午後は主としてキツキングの練習に充てゝゐる、續へよ、續へよ、續へよの一本槍で機敏の齒車を浴びる樣に一人の選手に向つてボールが飛んで來る、ホツと一息つく間もなく次のボールを處理する激しい練習が七分から十分に亙つて續けられる、全く血の湧み出るやうな猛練習である

晉原に代るに田中、大崎が控へ、篠崎の補充として渡邊が加るが第一次合宿練習で傷ついた脇がいまだ全癒に至らず、篠崎が潮鮮遠征後病んでリーグ戰の出場が危ぶまれてゐる

晉原は體當りになつて位置を交代した練習試合を以て一日が括りつけられる、理論に結びつけられてゐるのを知性の蹴球といふならば慶大が目下試みつゝあるものは野性の蹴球とでも言ふべきだらう、これは結局巧妙に強味を加へたチーム力を求めんとする慶大夏の姿である、この中心からはベスト・チームを中心とするコンビネーション・プレイに關する練習が開始されてゐるがこれ等新人連技巧の上では未だしの感を拭かせるものあるが常間の中に頼母しさがあり、種間、津田、二宮、石川、宮川、猪俣等先輩を凌ぐ程の旺盛たる意氣を示してゐる

大明

〝敵打倒の念〟

飯塚部隊長の遺訓

江南の野に散華した飯塚部隊長が明大の配屬將校であつた關係で「スポーツ精神とは：敵打倒必勝の念なり」と明示されたといふ事である、明大はこの訓へを部の金科玉條としてこの夏の合宿練習を終つた後りに部隊長の訃報に接した、思ひ出の數々、いよいよ切なるものがあると共に、この訓へに關する事を讀び合つたといふ事である、三年振りで山梨水明の仙境附近に合宿し川井先輩の指導の下に十六日間の練習を終つた、猛暑の酷暑で六時半の起床、朝餐を晉んで山道二里を疾走したといふが朝のこの行事からグラウンドが夕餐につゝまれる六時半迄まで汗みどろの練習がつゞけられたさうだ

酒を入れる明大の精鋭は現像に余りあるものがある、技術的の練習としては基礎的練習に主力を注ぎコンビネーションに力を入れたのは最後の四日間であるがこれで大體今シーズンの見透しがついたやうである

技術的には未だ成チームの纏りは見れないが齒の開西遠征以來本當マネジヤーを中心にチームの團結力が昂揚されたのは見逃せない、意氣と力で今日の地位を確保しようとする明大はその目的の半ばに達した夏の合宿であつた

神商大蹴球優勝

【廣島電話】廣島文大主催第二回大學高等蹴球大會決勝戰は二日廣島文理大グラウンドで擧行

神商		高松
戸2	1—0	1高
大1	1—1	0商

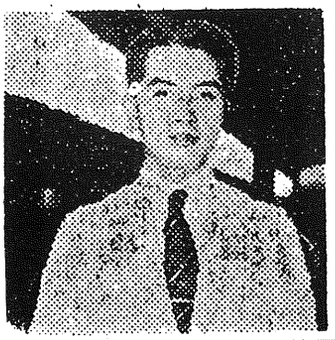
野村蹴球代表歸朝

パリに開かれた國際蹴球聯盟總會に日本代表として出席した野村正二郎君は三日午前九時鹿島丸で神戸に歸着したが即夜大阪經四日午前九時半東京驛着列車で歸京する

S13・9・4

野村蹴球代表歸る

去る五月パリに開かれた國際蹴球聯盟總會に初の日本代表として出席した大日本蹴球協會理事野村正二郎男は世界選手權爭覇區に東京を中心とする新ゾーンの設定に成功し四日午前九時半東京驛着列車で深尾會長外蹴球關係者多數に迎へられて歸朝した【寫眞は東京驛着の野村男】



S13・9・5

秋に備へる各大学蹴球 中

ゴール前で爆發

オープンを狙ひ蓄力

早大

早大は今年も赤坂離宮の高原で四十名近い大世帯の合宿を張つた、去る五日迄の約半ケ月に亘るこの合宿も明けても暮ても雨また雨であつたが豫定の月末三十一日を休養したほかはスケジュール一杯の狂ひもなかつた

早大には嬉が立つまいと言はれてゐた早大が六月の全日本選手權決勝で前半3―1と勝軍を進め後半輝く勝利の一點を加へたものだが勝つた早大も敗れた慶大も一度はその身を抓つて見る様な結果となつた

早大はこの一戰に勝つてその力を知りこれに備へる術について頭を惱ましたがこれがこの夏の合宿にあらはれた、春はキツキングの練習に力を注いだので初歩の技術修得に歸ひ戻つてボールのコントロールから運び走法では急ピツチを要する事とし相撲、跳躍等によつて優れた體力に一層の瞬發性を增大する事をした、試合は三十一日の豫定の休養日を除いては欠かさず行つたAはベスト・チーム、Bは正月のインター・ハイを觀よ高等學院チーム、Cは混成軍としリーグ戰を行つたが試合は四十分、二試合を立て前としたからチームによつては二試合を行よ日もあり、一試合を行よ日もあるが試合續けに引き續つた苦心の跡が現はれる點から隣へのシヨウト・パスはなるべく避けてオープンに早い展開をわらつたところ注目に値するものがある、これはいふ迄もなくミツドフイールドにおける力の徒費を避けたものでありこゝに浮きあがつた力はゴール前に傾注する事とした、たから攻めるのも守るのもゴール前一ゴール前に粘り切つて一切合財をこゝでぶちまけるといふ事になる

ゴール前の瞬發として編へたゞけの効果があがつたと選手自身が認めてゐるところいよ〳〵慶大に勝つてもわが身を抓つて見る必要がなくなつた――といへようか就中攻撃力を持つたのはOL高橋でOR に擬せられる米谷も進境著るしい一人であるといへよう加茂がこれ迄の合宿に於て瞬發した事のない合宿であつたと思らすあたりこの合宿の効果は想當のものと認められる

斯かる中に新人石川の擡頭も見逃せない一つである、そこで今シーズンの理想される陣容は大

大農

弛緩の氣力一新

FW線の整備と連繫

慶大は八月廿五日から十五日間名古屋の鶴舞公園で練習を行つた、慶大としては珍しい二十余名といふ多數の合宿練習である、こゝは完成への前歩で新人の多いFW線の整備とFW線とHB線との連繫にあつたが元氣な小林を中心にして大體所期の目的に副ふところがあつたと見られる、だが明大打倒、東大攻落の目標にしては、スピードに欠け、一瞬必中のシユートに乏しく感ぜられるところであるが赤間マネジヤーの合宿あけの弁を借りると

本吉 正田 伊井坂 免武林 部
GK FB HB FW
川 佐吉 富石橋 定佐小 磯

といふ陣容が理想される
小松、成、深谷などのこの合宿でメツキリ磨きのかゝつた新人が後詰めとなつてゐるのに心強さがあるらしい、春の緩んだ氣分が拭はれたところに期待がかけられてゐる、暑い名古屋に合宿地を求めたのも技術を超越した氣氣のチームに遇る必要に迫られたからであつた

共に合宿した立大と練習試合を行つたがこの成績は3―0、5―3で二度とも敗れてゐる、合宿練習の眞髄に立つてゐるときのものでこれを以てその實力を云爲する事は出來ない、暫くもその缺點を猛省して規律的に行はれたこの合宿の効果は元住吉に於ける今後の練習にあらはれるものと見られてゐる

慶左の如く見られてゐる
GK 不吉 破田 川
FB 正石 田野 岩
HB 西栄 村谷 藤岡 渡邊 橋
FW 高末 加渡

S13-9-14

S13-9-15

秋に備へる各大学蹴球 下

湖畔の精神修養
最強チームの建設へ

東大

東大は鵠沼富士を仰ぐ明媚の山中湖畔のその寮に去月二十四日から廿余名が立て籠つて行はれた、時期が時期だけにこゝも雨の日が打ち續き、殆ど陽の目を見ずじまひでこの八日迄の豫定を繰上げて六日引揚げ、十一日から本郷のグラウンドで本格的の練習を開始した春に引續いて基礎的技術の練習を目標としたが物凄い山雨のために練習も意に任せず夏の合宿練習は結局豫期に反するものとなつたといふがこれは表面にあらはれただけのことで山中生活の二週間は決して無駄ではなかつた

新人直木の著しい上達があり、大山の進歩が目立つてゐるのは、假令合宿の豫定に狂ひを來したとしても技術練習を通して戰鬪意識を明瞭ならしめるといふ理想に近い收穫である

竹腰、手島の兩先輩がかはるがはる山中を訪れたが、それぐの理想はあるが夏の合宿の目的からして「選手各自の自覺に待つ」といふ方法が採られたこの點この合宿練習の特異的のものであるとも言へるだらう、竹腰先輩は語る

高校ばりのから元氣ではなく落ちついた氣持——心構へのもとに、どこが相手といふ目標を定める事よりも自己を相手とする內省的の點に力を注ぐ事が大切と思つた、勿論第一試合の最大戰に最大を無視するといふのではない、このシーズンに最大最強のチームを建設したいといふ念願からすればさうでなければならないと信じてゐる、菊池、鷹、阿部、松村、田村、樂島などの古い選手を中心にして行くが、これ等の選手にとつては最後のシーズンである、然しこれが最後のシーズンといふ樣な氣持を持たせぬやうにしてゐる、試合は常に次に控へてゐるものに向つての出發であつて最後ではないといふ平靜な氣持で試合に臨む事が肝腎だと思ふ

このあたりに先輩の苦勞が滲んでゐる、春の終り頃に勝關節をいた

文大

文大は信州松本の松本高校に少い手勢を引きつれて竹內、鹽野、阿部の三先輩を中心として部分よりは全體、個人技よりは綜合練習に重點を置いて血の滲み出るやうな猛練習を行つた

優れた體力の上に旺盛なる闘志を盛り上げてひたむきの練習を行つたがこの結果は何時、如何なる時にも戰ひ得るだけの戰備は成つた——といふのが夏の合宿の報告である

互に泣き笑ひ鬪ましあひ乍らの自の理論よりも一つの實踐、能率的であるよりも反復練習を貫んだこの練習は全く鍛錬そのものでこの激しさは他に見られないものでつた、これがこの秋如何なる實を結ばしめるかは兎も角、既に魂の戰ひが火花を散らしてゐる——といふ選手のハリキリ方である

理論より實踐
鍛錬に張切る選手

横山が控へてゐるいよ〳〵仕上げにかゝつたが今シーズンの陣容は

【GK】岩動【FB】樂島、大山【HB】田村、菊池、鷹、長谷部横山【FW】奥田、直木、阿部大槻、松村、飯島、河西、大屋

十七日の運動

◇蹴球
早大二軍 5——0 拓大
（東京中等リーグ）
❶豐島師 7——0 青學中
❷府九中 2——2 本郷中
❷慶 習 2——0 明學中
❷東高等棄 權 府一商
❷早 實 5——1 獨協中

S13.9.18

十八日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ）
❶府五中 1——0 府八中
❷府高等 3——0 明學中
❷本郷中 6——1 慶 習
❹開成中 4——0 府七中
❹城西中 2——0 成城第

S13.9.19

早大快勝
對立大蹴球

早大對立大蹴球定期第一回戰は二十一日午後三時から東伏見球場で西松（主）石川、杉（線）二君審判の下に擧行、試合は前半3——1後立大の追擊鋭く3——2と迫り殆ど互角に爭はれたがこの後早大FW線の奮ふに及んで試合は一方的となり早大は七點を加へて先勝した

早大		立大
10	前半	2
7	後半	1
3	計	1
石田谷野田田藤宮村仁	白	【立大】
【內藤藤武植藤二中今】	澤	4 9 13
GK		GK FK GK
FB		FB
HB		HB
FW		FW
破田田田宅野谷岡茂邊橋		7 1 10
【早大】		

不吉庇架二番來未加藏高

S13.9.22

二十一日の運動

◇蹴球
早大二軍 4——1 立大二軍
△中等學校リーグ
❶府八中 4——0 青學中
❷開成中 10——0 市二中

S13.9.22

二十四日の運動

◇蹴球
成蹊高 2―0 成城高
早大二軍 4―0 商船
【東京中等リーグ】
❶青山師 4―0 府五中
❷本郷中棄 櫻明學中
❷府高等 2―0 府九中
❸府一商棄 櫻成城中
❸府二中 0―0 獨協中
❹暁星中 10―0 市二中
❹開成中 3―0 成城學

S13・9・25

廿五日の運動

◇蹴球
早大 5―0 農大
早二軍 2―1 慈大
（東京中等リーグ）
❶青山師 11―0 青學中
❶豐島師 4―0 府八中
❷本郷中 0―0 府高等
❷府九中 6―1 慶譽
❸東高等 5―0 府二中
❸早實 3―0 府一商

S13・9・26

來る二日の蹴球祭

關東蹴球協會では來る二日恒例のシーズン開きとしての蹴球祭を神宮競技場で開催するが本年はこれに先だつて大學、高專、中等、倶樂部、實業團の加盟八十余チーム總動員して午前八時千名に垂んとする蹴球部隊の明治神宮參拜を行ふ事に決定し當日のプログラムと共に二十六日これを發表した
【高專第二部】青學對横浜（9時10分）【實業團第一部】第一生命對朝日新聞（11時）【中等第一部】豐島師對青山師（1時20分）【大學第一部】早大對明大（3時）

S13・9・27

廿七日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ）
❶豐島師 2―1 府五中

S13・9・28

二十八日の運動

◇蹴球 東京中等リーグ
❹暁星中 5（1―0 4―1）1 府七中

S13・9・29

二十九日の運動

◇蹴球
早大 6―0 豐島師

S13・9・30

S13-9-30

順調なら慶大制覇

打倒目指す新味の早大と東大

關東大學蹴球戰豫想

來る二日嚴かに執り行はれる恒例の蹴球祭當日早朝の一戰を以てシーズンの幕を開ける關東大學蹴球リーグ本年度の編成は

【第一部】慶大、東大、早大、文大、明大、農大

【第二部】商大、立大、法大、拓大、慈大、千醫大

【第三部】工大、中大、日醫大、國大、上智大

である、十一月二十七日の慶帝戰を殿りとして六旬にわたり四十試合が行はれるが第一部の爭覇はこれが覇權を左右する名實共に關打ちの一戰となるか、これに先立つて行はれる早慶戰が王座を決するものとなるか開幕を前にして噂とりゞくである

▽慶　大は六月の全日本選手權大會には主將横關欠場のため豫想通を裏切つて早大に敗れたが、ベスト・チームを以てこのシーズンに臨み得るならば依然として優勝候補の隨一に擧げ得る、夏季の二回にわたる合宿練習、横關選征が效をつけ野性的な練習法を採用したところ巧妙に處置を一段と增し、神經質的なプレイを清算し豪宕さを求めつゝあるところに異常な期待がかけられるところで眞價ついた笠原の出場が可能か否かであるがこの憂なしとすれば百餘の相手であらうとも洗練された技術が物をいふ事にならう

田邊川原川島中崎上濱園田堀俣
津加宮笠石島田篠井渡羅二小猪
GK FB HB FW

▽東　大は早大と春一勝一敗の戰績を擧してゐる、中でも全日本選手權關東豫選の敗戰は延長戰の末になされたものであり主將菊地の右膝關節脫臼による出場如何が不安を宿してゐるが菊地の出場が可能ならば慶早と堂々の對陣をなし得るチーム力を持つてゐる前線では直木の向上、守備陣では大山の上達が著しく最強チーム建設への精進は現在において目立つたところはないが二三四シーズンに見られなかつた旺盛なる精神力が蓄へられてゐる、FW線についていふならば華かな得點力はなく鋪走の欠點はあるがチヤンスを確保する判斷のよさは見逃せない、巨星橫田なき守備線は巧級之しくとも強靱といふ點において些程欠けたところがない

春早大が慶大を破つた事によつて引き立てられるところ多く相當の自信を持つてゐる、早慶と對戰する迄には必ずチームの大成をなすといふ意氣込みは偽り難い、なまじスターブレイヤーのないところに東大の强味があるとも見られる

動島山村地山石部　田木西部楓村
岩築大田菊横力長　奥直河阿大松
GK FB HB FW

▽名　選手を多數送り出して大打撃を蒙つた早大は加茂、吉田を中心として再建め着實に揮き得たのも春の幸運の勝利があつた、新陣編成以來概調な歩みをつゞけ加茂を中心とする米谷、末岡、渡邊、高橋のEW線は加茂の球捌きが飛躍すると共に得點力が增大した、見樣によつてはこれが早大の强味でもある、この夏の合宿にがてミッドフイールドの徒勞を省き早いオープンへの展開によりゴール前での爆破は慶大が疲れ切つた後の血路に磨きをかけるのと戰術と體力の相異はあつても共にこの成否に對しては興味のあるものである

立大との練習試合に於ける早大のオープンへの展開は必ずしもその理想に近いとは言ふを得ないが從來の早大からすれば新味として十分認め得るものがある得點コースとして渡邊、高橋の左側に球を集中する事の當否は二日の對明大戰に於て檢討の資料を提供するであらう、しばらく埋もれてゐた柴田を起用し末岡をFW線に引き出した事に依つて先づ補强はなつた

慶大打倒の成ると共にその因つて來るところを究明し得た早大は翌明であり自らをよく知る事が出來たのは强味を加へたといへる

破田田田毛野谷岡保渡邊橘
不吉此柴三浦米末小加渡高
GK FB HB FW

▽藤　田の出場が危まれてゐた文大も病める小川の欠場のみで食ひ止め得た一方横原の關參があつて前シーズンに比べれば陣容の變動は少い、技術的には洗練味之しい點ひはあるが關結力の鞏固は近來そのチームに於て見ないところのもので期待しいものがある、中堅内を中心にして結束し血の滲むやうな練習の賜物でありシーズンに入ると共にこの効果は顯著なるものがあらうと期待される

キヤク・アンド・ラッシュの型を多分に含めてゐるがその體力からすればこの際この型に徹する事を願つた方がよい自らを知る者は强く、なまじ鵺の眞似をしては溺れる憂がある

全日本選手權關東豫選に於て無敵の慶大と1——1延長戰に入つた好戰の記錄はこの後五點を奪はれて泥土に塗り潰し去つた、1——1が精一杯の事であつて見れば致し方ないにしても延長戰に入つて木ツ葉微塵にひしがれた事は數々の教訓を垂れてゐる、これを契機として出直した文大これが興味を深からしめてゐる

内浦塚藤田口正林村崎和原
垣　杉三佐藤川原小中原多槇
GK FB HB FW

▽更　生の前に努力と練習を惜しまぬ明大は强く評價されてゐるが小型ながらも縱に横に支柱の建設が成つた、技術よりも精神力に生きる者を打つて一丸としたところ明大の身上でもあらう、第三位爭ひに關りあがらうとする意氣のチームともいひ得ようか、石川の擧ゆるFW線、眞摯な南が控へるHB線、智者中島あるFB線はそれ〴〵噂の上を行くであらうと見られる、相手のプレイに眩惑される事、その地力を遺憾なく發揮する事に努力し得れば更生の實を擧げ得ないとしても早大とは快闘を演ずるだらう

齋明野澤權
中島　田岡内川兒
田中生友田　山片竹石中
GK FB HB FW

▽術　氣を抹殺した慶大は東大の攻落に腐心してゐる、名手に乏しくとも東大のやうに精彩ある選手を欠かうとも本年は均衡のとれたチームとして期待し得る、勿論く事なき執拗の試合ら拂み得るならば必ずしも末位の格附は擯されぬのであるが從來の欠點とされた術氣の外の弛緩が變動すれば第一部にとゞまる事は難事でない

本正岡樺井坂谷武林部松
川佐吉富石穗深宗佐小磯小
GK FB HB FW

第二部では立大が復活を期して虎視々々たるものがありこれと並ぶものに商大がある、法大、拓大、慈大、千葉醫大の追擊果して奏功するかどうか危ぶまれる（山田生）

S13-9-30

S13-10-3

早大、明大を破る

シーズン開幕を飾る蹴球祭



早明蹴球戰　前半明大ゴール前に早大のシュート成らず

第四回蹴球リーグ戰は二日午前に屬まれて正午から神宮競技場において開催された、この日午前八時前東京蹴球協會加盟八十一蹴團千五百余名は内野協會長に引率されて明治神宮に戰勝祈願、早軍の武運長久を祈り正午大學十七チームを先頭として高專、中等、實業團、俱樂部の順に部旗蹴球を掲げた八十一チームの大行進を行ひ続後の意氣を示した

續いて大學、高專、中等、實業團の各リーグ戰を行つたが成績は次の通りである

◇高　專

青　學　2（0―1　2―1）1　橫　專

◇實業團

第一生命　2（1―0　1―2）2　東京朝日

◇中等學校

豐島師　3（1―1　2―0）0　青山師

◇大　學

早大對明大戰は午後三時から神内（主）芝地、雨天（線）三百番判の下に明大先攻で開始

早　大　4（2―0　2―0）0　明　大

◇前　半　早大は九分加茂中央線を越えて左に倒いた球をOL高橋右前好送球LORR米谷GKの頭を働いてプッシュし一點を先取二十一分OF加茂の返球をLH田野右前に長送球しこれを米谷きめて2―0と開く

◇後　半　八分早大はペルナティキックを得加茂キックしたがGKの正面を衝いて止み三十一分早大はOL高橋突き刺れなかつたが加茂に送り、加茂バック・パスしこれを渡邊クリーン・シュートして一點を加ふ、三十七分早大は荘田の前送球を高橋受けてパントすれば高く流れ前出せるGKを越えてゴールイン

【明　大】

（省略）（種）
宇高野洋中　島崎内川田
田中生友田　中片竹石山
GK　B　B
F　H　B
F　W
不田田田内野谷岡茂邊橋

【早　大】

2 2 0 0
K K K K
O F G P K
8 5 0 0

破吉荘栗織荘米末加藏高

早明戰評

◇…早大の快勝はその實力からすれば順當のものであつた、多少不安を感してゐた明大の守備線が南の好位置によつて好闘を續けたのに反しFW線が得點絶無は案外であつた、早大守備線とて未だ完璧を期するに至つてゐないがデヤンスらしきものが兩三度を數ふるに過ぎずとあつてはFW線微力といふの他はない、この結果を感じたものはいふ迄もなくパスワークの組織拙劣にあつた、キックオフ直後の滑らかな進撃は或る期待を持たせたものであつたがそれは一通り洗練された型を示しただけのものであつたに過ぎない、前シーズンに比しチームの氣品も具はり全般的に進境の跡を知るがチームとしての支柱を持つに至つてゐない、この結果攻防に確信のあるプレイを見るを得なかつた

◇…早大はFW線の得點力はスコアされたものが少いにしても略完成したといへよう、中盤における努力の報酬を缺けた速攻急展開もその跡をなしてゐる、然しその機構が完成したといふには未だ早い、高橋、渡邊、米谷等に相當の期待をかけ得るし末岡の老巧、加茂の大成は強力なるFW線として十分希望をつなぎ得るがショットに無縫作である事はこの日のスコアを寡少ならしめた、明大FW線に鋭さの乏しいためにその守備線の力量はこれを檢討するに資料乏しいがこの春に比して躍進の跡を知る事が出來る

◇…とまれ明大は未完成チーム、早大は略完成したといふところからすればこのあたりに落ちついたのは止むを得まい、明大は今後支柱の建設を急で一方個々の洗練に特に留意する必要があると思はれた（山田生）

【第二部】

立　大　2（2―0　0―1）1　慈　大

關西學生蹴球　第一日

【大阪電話】關西學生蹴球リーグ第一日は二日甲子園球場で京大對神商大戰を擧行

京　大　2（1―1　1―0）1　神商大

S13.10.3

一日の運動

◇蹴球

成　蹊　0―0　府　高
早　大　2（1―0　1―0）0　商　大
二　軍　　　　　二　軍

△東京中等校リーグ

❶府五中　3―0　青　學　中
❷府九中　2―0　明　學　中
❸府高等　1―0　慶　書　中
❹成城第　1―0　府　七　中

S13-10-2

二日の運動

◇蹴球（中等リーグ）

暁星中　4―2　開成中

（高專リーグ）

明　專　1―1　高千穂高商
一　高　4―0　成　城

S13.10.3

島田、野村兩蹴球代表歡迎會

國際蹴球聯盟總會に代表として出席した島田、野村兩氏の歡迎會は二日午後六時からレインボウ・グリルにて開會、野村氏の世界蹴球選手權大會の概況、島田氏の總會に關する報告あつて九時過ぎ散會した

S13.10.3

S13-10-7

技術と意氣の帝・農

明大、慶大を何處まで防ぐか

今週の學生蹴球 豫想

早明戰で幕を開けた關東學生蹴球リーグは矢繼早にこの八、九兩日東大對慶大、慶大對明大の二試合を行ふ事になつてゐる、この二試合とも優勝圈内にある慶大と東大の上位校に對する下位校の對戰であるが慶大は名古屋に於ける夏の合宿練習に於て東大攻落の氣勢をあげ飽く迄旺盛なる氣力を以て打倒を目指し、明大は過日の早大との首途の一戰を遂に不首尾に失ひはしたものゝ玉碎を期して立直り對早稻田戰の意氣を盛つて既に戰備を整へた、見樣によつてはこの二戰とも意氣と技術の戰ひである

東大 はCH菊池が傷つけるために希望多き新人横山を拔擢してその後釜に据ゑると見られるが老練菊池を欠くことは容易に切れぬ相手であると見られる、然し最近著しい進境を示しつゝあるLB大山と樂島との合作は老巧慶と田村の救援に依つて定兎、佐竹、小林、尹、礒部の布く農大FW線に應するにはさして不安を殘さぬ守備線といふ事が出來よう

農大 は最近早大、慶大を相手として5―0、6―0で無得點の試合をしてゐるがチャンスメイカーでありゴールゲッターである尹は相當の技倆を持ちうるさい一人で尹の掩護進擊が成れば無得點試合とは見られない、殊に前記二試合の經驗に徵して兩翼を活用しセンター・スリーの强人を擁してゐるから東大守備線は嚴重の警戒しい動きが强要されよう

石井を中心とする高橋、猶俣のHB線の押しもあり侮り難いが經しの鋭さが依然として矯められるところがなければ東大守備線は手持不沙汰といつた感が深からう、東大FW線の得點力については種々な觀方があるやうだが直木の進歩は見逃せぬし巧味よりも强味を誇る阿部、奇襲的のコースを執る松村、いづれは曲者ぞろひで豫期せぬ波瀾の口火を切る、理づめのヒタ押しといかないで案外なチャンスを作り出すところその妙味であり慶大バックスの苦心せねばならぬところであらう

要するにこの一戰は技術的の巧味に於ては東大はるかに優るものがある、六分四分、或は七分三分東大の有利が豫想されるが意力、體力の優勢を以て對峙せんとする慶大の奮闘の意氣がこれを覆さずとは誰がいひ得ようか、これ迄も東大にとつて苦手の慶大である、東大は油斷全くなし雖く雙頭のこの一戰に賭ければ雌伏六年の精進は水泡に歸する事にもなる

無敵 の冠をこの春早大のため叩き壞された慶大はこれを契機として殻を破つた事實を示し巧技の上に奔放と强力を求めて精進を續け滿鮮遠征の疲勞も全く癒えて晴れの首途を待ち構へてゐる、傷つける守原の起用は覺束ないにしても充實せる各ラインは既に完備した、春不調の二宮も全く立ち直り擂磨とのコンビは愈〻密度を加へ攻撃力は夏以來增强された、鋭い突つ込みにたへる防力の補强も成り、友澤、田中、南のHB線と中島弟生野のFB線が緊密なる救援工作の下に應ずるのも容易ではあるまい、試合興味は慶大の猛攻、明大の頑守をめぐつて展開されよう

明大 は南の廣い强い動きに期待するところは大きいが、對早大戰に比して南の負擔は輕くなく、田中が對早大戰に依つて試合度胸が漸くさだまつたとしても南の負擔をそのポヂションに限定せねばゴールの安泰は期し得ない、如何に明大が守り、慶大が如何なる攻撃を敢行するか、試合の山はここにあり勝敗の分岐をなすであらう

中島兄、片岡、竹内、石川、山田のFW線は横よりも前後の連繫に注意し密でしかも幅のある攻撃線を整へる事がなければ石川を主軸とする守備線、正鵠な判斷の中に進退を誤る事もあるGK津田の虚をさへ一度もつき得ずに終る事もあらう、横に一度廻すを止めてさぐりを入れる手を使つた方が撃破の妙味を持つのではないか、假令單調であつても早パスによつて活路を見出す事に努力せぬ限りは明大にチャンスは來ない

この試合もまた技倆と意氣の爭ひで明大が身を捨てゝ向ふところに波瀾の緒は繰り展げられようが、是がなかつたならば連覇を目指す慶大の壘にはまつた味氣ない試合に墮するものと見られ點差も早明の一戰より更に開くに至るであらう、ゴール前の寄せよりもシューテングレンヂの思ひ切つた擴大があれば明大とて雪敗に終るものとは思はれない（山田生）

商大快勝

關東大學蹴球

關東大學蹴球リーグ第二部廻大對千葉醫大の試合は二日午後三時から総大球場で西松君審判のもとに千葉醫大の先蹴で開始、千葉醫大は商大の守備の虚を衝き二點を擧げて同點で試合を進めたが後半に入り商大は攻撃線愈々冴えて三點を擧げ結局5―2で商大の快勝に歸した、然し優勝候補の商大守備線は案外脆弱の所がある

商大 5〔3―0〕2 千葉醫大

【千葉醫】 橋本、原田、田井、原、村田、村田
GK 高加礪
FB 山石今
HB 大杉添外吉
FW 河
【商大】 森藤、堂崎、野尾、本井、山岡、水野
GK 6
CK 1
CFK 12
GFK 9
0 12

S13.10.4

諾威蹴球戰に勝つ

蹴球シーズン開幕と共に歐洲蹴球界は俄然活況を呈し始めたがこの程オスローでもノルウエー對スエーデンの國際蹴球戰が數萬の觀衆を集めて華々しく擧行（同國）

諾威 2〔1―1〕1 瑞典

S13.10.5

五日の運動

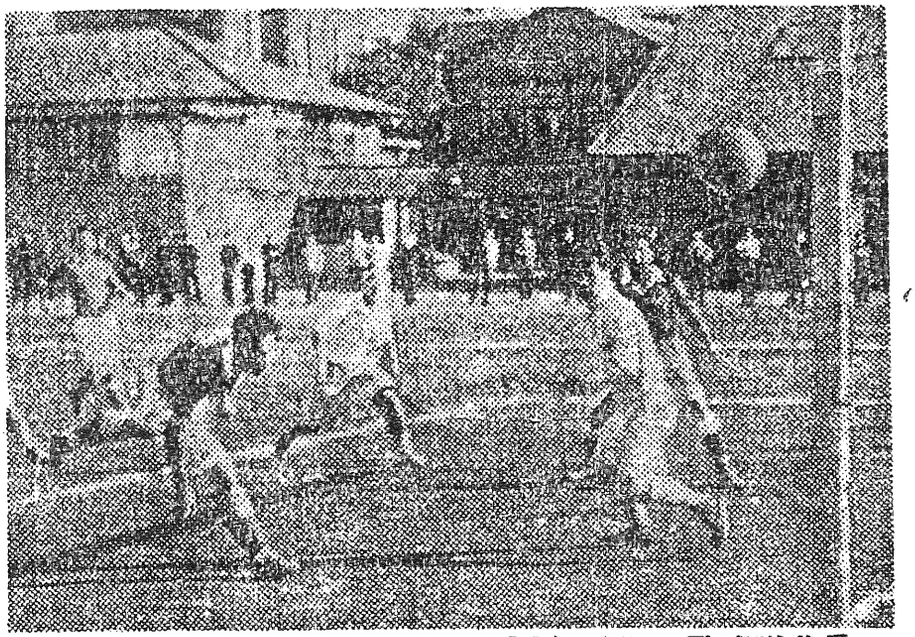
◇蹴球 東京中等校リーグ（一部）
青師 2〔1―0〕0 府立八中
この試合で一部リーグ戰は完了、成績左の如し
①豐師4戰4勝②青師3勝1敗③五中2勝2敗④八中1勝3敗⑤青學中4敗

S13.10.6

S13-10-9

東大、農大に快勝

〔大學蹴球〕



帝農蹴球戰……前半三七分農大ゴール直前のボールをGK石井危くへツデイグンで防ぐ

關東大學蹴球リーグ東大對農大の試合は八日午後二時から東高球場で野村（主）辻、奥井（線）三君の下に東大の先蹴で開始豫想通り東大優勢の試合に終始し3—1で勝つ

東　大　3（2—1）1　農　大

◇…スコアは如何にも接戰を思はしめるものあるが、實質はこれに相違した七分三分の東大絶對的優勢の試合であつた、東大は許さずもがなの一點を失ひしかもその得點は三であつたが十點は擧かねばならぬ試合でFW線の得點力は未完成の域を脫せずこの一戰拙劣の一語に盡きる、これが大成への一段階であり初試合であつても心細い限りで先づ合格脫出せねばならぬのはFW線の技術的の問題よりも焦燥の氣分である

◇…スタートの軍配は農大を壓して天晴れの武者振りではあつたがこの中には機先を制せんとしての焦燥が多分に含まれてゐた

試合は言ふ迄もなく順當な結果を收めたのであるが大器東大の初陣に對し吾輩は多大の失望を感ぜしめられた

◇…農大は尹の負傷で攻撃線を整へ得なかつたが悲慘な進出によつて一點を拾ひ零敗を免かれたがものゝ壓服の意氣に對しゲーム力に濃密さが欠けてゐた、擧ろ徒らに細かなパックパスによつて球の確保を期さうと企てゝ足技これに伴はずまた一般に出足の鈍さと保持力の乏しさによつて試合は終始受け身であつた意技伴はざるの憾みが多く、走力の劣勢が一際目立つてゐた

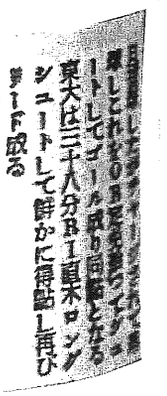
農大は東大FW線の不振によつて蹴敗を免れ得た事を忘れてはならない（山田生）

【農　大】

本藤田横井侯免武林	勝	尹	
川佐吉高石猪定佐小	優		1
GK			6
FB			19
HB			13
FW			6
FW			10
勘島山村山	田木部榊村		
岩築大田横	關	奥倉岡大松	

【東　大】

◇…前半　東大は先蹴を左に大きく廻して左CKを得、OR奥田フリーシュートしたが高くアウト、六分德田決定的のチャンスを凡球を放つて止む、二十七分東大は右側からの送球をLI大槻浮かして前送したがCF阿部凡蹴して終り中央線附近でのFK發右CKを得好蹴を松村シュートしたがアウト、三十分大槻、阿部のパスを阿部シュートしてゴール成る、三十五分農大は尹のロビングの時小林、佐藤前進、東大はGK岩勳敢進し一



蹴してゴール成る、三十五分農大はシュートしてゴール前を脅かすも凡球となる　東大は三十八分R1直木ロングシュートして許かに得點し再びリードを成る

◇…後半　双方一度づつ强攻に失敗し十八分東大はOR奥田の惡球は直本、阿部と渡りゴール右前に寄つた大槻ヂャンスを逸へたがGK川本の正面に放つて止む、三十分東大は阿部右から切り込んでセンターリングし奥田追つたが及ばず松村シュートしたがゴール前を掠めてアウト、三十七分東大はOR奥田廻り込んでゴール左前に伊かしたる球は大槻凡失したが續れた後に奥田フリーシュートして得點3—1と開く、四十三分農は定免の好センターリングあつたが左側進出早きに過ぎて逸機

リーグ戰成績（八日迄）

	農大	明大	文大	早大	東大	農大	試合	勝	分	負	點	定
農大		○	○	×	×		4	1	0	3	2	6
明大	×		○	×	×		4	1	0	3	2	6
文大	×	×		○	○		4	2	0	2	4	6
早大	○	○	×		×		4	2	0	2	4	6
東大	○	○	×	○			4	3	0	1	6	6
農大					×	○	2	1	0	1	2	2
慶東早文明農							0	0	0	0	0	0

九日の運動

◇蹴　球
京　大　3—1　全　大　阪
（實業團リーグ）
千代田生命　2（0—1）1　東京日日
（關東高專リーグ）
❶商　船　4（4—0）1　府　立
❶東　高　3（2—2）3　成　城
❷高　千　穗　3—3　東高工專

S13・10・10

S13－10－10

豫想通り慶大快勝

最後の奮闘に明大零敗免る

大學蹴球リーグ戰

關東大學蹴球リーグ慶大對明大戰は九日午後二時から東大球場で擧行、山(主)小林、小林(線)三君審判の下に明大先蹴で開始、慶大は試合開始後間もなく得點を先取して試合の主導權を握り豫想された如く快勝を博した

慶大 6(3—0 3—2)2 明大

◇…明大は慶大が描いた圖にのつて試合は前半に於て大勢を決した慶大は後半に入つて三點を加へて6—0と大差を作る平々凡々たるものであつたが、明大は最後の踏張り奏功して堂々たる二點を擧げて零敗を免れ、假令敗れたりとはいふものゝ面目を施すところあつた

この試合は順當なものであつたとはいふものゝ慶大について見ればその得點力をよく示した一面守備線の脆弱を暴露し、點差の大を加ふると共に緩みを見せる弊の矯め得ないところを無言のうちにあらはした

明大が比較的脆きに過ぎるシューティング・レンヂの結果屢重なる失敗を重に介せずよく粘つて結局成功したとはいふものゝ慶大の氣分の弛緩があつた事は見逃せない

◇…慶大が相手を釣り込んだところ實力の相違ではあるが明大が慶大の巧緻のパスに飜弄し右往左往する事なく少しも早くその持味を示し得たものならばこれ程迄に開いたとは思はれない

試合であつた、失點が多からうとも得點でこれを追ふ事が出來たであらう、明大は既に作戰において敗れた

◇…明大突つ込みの鋭さと執拗さがない爲めに慶大は思ふ壺に嵌め込んでいとも鮮かな試合し、然かも洗練された優秀な技術を織り合せて快戰に終始したが最後に於て守備線が試練の俎上にのせられた二點ともフリーシュートの遠距離のものである、第二點は津田よく備へたがよくも射角の狹いところを衝かれたと思はれるもの、津田を賞めるよりもノウマークの問題をとりあげねばならない

FW線の迫力、HB線の加增力は際出してゐるが後退に際して一考の餘地がある

◇…明大は重鎭の田中の戰死な出陣に感激した中島兄弟の目ざましい活躍は慶大FW線の猛威をよく阻んだが擧用されを潤水は感激に報ゆるに足るプレイを見出し得なかつたのは遺憾である

中央線附近において一度はキープすべきを廻してプレイを乘にしてゐてはFW線に立直る余地を與へず興味を加へる隙なく潰されるがオチでこの潤滑水として熟考すべきである

◇…慶大は特に試合の最後を飾る事をねらつた點であるのに明大のためお株をさらはれた感がある、シーズン選しとして看過は出來ない(山田生)

【明】大 田岡内川水
齋弟中澤兄
中島 島南
田中田友中
山片竹石淵
GK FB HB FW
CK FK GK
3 4 12
4 6 14

津加宮笠石齋篠播二小猪

【慶】大

立大 慈大勝つ

關東大學蹴球リーグ第二部立大對拓大、慈大對法大の二試合は九日午後一時から青山蹴球場で擧行、立大が快勝し慈大は法大を攻落した

立 大 6(3—0 3—0)0 拓 大

(西川、竹内、笠木三君審判)

【立】大

村田田水地田方川津保林
山河邨淵宮山左北森大小
GK FB HB FW
CK FK GK
4 6 13
9 4 13

石 崎谷藤上村田宮島
澤 白 田蘇海內井中植二田

【拓】大

慈 大 4(2—1 2—1)2 法 大

(渕水、茅ノ根、粉川三君審判)

【慈】大

納澤井 田田藤本美島田
加淵勝 內濱佐山宇馬西
GK FB HB FW
CK FK GK PK
5 13 16 1
2 8 23 0

田島原本野端 井永柳
和猪篠大鈴河川 堰
河 慶安青

【法】大

十二日の運動

◇蹴球 東京中等リーグ
❸東高等 7—0 早實

S13.10.13

◇…中大運動場はこの程板橋區線馬(武藏野電鐵練馬驛下車)に新設され來る十六日(雨天十七日)午前八時から落成記念競技會が開催される

S13.10.12

S13-10-14

今週の大學蹴球二試合豫想

東大雪辱成るか
走力の文大と好取組

蹴球シーズン開幕以來明大の二回優勝をはじめとして慶、早、帝、慶の五大學がいづれもその優勝した勇姿を見せたがこの十五日はいよ〳〵待儀してゐた文大が東大と對戰するのでこゝに六大學は一通り出揃ふわけである

東大はさきに慶大と相見え組上にのつてゐるのでその實力は多くの人々に解されるところであるが文大は夏の合宿練習以來この初試合を專はんとして引き籠り猛練習を積み既に豫告された以上の力を蓄へた

(東大) にとつては昨秋の雪辱を遂げねばならぬ一戰であり文大にとつては返り討ちをくはして幸先よいスタートを切りたいところのものである

文大は昨秋の殊勳者久下を欠いてゐるのはその攻撃力に影響するところは大きいが無力であつたFW線左翼に關り新參の横原をあてゝ寧ろ昨秋よりも平均したラインを布いてゐる、殊に久下の後釜に据ゑた原崎（敬）もビッグゲームに漸く馴れて沈着な球捌きで、寄せも巧みに突つ込みも鋭さを加へ多和また進境のあと著しく原崎を中心とした左側は慶、早と匹敵するに足るものがある

右側は新人小林と前シーズンHB覺で叩き上げられた中村が入り多少左右のバランスを失してゐるやうであるが體力、走力すぐれ前シーズンに比して優るものがある

(走力) にたより速攻をねらふキックアンドラッシュ一本立てゞ行くものならば相當の成功が期待される

技術的には東大守備線も困惑させられる事は少からうが走力のあるところに苦心を拂はねばなるまい、バックスはGK中垣内はいふに及ばず、松浦、三宅、藤田の古豪が布く3Bはいたにつかずとするも東大FW線が、對慶大戰に示した様な出來榮えでは、抜くには決して容易なものといふを得ない

一般に豫想されてゐる程低調のものでもなくまた巧妙之しといふもあたらない、その待ち合せた素質に生きたところが身上でダークホースとしての價値が十分にある

東大に比して劣るとすれば試合の運びの拙劣さにあらう

東大は圖がチームを滑らかに結んでゐるが對慶大戰の守備振りからすればゴールの

(安泰) は期し難い、一方大山の放つ速攻砲彈にも警ふべきフイードをFW線がどの程度に活かすか、對慶大戰においては活殺の妙を覺ひ知り得なかつた嫌ひがある

この一戰に於て同はれるものは夢ろ初見參の文大FW線よりも東大FW線の得點力であつてこの出來如何に依つて勝敗が決定するのではなからうか、このシーズン最初の勝敗の逆睹を許さぬ一戰でありまたそれ丈け内容もあり興味もあるビッグゲームである

慶大の猛攻
農大とこ迄防ぐか

越えて十七日には慶大對農大戰が行はれる事になつてゐる、慶大は對明大戰に於てしめ括りをつけ得す二點を擧げられ、農大は對東大戰に於て少いチャンスに於て一點を拾ひあげた

(慶大) が明大を降し、農大が東大に組敷かれたのは當然の結果でこの二試合を見た目には農大が尹の快擧によつてもコントロールにおいて欠けてゐる限りは對東大戰以上のスコアを以て勝敗が決定するものと思ふ

七分三分慶大が絶對的優勢で農大が渾身の力を擧よのでなければ全く蹴殺される事になりはしないか明大が二點をあげたのは不當實作らもゴールゲッターがあつての事で明大を標準にして慶大の守備線に對する農大の實力は測り得ない殊に對東大戰においては守備戰はまだしもFW線は球が殆ど足につかず東大の餌に供する事多くパスも亂れてゐたその粗雜さが拭はれてゐないならば零點と見ねばならぬ

(農大) FW線の得點如何は尹の快擧とコントロールにあるは無論であるが勝達の礎部に激突の決心を要しFW線竟のキープに際しての小林、佐藤等の開きと進出の好判斷が必要である、就れにしても對東大戰に見た農大は自らを知らなかつたといふべきでこれに氣付いて向ふ氣強く立直るならば慶大を降し得ないにしても善闘記錄を止め得よう

慶大は對明大戰に於てその得點力の豐富さを期待された程示すところはなかつたが小畑の著るしい進歩によつて强化されつゝあるを示した、センターラリーは六大學中第一出せるものといふべく殊にシーテングレンヂの攻撃は面目を新たにしたといふ事が出來る

結局この試合は農大バックスが慶大巧緻の攻撃をどの程度に防禦するか、農大が明大の如く得點可能かが興味の中心であらう

（山田生）

蹴球の松澤君戰傷

明大蹴球部元主將松澤正次君は〇〇の戰闘において左腕部貫通銃創の名譽の負傷し〇〇野戰病院に收容され加療中の旨明大蹴球部に通知があつた

S13.10.14

S13-10-16

後半、文大全線崩れ
東大見事に雪辱す
光る阿部（東大）の好技

關東大學蹴球

關東大學蹴球リーグ東大對文大戰は十五日午後二時から神宮競技場で松丸（主）渡邊、高橋（潔）三君審判の下に日本青年館側の文大先鋒で開始、西北の風を突へた豪雨でコンヂション最惡の中にシーソーゲームの退屈戰を展開して後半に入つたが東大の反撃奏効してシーズン初登場の文大を5——2で叩け快勝した

東大 5（1——2）2 文大

◇…鳥雨のために洗ひ流された巧拙は覆はれたが雨に叩かれた試合としては後半二十二分東大が同點とする迄は力闘として見應へのあるものであつた

文大が前半2——1とリードして運ばれたものゝ後半冒頭の試合決定の意氣込みに劒ふ戰局の展開もなく3——1と開き得るチャンスもなく支離滅裂の布陣ではこの結果は極めて順當なものであつた

◇…試合は後半中途迄が變化もあり味もあつたが勝敗はこの後の二十余分で決定されたものである

◇…前半の思實なプレイを見た目には返り討を怠はせ、文大の今シーズンに期待させるところあり戰もしさを感得させたが後半の激減により六大學中最下位のチーム力しか持ち合せぬを曝せしめたものである

◇…全く他愛もなく勝利を自ら失つた文大はFW線にゴールゲッターとして期待し得るものがないには違ひないがラインを強化するものゝないのを暴露し戰力に信頼してか手薄なマークで東大FW線を見縊つたところに敗錠の緒はあつたといへよう、新

前シーズンの復仇を遂げた東大天晴れと稱讃するよりも六十余分の試合にしか堪へず文大全線のいとも惨めな崩壞に唖然甚なきを覺えるものであつた

◇…この最惡の條件下にあつてこそ文大が恐れた條件として試合を運び得るであらうとは一般の豫想するところであつたが全線は試合を括りつけ得ず精根つきた試合によつてピリオドを打つた

後半東大が3——2とリードを奪ひ37分快勝の刻印を捺した第四點はOF阿部の收めたものであつたが阿部を迎へ阿部を見送るものはあつてもこれを濱さんとするものなく全く茫然自失のていたらくで、阿部の強引なプレイに始をつけたといふに過ぎない

人小林がよいダッシュを見せて2——1リードとしたのも新人としての將來の希望を持たせただけで攻め手は東大が斷然優れてゐたのはいふ迄もない

強引の上にカンのよさを示した阿部のプレイはOFとして、ゴールゲッターとして精彩を放ち直木、大槻の混走で興味を見せた、文大FW線の時味すべき事であり模倣してよい事で、これがなかつたならば文大FW線の今シーズンは決定的の機動力など思ひ及ばぬ事である

◇…OLとして返り咲いた鵜原の走力を以てしてWBとしての正統的プレイからしてまたW型を採るにしても巨體つて徒らにフイードに待つはとらぬところである、宜しくFW線を思ゆるの覺悟を以て東大RB對に當むところがあつてよかつたらう

文大の崩れと不忠實なプレイはあつたにしても東大FW線は粘りにおいて判斷において遙かに優るものがありこの一勝が早慶への內應の緣となる事を信するものである（山田生）

試合經過

◇前半 八分東大はOR河西シュートして外れたが好進出せるOF阿部シュートして遂に一點を先取▲十五分文大はCF原崎のパスで中央を劃りOR小林一旦受けて左前に送りOL鵜原シュートして得點1——1となる▲二十四分文大はCF原崎の強撥のパスで中央を劃りOR小林一旦受けて左前に送りOL鵜原シュートして得點1——1となる▲二十四分文大はCF原崎の強撥しGK岩動ファンブルした隙にOR小林飛び込んでゴールを奪ひ2——1のリードとなる▲四十分東大はOR河西のドリブルパスの時CF阿部好判斷のチャージをしたがGK中垣內の確保して止む

◇後半 二十分東大はOF阿部割り込みを策して完封されこの淺れ球をIR直木拾つてシュートしたが高くアウトとなり▲二十二分OF阿部右に廻しIR直木シュートして流れた時OR河西がGK中垣內進出の後に突つ込んでゴールを奪げ2——2となる、文大はFW線の出足擧はずパス亂れて攻撃力低下▲東大は卅二分右OK後LH間の強劒突球をCF阿部とつて廻り込みGK中垣內の逆を衝いて得點し東大のリードとなる▲三十七分東大は大槻——阿部のパスで出で文大FB線見送り阿部フリーシュートしてゴールを破る▲四十一分東大はOL松村のパスをOF阿部更に右に廻しこれをIB直木飛び込みシュートしてゴール成つた

【文 大】
內藤 鵜原 藤田口 林 村崎 和原
中垣 三佐藤 川 小原 多摩
GK BB HB FW
CK CK GK CK
CF GP
動島 山村山 西木部 村
岩澤 大田橋 河 直 阿 大松

【東 大】



S13-10-16

S13-10-13



獨蹴球軍快勝す

ドイツの蹴球チームは今秋ポーランドおよびルーマニアと國際對抗競技を行ひ二つとも四對一でドイツに凱歌が揚がつた【カツトの寫眞は獨逸對ポーランドの試合と觀戰のチヤンマー・オーステン獨體育長官――黑上着が獨逸】

印度蹴球軍二敗

インド蹴球軍は去る八月末から九月上旬にかけて濠洲へ來征八月二十七日、九月三日の再度シドニー・ショウグラウンドでニュー・サウス・ウエルス、全濠軍と對戰二敗に終つたが全員十一名中八名迄が襁足で奮闘する樣は大いに人氣を呼んで觀衆一萬八千人を數へる盛況さであつた（同盟）

NSW	6	2	印度
全濠	5	3	印度

S13-10-17

法大、立大夫々勝つ

學生蹴球二部

關東大學蹴球リーグ戰第二部法大對拓大、立大對千葉農大の二試合は十六日午後一時から秩大球場で豪雨、泥濘、最惡のコンディションの下に擧行、一試合共後戰を演じ法大と立大が快勝した

◇法大はコンディションに即した長蹴對法に成功し拓大はその優れたキッキングを活用する事を忘れ又ゴール前によく十二回のCKを得しく僅かに一點を擧げただ過ぎなかつた、拓大としては攻撃に就て研究の餘地がある

◇千葉は對商大戰よりもチームワーク良かつたがHB線實弱い爲めに攻撃力乏しく、一方立大は守備線のフイード非常に多く、これに反しFW線の球のさばき粗雜を極め僅か三點を擧げたに過ぎない、これ亦研究の餘地がある

法　大　2（2―1）1　拓　大
　　（0―0）

【審判　關野、川島、中林三君】

【拓　大】
村岡田水田野方木川保林
山吉河清坪宮左鈴北大小
GK
FB　FB
HH
FW　FW
田昌平柳木原端井永野
和第大者鈴篠川張
河

【法　大】

12		
10		
10		
0		
5		
1		
15		
1		

立　大　3（2―1）1　千葉農大
　　（1―0）

【審判小山、川島、中林三君】

【千　葉】
橋內原田田井村村酸田
高大福山石今杉外加澗長
GK
FB　FB
HH
FW　FW
石　崎酸野藤（酸田宮村
白　岡內勝海今齋植二中
河

【立　大】

3		
5		
31		
14		
2		
18		

十六日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
❶一高 3―0 浦高
❷高千穂 3―0 東京高專

S13.10.17

十五日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
❶東商 3（1―0）0 府立
　　（2―0）

S13.10.16



▽關東蹴球協會有志の發起で來る十九日蹴球人を集め全國民默禱の時間を東京高校球場で行ふ事になつたこの式を濟ました後協會關係の身狀異動者――結婚した許りの福島玄一君、北京中國聯合銀行創立事務に與る事になつた山田信一君、勤務召集で不日入隊する中村太一郎君のため壯まさう、祝はうといふ試合を行ふ事になつた

▽なるべく骨董品に近い年齢の選手を物色中であるが默禱のため集まる有志は集つても試合出場の有志が少いので發起人が躊躇になつてゐる、骨董品に近い年齢の選手上斷つて名乘り出でよといふ事である

S13.10.16

S13-10-19

慶大蹴球大勝す

東早大蹴球リーグ慶大對農大戰は十七日午後二時から神宮競技場で村形（主）小山、奥井（線）三石審判の下に開始農大は慶大の脆弱な右側を衝いて二點を收め零敗は免れたそうなものゝ試合は全く一方的のものであつた、後半農大が奪はれた四點は何等か策があつて然るべきもの、農大バックスは川本以下手を拱いてゐたといはれても致し方あるまい、敗れるを覺悟の前の試合とも見られるものであつた農大蹴球部よ慶大もまた失點零敗を辿つて補強の策を講じてゐねばなるまい（山田生）

慶　大　8（4―0）2　農　大

【慶大】田藤川中川島崎鷲宮畑俣津加宮田石高篠塚二小猪（GK）（FB）（HB）（FW）

【農大】本藤田俣井坂角武林松部川佐吉酒石穂定佐小小鷲（GK）（FG）

10　7　1　0　7　3　6

十七日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）

②成蹊　3―2　外語

十九日の運動

◇蹴球（東京府中等リーグ）

市二中　4（2―1）2（1―1）2　府七中

S13・10・20

二十日の運動

◇蹴球（東京府中等リーグ）

③東高等　7（4―0）3（3―0）0　獨協中

S13・10・21

廿二日の運動

◇蹴　球

豐島サッカー　2（1―0）1（1―0）0　東　蹴

▼關東專門校リーグ

❶一高　10（4―1）6（6―0）1　府高

▼關西學生リーグ一部

京　大　6（3―0）3（3―0）0　神戸商

S13・10・23

S13-10-22

あすの早文蹴球戰豫想

立直つたか文大

快調の早大勝利確實

關東大學蹴球リーグ戰もこの二十三日の早大對文大の一戰を以て本シーズンのスケヂユールも中期に入る、鬱勃たる意氣を宿して試合に憤激を持つ早大と對東大戰の創痍未だ癒えぬ文大との對戰は快調と失意の對戰であり勝敗は自と明らかなるものがある

早大が對東大戰の文大を以てその實力と見縊る事があるならば知らず、優れたる足技から繰り出す速攻の妙、瀾々たる闘志の生む奔放と強靱が遺憾なく示されるならば試合は一方的のものとなつて止むであらう、東大FW線は體力劣勢のため最惡のコンヂションの下に喘ぎながらも阿部の強引が直木、大槻等のよい掩護によつて勝敗を爰したが加茂を中心にして米谷、末岡、渡邊、高橋の布くFW線はより以上強力なるものと見ればならない

殊に對明大戰以來シユーテング・レンヂの擴大に伴ふ確實性の加增は對東大戰の後半に於ける無防備のバックでは大量得點を豫想させるものがある、鹽田、三浦、松浦の3B線が佐藤、川口と協力し素早い決定的の潰しが出來るならば鋭鋒をある程度封じ得ようが從らに開き、マーキングに不忠實であるならば完膚なき迄にひしがれて止むのではないかそのFW線はテムポについて、その秀でた走力の活用についてよい判斷と工夫がない限りは早大のウイークポイントを破るといふ目算も危ぶまれる

文大は總員の忠實な間斷なき動きと自覺の覺悟によつて關戰の汚名を拭ひ得る試合もなし得よう、自らを知つて立直つたかどうかはいよいよ決戰せる早大の快調と共にこの試合に期待させる（山田生）

S13-10-24

早大、文大に辛勝〔大學蹴球〕

早大對文大蹴球戰は廿三日午後二時から東大球場で篠部（主）稲島長岡（線）三君審判文大の先蹴に開始、早大FW線は豫想に反した低調で2―0で辛勝した

早　大2〔1―0 1―0〕0文　大

◇…スコアは開きがないがさりとて文大の快闘といふべきものではなく接戦とはいふものゝ本シーズン六試合のうちで最も味のない試合であつた、好印象に殘るプレイとしては言ふ迄もなく早大の擧げたゴール迄の經過があり、前半33分文大左OK後のチヤンスを不破の快技で潰したなど覺つかを數へ得ようが總じて淡々たるもので岸邊に打ち寄せる白浪の如きものであつた、寄せては返し又寄せるといつた單調な試合で凡戰といふに盡きる

◇…早大は高橋、渡邊のコンビ思ふ樣不調であつて見れば豫期した得點を擧げ得なかつたのも無理はない、一方文大は詰め手を知らぬといふよりはその場限りのプレイで攻撃線に厚味を加ふる事を工夫せぬとあつてはOK後に生れた數つかのチヤンスこの他二、三の絶對的の機會を逸したのも敢て不思議とするにはあたらない、FW線が斯かる有樣ではこのスコアで勝敗の決したのも當然である

◇…文大は小川をOFに起用したがこれも最初相手の寫表に出ただけの事でこれといふ新味もうかゞはれずに止んだ、早大祕藏の攻め道具が既に二試合を終つて示されないのは現も角文大が强引の押し手だけで吊り込みがないのは一考を要する事である

◇…文大は原崎がペナルティ・キックを無策のうちにゴールアウトしたが早大はこれによつて引分け乃至は敗戰から救はれたとも考へられる、文大が攻撃に於て一工夫せねばならぬと同樣に早大は先づ小兵を驅使する事を嬉める要があらう（山田生）

【早　大】
破田田田宅野谷岡茂幾雄
不吉莊(堅二雨米宋加渡高
GK FB FB FW FW
CK FK GK PK
10 4 13 1
内(浦藤酸田村林崎川和原
垣中松三佐藤中小原小多磯

【文　大】
②千　葉4〔4―0 0―1〕1法　大

◇蹴球（關東實業團リーグ）
❶マツダ4―2東京朝日
❶千代田2―2日本鋼管
❷日本光學2―0東京計器
❷日本徴兵3―2日本銀行
❸東京瓦斯3―1三共製藥
❸淺野セメント4―0東京火災
❹石川島造船6―0日滿生命
▼關東高專リーグ
❷成　蹊2―1東　京　歯
❸高千穂3―3東　京　藥
▼關西專生リーグ
❷同高商6―2神高工

S13.10.24

◇蹴球
青　學4〔3―1 0―2〕2東北學院

S13.10.25

廿三日の運動

◇蹴球（關東實業團リーグ）
❶マツダ4―2東京朝日
❶千代田2―2日本鋼管
❷日本光學2―0東京計器
❷日本徴兵3―2日本銀行
❸東京瓦斯3―1三共製藥
❸淺野セメント4―0東京火災
❹石川島造船6―0日滿生命
▼關東高專リーグ
❷成　蹊2―1東　京　歯
❸高千穂3―3東　京　藥
▼關西專生リーグ
❷同高商6―2神高工

慶、明に勝つ〔蹴球〕

明大對慶大蹴球戰は二十四日午後二時から八幡山球場で本堂（主）石川、前澤（線）三君審判明大先蹴に開始八對一で慶大勝つ

慶　大8〔5―1 3―0〕1明　大

【慶　大】
田勝川中川島崎鷄宮畑股
緯加宮田石高篠播二小猪
GK FB HB FW
CK FK GK
3 2 13
(關内田川兄水
(澤木野弟權
南品中島
中田竹山石中澗

【明　大】

廿四日の運動

S13-10-29

慶に玉砕一途の文

蹴球二試合想

明農は亂戰展開か

大大學戰れも二試合を終り慶大、早大、東大ともに勝星二つを擧げて優勝に邁進するに反し文大、明大、慶大は未だに一勝も記錄せずその實力の相違するところを示しながら最下位から浮び上るため苦心してゐる

今日の明大對慶大の一戰は最下位から浮び上るか否かの勝星爭ひであり、明日の慶大對文大戰は慶大にとつては早大、東大が破つた文大を滿して連覇を確立する試金石、文大からすれば捨身に出て星でも稼ぎ度いところの第三試合である

明大は この一戰に備へて中島兄をFW線に引き上げて攻撃力を強化するといふ編成がへを試み二十四日には慶大とこの新布陣による練習試合を行ふなど苦心を拂つてゐる

慶大猛攻の前にこの新編成チームは壓敗を喫したが得點力は未だしとしてもFW線が均衡を保つに至つたから攻撃力はまさに増幅された

然し中島弟をOHに廻しても依然として守備力は脆弱の感みがある、慶大の攻撃力が精彩あるものでもないが慶敗、定免の兩翼の切れ込みも可能と見られる點に危險性を帶びてゐる

要するに攻撃力においては明大優かに優り守備においては慶大に優かながら强味がある樣に思はれる

双方共 に失點を警悟の上でより以上の得點を期せねばならぬこの一戰は混戰亂調に終始するであらう

持駒不足の慶大は第一戰以來の陣容を以てし、なまじ持駒があるために駒の差し換へをやつてゐる明大は〇3の出來如何に勝敗を託してゐるが慶大が中勝兄を後退守備に追ひ込み得たなら明大は千慮の功を一簣にかくにも至るであらう

從來慶大を苦手とする明大が鐵袖一揮の意氣を以て進み得るか否かとこの點がこの一戰の勝敗を決定づける事になると見られる

慶大が 早い球廻きで戰局の急轉に成功すれば不均衡のチーム同士ながら實力伯仲しFW線の白兵線を演じて相當見榮えのする試合とならう

慶大對文大の一戰は過日の對早大戰に見た文大を以てしては全く勝ち味は豫想されずどの程度で慶大の猛攻を阻むかにある

文大は先週の對早大戰に試合を鐵等に運んで失敗した。不知不識の間に早大の罠にはまつてゐたのであるがチーム力からすれば正攻一途に勝利の光明を見出すほかに術はない

技巧は兎も角として慶大所緣の攻撃を潰すに足る體力を持つバックは引き寄せて粘りある競り合ひに打ち勝たねばならぬしFW線はキープに對し愼重にしかも厚味を加へる事をなさねば守備は脆く攻撃効果は更にない

慶大の ウイークポイントを知りながらそれを衝きまくる余裕が生み出されるかどうか。この試合の興味は慶大の攻撃力整調と共にこの點にあるといへようこの春全日本選手權關東豫選に於て延長戰に持ち込んで勝敗を決定するに至つたのであるが文大夏の血みどろの合宿練習効果が未だ不現し得ないものはいふまでもなくチームをリードするに適材を缺いてゐたところにあり、對東大、對早大共にこの點に敗因を置してゐた

七分三分慶大の絕對的優勢が豫想される、身を捨てゝ活路を求め粘りあるプレイに最後まで徹底に動き得るとき六分四分の戰勢にも導き得るし互角の戰ひも考へられる

文大の活路は執拗に挑む攻けであるが慶大とても攻撃の華である接戰——二宮が破られないとは斷じ得ないし後半の逆襲を警めねば必ずしも楽勝の豫想は出來ぬ（山田生）

S13-10-31

豐師、青師決勝へ

中等蹴球・東京豫選

本社後援關東中等蹴球大會東京豫選準決勝は三十日午前九時半から青師球場で擧行、豐師、青師が夫夫決勝へ勝ち進み來る一日午後二時から神宮競技場で決勝戰を行ふ

◇兩試合とも順當の結果であるが豐島に對した曉星は屢々奇襲を試みて强豪豐島を危地に追ひ込みながら極め手を待たず得點に至らなかつた、後半點差を大きくしたのは體力の相違で致し方なく敗れたとはいへよく纏つたチームで往時の盛名を馳せた曉星の傳統に生きるものと言へる

◇また早實は强襲得點機會をつかんだが青山GK松岡のため潰されたのは惜しまれるものであつた、勝ち得ないにしてもより强氣で試合を運んだならと思はれる

【豐師】

木島田澤黒谷橋澤木井藤				3411
亜大瀬端小大高松青横伊				
	GK			CKKK
	FB			CFGP
	HB			
	FW			
澤尾卓浪磯口龍原村田中				9230

【曉星】

豐島師 8（2—0 6—0）0 曉星中

審判關澤（主）細田、西田（線）

青山師 8（4—0 4—0）0 早稻田實

審判西川（主）鈴木、清川（線）

【青師】

岡藤里井藤村立定藤山田				7100
松濱小藤加野橋國遠小太				
	GK			CKKK
	FB			CFGP
	HB			
	FW			
永中村島澤田 谷本 川				0625

【早實】

興田中小柄森 東杉 蛭 西

◇蹴球（實業團リーグ）

❶東京朝日5（4—0 1—1）1日本鋼管

❷マッダ7（3—0 4—0）0第一生命

❸東京火災 1—1 三 共

❹鐘戸日立 4—1 日清生命

❹明治製菓 2—1 石川島造船

❹新潟鐵工 2—0 鶴見製鐵

（關東高專リーグ）

❶一 高3（1—1 2—0）1商 船

❷外 語0（0—0 1—0）0東 歯

❷日 歯2（1—0 1—2）2横 專

❸東 藥0（0—0 0—0）0高 農

❸高千穗2（1—1 1—1）2高 獸

S13.10.31

中等蹴球代表

東京府決定戰

本社後援關東蹴球協會主催第六回關東府縣對抗中等蹴球選手權大會東京府豫選は先般行はれた中等校リーグの戰績に徴して五校が選拔され左の如く組合せを決定して代表チームが選出される事になつた

△10月29日（A）青山師範對東京高校等（1時45分青山師）△10月30日曉星中對豐島師（9時30分青山師）早實對A勝者（10時50分青山師）

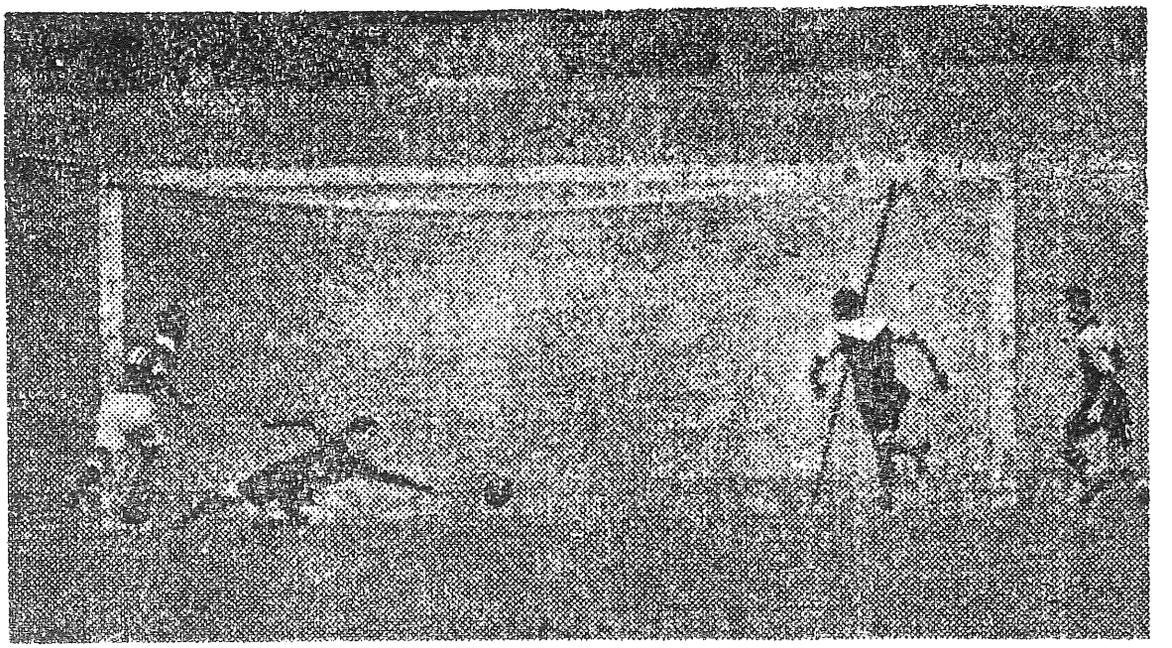
尙決勝戰は十一月一日神宮競技場

S13.10.29

S13-10-30

農大・明大を破る

大學蹴球



明大對農大……後半農大殊部のシユートで一點を擧ぐ

東大學蹴球リーグ明大對農大の試合は廿九日午後二時から神宮競技場で野村（主）辻、小山（緑）三君審判明大先蹴に開始、互角の對戰で接戰を續しながら後半に持ち越した末農大好運の一點を擧げて勝つ

農大 1（1―0）0 明大

◇前半　農大は23分OR定免BB田中を抜いて出でGK田中進出の頭を碎つてシユートしたが弱くOH中島のカヴアするところとなつて止む、明大は27分南のロングパスを片岡とつてシユートしたが弱く32分農大はOR定免持ち込んだ時後援つぎかず、明大は34分片岡シユートしてGE川本のコンプルに乘じLR山田突込んだがアウト

◇後半　5分明大はOH中島のフイードを竹内左に廻したがOL島田逸機し20分農大はOL磯部ロングシユートしGK田中落球をOR定免拾つてシユートしたがアウト、20分農大は右側の好機球明大ゴール前でバウンドしバックの見逃したところを磯部飛び込んでシユートし一點を擧ぐ、35分明大は中島弟兄と中央を割つたパスはOF片岡觸れたがパアの下角を彈いて止む

【農大】

本正田	藤井坂	免武林
川佐吉	藤尹	磯
富石澤	定佐小	磯
GK		
FB		HB
HB		FW
FW		
齋弟福澤兄	内田岡川田	
中島中	島南	
田中田友中	竹山片石島	

【明大】

3	5	25
OK	KK	GK
OF	G	
5	3	9

◇…攻撃の明治、守備の農大と目されたこの試合も明治が消極的のチーム編成を行つて自ら敗因を作つてしまつた

取られても取る積極的のもので本シーズンの順位は必ずしも決定したとはいふを得ない、好漠よろしく自重すべく明治奮起せよ、勝てりといへど農大顧るにはまだ早い（山田生）

青師辛勝（中等蹴球東京豫選）

本社後援關東蹴球協會主催第六回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權東京府第二次豫選第一日は二十九日午後一時四十五分から東高球場で青山師對東高等の第一回戰一試合を鈴木（主）金澤、前川（緑）三君審判の下に擧行、青山師範が辛勝した

青山師範 3（2―0）0 東高等【東京】

破籐田瀬端坂木地田吉山

不佐山田村石	南菊吉住小	
GK		
FB		HB
HB		FW
FW		
岡藤里井酸村立川酸山田		宮
松齋小藤加野橋潤遠小太		
1	4	19
OK	FK	GK
7	4	4

【青　山】

なければならぬに明治は中島兄を後退せしめて守備力を强化する事をしたが、勝敗の分岐をなしたものは農大が明大バックの隙間逸巡したところにキツカケを捉へて奪つたゴールであらうとも明治のチーム力の構成上の遺憾を擧げぬ譯にはいかぬ、中島兄を後退守備につかしめたが故に前半23分の失點を防ぎ得たといふ事實は中島兄をFW線に置く事によつて或は看過されなかつたかも知れない

◇…望ましかつたが双方思實にアイールド一杯に動いて力一杯精一杯の試合であつた

然し前半の試合に於ては漠然としてかまへて積極性なく曖昧さといふ感は免れない、農大得點直後から意力が漸く强く働きかけて戰勢は鋭さを加へたが前半に於て農大にしろ、明大にしろこの事があつたならば不確實なシユーテングの中にも得點先取があつたであらう、結局は"この一戰"といふ重壓に果斷のプレイが封じられてゐたといふ事になる

◇…FW線は共に香しいところはなかつた、農大の得點の時、明大バックが潰してゐたならばゴールは破り得ず、明治は中島兄を抽出してゐたなら、或はゴールを陷れてゐたであらうと思はれるもので守備線の好闘に比すれば無力に近いFW線であつたといふも過言ではあるまい

◇…敗れた中にも中島兄のプレイは明治の柱石として實に堂々たるものであつた、明治が敗れたなかにも面目を保ち得たのは中島に負ふ所が大きい、この一戰

S13-10-31

慶大氣組で壓倒

大學蹴球 文大に快勝す

關東大學蹴球リーグ慶大對文大の試合は三十日午後一時から神宮競技場で村形(主)、瀬野、小山(副)三岩審判のもとに文大先攻で開始、出後のフイールドは乾燥、西北の微風ではあるがコンデションは不良、慶大前半の大手を快調に三點を挙げ文大はPKは出から一點を加へて迫撃したが試合を對等に運び切れず慶大の快勝する所となつた

慶大 6 (3—2 3—0) 2 文大

◇…慶大は鋭い氣組で文大を壓し前半終りに近く二點を擧げはしたが36分後の快調によつて三點を擧げ勝敗を決定してしまつた

PK得點で掲げの氣魄を盛り上げて堂々たる一點を勝つたところ文大の面目を保つたものであるが豫想された如く順當なる敗績である

◇…慶大の正確なるキツキングは文大の防禦陣を破つて快パスとなり強力なる文大バックを追ひまくつた、慶大は失點はあつたにしても殊々たる氣魄の下に陣を進めるあたりまさに上昇期にあるを首肯せしめるものがある

◇…文大も對東大、早大の二試合に比すれば全線に何かしら躍動するものゝあるのを認められたがPK後の目ざめた獅子の如き玉砕の氣魄を試合當初から示すべきであつた筈である、慶大守備線を立場らしめては文大FW線の無策拙攻では致し方もない、一線の攻撃體形もW型もHB線のフオロワアツプ乏しくしては衝き切れぬのが當然ではないか

慶大前半の快調はFW線の優れた足技と盛の上さに割り込み切り込みが完全に行はれたがそこにはHB線の部厚い追躡強化があつた、要するに文大は密度を加ふる事をせず單的の動きに終始してゐるがこれを補ひぬ限りは今度以上に出るを望み得ない

◇…慶大は第三試合に於て巧味に加ふるに強味を感得せしめた、優勝候補の第一に加せられるに足る器であつたが失點後の立ち直りは一工夫を要する、一方文大は中堅内の好ゴールキックの大半を慶大に供する結果を招いてゐたがこれを何とか活かす工夫があつてよい

(山田生)



慶文蹴球戰 (後半二十五分文大ゴール前に慶大軍殺到)

試合經過

◇前半 慶大は2分5分のチヤンスを逸したが6分小畑、篠崎のパスで突つ込み猪俣シュートしてゴール成る▲文大は8分猛攻し小林の鋭パスを小川切り込んでシュートしたが成らず、13分慶大篠崎のシュートした時文大はOH藤田クリヤしたが球は中央に留つたLO猪俣の胸にあたつて其儘ゴールインとなり2—0と開く▲19分文大はOR小川の好センターリングあつたが空しく35分慶大はOR篠崎の左前突球を猪俣ヘツデングしIK中堅内の逆となり球轉したがゴールイン3—0となる▲39分文大は石川のハンドでPKを得小川のキック正面を衝いたが強くGK津田ハンブルし右に流れてゴールイン、文大は更に42分ORし小川競り合つて出した球を小村鋭く割つて出でシュートし得ず

◇後半 4分慶大は左CKを得キックのびてゴール右前に出て文大はLB三塚體で彈いて自ゴールを割り文大中堅に好陣するもフオワードパス悪く無爲▲22分慶大は二宮、猪俣で正面を衝き中央に廻つたORし篠崎シュートしてゴールイン5—2となり24分文大はLO横原ドリブルで駈つて入つたがGK津田の正面に散つて止む▲慶大は28分篠崎駈つて運み右前送球をOR篠崎受けてドリブル、シュートしてゴール成る▲文大は36分の速攻空しく止み慶大は38分の猪俣、篠崎と連續の強襲も中堅内藤身の快球に阻まれて止んだ

【文大】
内 浦泉 藤田 村川 林崎 和田
中 松三 佐藤 中小 小原 多賀
GK FB FB HB HB FW FW
4 7 6 0 C F G P 0 5 23 1 K K K K

【慶大】

◇第二部

立 大 4 (3—2 1—0) 1 法 大
(審判傳木、鰐介、長田三君)

【立 大】
右 澤 篠本 野田 仁村 田宮 島
白 岡 岡崎 武今 中植 二田
GK FB FB HB HB FW FW
6 9 32 C F G P 12 7 8 K K K

【法 大】
中 大猪 河鈴 青川 櫻安 小
(審判木内、石井、友澤三君)

南 大 4 (2—1 2—0) 1 慈 大

【慈 大】
原 澤井 田田 篠本 美鶴野
西 淵崎 内濱 佐山 宇馬 佐
GK FB FB HB HB FW FW
6 2 12 1 K K K K 7 5 16 0
澤 藤堂 木野尾 本井 山岡 井
吉 一 鈴木 堀越 金片 松櫻

【慶 大】

◇第三部

上智大 2 (1—0 1—1) 1 中大

S13-11-2

青師連續代表

關東中等蹴球

本社後援關東蹴球協會主催第六回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會東京豫選最終日は一日午後二時五十五分から神宮競技場で高山（主）小長谷、田村（線）三君審判の下に青山師先蹴で開始、接戰の末青山辛勝し連續代表となつた

青山師範 2（1―0 1―1）1 豐島師範

◇…豐島戰は本年に入つて三度目の顏合せで豐島が二勝してゐるキックオフ後青山は各ラインを驅へ正攻法で鋭い出足に寄り立て豐島の銳鋒を封じ豐島陣に球を集中して遂に11分一點を先取した引續き猛攻を浴せたがFW線の極め手なく徒らに强い押しを見せた丈けで後半に入り1分FK後一點を加へて2―0と引離した、豐島は五分頃から各ラインとも猛攻し球もよくつき漸く試合を對等に進め15分頃から鋭い反撃を見せたがFW線のパスワーク惡くその上焦つて失敗に終り25分に至つてクリーンシュートして漸く一點を回復した、引續き强攻を試みたが青山のバック立直つて中盤に競り合つてその儘青山が押し切つた

【青山師範】岡徹里井徹村立山徹川田
松彌小徹加野橋小遠小太
GK FB HB FW CK CK CF G
木島田澤黑谷橋澤木井徹
2 3 13
【豐島】並大彌龍小大高松青横伊

井一日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
②成蹊 3（0―2 3―0）2 青學

S13・11・1

三日の運動

◇蹴球（實業團リーグ）
㊥新潟鐵工 2（1―1 1―1）2 日立龜戸
㊥明治製菓 1（1―1 0―0）1 鐘見製鐵

S13・11・4

S13-11-3

死闘から湧く興味

明大、早慶蹴球戰前夜

關東大學蹴球リーグのスケーヂュールは、愈〻後半に進み來る五日東大對明大、早大對慶大の二試合が行はれるが既にA、Bクラスと截然たるに及び最下位を餘つて激しさを加へ何れにしても一戰毎に興味は倍加されるに至つた

◇東大は慶大、文大を破つてこの明大を迎へねば優勝圈から去らねばならぬ羽目に陷るのであるから愈〻東大ゴールを一度や二度は破らずしては容易に勝味のない一戰である、明大は早、慶に數戰數敗を喫してゐるから開幕戰を噛むの氣で此の試合に出るものと見られるFW線は對慶大戰において幸運の得點落を捉へはしたがその得點力は絕無に等しくこゝに最大の悩みを抱いてゐる、對慶大戰の經驗による陣容をそのまゝで行くと見られるが愈〻之を不動の陣とするならば中島兄の快調は對慶大戰の如きと異り野球から超脫して臨めるだけに六分四分の勝味もない試合とはいふものゝ東大ゴールを一度や二度はゆすぶる事になるのではなからうか、東大の慶大、文大二試合から見ればこれはまた相當に手强い相手といはねばならない文大のバックスが手を拱いて仁王立ちになつたればこそ阿部の快闘となり四點を加へて猛大を逃避せしめたのであるが中島の快調と動きを防ぐして同盟よ事があらうとも極めて物凄の南が燃へてゐる、阿部以下FW線の好調でない限りは易々と明大ゴールの攻撃は許されないのではなからうか、と見ても明大のFW線がヂヤンスを自ら作つて石川なり片岡がゴールゲツターになり得ない限りはソツのないプレイで試合を巧みに運ぶ東大の勝利に關する事はいよ〳〵ない

◇早大は如何なる相手にもゴールを許さずと豪語してゐるが慶大との此一戰には或は可能といひ得よう、だが慶文大戰からすれば文大が紙一重の勝劣で勝利を拾つたやうなもの、加ふに六分の實力しかホさぬが如き消極的の戰法を以てしては慶大死に物狂ひの挑戰にあつては必ずしも樂勝といふ事は考へられない

殊に攻撃線の口火を切るべき醫の猛進、高橋の突破溌溂のない限りその感は深い、相手にしても小柄にしても判斷の遲鈍はあつても慶大は對文大戰の早大のそれよりもチームとしての均衡がとれてゐる、

早大は明大を破し文大を破つたとはいふものゝ、明大の猛闘の芝しさ文大の拙劣によつて試合を奪つた丈けで早大がその力を以てしてなつた作とはいふを得ない、この點に不安がある、然し洗練されてゐる丈けに試合を捨りつける巧味は慶大に比すれば數等優つてゐる

（山田生）

S13-11-6

早大・農大と引分
東大は明大に勝つ

蹴球戰

關東大學蹴球リーグ東大對明大、早大對農大の二試合は五日午後一時から東高球場で擧行、明大は前半早くも指抗の陣を布いて鳴したが後半潰えて敗れ早大は强攻を試みて終効せず引分けとなつて大番狂はせを演した

東　大 0—0 0 明　大
4　　0

◇…勝敗の數は既に明らかなるものであるとは言へ明大はFW線が進退を弁へず攻防凡策に敗れた、自らの守備陣を奔命に疲らして潰走したといふべく拙技といふよりもFW線判斷の不當と持球主義の罰にしたものである

◇…東大勝てりとはいふものゝ前半コーナーキック六を數へゴールキック12を算するに至つて倘且つ明大ゴールを脅れ得なかつたのは明大守備陣の阿部完封策の成功にあつた

◇…四敗の明大はFW線が攻守の限界を徹底してゲーム力の構成に努めざる限り本シーズンを斷念せねばならぬ

【明　大】
資澤中若兒　川岡內田田
島島南
田友田中中　石片竹山島
GK FB HB FW FW
GK CFK CFG
勅島山村山　田木部棚村
島　奥直阿大松
【東　大】

早　大 1 1—1 0 1 農　大
（竹內（主）飯島、後藤（綠）三君審判）

◇…農大は守備一方の試合で勝味は全然なかつたが强豪早大と引分けの半星獨得は大手柄であつた抑々この一點は早大が自陣に於ての濟しに失敗し辛くも拂拭が拾ひ出してバックパスしたのが左側に大きく流れ定石が拾ひ上げて遠距離快彈によつてゴールを陷れたもので、近來にない鮮やかなシヨットであつた

農大にとつてはこれが第一に數へられるものであり、第二のチヤンスはこの後32分の早大ゴール左前に作られたものであつた、これは機部がフリーシュートして結局は凡彈に止んだがチヤンスらしきものといへばこの二つを數へるに過ぎずそのうち一つのチヤンスが物を言つた

◇…まさに幸運の一點ながら豐富な攻め手を徒らに披露したに過ぎない早大に比すれば攻め甲斐ある試合をしたといふ事が出來よう

あの手この手を用ひはしたが早大FW線にはゴールゲッターが欠けてゐた事になる、失點と共にFW線は自慢プレイに出たがこれも農大のゴール先取に驚いた賜物で、若し農大に得點がなければ無得點引分けになつたとも思はれる

◇…早大の攻撃は濟且不調の遲滯、末岡よくよりを戻して優れた足技と粘りあるプレイに多彩の攻め手を見せはしたが徒らに多角的の攻撃に人目を滿足させたに止まるものであつた、勿論試合後に充實して來た農大守備陣の快闘は見逃せない、今日の出來榮えを以てすれば農大の守備力は六大學中第一に屈せらるべきものであつた

前半34分の石井のゴールガヴア襲半26分、28分、36分の川本のピンチを脫した好プレイ等をはじめ中に一際目立つものであり早大の猛攻に曝するに十分の力を示したといふべきである

この一點農大側に立つて見れば守備力の優れたるが爲に引分けたといふべきである

◇…早大FW線は對文大戰の時に加速の獨技を活用する事をせず平凡なるOFとして加速の實力を半減せしめてゐた、多少この點改められてはゐたが新味の攻法はこの分では當分完成されるものとは思はれぬ、寧ろ彼の專放に依倘し快速線は皆空に終つてゐる、加速をしてこれを正位に於て敢行させたならばと惜しまれる

吉田を負傷のため失つてゐるのは痛手といへば痛手であらうが失點經路を究明して守備力に就て檢討するよりも如何にして先づ得點すべきかを考へて見るがいゝ（山田生）

【農　大】
本正田櫻井坂兒武林
川佐吉富石總定佐小　尹
藤　部
GK FB HB FW
GK CFK GFK
彼村田田宅野倉岡笹邊橋
平西世堅三笹米來加渡高
【早　大】

| | | |

S13-11-9

期待される早帝戰

關東大學蹴球戰豫想

來る十二、三日兩日行はれる關東大學蹴球リーグの早大對明大、又大對明大の二試合は前者は勿論をめぐる一戰であり後者はこの試合結果によつて早くも最下位を決定するところの重大な意義を含むものである

早大　は既に三戰三勝し早大は過日の對慶大戰にも十本鐵にも引分けたが上位校同士のことであつてこのシーズンのビッグゲームとして內容豐かな試合が演ぜられようこの春全日本選手權關東豫選の折に偶々雨を合せ延長戰に入つて早大が辛くも勝利を獲得した儘で持ち越されてゐる、明大、又大、慶大を相手として兩者の對戰について見る時東大が斷然好調を示してゐるのに對し早大は來た個に乘つたといふ感を拭かざるところに至つてゐない、バックスは攻撃力の無力に出して働つてゐるがこれ迄の三試合に示された早大は本來の行き方を忘れ兎角智に溺れた嫌がある點に攻撃においてその缺を深うせしめるものがある

早大 ③1 ②0
東大 ②1 ③2
（對慶大　對明大　對文大
（圖點は得點、下は失點）

慶の合宿に於てオープンへの急速度展開を策して進み來つたものが惜しくも加度の細妙の獨技を對するポストプレイを採用して攻撃線を自ら亂し得點時を失つた事實は對文大、對慶大の二試合に於て著しく示された、慶大に勝ち得たものは望鯛の如く見る中にも早大としての定石を採つたところに成功があり夏の合宿はこの完成を急いでゐた證であるのに

新味　を盛らうとして餘り過ぎ智に溺れて早くも中堅を自ら招いた、この結果としてFW線の編成にも迷ふところに落ち込んだが加度が遲滯、末岡を完全にリードする事が出來なく、末岡また協和追隨し得ず判斷を誤るならばこのFW線の左右の均衡は依然として欠け得點時を切り開く望みはない

この悩みが解け巧智に遲へられる事がなければやすぶる落ちなく得點時は容易に開けるであらう

東大は松村の動のよいプレイでFW線に彈性を持たせ阿部の強引を中心として原木、大槻の30が正面攻撃の正攻法で鍛く切り込む手もある、阿部に加度の積極

突破　は欠けてゐるが原木、大槻の增援は隊のほか頼母しく早大よりも攻撃的には興味がある、このFW線に應ずるのに早大の守備線は傷ける吉田を起用出來ぬとすれば西村と吉田のFB線を布き三宅、甘野、末岡のHB線にかはりはなく激しい組み合ひに興味は多い

東大が吉田の腦點を衝く事を得ば早大は渡邊、高橋の密なる連絡により動きの激しい第一線を試みるであらうが快應せる菊池の腦點と關の協力で應ずる爽を採らうからこれまた突破と被

これ　を攻撃力に於いて見るとき文大の飾い限開、明大の突破の足拔きしさは互角と見せるが文大は速攻擊勢の中にも得點力を待ち合せてゐる

既に總合の明大は片岡、石川、山田等が最期の一戰として全力を傾けるならば中島等の後援によつてゴール攻落なしとは斷じられない、いづれにしても下位同士の好試合が演じられよう

一試合は上位を爭ひ下位を決するとはいふものゝシーズンも半ばを過ぎてゐるだけにそれぐ苦鬪振りを示しつゝあるから期待は許さずまた蹴球として好印象を與へるのが數多からう（山岡生）

S13-11-7

六日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）

❶東　高 2（1—1）2 一　高
❷青　學 6—1 東　學
❷高　工 3—2 高　獸
❷成　蹊 1—0 日　學
❹商　大 4—1 橫　商
YCAC 6—1 慶　大

（實業團リーグ）

❶第一生命 1（0—1 1—0）1 千代田生命
❷マツダ 5（5—0 0—0）0 鋼　管
❸鐘　紡 1（1—0 0—0）0 石川島造船
（關西學生リーグ第七日）
❷阪　大 5—4 神　高　工
❸大　商 1—0 大　高　醫
❸京　醫 3—1 大阪外語

S13-11-9

中等蹴球爭覇戰

來、月廿五、六日

東日本における中等蹴球界の最高峰を行き年末競技界の行事として覺きをなす本社後援關東蹴球協會主催の關東府縣對抗中等學校蹴球選手權爭覇の第六回大會は恒例により年末の十二月廿五、廿六の兩日明治神宮外苑競技場にて行はれる

◇大會期日
第一日（25日）午前10時
開會式、第一回戰四試合
第二日（26日）午前10時
準決勝と決勝

◇會場　明治神宮外苑競技場（入場無料）

◇地方豫選
栃木縣＝宇都宮中學
群馬縣＝藤岡中學
千葉縣＝十一月二十日千葉縣大にて豫選を行ふ
埼玉縣＝十一月下旬から十二月上旬にかけて豫選を行ふ、參加五校の豫定
茨城縣＝十一月十七日茨城師範球場にて豫選を行ふ參加六校の豫定
山梨縣＝十一月十九、二十日の二日間甲府商業球場にて豫選を行ふ豫定、參加は韮崎中、山梨師、甲府中、甲府商、日川中、谷村工商
神奈川縣＝先般來のリーグ戰の結果湘南中學が第一部優勝となり挑戰試合を行つて代表を決定する筈

既に地元東京府に於ては二次に亘る豫選の末に前回の覇者青山師範が再び代表となつて出陣する事に決定、栃木縣は去る十八日豫選を行つた結果、一年雌伏の宇都宮中學が再び登場する事となり、群馬縣は藤岡中學が六度推薦されて出場するので三府縣代表は決定を見た

S13－11－13

早大最後の一分に判定ゴールで敗る

東大覇権に一歩邁進

大學蹴球

開東大覇蹴球リーグ東大對早大の試合は十二日午後一時から神宮競技場で松丸（主）二百、加藤（横）三百審判早大先攻で開始、墨天候風で風雨をかけたこの一戦には申分ないコンヂションで東大の速攻に滑戦となりビッグゲームとしての内容を豊かに盛つて大接戦の末2―2後早大は稀有の判定ゴールで敗れた

東大 3（1―0）2 早大
（東大）（早大）

岩澤大田（関東）奥島岡大松
GK BB FW
GK FB HB FW
鈴田田田早野 落保澤橋
6 6 17
6 3 23

◇…最後の一分といふところで殆ど例のない判定ゴールで勝敗は決した、東大は見定め乗ねる第一點の獲得で試合をリードし判定ゴールで勝利の栄りをつけたのであるが勝敗はスコアの示すが如きものではなく攻撃は七分三分東大の絶對優勢のうちに進められ乍ら吉祥寺三枝加小椋高久

◇…後の一分といふところで殆ど例のない判定ゴールで勝敗は決した、東大は見定め乗ねる第一點の獲得で試合をリードし判定ゴールで勝利の栄りをつけたのであるが勝敗はスコアの示すが如きものではなく攻撃は七分三分東大の絶對優勢のうちに進められ乍ろそ

の得點の少きを補ふ點のもので勝敗は全く關係であつた

東大の立ち上りは本シーズンはじめて見る鋭いものでありフイールド一杯に戰線を展開して確實に得點を試みて試合を完全にリードし早大は屢々これつとめて試合内容は流石覇權を握つた丈けの豊かさを發り上げて終始した

◇…東大は菊池を起用しその攻撃の効果は十分といはれなかつたがHB線の動きはいよ及ぼす田村が好對照に乗つて攻撃の鋭い鍵の役を果しFW線が堅實なるフオロウアップによつて部厚な攻撃態形を整へたあたり得點力の不足はあつても勝ち味ある試合として首肯せしめるに足るものであつた

前半10分、21分、27分、44分を

成績表（選手名は背番號）

12日	早大	東大	明大	慶大	法大	東大	早大	慶大	法大	明大	勝	分	敗	点
明大	②…×③	②…×③		②…×①	②…×①	②…×①	②…×①	②…×①	②…×①		0	0	4	0
法大	②…×③	②…×③	①…×		①…×	①…×	①…×	①…×		①…×	1	0	3	2
慶大	②…×③	②…×③	①…×	①…×		①…×	①…×		①…×	①…×	1	1	3	3
早大	②…×③	②…×③	①…×	①…×	①…×	①…×		①…×	①…×	①…×	2	1	2	5
東大	②…×③	②…×③	①…×	①…×	①…×		①…×	①…×	①…×	①…×	2	1	2	5
慶大	②…×③	②…×③	①…×	①…×		①…×	①…×		①…×	①…×	1	1	3	3
早大	②…×③	②…×③	①…×		①…×	①…×	①…×	①…×		①…×	1	0	3	2
法大	②…×③	②…×③		①…×	①…×	①…×	①…×	①…×	①…×		0	0	4	0

はじめとし後半2分、20分、21分、25分からタイムアップまでの猛攻は本シーズン三試合に見せた東大の多彩攻撃のFW線を除くものがあつたとは言へるがあと一歩のところに完成を欠いてゐる、これ等の點々と作られたチャンスが半は成功してゐたならば引點の上に於ても早大は優勢を免れ得なかつた

◇…早大はこれ迄の三試合の結果に對し深く拔いた策略の跡に小久保、杉の新人を起用してFW線を編成したがこの苦肉の策としての新水の點はこのビッグゲームに對するに餘に不利と見られたが遺憾の定奇を求めたに過ぎず結果を齎したに過ぎず、新人小久保によつて同點とするゴールを挙げはしたが二新人とも東大バック老功の敵中のものとなつてゐた

それぱかりか高橋、落合の左側の攻撃工作はボールが足につかず東大の集中にして部厚い攻撃に對し加藤の防禦線に亘る動きは目立つてゐたが結局早大FW線は各自その分をさへ完うし得ない寸斷されたプレイで守備線を衝き切り得なかつた

その挙げた二點は皆はゞチャンスをよく捉へ得たものである、早大が東大に比し優つてゐたものは僅この點を挙げるに過ぎない

◇…後半吉田をOHに廻した事は得點の策略からすれば成功してゐたが、結果からすればまた負けた判定の一點を與へる事にもなつてゐる

三宅、吉田の交代問否は兎も角としてバックの潰しは生鋭いもので東大の決定的なものに對しては自ら脚踏を作つてゐるものといふべく其例として東大第二點のゴールを挙げよう、不意の快闘があつたればこそ東大の攻撃を阻み得たが不出來此上もないものであつた

◇…判定ゴールはレフエリーの裁量によるものであるが早大としては自ら招いたものとはいへこの失點、この敗戰は眞に殘ざめの悪いものである

◇…東大は岩動の進退に不安を宿してゐるが戸惑ひつゝある早大相手とはいへ激突の意氣において技倆においてまた判斷において



後半十二分東大のゴール成りリード

神られた體力において尻上りの調子を示し劣勢に迫つた事は否めない（山田生）

※次のページ下段に試合経過

S13-11-14

明大最後の五分 文大を打棄る

大學蹴球リーグ戰

關東大學蹴球リーグ明大對文大の試合は十三日午後二時から東大球場で竹腰（主）小林、河西（線）三君審判の下に明大先蹴で開始。強風に煽られて球の操作を妨げられたが接戰を演じ文大は85分を1—0のリードの末最後の五分に打棄られて惜敗した

明大 2(0—1)1 文大

◇…文大は1—0のリードを保つてこの儘試合は終るかと思はれたのであるが明大は殘る5分で二點を稼ぎ挽回しい打棄りの試合となつて文大85分の健闘さを吹つ消してしまつた

下位を爭ふものとされたこの一戰、文大は對慶大戰を殘すが四戰四敗第二部への轉落の色はいよいよ濃いものがある

◇…文大は前半8分OR小川の左前送球を明大RB中島第見送りOL横原とつてロビングボールを出せばGK田中確保したがOF原崎の恰好のチャージとなつてゴールインし文大幸先よいスタートを切つた

強風を負つた文大は猛攻の手を緩めず明大陣に一方的試合を續け前半コーナーキック12を試みゴールキック19をかぞへしめたのであつたがFW線の拙の惡さは斯かる中にも僅かに一點を擧げたに過ぎない

これに反し明大は後半風上になつたが攻球を欠いて遂に文大を衝くに至らず喘ぎつゞけた末40分間が

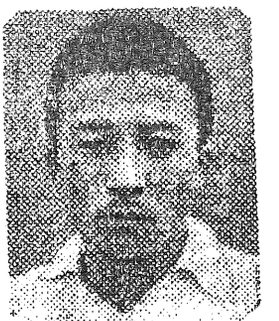
| | | |

S13-11-17

精悍と巧緻の戰

勝敗の鍵は早の守備線如何

早慶サッカー豫想





上は慶大播磨主將
下は早大笹野主將

東大學生蹴球リーグ戰も第二部は既に優勝チームが決定し第一部は三試合を殘してゴールは愈〻近いこの三試合のうち文慶戰は十九日に早慶戰が行はれる、文慶戰は文大が敗れゝば文大が最下位となつて第二部へ落ちるが慶大の敗戰となればこの結果明大と文大とは一勝四敗の同成績となつて最下位決定の必要上改めて一戰の要がある

早慶　戰は連勝を目指す慶大が春全日本選手權大會決勝戰の敗北の雪辱も遂げねばならぬ一戰であり早大からすれば既に二勝一敗一引分で、爭覇圈外に去り尾羽うちからしてゐるとはいふものの男の意氣地にかけても春の榮冠を死守せねばならぬ試合である

慶大播磨主將は「春の雪辱と二年連覇の前にあらゆる方面から整備を進め現在はひたすら打倒早大のみ考へてゐる」と語り早大笹野主將も「制覇の希望を失つても天下の早慶戰に恥ぢぬ堂々の對戰をするため死物狂ひの練習を續けてゐるが遲ればせながらせめて最後を飾り度い」と切々たるところを示してゐる、傳統の魂と魂、力と力、技と技、智慧をしぼつてのこの對戰は早大が手負ひ獅子の如き立場にあるだけ激戰血戰にこのシーズンのビッグゲームとしての彩りを盛り上げるものと見られる

今季　の戰績を通覽すれば慶大の二宮、播磨を中心とするスピーデイな攻撃多彩のFW線は三試合において20點といふ大量得點を擧げ鉄壁の如き感もあるにはあつたが守備線は春に比して強靱さを增してゐる、最も注目すべきは緻密なプレイでFW線の二宮、播磨の名コンビに對し小畑の調和がとれCHは立派な完成を見せ兩翼は右の藤崎に覇氣之しとするも稍〻の思慮にして果敢なプレイは十分信頼が置ける、早大は對東大戰に缺みてゐた練習問題を採用すると見られるから杉、加茂、末岡、渡邊、高橋と組んで見れば慶大の糸を手繰るが如き圓滑さは欠けても攻撃力としては左程見劣りはしない

FW　線の彈みをつけての速攻はこの試合を見應へあるものとしようが勝敗の鍵はこの精巧のFW線に應ずる守備線の出來如何とチームを貫く精氣にかゝつてゐるよう

慶大は三試合にして各二點づつを失つて六ゴールを落し、不落を誇つた早大も慶大のため一ゴールを奪はれ對東大戰は三ゴールを失ひ四試合で四ゴールを算してゐる、この數字は早大守備力を高率としてゐるが慶大にウイークポイントがあるやうに早大にも衝ひ切れぬ案外大きな穴がある

互にこの點を衝かんとしてこゝ一週間の練習を進める中に補強の策に心を碎いてゐる

石川を主軸とする宮川、加藤のFB線、高島に優越えた笠原を配するであらうHB線、三宅、吉田、荘田のFB線と笹野、柴田のHB線はいづれが劣るとも定め兼ねるも五分五分と不破に一長一短あつてもこれまた優劣を取りあげられぬ

チーム　として早大に稍〻停滯さがあり、慶大には精練された攻緻が目立つてゐる、總體的に早大は稍〻劣勢で慶大は優勢なプレイでボールの

四分六、農に有利

共に納めの農文戰

文大對農大は共にこれが納めの一戰とはいふものゝ文大からすれば一ケ年の忍從苦節を實現に賭するかどうかの一戰である、攻撃力に期待されるところはあつたが徒らにゴール前に球を寄せるだけで結局無力を暴露した對明大戰からすれば農大のところ常に學味を加へる事に努め玉碎の意氣を以て血鬪も辭せぬならば五分の試合も豫想されるが然らざる限りは先づ多少の劣勢が物を言うて敗戰を甘受せねばならぬと見られる、若しこの豫想を裏切る事になれば魂の勝利である

對　明大戰に於ける文大のオープン戰法は或る程度の守備線破壞に成功はしてゐたが最後を利かし得ず戰ひとる意氣組みを以てしてあの程度のものならば農大守備線を突破して勝利のゴールをつぎ〳〵と擧げ得ようとは考へられない、農大が對早大戰において思ひ設けぬチャンスを拾つて先取點を擧げたのも守備力に信頼を置けた結果であり文大のFW線に比し必ずしも優るものとはいふを得ないが攻撃に際して彈力を持つところがある、所えた攻撃ではないにしても文大守備線は豫想以上に苦しむ事も考へられる

双　方共にこれと言つて傑出したプレイヤーを擁してはゐないが早大との試合で氣をよくしてゐる農大、不覺にも躓いてしまつた文大の反撥の意氣がなければ六分四分農大の有利は微動だにしまい（山田生）

S13-11-19

淸山師範蹴球快勝

本社後援關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會を前にして既に東京代表となつた淸山師範と千葉代表を目指す千葉師範との蹴球戰は十三日正午から淸師球場で稻原審判の下に擧行、4―0で淸山快勝

淸山師 4 (1―0 3―0) 0 千葉師

S13.11.14

十三日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
❶東 高 2―1 商 船
(1)浦高 2―0 成城
(2)外語 3―2 日出
③稻專 5―0 東出
❹高等獸醫 5―0 明 藥
❸高等工藝 3―1 高 農
（實業團リーグ）
❶マッダ 2―0 千代田
❶第一生命 2―1 日本鋼管
右の結果順位は❶マッダ八點❷千代田、第一生命4點❹東京朝日3點❺日本鋼管1點となつた
❷東京計器 3―2 日 銀
❷日本光學 2―0 日本徵兵
❸東京火災 5―0 東京瓦斯
❹鐘紡製絲 5―0 日淸生命
❹新潟鐵工 2―1 石川島
（關西學生リーグ）
關學 9―2 神高商

S13.11.20

十九日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
❷外 語 1―0 靑 學
❸明 藥 3―3 高等工藝

S13.11.21

二十日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
❶浦 和 2―2 商 船
❶府 高 0―0 成 城
❸高 農 2―0 高獸醫
（關東實業團リーグ）
❷日本徵兵 4―1 興 銀
❹日 立 6―1 石川島
❹明 藥 12―0 日淸生命

S13.11.23

小學校蹴球大會

廿七日神宮で擧行

本社後援

學童蹴球界の唯一の年中行事として、また球界の檜舞臺として實に意義深き本社後援東京蹴球團主催の第十七回關東小學校蹴球大會は來る廿七日午前九時半から神宮競技場で行ふ事になつた

第一部は第六學年チーム、第二部は第五學年チームで第五學年以下の學童も交へたチームは第二部として扱ひ各部毎にトーナメント式によつて行ふ、參加申込は大森區大森二丁目五九東京蹴球團あて二十一日を以て締切る

組合せを決定する蹴球者會議は二十二日午後四時から本社會議室に於て開く

小學校蹴球組合

本社後援東京蹴球團主催第十七回關東小學校蹴球大會は既報の如く來る廿七日午前九時半から神宮競技場で行ふが廿二日本社會議室で抽籤を行つた結果組合せは左の如く決定した

◇第一部（六年）（A）埼玉縣兒玉對東京市宮前（10時40分）△決勝―（A）勝者對埼玉縣浦和第二（0時10分）◇第二部（五年）（B）東京市宮前對埼玉縣浦和第二（10時）△決勝―（B）勝者對東京市油面（11時30分）

S13.11.23

關東中等蹴球

本社後援 關東蹴球協會主催

千葉山梨豫選

第六回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會の山梨豫選は十九、二十日の兩日縣下大會を兼ねて甲府商業球場で、千葉豫選は二十三日千葉醫大球場で夫々行はれる事に決定し組合せは左の如く決定した

◇山梨豫選 △第一回戰（A）甲府中對甲府商（B）韮崎中對山梨師範△準決勝（B）勝者對都留中（A）勝者對谷村工商

◇千葉豫選 △第一回戰（A）千葉師範對佐倉中△決勝（A）勝者對東葛飾中

S13.11.18

關東中等蹴球

本社後援 關東蹴球協會主催

千葉代表千師

第六回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會千葉豫選は廿三日千葉醫大球場で擧行、千葉師が六回連續代表となつた

◇決勝
千葉師 2 (10 10 0001) 1 明倫中

S13.11.24

懷古板

◇…立大蹴球部明年度新役員▲主將岡本恭作▲副將藤野岩夫、決事▲マネジヤー佐藤六郎、加藤爾樹

S13.11.23

S13-11-20

文大一部に落つ

大學蹴球 農大と引分け

▲東大學蹴球リーグ文大對農大戰は十九日午後二時から青山師球場で高山（主）本堂、鍋島（線）三吉審判團文先攻に開始。文大FW線のパスワークよく前半一點を先取して試合を有利に運んだが最後の五分が支へ切れず自殺點を獻じて引分け文大は末位となつて第二部に落ちる事になつた

文　大1（1―0）1農　大

◇…各ラインを整備した文大はここを先途と攻め戰ひ最後を飾るに相應しい試合振りであつたが七分三分の好戰も最後の五分に至つて勝利の試合を持ち越へ切れず引分けに曳つてしまつた。對明大戰の最後の五分に打棄られた以上に無念遣る瀬ない一戰であつたと同情される

◇…農大は文大矢繼早の攻撃にあつて守備線の亂はざる處を衝かれて後手をひき1―0の重點下に豫期に反した重く且つ鈍い試合を續け勝味はいふ迄もなく引分けの希望さへかけ得ず文大は先取點に更に得點が重ねられるものと見られたのであつたがFW線兩翼の著しく目立つた低調は只攻撃線の貧富さを誇るのみであつた。この經過を辿つた後に農大は攻撃機會であつたには相違ないが思はぬゴールに引分けを拾つたといふのがこの試合の大觀である

◇…農大はGK川本のプレー冴えず不安を宿しながらもFB線のピンチに强いプレイに救はれてゐたこれに對し文大FW線はバックスの豐富なアイデアによつてよく押したが兩翼の捌きつけ得ぬプレイと强シユーター原崎が右側をまとめて行く理不盡のポストプレイはなく統一を缺すしかも原崎の立直りが遲れて最後が利かずに止んだ。言ひかへれば僅差なる試合であつた丈けで拾ひ物とはいふものゝ農大は此最後の一戰に對するに余りに蒼白してゐたため出端を挫かれ後手をひく因をなしてゐた。余りに大事をとり過ぎたのである（山田生）

試合經過

◇前半　文大は10分OR小川の巧球をRH原崎スルーパスで前送LOF原崎とつてシユートしゴール成り文大先取點を擧ぐ▲26分文大はゴール左前でOL堀原凡飛で好機を逃し▲28分農大はペナルティエリアに近く正面にフリーキックを得、尹の好球バアを彈いて後OR定免絶好の機會を逸す▲42分農大はIL手の左前好巧球をOL機部凡ヘッドでゴールアウトとして止む

◇後半　10分迄文大は農大陣に球を集め原崎のチヤージでGK川本の落球の時OR小川拾つてシユートしたが農大はRB佐藤のゴールカヴアでのがる▲20分文大は左コーナーキックを連取し二回目の好球で農大ゴール曝されたがLB吉田のゴールカヴアで辛くものがれ▲22分農大は文大陣にフリーキックを得て尹へツヂングしたがゴールアウトとなる▲40分農大は定免佐藤のパスで右側から出でゴール前に送れば文大は藤田のミスキックでゴールを與へ同點となる

（注）アコ明スは19日

	文大	農大	早大	慶大	綜合	學院	東大	農早	農明	文大
文大		②	②	②	②	②	②	②	②	②
農大	①		②	①	②	②	②	②	②	②
早大	①	①		②	①	②	②	②	②	②
慶大	①	②	①		①	②	②	②	②	②
綜合	①	①	②	②		②	②	②	②	②
學院	①	①	①	①	①		②	②	②	②
東大	①	①	①	①	①	①		②	②	②
農早	①	①	①	①	①	①	①		②	②
農明	①	①	①	①	①	①	①	①		②
文大	①	①	①	①	①	①	①	①	①	

	勝	分	敗	點	定
文大	4	0	0	8	1
農大	3	0	1	6	
早大	2	1	2	5	
慶大	2	1	2	5	
綜合	1	2	2	4	
學院	1	0	4	2	
東大	1	0	4	2	
農早	1	0	4	2	
農明	1	0	4	2	
文大	1	0	4	2	

大	本正田	樫井坂	免武林
農	川	佐吉富石	定佐小尹
大	GK	B	B	FW
農	GK	F	H	FW
大	内浦家	崎田	村川	林崎	知原
文	中松三原	原中	小小原	多	補
	5	5	9		
	3	5	23		
	C	K	K	K
	C	F	G	K

S13-11-21

早大の鋭鋒現れず 慶大實力で押切る

シーズンを飾る快戰

関東大學蹴球リーグ早慶戰は二十日午後二時から神宮競技場で高山（主）官澤、小林（線）三吾審判の下に青年館側に陣した慶大の先蹴で開始。北西風あつたがフキールド・コンヂションよく試合は慶大の强攻によつて火蓋を切り好戰を演じた末慶大が2―0で春全日本選手權決勝の復讐を遂げ意來る二十七日東大と同成績を以て本シーズンの覇を爭ふ事となつた

慶大 2（1―0）0 早大

◇…早大は今シーズンはじめての快戰を演じたが遂に有終の美を濟し得ずに止んだ。然し假令今春の遲り討ちを受しくし敗れそりとはいふものゝ大戰に於て省みて恥るにはあたらない

春の雪辱を期し連覇を目指す慶大はキックオフと共に精練されたチーム力を誇示しつゝ陣を進め早大勢を堂々と壓した

氣力、優れたフットワーク、緊然たるパスワークに光りを見せた慶大に對し戰の備へを十分に立てた筈の早大も鋭い慶大の攻撃の前に中盤の潰しが容易に利かずその守備線は勞頭から足搔いた

◇…最初の得點は幾つかの變化を經つたにしても機先を制して出た慶大の好調が斷次に突いたところの決定的のものであつた

既に示した實力の相違からすれば先づ免れぬゴールで後半の定石的の突破の後に擧げられたゴールも順當のもので全く施す術のないものであつた

◇…氣ろツグザグのスピーディな突破に成功してゐた慶大が二ゴールに止んだのは戰勢からすれば物足らない感じを與へた、またFW線を整へ得ないにしても早大がノウゴールに終る試合ではなかつた、殊に後半に入つて疲勞に餌つた地線があつた、勿論慶大の部厚の攻撃に比すべくもないがチヤンスとして數へ得るものが數度あつた、然しこれも後援つぶかずの守備的に偏してゐた點からすれば止むを得ずといふか

◇…慶大はコーナーキックに際しFB線を上げて中央線を越えて早陣に配して積極的であつたに對し早大はこの時においても慶大の反撃を豫期して消極的の配陣であつた點からすればFW線も三人力し か出し得ないでは致し方なく防作戰であつたといふの他はない

今シーズンの出來榮えからすれば充實の確信を待ち得ないのであるからこの一敗は寧ろ捨て身で臨むべきであつたと思ふ

◇…鬼まれ勝敗は順當であつたとしても一段の期待に副ふビッグゲームの内容豐かに盛られたもので兩軍の全力を傾け盡した點に敬意を拂ひ推賞を惜しまないが數つかの醜いファウルプレイが行はれた事はまた惜しみても餘りあるものである（山田生）

【早 大】 【慶 大】

破田田田宅野	茂岡澁橋	
不吉藏柴三笹	杉加末渡高	
K B B	W	7
G F H	F	8
田藤川原川島崎	麿宮畑俣	16
津加宮笠石高篠	善二小猪	
10		K K K
8		C F G
15		

試合經過

◇前半 慶應はキックオフと共に右側から進みCR篠崎の好センターリングをCF二宮シュートしたが外れ▲3分慶大は二宮ドリブル・シュートしたがGK不破辛くも體で彈いてのがる▲慶大は5分早陣にフリーキックを得たが早大バックよく防ぎ▲14分早大は杉加茂の好パスで慶大ゴール前を横に通した末渡邊シュートしたが慶大は石川のゴールカヴアでのがる▲慶大は17分中盤に奪つた後早陣にフリーキックを得た後OL猪俣の右前好送球を篠崎切れ込んで體にあてた儘ゴールを陷れ先取點を擧ぐ▲早大は20分OR杉フリーシュートしたが大きくアウト▲40分早大は右コーナーキックを得杉の好球を加茂ヘッディングしたがバアの右端を彈いて後に續くものなく止む

◇後半 早大は6分左コーナーキックでFW線揃つて猛攻を試みたがシュートするに至らずこの直後OR杉の好球あつたが出足鋭く止む▲慶大は10分右側から進みFW線の出足揃はず15分石川の右前好送球を篠崎シュートしたが外れ左に流れたのをILL小畑辛くも拾つて中央に寄せ二宮きめて2―0大勢を決す▲25分早大はRH柴田のフイード加茂とつて疾驅との好パスに正面を割つたが巧しく止む▲36分早大は右コーナーキックをとつて吉田、加茂の長身を揃へヘッディングで攻め▲44分慶大は早陣にフリーキックを得て猛襲を試みたがGK不破のクリヤーとなつた

◇第二部

慈 大 4（4―0）1 千葉醫
0（0―1）1 大

◇第三部

上智大 4（1―0）1 日體大
3（1―1）1

關東中等蹴球山梨代表は韮崎中

【甲府電話】本社甲府通信部後援山梨縣體育協會主催縣下中等學校蹴球大會は二十日甲府商業で擧行參加六チーム熱戰の結果前年の覇者韮崎中學が三對一で甲府中學を破つて優勝し關東府縣對抗中等學校蹴球大會出場權を獲得した



前半十五分早大ゴールに慶大早殺到

第一回戰	20日	早慶明文
東慶早慶明文	スコア	大大大大
大	2	2 0 0 1
…	2	1 0 2 1
×	0	2 2 0 1
×	1	0 0 × ×
…	4	2 × 1 1
×	3	8 1 4 ×
×	3	6 4 2 2
×	5	0 2 1 2
勝分敗		4 0 0 2
點		8 0 2 5
得		8 4 4 2
定		8 5 2 1

S13-11-28

慶大見事に連覇

東大猛攻り遁ざ前半に失點

後半の健闘も及ばず

大學蹴球團結

關東大學蹴球リーグ今季の最終戰である慶大對東大の試合は二十七日午後二時から神宮競技場で野村(法)主將指揮の下に東大先攻で行はれた。無敵同士の對戰には申分ない日和で球界はじめての大觀衆を擁して東大は時計臺側、慶大は青年館側で微風を背負つて對戰し東大の好スタートで開始され熱戰を續けたが前半十分東大の凡守を破つた慶大は對手の猛攻撃を以て戰ひを進め快勝して連覇を成就した

慶大 3(3—0 0—1)1 東大

◇…東大の猛進撃により今シーズン最高の技倆と鬪志を盛つた爭覇の一戰となり緊張さへさせぬ稀有の大快戰となつて前半戰に慶大は3—0と開きはしたが後半東大の物凄い反撃でタイムアップのホイスル迄手に汗させた

◇…慶大は東大の意氣にはやつて技倆これに伴はぬ猛進撃を巧みにあしらつた末10分東大バックスが茫然自失して見送る間に見えた隙を突いて勝利の基礎を築いた。斯かる大試合に於ける大勢を支配する重重なゴールを擧げた慶大が氣負ひ立ち決河の勢を示した東大がこの失點に鉾先折れた形の崩壞となつた、慶大が陷れた第二、三のゴールはこの隙を衝いたものであり攻め手は確かに勝利の巧者があつたと言へる

◇…東大は後半化の後に失つた第一點であつたがこれは試合最初の鋭い出足と潰しからすれば二點が左に廻り込む前にかて完潰さるべきであつた。東大の肝息した對抗陣の決潰は此失點前後から芽生えそめたものと見られる、第二、三點は順調に乘り切つた慶大の勝利への景物でしかなく、これに比すれば東大が後半反撃に奮ひ立つて掌握した一點こそは死鬪の結晶として當然のものであり貴重のものであつた

◇…東大のため惜しまれるものは第一失點と共に反撃蹶起の對應のなかつた事である。慶大FW外の強い壓迫に引き廻されたにしても果敢最後の潰しが成功してゐたならいふ迄もなく、これが試みられたならば3—0にまで離されはしまい、10分後約十分といふものは實が越入つたか心氣朦朧として只徒らに慶大の强攻を敢行させたといふ憾みが多い

◇…東大はOB愛田の不調に代へるに大屋を以てし神戸一中時代から六高時代の球友で仕立てられた左側のコンビを右ながら復活させんとした苦心も大屋の蹴球力之しいため遺憾は生じたが球人一體。十一人打つて一丸とするの域に到達した慶大の黄金線に比すれば强引陣部のプレイも影をひそめG3の攻撃的興味を無くしてゐては自と優劣の差は看取された

◇…試合當初の變化に工夫を凝らした東大の進撃は智に長けて技に欠ける結果に於て成功を齎らさなかつた、東大の猛撃を脳裏想して臨んだ慶大は守備線の過失なく攻撃線の得點からしてもチーム力としては一日の長が認められる

◇…OR篠崎が慶大の唯一のゴールゲッターとして光つたのも寄であるがこのあたりに慶大FWW線の3B線突破の脳へをたてた績にも彈力のあるを物語るものである

◇…慶大の巧みな逃げ込みとなつたが機先を制せられしは東大は反撃態勢への轉換に備へるところあつたか、兎まれ爭覇には申分のない激しい競り合ひが處所に展開され堂々の大試合であつたが東大からすればHB線のフオロウ・アップが稍不足したところに心殘りがある(山田生)

試合經過

◇前半 東大左から進み3分から左CKを三回連取したがGK津田のクリヤとなつて止み▲4分慶大はOL猪俣の好センターリングあつたが流れてアウトとなる▲5分慶大はRB加藤の長驅球の時機遲飛び込んだがGK岩動機保して逃れ▲7分東大RH田村のロングパスはゴールアウトとなり▲8分左CKを得たが慶大はGK津田ノックしてのがる▲10分慶大はCF二宮左に廻つてのセンターリングの時東大バック見送りGK岩動一旦クリヤしたが切れ込んだOR篠崎拾つてプッシュし一點を先取▲12分から慶大はFKと左右のCKを得て攻め立て▲17分左CK後東大バックのヘツヂングのミート惡く洩れた球を二宮バックヘツドしこれをOR篠崎ヘツドでさめて2—0と引離す▲東大は進撃機會なく慶大は29分中央にFKを得二宮ヘツドで捌いた球を篠崎左シュートしてゴール成り3—0と開き大勢決す▲東大は36分關の進出遲れたと思はれたが競り合つて勝ちOL松村から阿部、直木とパス、直木の好球を慶大GK津田辛くも捕球してのがる

◇後半 4分東大は慶大が自陣のFKを拾つて阿部、松村のパスで進み右に通しOB大屋辛くも遮んだがゴールアウトとして止み更に8分右側から割つて出たがOL松村潰されて强攻機會空し▲10分慶大は加藤援護の下に番齒左に廻したが左側の進出遲れ左CKを得たが東大苦心のクリヤとなつて止む▲17分東大は正面を割つて進み直木の强襲と共にLI大槻突つ込んで守備線を亂した末OL松村シュートして一點を關いた▲22分東大は左CKを得つゐて右CKを得大屋のキック强かつたがLH關ロングシュートで慶大ゴールを寄かし暫らく中盤の競り合ひを續けた後▲40分東大は縱パス突破に成功して出たが慶大バックよく守つてのがれ東大攻撃のうちにタイムアップとなる

※次のページの上段に

(下頁)

蹴球第一部成績表

(圓字スコア)

	文	慶	明	早	東	慶	合計	勝分敗	點
文		○	○	○	○	×	5	5	10
慶	×		○	○	○	×	4	4	8
明	×	×		○	○	×	3	3	6
早	×	×	×		○	×	2	2	4
東	×	×	×	×		×	0	0	0
慶	○	○	○	○	○		5	5	10

	得點	失點	差
文	5	0	5
慶	5	1	4
明	2	2	0
早	2	4	−2
東	1	5	−4
慶	5	1	4

	合計	勝分敗	點
慶	5	5	10
文	5	4	8
慶	5	3	6
明	5	2	4
早	5	1	2
東	5	0	0

	得點	失點	差
慶	14	1	13
文	10	4	6
慶	12	5	7
明	12	5	7
早	4	12	−8
東	1	14	−13

本社後援

關東小學蹴球大會組合せ

◇第一部(六年)

【準決勝】埼玉縣兒玉對東京市宮前(10時40分)

【決勝】埼玉縣浦和第二對準決勝者(0時30分)

◇第二部(五年)

【準決勝】東京市宮前對埼玉縣浦和第二(10時)

【決勝】東京市油面對準決勝者(11時40分)

けふ・於神宮競技場

大	勤島山村池	屋木部綿村								8
東	岩瀨大田蔭	大直阿大經								6
	KB	BB								17
	GF	BH	FW							
大	田藤川原川島崎宮畑俣									6
慶	津加宮笠石高篠二小猪									14

S13-11-27

※前のページからつづく　慶大対東大戦



前半17分慶大第二點目のゴール

S13-11-26

中等蹴球茨城

【水戸電話】關東蹴球協會主催本社後援第六回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會茨城縣豫選は廿七日茨城師範球場で行はれるが麻生中學の初參加があり豫選出場校は左の六校となつた

茨城師範、茨城工業、水戸中學
水戸商業、水海道中學、麻生中學

豫選六校出場

小學蹴球、時刻變更

本社後援東京蹴球團主催第十七回關東小學校蹴球大會組合せは既報の如く決定したが決勝戰時刻を左の如く繰り下げる事になつた

◇第二部決勝戰—午前11時40分
◇第一部決勝戰—午後0時30分

S13-11-27

中大三部に優勝（蹴球）

關東大學蹴球リーグ第三部最終戰の中大對工大戰は二十六日午後二時から工大球場で宮本（主）米川、横手（線）三君審判の下に中大先蹴で學行、中大勝つて三勝一敗の成績を以て優勝した

中大	2	0—0	0	工大
大	2	0—0	0	

【大】我藤　金　波中木本下
【中會內　雜田鈴青　李千
　GK　山　山
　FB
　HB
　FW
【大】賀井谷　築藤田達見川田

5	9	9
15	CK	16
25	CFG	K

【工志酒加　祖遠福安細小池

明大青師に勝つ

明大對青山師蹴球試合は二十六日午後二時四十五分から青師球場で本堂君審判の下に明大先蹴で開始4—0で明大快勝す

明大	4	3—0	0	青山師
		1—0		

S13-11-27

二十六日の運動

◇蹴球（關西學生リーグ）
關大 2（2—0 0—0）0 神高商
△關東高專リーグ
④商大專 4—0 大倉

S13-11-28

關學優勝　關西學生蹴球

【大阪電話】關西學生蹴球界の覇權を決する京大對關學大の試合は二十七日午後一時から甲子園南運動場で松村（主）津田、右近（線）三君審判の下に行はれたが、浦和中學關したが得點に至らず埼玉は堂々と優勝し埼玉代表となつた

埼玉師範 6（2—0 4—0）0 浦和中

【師】田富賀田藤澤田藤中木
【埼玉吉藤田深吉森池深伊鹽近山鈴

6	6	5
CK	FG	K
12		G

【浦】片田酒宮西藏小生宮福小
【中倉村井崎原山原田野田泉

關學大 2（0—0 2—0）0 京大

【大】信井田邊田須）野中島園
學村
【關中等岩田三那中岡田田梅

9	3	14
CK	FG	K
14		G
24		

【京岡眞大小安唐伊　村小右
【大】本鹽澤倉唐原藤　上野光

來月四日東西爭覇

東西學生蹴球優勝校對抗戰は來る四日午後二時から南甲子園球場で關東大學リーグ優勝關學大と關西學生リーグ優勝關學大との間に行はれる事になつた

中等蹴球埼玉代表は埼玉師

本社後援　關東蹴球協會主催

第六回關東中等學校府縣對抗蹴球

茨城中等蹴球優勝決定せず

【水戸電話】茨城縣下中等學校蹴球大會は廿五日午前九時から茨城師範グラウンドで參加六校の下に學行、水戸中學、茨城師範が勝殘り午後三時から水中先蹴で開始したが双方無得點のまゝ延長三回に及ぶも勝敗決せず勝敗は一時預りとして審議の上優勝を決定することゝなり、又本社後援關東蹴球大會出場校は日を改めて兩校再試合の上決定することになつた

S13.11.28

廿七日の運動

◇蹴球
早大0B 6—4 早高
▲實業團リーグ
②興銀 1—0 東京計器
③淺野セメント 4—1 三共
④明薬 2—1 新潟鐵工
▲關東高專リーグ
①浦高 6—1 東高
①府高 4—3 成城
【順位】①一高9點②商船、浦高7點④東高5點⑤府高、成城1點、最下位は成城と決定
②青學 2—2 日歯
②横專 5—1 外語
【順位】①成蹊8點②横專7點③青學、外語5點⑤日歯4點⑥東歯一點
③高工 10—1 東薬
③明薬 3—2 高農
▲關西學生リーグ
②和高商 6—2 同大高商

S13.11.30

廿九日の運動

◇蹴球
早高 4（1—0 3—0）0 立大豫

S13-11-28

一部、二部とも 浦和第一優勝

本社後援 関東小學蹴球大會

本社後援東京蹴球團主催第十七回關東小學校蹴球大會は二十七日午前十時から明治神宮競技場で擧行小春日和の好天に惠まれ少年選手の意氣とみにあがり九時半健康優良兒たる參加六チームの入場式は宮本委員長の指揮の下に行はれ宮城遙拜、明治神宮遙拜、皇軍の武運長久を祈願し戰歿勇士に敬虔の默禱を捧げて後前年の第一、二部優勝校浦和第二小學校から優勝旗の返還あつて式を終り第二部（五年）の宮前（住原）對浦和第二（埼玉）の試合を以て歷史ある大會の幕は切られたスタンドの一角は浦和第二の百余名の應援團によつて占められ應援の拍手と聲は渦卷いて大會は一段と活氣を添へた

各試合ともフイールド一杯に大熱戰を演じた末覇權はまたも浦和第二が兩部とも獲得し球史燦然たる本社寄贈の眞紅の大旗が授けられ一方關東蹴會寄贈杯が贈與されて大會は一時十五分盛會裡に終了を告げた

第二部（五年）

◇準決勝

浦和第二 3（2―0 1―0）0 宮前

【宮本（主）野口、岩波（線）三君審判】

◇…新興宮前が敗れたのは順當であつたが浦和の鋭い攻撃に對して僅か三の失點で食ひ止めたは大奮闘であつた、中にもGK本村の活躍は目ざましいもので勘のよい好プレイに自ゴールに迫する危機を救つた、宮前はもつと攻撃に出る工夫をしなければならない

◇…浦和は各ラインを整へて前半九分水村、島澤のパスで先取點を擧げ、13分鹿倉ブッシュの得點で2―0とし後半14分島澤、石川のパスで得點し快勝した

【浦和】小加高大堀矢島芹水石鹿 4 0 0
GK B B
GF H FW
【宮前】村原城藤邊部田葉村中川 0 0 0
CK CK CK
CF GF GK

◇決勝戰

浦和第二 3（2―0 1―0）0 油面

【八田（主）渭水、岩波（線）三君審判】

◇…風下の油面は開始間もなくよいパスワークで攻撃しチャンスあつたが惜しくも逃し浦和は4分左から進んでゴール前に送つた球をRI半澤ブッシュしてゴールを陷れ13分CF水村クリーンシュートして得點、油面は防戰つとめたがこれが致命的の失點となり何ひ風で球は飛ばず後半各ラインを整へて反撃を企てたが浦和完璧の守備線を破れず敗れた、足技に長けた浦和の勝利は順當である

【浦和】侯藤本澤口代澤澤村川倉 2 1 0
GK B B
GF H FW
【油面】川成田野江原 倉 木谷納倉 0 0 0
宮友池高入管 露金喜小 7 17

第一部（六年）

◇準決勝

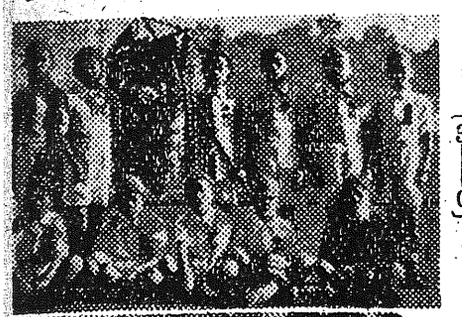
兒玉 3（0―0 3―0）0 宮前

【粉川（主）吉田、根原（線）三君審判】

◇…宮前は堂々と對抗して五分五分の熱戰を續けてゐたが後半兒玉の巧妙な攻撃を潰し切れず敗れた

◇…宮前はFW線ももつと後退して守備線を援け球をかき出して

【兒玉】平井橋田本崎馬森島原田 2 0 5
GK B
GF HB
【宮前】山藤田井田上野川口池勝 1 3 22
CK CK CK
CF FK GK
【宮村濱松長永機星瀬野大後





優勝の浦和第二チーム（上一部・下二部）

ゐたならば前半と同じ樣に立派に對戰出來たらうと惜しまれる

◇決勝

浦和第二 3（2―0 1―0）0 兒玉

【粉川（主）平井、茅根（線）三君審判】

◇…浦和は5分よい出足で兒玉ゴールに迫りCF福田ブッシュして先取點を擧げ10分兒玉バックのヘッデングがゴールに流れ込んだ失點を拾つて二點をリードした、兒玉は守備線を下げてゴールを厚く守つてゐるやうだがマークが完全でないため巧妙な浦和のFW線の進撃を容易ならしめてゐたのは拙い、FW線ももつとキープしてパスすれば浦和のゴールを脅かす事は出來たらう、浦和は依然一日の長がある、よいキープと優れたフットワークが勝利を獲得した

【浦和】澤浦島寺本藤田田木田 1 0 6
GK B
GF HB
【兒玉】平井橋田本崎馬森島原田 3 0 26
CK CK CK
CF GF GK
【兒岩優高島坂尾遊長田芳岸

浦小杉中金野近神山福佐赤

關東大學蹴球リーグ戰總評

慶大順當の制覇

讃ふべし東大の健闘

―(上)―

約束共に再開戰としての内容を繰り上げた慶大對東大の一戰を最後として關東大學蹴球リーグの今シーズンはそのスケヂュールを完了した。第一部では慶大が壓倒の強さを示け。第二部では前シーズン轉落した商大がこれも全勝の記錄を止めて返り咲く事となり第三部は中大が最後の一戰で漸かび上り豫期せぬ優勝の拾ひものをした。第三部は中大の作戰變更した一回戰の混亂に一抹の同情が注がれるが第一、二部に至つては順當の結果として見られる

第一部六大學にかてては戰績の慶大がLH松元の後に高島を補充しただけでチームとして最も惠まれた條件の下にあり組織されたチームカを具へたのも肯かれようしまた戰歴も慶大からすれば當然の成績を繰つたに過ぎないものであらう然し慶大の優勝力を培養せしめたものは春の全日本選手權大會における決勝戰で早大のため苦杯を嘗めたところに示唆され、これを契機として傳統の殻が脫ぎ棄てられ今日迄期の榮冠が齎されたと見るは誤りであるまい。前シーズンは二宮、淵脇のフォームとか津田あつてのフォームといつた風に見られ、これ等の人人がチームの生命を支配づけるが如く雰圍の中に一際光明を放つ金星として賞はれたものであるが今シーズンのこの人々は慶大チームからすれば十一分の一の力を持つに過ぎず、一介の播磨であり二宮であり、津田でしかない。個々の力は試合々々により出來不出來はあつても總じて個々の力の均衡がとれ優劣力が平均して培はれチーム力に一層の潤が附せられた

守備力

にかては多少不安を宿すとされたものであるが前記早大に對してはゴールを許さず東大には一ゴールで慶、明、文の三大學に對しては各二ゴールで五試合に七ゴールを奪はれたに過ぎない

これは攻撃力を缺く事によつて不利の關係が誘發されると共に激しい競りあひ、果敢のタックルを敢行させるに至つた結果であるが、これを戰術的に見れば

3B制

の完成ともいひ得ようが實力と體力に叩き上げられた賜物と觀たい然し慶大について連勝の要を成就したところのものは斯かる技術的、戰術的のものよりも全員のこまやかなる協調にあつた。兄弟關係する不動陣の强味の裏にかくれて自然的に動むところの狎れ合ひについて互に攻め合ひ勵ましあつて技術を忘れず勝力に努めて魂のスクラムを立派に組んだところにあらう

慶大チーム力は十一人の結ばれた魂が一體をなしたがこれがチーム攻撃の發展で今期慶大のこの成功を齎めるにはあたらないが東大、慶大は別として期待に反した早大、早くも敵陣から敬はれた明大、死闘に撃つう卿ひはあるとしても淡く消えた文大などはこの慶大に關し得る熱々たる魂の叫びがあり十一人の結ばれた魂があつたと慶へ得るであらうが、とり立てゝ內面に相剋のあつたといふのではないが技術の練磨に力を注いでも作つて魂を入れぬものに力作を望めず傑作がありよう筈はない。先づ順當の結果であつた

無敵の

冠冕を再び獲得した慶大にも今シーズンを顧る時中なるみがあつた學實を擧げ得る、下位二大學に對しての各二ゴールの失は相手を與し易しと見くびつた最初の果ての手違ひであつた

またこの慶大について物足らなさを覺えたのはこのシーズンに於ける全力を擧げて慶、明を破んだ當の最後の五分を期しての慶、明が完成を見せの慶みのある事である。未だ前來あるチームで大成を望み得ないにしても今後に殘された問題としてながめたい一つである。從に返り咲きの慶應叶はなかつたが慶大の實績と共に顧へらるべきは東大の實績であらう

シーズンの初頭に於ては文大を警戒し慶大を侮れ、明大に對し慶重に構へる程チーム力は微弱であつたがシーズン深まると共にチーム力擴充を期した念願の成は慶大に敗れたにしても立派に成つた、シーズン前半慶大が傷つける等原を補用し得ざると同樣に

東大は

主將菊池傷ついてこれもシーズン前半の二試合に於て起用し得なかつたのは新人徹山の快闘があつたにしても慶大以上の不安であつた

期したところの完上り。試合傷の充實は東大において見られ六大學中最一のものと言へよう。攻撃をつき合せた如きチームを編成した尊の懸めなる姿も徹底を目指す實績に奮ひ立つて個々の特性をよく生かしながら今日の實を結んだ。まさに實績の賜物である。早大も拳べ明大は言ふ迄もなく慶應のとれた實の事なく止んだ文大もこれにならふべきである

慶大の如く彼倒必ずしも優れてはゐないが實力に於て個々の特性を巧みにつなぎ合せた點に於て實力に於て第二位獲得はあまりにも當然であつた

關志と

連つたチームは東大の行路を一應檢討して見るがいい。OB奧田の關與はその力をかとしてあらはし得ない點に最終戰は一般の慶應に出て大屋を起用し所期の如き結果は招來せず止んだとしても酒木とのコンビを期待したところは早大が第二戰の慶大との試合を引分けた末に欠陷を知りラインアップを更改したのとはその點を眼にしてゐて大屋の不調を含むにはあたらず雌雄の實績と評價するにはあたらない。シーズン五旬にして大を成した東大の精神はまさに結實された後のものであり復興東大の黄金時代再現は余り遠い日の事ではあるまい（山岡生）

S 13-11-29

關東大學蹴球リーグ戰總評

(中)

早大氣魄に乏し

下位校の奮起を望む

S 13. 11. 30

五シーズン連續優勝の榮冠を慶大のため斷たれた早大は今春中堅主力を送り出してその再興さへ危まれたものであるが六月行はれた全日本選手權大會で慶大を堂々とうち破り今シーズンに期待されるところは大きかつた

早大が ところがリーグ戰の跡を回顧するとこのチーム振興の機會と見られた壯擧は早大に安逸の夢をむさぼらしめ、慶大のみに訓へ內省せしめたにとどまつた

慶大を 降したものは完成されたチーム力によるものではなく旺盛なる鬪志を以て渾然一體となり前半を挑んだ賜物でその勝利の因つて來るところをよく究へてみた譯である

夏の合宿 に於けるミッドフィールドの徹勢を排しオープン戰術的の面目一新に過ぎすこれが所期の如く大成しても春の身を挺して戰ひとるの意氣が欠けては王座奪還の希望が充たさるべくもない

加茂の 力に多大の期待を懸み、吉田の力を以つてゴールの安泰を期つたわけではあるまいがシーズン前の對明大戰に於ては春に比して強靭さを欠き進歩の跡は全く認められなかつた、この試合は專あけであり止むを得まいとされたものであるが對文大戰もその持味の冴えを見せず低調のうちに暗影を投ずるに至つた

斯くて早大今シーズンの國覇をさぐるは慶大との一戰とされたが志氣沈滯、練習の不足は敵よりも味方をよく知つてゐるものであるかはいふ迄もない、また一人の監督不在實が如何にチームの機能を鈍らすかも嘆々する要はない、春季氣で名をなした早大は氣魄の乏しさに於て實の秋にかけ

東大戰 には勝つたやうに立ちもがつたがこの時にしてはじめて早大の眞面目が發揮された、不運の敗戰となつて、退くも余地なくされはしたものゝ意氣地を示した快闘は前試合の汚名を雪ぐに余りあるものであつた

シーズン半ばにして更生早大の姿を見ようとしたものが果してあつたらうか、士氣の振作、チームの構成上の不備などは今ここに究明の要を認めないが優秀なるチームの育成に注意の拂はれなかつた事に關しわれ人ともに一度考へて見るの要がある

一人の 名選手よりも非力ながらも十一人の力が如何に強いものであるかはいふ迄もない、また一人の監督不在實が如何にチームの機能を鈍らすかも嘆々する要はない、氣魄の乏しさに於て實の秋にかけ

今日の 問題は末梢的のものであるに過ぎない、東大の個個の技倆は早大に比し劣つてゐた、また慶大のイレヴンも個々に比較すれば早大のそれには遠く及ばないものがあつたけれども東大も慶大もその力以上の力を示してゐた、早大にこの事があれば五回戰の希望を斷つた慶大に報復を遂げたであらう、惜しまれるものである

シーズン 當初危まれた慶大はその精魂を打ち込んだ練習によつてチームとしての纏まりを見せた、殊に今東大の攻撃が成らずとする精一杯の試合をなし練習試合に關係された當の相手の早大を引きずり引きまはしたあたり天晴れの武者振りであつた

慶大と して見れば思ひ遺すところのない今シーズンであつたと言へよう、フットワークの鋭なさや試合運行の拙劣は目立つてゐたが叩き上げられたものゝ強味を示して余すところなかつた

より勘のよいプレイが行はれ球げなれよく試合を運んで行つたならば東大に勝ち早大も討ち取つたであらう、早大の殊勳と覺々の對陣をした川本、石井を中心とするバックスの健闘は今シーズンの印象に殘る一つである

明大が 第五位に止まり慶大と共に最下位と豫想された東大、早大に眞正面から挑みかゝるであらうと見られた文大が非常の不調を續けた

慶大の陣を離し東大を追ひ込んですくませる事々しさはあつたが優れた體力を以てして後半怖へ切れぬ懸ひがある、明大にしてやられ、慶大に止めを刺し切れず、而もこの二試合をも最後の五分で勝敗さを喪つた、先取點に物を言はせてヒタ押しに押しながら續くゴールを擧げ得ず打續りを缺つた前半戰なさはチームの主流が完成されない所にあつた、對明大戰の如き殺ひかぶさるが如き全く一方的の試合をしながらこれを矢び對慶大戰も戰術的の反撃を見る位の七分三分の試合の末に不運とはいへ自らゴールを割つて勝つべき試合を落した

迫力は あるがそれは優れた體力の賜すものであつて洗練された技術の然らしめたものではなく完成されたチーム力によるものではなく、FW線の如き體力を利した鋭い寄せはあるが含みも持たず徒らに怒號の如く、堤を切つた奔流の如く一本調子であつて變化もない攻撃であつて見れば、よしゴールを奪はれてもより以上奪ひ得ないのが當然であらう

對慶大戰の如きは慶大が意氣地なくも佛ち氣をよるつて對戰したが、文大はこれさへ働き切れなかつた、明大にさへ勝ち得ないと言つて噛くには當たらない、明大のイレヴンは自ら劣勢を知りこれを補よ爲めに眞實で叩かれ乍らも跳ね返さうと努めて最後まで喰ひ下がつたところに勝利があつた

如何に 優勝の試合を行はうとも敗れては致し方ない、すべては後の祭である、文大は復歸の前に横たはる試合巧者となるを希ふよりもその優れた體力を活かして行く工夫をすべきである

第一部に留まり止まらんが爲め文大も慶應いたが慶大も明大も汲汲として覺々決戰の氣魄を欠いてゐる、殊に明大に於てその感は深い、決戰の意味あつたと見られるのは慶、彼等はずとするも田中（實）山田があり身を持して明大を背負立つた中軸兄を擧げるに過ぎない

尤も特點を打ち込んだ練習が欠けては決戰の氣魄も定め兼ねよう、第五位獲得は幸運の拾ひ物である宜しく奮起一番第一部の末席を浮游する醜態なさからのがれ得るところに浮かびあがる爲め玫々として練習の功を積むべきである（山田生）

關東大學蹴球リーグ戰總評

=(下)=

熱闘僅かに二戰

上位、下位の懸隔甚し

今シーズン蹴球の醍醐味を滿喫させ昂奮せしめた試合といふのは毎年の事ながら上位三チームの間に行はれた三試合であるに過ぎない殘る十二試合といふものは平々凡々、感激に追ひ込むやうな事なく止んだ、殊に上位校と下位校の對戰に至つては後半に入り下位校がしどろもどろとなつて潰走するので觀るに足る内容がない、今シーズンを顧みて特に遺憾に思はれるのは上位校と下位校の力の相異が著るしく目立つ事である

早大 が低調であつたとはいふものゝ早慶戰の如き、加茂の鋭い突つ込みを續つて展開した攻防の熱戰の如きは全試合のうちでも白眉として取り上げられるものであつて上位校と下位校との對戰で特異のものとして只一つ數へられるものである

激しい競り合ひで相手の出鼻を挫く勇壯なプレイを演じたのは東大でこのプレイにつきフアウルか否かの見解について議論はあるやうだが亂暴とは認められぬ激しい競り合ひの頼もしい力強い態度といふべきであらう、この他技術的に總觀すれば一部にはヘツヂングの進歩に比してキツキングは劣惡の感がある、これなどはチームの構成に力を注いで置き忘れられた個人の錬磨の不足から齎らされた當然のものである

前シーズンに比して低調であるとはいふを得ないが向上しつゝありとも斷ずる事は出來ない、然し基礎技術の練習に魂を打込む要はある

數字 にあらはれたもので攻撃力とか守備力について斷定を下す事は出來るものではないが今シーズンの記録の數字について調べて見ると定評のあつた慶大FW線は別表の如く斷然頭角をあらはして25點の多きを數へてゐる、文大は最下位ながら6點を奪つてはゐるが失點に於て明大と共に16點で最下位であるのを初として第二位東大以下成績順位の如く得點に於てもその順位が殘されてゐるのは面白い

鐵壁陣としてゴールを堅守するといつた早大は判定ゴールを加へて6ゴールを失つたのは別としてこの他慶大、東大、慶大、明大、文大の順となつたのも奇異なものであるが斯かる數字の中にもそのチーム力を想起せしめるに足るものがあらはれてゐる

得點失點	CK	FK	GK	PK
慶大 25 7	36(17)	32	5	2
東大 16 8	43(27)	26	6	4
早大 9 6	27(33)	22	7	0
慶大 6	13	12	3	0
明大 4	16	18(4)	1	0
文大 6	16	35(16)	19	8
1 2				

（CK下の括弧内數字は相手に與へたCKの數を示す）

コーナーキックは東大の五試合43回を最高とし一試合に於ては文大の對明大戰の際に試みた14回が最も多いもので東大の對明大戰に於ける12回が次いでゐる、總計百七十一を算してゐるがコーナーキックにより得點チヤンスとなつたものはかつて見ない少數のものであつた

これは守備の堅實も擧げられコンヂションの如何も考慮に入れねばならないしキックがゴールアウトになつたのも相當數にのぼつてはゐるが好キックの處理が拙劣であつた事は見逃せない

文大 は14回のそれを全く無爲に終つてゐるがこれなどは球界の新記錄であらうペナルテイキックに至つては文大が2回與へられた丈けでうち一回はゴールデウトとなり、慶大と對戰のときはタツチ・インとなつた、フリーキックはオフサイドの場合とフアウル・プレイとは相半ばしてゐるが文明戰の時の文大の10回が最高で大部分はオフサイドによるものでこの無關心のプレイは特に戒めねばならない

前述のやうに第一部においては各校の力量に著しい懸隔あるが第二部及び第三部は順位が決定してもチーム力には些程開きを見せてはゐない、第二部における最下位は拓大であるがチーム完成にもう一歩の域に達しながら纏め上げ得ないために惜しい敗戰を喫してゐる

千葉 醫大の躍進は目覺しく殊大の眞摯な態度は賞揚さるべきものである、シーズン毎に酷評を下されてきた法大は依然としてチームが整はない、同チームのために惜しまれるものは潮引なプレイと亂暴なプレイの見定めがつかない事である、研究もし愼しまねばならない

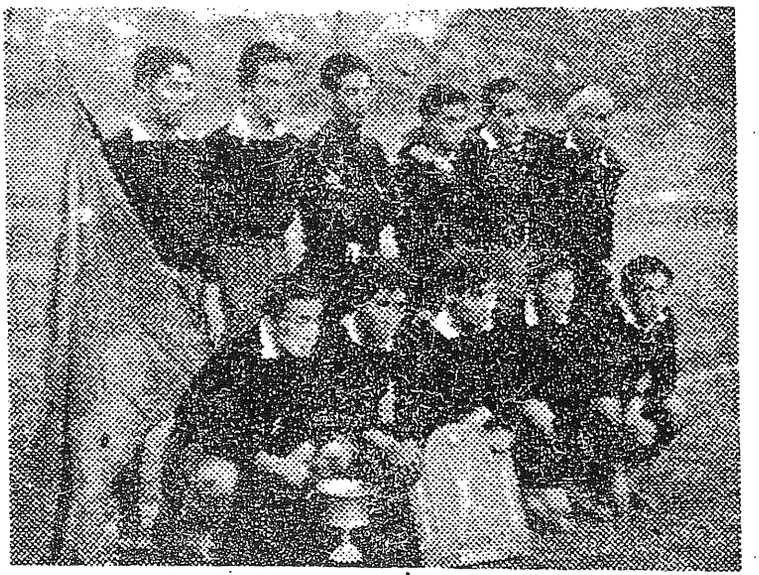
商大の試合巧者は既に逃べた、立大はこれに對抗し得る素材を擁し相當にまとめ得ら試合に際してベンチから激勵の聲援が多く選手を徒らに昂奮せしめて却つて戰闘力を飾らせた嫌ひがある、一考を要しよう

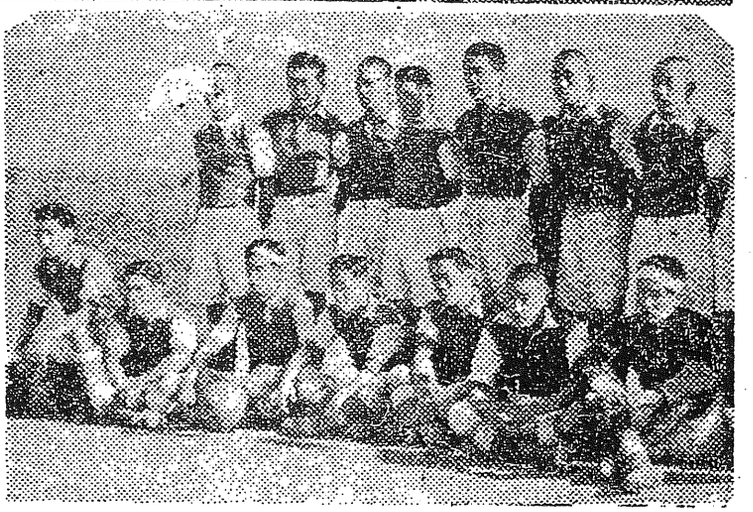
第三部では手兵少い上智の善闘が目立つてゐる、中大は幸運の壓勝を喫れてはならない、工大以下力量の差少いがいづれも蹴球の跡が少いのは遺憾である、今季のリーグ戰を綜ぶるにあたり審判制度について不可と認められる數々の點の續出は項を改めて後日とり上げるが高專リーグ戰の一試合においてレフエリーの不參があつたため試合を延期せねばならなかつたといふ問題は看過さるべきものではない、斯かる事を防止する工夫は今日から講ぜられるべきであると思ふので特に附記して置く（山田生）

S13-12-1

S 13-12-3

守備線慶、闘に勝る
得點力は伯仲
東西學聯優勝校試合
蹴球豫想





東西學生蹴球聯盟優勝校對抗戰は來る四日南甲子園球場に於て關東代表慶大と關西代表關學大との間に行はれる、兩チームは關東西に於て今秋全勝の記録の下に覇權を握りさいに學生蹴球界のナンバー・ワンを爭ふのであるが球界の現狀からすればこの一戰はまさに全日本の王座を爭ふとも謂へるだらう

關西からすればホームグラウンドに邀撃する地の利からしても連戰連敗の汚名を雪ぐにはまたとない絶好の機會であるが果して關西の声援が叶ふかどうか、東と西の立場から兩代表を檢討しよう【寫眞は慶大チーム（上）と關學大チーム】

慶應大

優勝東大を降し五戰五勝堂々たる優勝を遂げた慶大はリーグ戰の終了と共に合宿を解いたがこの對抗戰に備へて卅日から二日夜の出發まで日吉台に再び合宿練習を行つた、慶大が關東優勝チームとして東西對抗戰に出場するのはこれが三度目であるが關學大と相見えるのは最初の事である

「攻撃のチームは強い」この事實は東大が四試合を完了して失點5得點15であるに對し慶大は同じ相手で四試合を以て失點6得點22であつたが得點の多い慶大は東大との試合に於て得點差のあるだけ優れた攻撃力を示して遂に打ち勝つた、關學大も四試合を終つて失點4得點21のこの慶大を凌ぐ好記録を保持してゐるが關學大が相手としてゐる相手よりも慶大が相手とした關東の相手の方がチーム力に於てまさつてゐると見るのは誤りでもなかりう一點置眼でもあるまい

慶大 全線

のFW線は不調のために數へられてゐたO君練習も今日では全く回調しチャンスメイカーでありゴールゲッターとしてその優れた技倆を對東大戰に於て示した、篠崎、播磨、二宮、小畑、猪俣と並ぶFW線は東大の黄金時代に於ても早大の飛躍時代に於ても曾つて見られなかつたところの單一チームに於ける稀有の黄金線である、全線の進退は巧妙を極め洗練されたフットワークを以て操作する球は宛然生命を賦與されてゐるが如く動く、二宮、播磨が特に目立たなくなつたところのものはこのラインの均整がとれた爲であつて目立たぬそれが不調の結果であるものではない二宮を前線に殘した方が得策とも思はれるが

は素早い後退によつてHB線の救援に當つてゐる、斯くて再び急角度の轉回をなし速攻に移るのであるがこれあるがため得點機を減殺するとはいふものの守備線は數段の強化となつてゐる、この一長一短は兎も角として巧みなパスワークを以て進撃するところ關學大の守備線がどの程度にこれを阻むか

HB線は傷つける笠原も全く快癒し二大試合の經驗によつて好調に立ち高島の不屈の鬪志とよい調和を保ちながら攻守の鍵として全きものがある、石川が後退して宮川、加藤と共に布く3B線は石川好位を占めてリードしLGK津田の巧みなプレイはこのシーズン七ゴールを挙げはしたが決定的のものではあるがその最も

※次のページの上段につづく

中村、田島、田中、岡野、梅園の關學大FW線は優秀なものではない

S13-12-3

※前のページからつづく

慶大対関学戦予想

警戒

を要する岡野、梅園の左側に悪するのに笠原が攪磨の後退救援によつて第一の爆破を試み加藤が石川の後援の下に第二の備へを立てようからさう易々と扱かせようとは考へられない慶大の均衡のとれたチームのよさは旺盛なる精神力とその協和により渾然一體の観もしさを盛り、激闘に耐へる強味によつてゐる、慶大は必ずや東西對抗史を一層光輝あるものとすると豫想はされても而さうなどとは樂観にも考へられぬ、關學大には玉砕の途より他にないのではなからうか（山田生）

關學大

球界の名門關學大は關西斯界の覇權を奪取し得べき實力を有しながら戰ひ時に利あらず雌伏すること三年目にして漸くここに結實したのであつただけに今季同部の張り切り方はまた格別である、更にまたこの余勢をかつて『打倒慶應』の念願を達成し全日本學生蹴球界の王座をも一氣に己が手中に收めんものと用意をさを怠りない、關學大の最も誇りとするところはフォアワーヅの

攻撃

力で今季關西學生リーグ戰の四試合おいて21點の大量得點を擧げてゐるのを見ても肯かれよう、なかから梅園、田島、田中、岡野と並んだところはその球態においてまた足技の智熟さにおいて東部の覇者慶應と對比して左程遜色のあるものとは思はれないたゞあたりの強さ及び動きの激しさの點において或は慶應に一籌を輸するかも知れぬが、しかし一通りの技量を備へてゐるプレヤー揃ひだけに早、帝の猛攻を支へた慶應バックスとしても決して安閑たるわけには行かないであらう、OL梅園の快足を利しての堅實な中央突破、岡野田島兩インナーの中央陣における執拗な動き或はCF田中の強引なダッシュは時に慶應CHの好漢石川をして防戰に遑なからしむることであらう

悪ま

れたFW線を擁する關學大もバックスに視野を轉ずるときそこには或る物足りなさが浮かんでくる、對京大戰では戰前氣遣はれた左サイドの穴もLH那須、LB岩田の好防は事なきを得たものの卓越した足技と變化極まりなき動きを示す慶應のFW線をがつちりと防ぐには相當の決心が要求される

勿論定評のあるCH三田、體驅に惠まれ圓熟境に達せんとするRB笠井それにGK中村信などが控へてをりはするが、慶應の猛攻を支へるには荷が重いやうな氣がする

この爭覇戰は慶應に見ても正直のところバックスに完璧を期し得ない關學大に味をもつてゐるがしかし新春勇躍に行はれた本社の『招待大會』で關學大は慶應から二點を奪つてゐるから飽くまで積極的に對京大戰に臨んだときのやうな全員一體となる旺盛な闘志をもつて臨むならば酬いらるるものがあるであらう、特に地の利を占めてゐるのだから（三宅生）

S13-12-1

技術より先に ボールに折紙 ～國産蹴球・歐洲へ進出

日本フットボールの歐洲進出といふ快ニュースが入つた

去る六月パリに於て國際蹴球聯盟（FIFA）第二十四回總會が開かれたとき代表として出席した大日本蹴球協會理事野村正二郎男が、日本出發の際にミクニ副會主



S13-12-1

◇…東大蹴球部先輩山川敏夫君はこの程吉際伊登子孃と華燭の典を擧げた



S13-12-3

◇…關東蹴球協會名譽主事朝生要人君はこの程日本徴兵保險會社を辭し伸銅共販株式會社東京支店（住友日本橋ビル内）に入社した

網田房次郎氏から託された日本製ボールをリメ國際蹴球聯盟會長に贈つたのが機緣となつてこの程同會長の息ピエール・リメ氏から網田氏に宛て、問合せの書信が寄せられた

國際蹴球聯盟總會の砌父に贈られた蹴球ボール三個について試したところ非常に優秀と思はれるのでこの際價格が引合ふならば多量の註文を致し度い心組に付パリ渡し御見積價格を英貨に換算の上至急御知らせ願ふといふのである、これまでは球界では和製品と見縊り業者も舶來品の前に自信もなく販路も南洋から滿支方面に限られてゐたもの

取引の折り合ひがつけば日本製ボールが大日本蹴球協會のJFAの檢印もほこらしく愈々蹴球の本場、歐洲に向つて進出し國際ボールの刻印が捺されるのであるが、その曉には明後年のヘルシンキの第十二回國際オリンピック大會に日本製ボールが幅をきかすといふ事にもならう

三日の運動

◇蹴球
早　高　2―0　豐　師
青　師　2―0　附屬中

S13・12・4

S13-12-5

慶大、關學大に敗る

東西優勝對抗蹴球

關西初の制覇



關學第三點　後半中田學關學大側からすれ梅園かのらか（右）（目人こらか右）
【大阪電話】第十回東西學生蹴球優勝校對抗試合慶應大學（關東代表）對關西學院大學（關西代表）の試合は四日午後二時から甲子園南運動場で杉村（主）前川、加茂（線）三氏審判の下に北側に陣した慶大の先蹴で開始された、この日慶側からの微風あつたが快晴に惠まれコンデイションは良好であつた、關學大は前半一點をリード、後半に入つてからも追はれながらも常に得點をリードし結局3對2の大接戰で關學快勝す、關西は初めて全日本學生界の覇權を握つた、かくて今までの成績は關東八勝一引分一敗の成績となつた

關學大 3〔1―0 2―2〕2 慶大

【關學】

信井田邊田須久島中野關村
中谷田二那和田田岡梅
GK B B W CK KK K
F HB FW CF GP K
7 8 15 1
6 15 12 0

津加宮笠石高後藤二小結

【慶大】

◇…九シーズンの永きに亙りたゝ一度引分け八敗といふ關東無敗の東西對抗戰史の下に喘いでゐた關西側は關學大の優勢により面目を施し光輝の一勝を記錄した、この日慶大不振を極め後半小畑傷ついて著るしくチーム力が減殺されてゐたとは云ふものゝ、慶大の出鼻を叩きに出たのをよく凌し平靜を以て應じた所は關學大天晴の手腕であつた

◇…この試合を關學大側からすれば前半四十二分のペナルテイキックの逸機2―0級GK中村不覺の逸球は惜しまれもしようが概ねに食ひ下らう氣構へと先取點にこの試合を物しよう忠實な動きは中盤の競合の非力は兎も角としてゴール前への追込みでは充實せる慶大FW線に比し遜色なかつた、寧ろゆさぶり損ねて攻撃線の精華のみを殘してゴール攻略の案外少なかつたそれよりも重鎭の中にも決定的のコースを踏んでゐたゞけゴール攻略には秀でてゐたといへよう、第二、三點に於て特にこの感が深い

◇…關學大側からすれば擬回を策する後半の劈頭に於て小畑の戰闘力を全く失つたのは痛手ではあつたらうが愈重に構へて突込みを幾手か後に移さうとした試合冒頭の叩き込み損ねは正に千萬であつた、氣を吐くつた關戰に迷ふ隙に乘じ得ないばかりか更にその卓拔の足業がパスを多用せしめて禍したとはいふ迄もない、多角的のパスにより完全に守備線を切斷した末に決定的のチャンスを作らうと策したところ念入りとはいふを得ようも、相手はこの間によく立直つた

◇…結局術策に失敗したといふことになる、第一の失點はゴールカバーを缺いた不備、和久を見落してゐたバックの不注意の末でまさに汚點を印したもの、これは速攻の後に來るものゝ備への足らなさにより擊されたもので、第二、三の失點とは全く趣を異にしてゐる殘念なものであつた、對東大、對東大の二試合を見た目にはこれが慶大の姿かと目を疑はしめ長歎せしめる試合ぶりで攻めて厚味なく、守つて又寸隙を殘してゐた

◇…ホームグラウンドの地の利を認め小畑の戰傷に同情を寄せはするが出鼻叩きの妙に物を言はしめ得ずとあつてはこの結果は先づ順當といふの外はなく機先を制して堂々と粘り拔き待ち耐へた關學大の力闘の目覺しさ、反撃力を示した慶大の追撃ぶりには運不運が伴つてはゐたが最大の試合としての內容を殘が上にも盛つてゐた、慶大は單調と見える關學大の得點路について味の要があり關學大は無用なりとはいへ中盤における烈しい競合について研磨これ努むべき要がありはしないか（山田生）

四日の運動

◇蹴球

YCA 3〔0―1 1―0〕1 慶大
OC二軍 3〔3―0 0―1〕1 YOS
豐島サッカー 2〔2―0 0―1〕1 東京蹴球團
青師 5〔2―1 3―0〕1 駿台倶
（實業團リーグ）
③東京瓦斯 4―1 淺野セメント
④明 菓 3―2 日 立
四部順位・1明菓、2日立、3新潟鐵工
（關東高學リーグ最終日）
④大倉高商 1―0 橫濱專門

S13.12.5

S13-12-8

三地域對抗蹴球

今月下旬甲子園で三試合擧行

朝鮮の個人技に期待

大日本蹴球會では國内水準向上策と平行して日本代表選手養成のため從來春、夏二回に亘り國際選手候補者を全國より糾合し蹴球協會技術部委員指導の下に合同練習を行ひ着々その効果を收めて來たが、今般更にその積極的方策として從來行はれてゐた東西選抜對抗を擴大して關東、關西、朝鮮と、日本蹴球界を代表する三地域の選抜對抗リーグ戰を行つて夫々の特色を包含する指導原理の確立及び國際選手の獲得を企圖することゝなつた、この計畫は日本蹴球の有力な一派として立つて居りながら何も從來比較的看過され勝ちであつた朝鮮の特色たる卓越せる個人技を注入せんとする所に大きな期待がかけられてゐる

△12月23日關西對朝鮮（2時甲子園）△12月25日關東對朝鮮（2時甲子園）△2月關東對關西（日時、場所未定）

S13-12-11

全代表決る

關東中等對抗蹴球

關東蹴球協會主催本社後援、第六回關東中等學校府縣對抗蹴球選手權大會は既報の如く來る廿五、六の二日間明治神宮外苑競技場に於て開催するが九月以來各府縣の豫選を行つた結果別項の如く十日茨城縣代表の決定を殿りとして八府縣全代表が左の如く決定した

◇東京府＝青山師範
◇神奈川縣＝湘南中學
◇千葉縣＝千葉師範
◇埼玉縣＝埼玉師範
◇茨城縣＝水戸中學
◇群馬縣＝藤岡中學
◇栃木縣＝宇都宮中學
◇山梨縣＝韮崎中學

S13-12-12

關東蹴協の朝生主事負傷　關東蹴球協會名譽主事朝生要人氏は十一日東高球場における實業團蹴球リーグ戰日本徴兵對東京計器の試合に日本徴兵CHとして出場したが後半タイムアップ五分前相手と衝突し左膝骨折で直ちに帝大病院整形外科に入院した

十一日の運動

◇蹴球
東京蹴球團 6（4―1 2―2）3 中大倶
早大專 2（1―0 1―2）2 豐島倶
（東京實業團リーグ）
②東京計器 2―1 日本徴兵
③東京瓦斯 3―0 淺野セメント
④新鐵蒲田 3―0 日清生命

◇…元早大蹴球部選手伯林大會代表、鈴木保男（古河鑛業足尾勤務）並に同部マネジヤー、關東蹴協審判員、村形繁明（三井物産本店勤務）兩君は今般名譽の召集を受けた

指示板

S13-12-9

◇…明大蹴球部明年度新役員△監督本堂守男△主將中島秀夫△マネジヤー石井次郎△委員山田眞雄、南英澤

指示板

S13-12-13

關東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ①

技補ふ闘志

山梨縣代表韮崎中學

山梨縣代表韮崎中學は「今年こそ關東制覇と……」と猛練習を續けてゐるが本年の陣容を昨年と比較して見るとキーパー渕水君は體格は及ばないが技術的に補つて居る「ゴールライン」の責任の重大なるに鑑み上級生に從順でキーパーの必要條件とする闘志と技術に邁進する同君の心底にはたゞ「ゴールに入れるな」の精神が彫み込まれて居る、LB川手君はその正確なる「キック」又は「タックル」に於いて秀れ正に「バック」としての資を十分果し得る技備の持ち主である、RB勝俣君は夏の全國大會に於いてキーパーとして活躍したものでその體格闘志が稍不正確な「キック」を補つて居りRH中村君はこれまた同大會に於いては「バック」陣を一手に引受け「フォアワーグ」陣に十分な活躍を與へた同君だけに同チームのHB陣は完璧といへよう殿いてLH栗原君は忠實なる「ポヂション」OR笹本君は速い「タッシュ」を持ちIR飯野君は體は小さいが昨年の頑張りのきく中根君に比したら正確な技術に生きる、CF中根君は五年間の蹴球生活に馴れ秀でた體格を利用して正確な「ストップ」と「キック」所謂球のさばきに長じILL新海、OL會澤、OH上村の三君は何れも同チームのHB陣を果すだけに闘志に技術に優れてゐる

觀して本年のメンバーは體格や「プレイ」においては劣つて居るが唯元氣と意氣のチームといへよう岩崎部長は語る

體格不揃な一寸貧弱なチームではあつたがそれだけに努力に努力を重ねて文字通り血みどろ汗みどろの練習を續けて來たチームだ、意氣と力、技を補ひ得るものは精神力と考へ專ら精神力の養成に精進して居り十分なる自信に滿ちた輝かしい練習振を續けて居る、必勝を期することは勿論の事です

メンバー左の通り

明康知軍文重男武條治夫也式守男
英光美雄芳彦誠　良出鐵　忠峰

日

水俣手村村原本野根海峰野込木山
清勝川中上東笹飯中新會飯中鈴秋

KBBHHRRFLL
GRLRCLOIOIO（補欠）

全國高工蹴球 參加校と日程

東京工大主催第十回全國高等工業蹴球大會は來る二十五日から四日間大岡山工大球場で擧行されるが參加校及び日程は左の如く決定した

◇參加校　仙台、東工藝、横濱、預松、山梨、名古屋、神戸、德島、鹿島

◇日程　25日（午後2時30分一回戰一試合）26日（午前10時二回戰四試合）27日（午前11時準決勝二試合）28日（午後1時決勝）



韮崎中學蹴球チーム

S13-12-13

S13.12.13

S13-12-13

代表選手決る

三地域蹴球戰

蹴球界本年度の最後を飾る三地域對抗戰中關西對朝鮮、關東對朝鮮の二試合は來る二十三、五兩日甲子園運動場で擧行されるが出場の三地域代表選手は夫々地方協會で銓衡中の所この程關係協會から發表された。その顏觸を見ると各チーム共ベルリン代表及び本年度日本代表選手多數がその中心を占め熱戰を期待されてゐる

◇關東【GK】津田（慶大）中相内（文大）【FB】加藤（慶大）吉田（早大）菊池（東大）大山（東大）【HB】笠原（慶大）石川（慶大）高島（慶大）關（東大）梁田（早大）【FW】猶保（慶大）小畑（慶大）二宮（慶大）播磨（慶大）鴛崎（慶大）阿部（東大）直木（東大）加茂（早大）渡邊（早大）川本（早大OB）中島（明大）

◇關西【GK】岡本（京大）中村（關學）【FB】笠井（關學）岩田（關學）井上（京大）【HB】三田（關學）安居（京大）木下（神商大）右近（慶大OB）【FW】田中（關學）田島（關學）岡野（關學）加茂（早大OB）小野（京大）宰山（神高商）大谷（神商大OB）

◇朝鮮【GK】趙鏞海（咸興）【FB】朴奎槓（普專）玄錄燮（普專）張炳五（平壤）【HB】朴明緒（咸興）李松鎭（同）盧澤鎭（同）金容植（金普專）閔內大（普專）李容一（延專）【FW】金成圭（全延專）李芳林（咸興）裴宗錫（全普專）韋惠德（延專）金仁鎭（咸興）車淳玉（同）金喜守（同）

S13-12-14

關東府縣對抗中等蹴球代表の橫顏 ②

ダーク・ホース

茨城縣代表水戸中學

茨城縣代表は水戸中學が關東選決勝戰に宿敵茨城師範に食ひ下つて善戰、無得點に終り茨師の辭退で幸運の出場權を得た、去る八、九の兩年連續して以來雌伏四年の後の颯爽たる檜舞台への登場である、今春以來の戰績は水戸高校とは七回戰ひ全敗を喫してはゐるが水商との五回の內勝四、負一、茨工とは二戰二勝、その他水中O・B關內中等學校との試合には上乘の成績を收め宿敵茨師とは三試合の內二敗、一引分となつてゐるが敗もしいのは漸次上り坂の戰績を收めてゐることである

全體に小粒揃ひで體格には恵まれてゐないがピリリと來る所があり最近では大物喰ひとして恐れられてゐる、縣外チームとは一回も顏合せした事は無く今度が初めての他流試合だが未知數の戰鬪力を藏する丈に大會のダークホースとしての活躍が期待される

チームは全體に好い纏まりを持ち頭腦的プレーで試合を運び巧なパスワークで地味にチャンスを作つて行く點一頭地を拔いてゐるGK所君の守備は巖の如く、田村君、小玉君のセンター・スリーの好連絡に出足の早い攻撃を展開するが右には强いが左に弱い欠點があり折角チャンスを迎へ乍らも攻撃に單調の無いため機を失する憾みはある、結局は決定的なゴール・ゲッターが無いと云ふ事に歸着しようHB線は大體無難だが消極に轉する際の位置が惡く常に防禦に傾き易い點がある

地方チームの常として好試合を見る機會に惠まれず試合の運びは荒削りの評を免れぬが大試合には何時も實力以上の戰ひをすると云ふ所に强みがかけられ比較的貧弱な體軀に盛る烈々たる水戸魂の果敢な闘志が脅威でもあらう、光るプレーヤーはI・Rの小玉（慶）F・B小玉（榮）兄弟G・K所（專）である【水戸電話】



水戸中學蹴球チーム

荒井君戰病死

元商大蹴球部選手

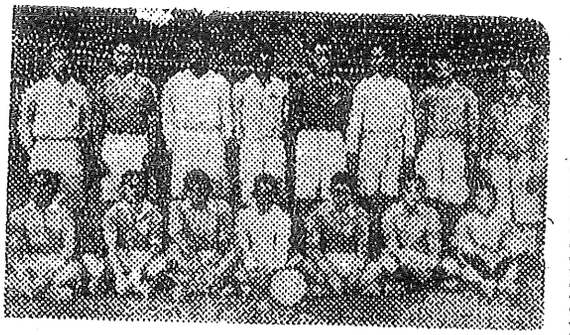
元東京商大蹴球部選手荒井文雄君は北支、中支に奮戰中十月下旬名譽の戰傷を受け咸寧野戰病院に後送されたが十一月三日戰病死した旨松山の實家から十三日同部宛報告あつた

同君は松山中學から東商大に入學I・Lとして活躍してゐた、昭和十一年卒業後は東西電球に勤務してゐた

S13・12・14

S13-12-15

關東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ㉓



湘南中學蹴球チーム

小粒だが大躍進

神奈川代表湘南中學

湘南中學はこれで四度目の選出場だ。神奈川師範をはるかに退けて今年は實力も絶頂。豚嶺選では神奈川二中を二對零。關東學院に三對零。三中には八對零といふ至者振りで第一部に優勝。第二部一位の神奈川一中が挑戰せず代表權は難なく轉げ込んだ

相變らずを校是の蹴球熱こゝでは校技としてちよつと他に見られぬ力の入れ方なので豚の壓倒的地位は勿論當分續くものと見なければならず、また實力も昨年よりは今年と次第に上昇してゐることを認めねばならない

青山師範田のこゝの香川部長が昨年準決勝で青師に大敗した苦杯に今度は自分の母校を目の仇にして嬉しがつてゐるのも面白い。昨年メンバーの土屋、田口が主力。例によつて傳統的に小柄なチームだがこれも傳統のスピードと巧妙な組立てはグンと昇つてゐる

即ち五年かゝつて仕上げた吉田土屋の兩ウィングが小粒ながら生命である、インナーの大塚も關東神奈川縣一の定評がある。藤田先生(松村コーチへ東大)の面目がこのFW陣に躍如としてゐる

バックに光る主將田口以下見渡して欠はないが問題は統制されたエレヴンに親かに強さを缺くことである、勿論こゝに今年の苦心が集中されてゐる。昨年青師に十一對一の大敗を喫した長慨。また今囘強豪非崎中學に三對二で勝利したのがよい藥となつてシーズン終つての進歩は著るしい。今年は久し振りで優勝するものと期待されてゐる(藤澤電話)

5443552554444

屋塚保熊田利將田島村部澤田本野

主

FW
- 土大安小吉保田佐長田服戸飯輿小
- WIFIWHHHBB
- LLCRRLCRLB

HB BK

FG 維持

S13-12-16



藤岡中學蹴球チーム

關東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ㉔

"足"のチーム

群馬代表藤岡中學

群馬縣代表藤岡中學チームの陣容を聞いて見る……この學校に蹴球部が創設されたのは大正十五年で中等學校球界では相當古い歴史を持つてゐる、本年も四月の新學期とともに新チームを編成した矢先FWの中心勢力をなしてゐたIL宮前君、OL川村君、OR宮崎君が出場不能となつて十一月末急遽編成替を行ひ左の如く新ポジションを決定した

CF菊池、IR增田、IL田邊
OR高山、OL河野、CH小林
RH旭、LH吉田、RB安達、
LB新井、GK金子

新編成メムバーには陸上競技選手多數あり「足のチーム」をなしてゐる、小林主將は全關東競歩界で六位にランクされる強脚を持ち增田君、菊池君、金子君は長距離河野君、高山君、吉田君は短距離のそれぞれ選手である、從つて全體的に見て體格はよくチームワークも實によくとれてゐることは非常な強味である

攻撃では小林君がキックに冴えパスも各線の右翼は申分ないが左翼が振はない只その中にあつて田邊君のタックルは光つてゐる、守備でも小林君を中心とする旭君、高山君、增田君、菊池君の右翼は固いがLH吉田君は練習不足でありGK金子君は十一月中旬から練習を始めたといふ新人で攻撃陣營に比し防禦には大きなソツがある樣である、要するに群衆が出場する大會であり、若戰は免れないが玉碎主義で當れば相當の戰績をあげ對手次第では小林君の"第一回戰必勝"を實現し得る可能性は十分ある樣である(藤岡電話)

S13-12-17

關東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ⑤

個人技整ふ

千葉代表・千葉師範



千葉師範蹴球チーム

關東六年連覇といふ輝かしい傳統を誇る千葉代表千葉師範は今年こそ前年の選手が二名至軍してゐるのみで昨年より格段の強味をもつと優秀な成績を收めたらう

個人について見るに先づOL澁谷君はなか〳〵巧みな技を持つてゐる、IL石井君は馬力があつて左のキックは凄く強い、主將OF伊原君は老巧、IR吉田君はドリブルに巧み、OR小澤君は新鋭で元氣な選手、LH勝井君は體が非常によく動きタックルに巧みだ、CH深山君は強引なプレーで敵を呑む、RH豐島君はキックに巧み、新人LB小林君はダッシュが凄い、RB粕谷君は嚴丈な體格に物を言はせ確實な選手、GK本澤君も健實な捕球を以て味方に自信をつける……から檢討して見るとなか〳〵よく整つた陣容である全體から見ればセンダースリーとハーフに強味を有してゐる點いのはバックがこれに伴はないことだ、しかし千葉師大蹴球部について二週間も合練習してゐるし殊に關東選で強豪佐倉の明倫中學と延長戰に及んで漸く勝ち得たあの苦戰は尊い經驗となつて一段の底力をさへ加へるに至つた「今年こそは」全軍のこの自信も宜なるかなである【千葉電話】

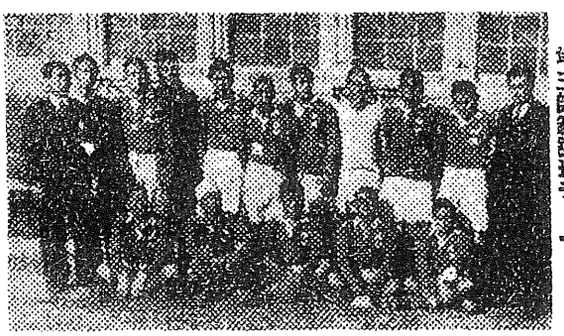
GK 本澤 英尚
FB 粕谷 昭和 男夫
小林 靜 一夫
HB 豐島 一郎
澁谷 隆 弘
FW 井上 滿 五
田原 一
伊藤 石

S13-12-18

關東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ⑥

獨特の強味

埼玉代表・埼玉師範



埼玉師範蹴球チーム

埼玉縣代表として晴れの神宮に出場する埼玉師範チームは三十年の球史を誇り、今年こそと張り切つてゐる、今夏甲子園で行はれた第二十回全國中等大會には七回目の出場で惜くも朝鮮代表京仁商業に敗れ去つたがその技術は兎も角中等校離れをしてゐるといへよう特にその後の練習はフオワードの威力增加に力をそゝぎ、出足の速さと纏まりその他グラウンドコンディションの不調を克服する訓練を主とした結果獨特の強味をもつてゐる、從つてパックが十分にその威力を發揮し、強引な突込みを助けるとすれば昨年決勝で宵師に敗れた轍を再び踏むことはないといはなければならない

特に名フオワード伊藤、山中のコンビ、森田、澁澤、池田のHBの活躍は優勝候補の名に背かない實績を示すものと見られる、澁澤主將は語る

甲子園では初戰の緊張に惱まされが負けして惜敗しましたが今度こそ優勝するつもりです、埼師傳統のチームワークと、がつちりした身體に物を云はせて、今年こそ故郷の皆樣にも喜んで戴けると思ひます【浦和電話】

メンバー左の如し

GK	作次	滿寬	靜行信藏一芳
FB	茂	喜藏	正 義勝
HB	田	藏	將
	吉	齋	中木
		池森(齋	和近山銘
FW			

(SUB) 國谷勇、豐田光海、彦久保義藏、島田章久

S13-12-19

関東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ㊦

長所は纏り

栃木代表・宇都宮中學

神宮外苑の檜舞台で關東・山梨一府七縣の精鋭と覇を爭ふ事になつた栃木縣代表宇都宮中學蹴球部は大會二回目の出場で前回は第一回戰に悔みを呑んで退いただけに今度こそはの意氣で縣代表に決定以來毎日放課後規則正しい練習に精進してゐる

陣容は【GK】外山健一（四年）【FB】若菜鐵明（五年）森眞一郎（三年）【HB】最上亮（四年）五月女稔（五年）人見芳正（同）【FW】大橋幕夫（四年）秋元正実（五年）大野榮（同）越野嘉延（四年）増淵晃（二年）に補欠として山野壯雄、川又利一兩君が控へ、秋元君が主將

縣下豫選大會では縣下蹴球界の三羽烏といはれてゐる昨年の對者眞岡中學を二對一、一昨年の代表であつた烏山中學を二對一で擊破したが個々については取り立てるべき程の特徴もないが纏ひでチームとしてよく纏まり攻守共にそつのないチームである【宇都宮電話】

S13・12・16

關東蹴球紅白試合

關東選抜蹴球軍は十五日午後三時半から神宮競技場で紅白試合を擧行、結局四對二で白軍勝つ

白軍 4（3―1 1―1）2 紅軍

【白】
GK 中垣
FB 加藤 本川
HB 菊池 二川
FW 高島 石原 笹崎 内藤
CK 2
FK 3
GK 11

【紅】
GK 津吉 大柴
FB 中 松本
HB 渡邊 小猪
FW 直 竹腰 村木 邊畑 眞
CK 4
FK 2
GK 9

S13・12・18

白軍勝つ

關東蹴球紅白試合

關東選抜蹴球軍は十七日午後三時半から神宮競技場で二度目の紅白試合を擧行、白軍は最後の十分間の猛攻に成功して勝敗を逆轉し四對三で勝つ

白軍 4（1―2 3―1）3 紅軍

【白】
GK 中垣
FB 加藤 本川
HB 菊池 二川
FW 高島 石原 笹崎 内藤
CK 10
FK 4
GK 13

【紅】
GK 津吉 大柴
FB 中 帝木
HB 竹腰 直渡 小猪
FW 邊畑 眞 田山 島田 明帝 B帝早 慶慶
CK 2
FK 1
GK 16

S13・12・17

十八日の運動

◇蹴球（東京實業團リーグ）鶴見製鐵對日立龜戸（昨春まで延期）

横濱外人軍 3（1―1 2―1）2 慶大學部

横濱外人軍 4（3―1 1―1）2 東大

S13・12・19

十七日の運動

◇蹴球（三商大リーグ戰）

神戸商大 11（1―1 10―0）1 大阪商大

S13・12・18

關東府縣對抗中等蹴球代表の横顔 ㊧

豐島倒した闘志

東京代表青山師範

昨年に引續き東京府代表となつた青山師範は春以來十五戰二敗十三勝を記錄してゐる、この中の二敗記錄は夏の全國中等大會の東京豫選に於て豐島師範のため2―0で敗れ九月の府中等學校リーグ戰では雪辱を期した豐島師範と戰を合せて3―0の勝戰を收めたそれである

しかし月余にして立ち直り十月行はれた本大會府豫選に於てスコアは2―1ながら堂々と雪辱して晴れの代表となつた

豐島のために連敗しながらこの日を迎へ得たところのものは優れた技術ではなく雪辱の執念たる鬪志であり協力の賜物であつた

FW線は主將渡邊を中心として小川、橋立と新人太田。これに滑川又は國定、小宮山で布かれようが春以來十五戰にして60ゴールを奪つたその得點力は著しく目立つてゐる、十五戰で失つたゴールは僅七を算するに過ぎない、小里、勝井の上級生に加藤、野村を配し低學年乍ら強力の滑澁を以てHB線を形成し、FB線を布き松岡がOLからキパーに復歸してゐるが洗練されれば更に上達の希望をかけ得るし組中等級の守備線が布けよう

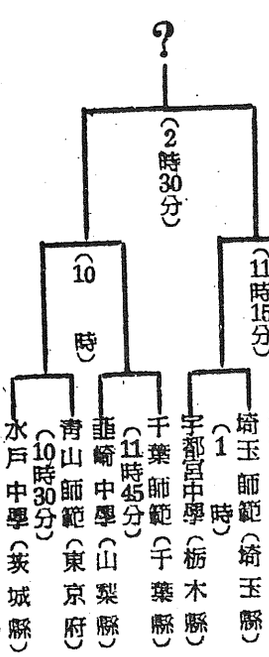
大會に於て技術的にもまさりチーム・バランスがとれてゐるから豐島破神として數へられるが豐島との三度目の試合せ以上の眩暈なる鬪志を發揮し得るか否かに蹴球の分岐があらう

S13・12・20

組合せ決る

關東中等蹴球大會

關東蹴球協會主催本社後援第六回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會は愈〻來る廿五（一回戰）廿六（準決勝、決勝）の兩日明治神宮外苑競技場において東日本における年末の大行事として盛大に行はれるがこれに先立ち二十日正後六時から本社會議室に大會委員全體運營會議を開き種々打合せを行つた後組合せ抽籤會を行ひ嚴正なる抽籤を行つた結果待望の組合せは左の如く決定した



S13-12-21

S13-12-21

關東選拔蹴球（紅白試合）

關東蹴球選拔軍は二十日午後三時半から神宮競技場で第三回目の紅白試合を擧行、白軍FW强く決定的チャンスをよく決めて四對一で快勝

白軍 4（3―0 1―1）1 紅軍

【紅軍】
田田山原島 畑木島澁俣
津吉大笠中 小直手渡猪
GK CKK
FB CFK
HB GK
FW
內腰藤田池島崎磨宮本茂
垣
中竹加柴菊高篠播二川加

【白軍】

S13-12-22

關東選拔蹴球（紅白試合）

三地域對抗戰に備へる關東蹴球選拔軍は二十一日午後三時半から神宮競技場で手島君審判の下に最後の紅白試合を行つた

白軍 2（2―0 0―0）0 紅軍

【紅軍】
田田山原島 畑木島澁俣
津吉大笠中 小直手渡猪
GK CKK
FB CFK
HB GK
FW
內腰藤田池島崎磨宮本茂
垣
中竹加柴菊高篠播二川加

【白軍】

	紅	白
試合	2	10
CK	K	K
CF	K	G
G	K	G
5	2	8

關西蹴球軍 七選手追加

【大阪電話】來る二十三二十五兩日南甲子園競技場で擧行される三地域對抗蹴球戰の關西代表軍は更に次の七選手が追加發表され陣容を一層整備した

【FW】梅園（關學）井藤（神戸高商）伊藤（京大）【HB】島津（神商大）【FB】大澤（京大）西澤（關大）尾崎（神商大）

【白軍】

S13-12-24

朝鮮快勝す（對關西、三地域蹴球戰）

【大阪電話】二地域對抗蹴球試合第二日の關西對朝鮮の試合は二十三日午後一時から甲子園南運動場で野村（主）辻、本堂（線）三氏審判の下に兩側の應援下に陣した朝鮮の先攻に開始されたが朝鮮は戰前豫想された通り卓越せる個人技が物をいつて第一戰の勝利を危げなく掌中に收めた

朝鮮 3（2―0 1―1）1 關西

◇試合は氣負ひたつた兩軍の相對峙に依つて迫攻戰が始まつた、朝鮮は2分BW金成玕、3分BI裴のシュートで先づ關西の牙城を衝けば、關西も岡野のボール（言るシュートなどあり緊迫したゲームが次ぎ〳〵と演ぜられ朝鮮はその後得意の鮮かな球廻しで稍々優勢を贏けるうち、7分右ハーフからの給球を受けた金容植は物凄くチャージに進めばフオローせる李これを拾ひ關西ペックを二、三人巧みに小さくドリブルでかはした後1・マークのBW金成玕にパスしてこゝに朝鮮は一點を先取してしまつた

◇關西はこの失點は金成玕を防禦網から放置したところに直接の責があるが、然し李のドリブルを決定的に潰し得なかつたところにも破綻が潛んでゐた、形勢を挽回せんと策する關西も亦殺分氣をおろせる朝鮮もともに前線との氣合ひ一致せず文字通り一進一退の凡戰が續けられるうち朝鮮は徐々に調子を取戻してハーフ團及びフル・ペックの好チックは浴びせかけるやうに一氣に關西陣に押進めたがゴール前で余り球放れが早きため得點機を逸してゐた

◇30分後に金容植が關西ペックの頭上を拔く縱パスをCFよくミートしてゴールに20ヤード邊から强烈し堂々たるゴールとなりこの得點によつて勝敗の大勢は決してゐたかの感があつた

◇後半戰に移つてからの朝鮮は氣を緩めた爲か前半戰におけるが如き激しい動きは見せず關西もまた15分右CKから加茂のヘッディングで得點を返して一點を關いはしたが前半の苦鬪に疲勞を覺えてか各ポジションの連絡はチグハグとなり勝で試合の內容は眞に貧弱なものとなり朝鮮は30分BH朴――BI裴の好パスで更に一點を加へたのが目に止まる快技であつたに過ぎず至極平凡裡に朝鮮の制勝するところとなつた（三宅生）

【朝鮮】
海禎鏡崇實大玕鎭德植守
鏞全考明裕內成宗恩容喜
趙朴玄朴李慶金裴卓金金

【關西】
GK GK
GF CK
HB CF
FW
本井田近下田中島茂野谷
岡壹百石木三田田加岡大

	朝	關
得點	3	1
CK	9	6
G	6	4
5	25	13

關東軍けふ西下

來る廿三、五兩日甲子園で行はれる第一回三地域對抗蹴球戰に出場の關東側選手手島監督以下十八名は廿二日午後一時東京驛發かもめ號で西下するが一行の宿舍は甲子園庭球寮と決定した

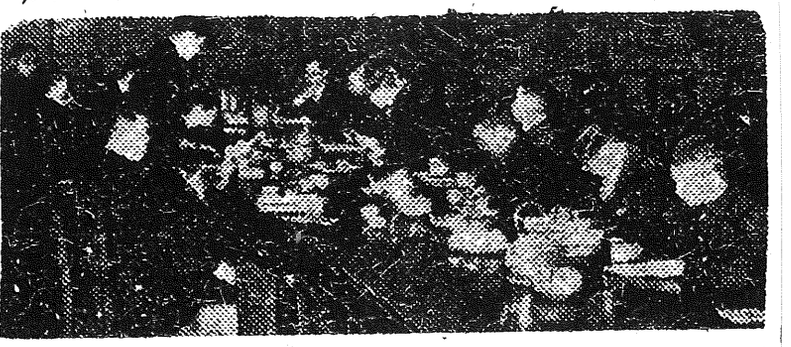
全國高校蹴球 參加校決定す

【關西】京都、東京兩帝大主催第十六回全國高校蹴球大會は元旦から六日間京都岡崎公園で擧行、參加チームは次の二十五校と決定した

北大豫科、弘前、山形、二高、浦和、水戸、一高、成城、武藏野、東高、東府立高、成蹊、早高、松本、靜岡、四高、八高、大高、松江、廣島、松山、山口、佐賀、五高、七高

S13-12-24

S13-12-25



きのふの監督、主將會議

關東中等蹴球 愈けふ開幕

大旆目指す若人熱闘

本社後援關東蹴球協會主催第六回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會はいよ〳〵今廿五日を第一日として神宮外苑競技場に於て華々しく幕を開ける、鳳紅の大旆を目指して鍛へたその力を競ふ日は來た

若人が本大會をシーズンの名殘として鄕土と母校の名譽にかけて繰り展げられる熱戰こそは壯烈を極めるであらう

大會を前にして二十四日午後四時から本社大會議室に代表八校監督、主將が參集し竹内、本多兩理事から入場式典、競技とプレイに對する諸注意があり和氣藹々のうちに散會した

第一日のプログラム

◇入場式次第（集合9時半）一、入場二、國旗掲揚（代表八校主將）三、國歌齊唱四、宮城遙拜五、明治神宮遙拜六、國威宣揚斷髮七、開會の辭八、祝辭九、優勝旗返還

◇試合（第一回戰）

水戸中對青山師（10時30分）

韮崎中對千葉師（11時45分）

宇都宮中對埼玉師（1時）

湘南中對藤岡中（2時15分）

二十四日の運動

◇蹴球（三商大リーグ第二日―甲子園）

神戸 4〔2―0 2―2〕2 東京

S13.12.25

三商大蹴球【大阪電話】

東京は二位

三商大蹴球リーグの東京對大阪の試合は二十五日神戸東遊園地で擧行、結局7―3で東京勝ちこれで神戸二勝で優勝し東京一勝一敗で第二位大阪は全敗で最下位となつた

東京 7〔4―0 3―3〕3 大阪

全國高工蹴球組合決る

第十回全國高工蹴球大會は德島の參加申出あつたため廿六日から三日間行ふ事に日程を變更組合せは廿五日左の如く決定した

◇第一日（26日）（A）名古屋對仙台（10時）（B）東京對神戸（11時30分）（C）廣島對山梨（1時）（D）横濱對福松（2時30分）

◇第二日（27日）準決勝A勝者對B勝者（11時）C勝者對D勝者（1時）

◇第三日（28日）決勝（1時）

S13.12.26

第三回朝日招待蹴球大會

一月八日甲子園で

新春恒例のスポーツ行事である本社主催「第三回朝日招待蹴球大會」は明春一月八日正午より甲子園運動場において開催するが、今回の出場チームは東西學生界に覇を唱える關西大學、傳統の香り豊かな東京帝大ならびに關西學生界の覇者として新鋭に強大な足跡を印せる全國學生界の覇者關西學院大學及び京都帝大の四大優秀チームで、その實力は改めて茲に紹介するまでもなくわが蹴球界の最高峰を行く本年度東西學生リーグの第一、二位校であり、その組合せは興味深きものがあり、その組合せは興にするが奇しくも今春擧行の第二回大會に何れも撒いて出場した優勝ひでであるだけにこれら四強によつて展開される豪放華麗のプレイは世界的水準に力強く伸展しつゝあるわが蹴球界に新たなる示唆を與へることゝ信ずる

大會順序

開會式（正午）

第一試合（零時四十分）慶應大學對京都帝大

第二試合（二時四十分）關西學院大學對東京帝大

閉會式

S13.12.26

S13-12-26

四豪順當に勝殘る

敗れて悔なき宇都宮中の奮戰

本社後援 關東中等蹴球 第一日



本社後援關東蹴球協會主催第六回關東府縣對抗中學校蹴球選手權大會第一日は連日の凍り附な天候も好轉した二十五日午前九時半から靑山第一競技場にその幕を開けた

歷史に映ゆる眞紅の大旗を掲ぐる前年の優勝校靑山師範を先頭として代表八校は代表旗、部旗をかゝげて寒風を切り時計台側から堂々と入場し、本部前に整列後代表八校主將の手により國歌吹奏裡に大國旗の掲揚をなし內野協會長の指揮の下に宮城遙拜、明治神宮參拜をなし國歌齊唱、選手宣誓あつて開會式は嚴肅の裡に終了を告げ十時半から第一回戰勝頭の水戸中學對靑山師範の試合は開始された

大觀衆に迎えられて靑山師範、水戸中學、埼玉師範、湘南中學が四隅として勝ち殘つたが各試合とも寒天の下泥濘の球場に鄕土と母校の名譽のために力戰奮鬪し銃後少年の意氣を示して餘すところなく熱戰續出の球譜を編んだ中にも宇都宮中學が天下の球豪埼玉師範を向ふにしての挑戰振りは第一日の華として絕讚さるべきものであつた

水中實力及ばず

◇…前半13分にして漸くゴールが開いたが球場の狀態に卽した工夫があつたならばより早くゴールをあげる事が出來た筈であるOH加藤の送球は小川に出で小川これを右に廻いて小宮山から再び小川に送られて決定的のチャンスとなり小川シュートして一點を先取し30分右側のRH勝井、小宮山、橋立の三角パスで進み橋立シュートして一點を加へ、大勢を決した、このゴールに對してはGK所の飛出したプレイを以てしても施すにせん術のないものであつた、水戸中はこれ迄にOR關賀のキープカを利した鋭い突つ込みはあつたがこれを敎授するものなく止んでゐる、これでは無得點試合に終つたのも致し方はない

◇…水戸中はGK所の優勝によつて記錄的敗勢からのがれ得た、敗勢のうちにも打開と共に賞さるべきものである、これまでに

第二日の組合せ

◇準決勝

靑山師 對 埼玉中（10時）

埼玉師 對 湘南中（11時15分）

◇決勝 2時30分

ない技術的の洗練さを見せはしたが選擇ながら、チームの均衡を失し一度崩れゝば立直る余裕を持つてゐないのは注意せねばならぬ

【水戸中】

川崎 靑山 實 橋 川 野 村 野 川

所 谷 玉 立 小 島 打 橋 川 田 小 市

GK FB HB FW CF GP

0 8 2 5 0 6 3 1 2

【靑山師】

松 靑 小 藤 加 野 鴨 小 遠 小 太

宮 山 川 田 藤 井 鳥 村 立 山 藏 川 田

GK FB HB FW CF GP

6 2 6 0 2 4 5 0

【靑山師】

水 俣 手 村 林 關 野 相 海 隆

澤 勝 川 中 上 東 飯 飯 中 新 會

GK FB HB FW CF GP

【千葉】

本 柏 小 實 飯 深 小 吉 伊 石 齋

長 谷 松 島 井 山 澤 田 原 井 谷

千葉師逸機

靑崎中學（山梨）3（3―1 0―0）1千葉師範（千葉）

粉川（主）福原、淵水（線）三君審判、千葉先攻

◇…千葉がフオロウ・アップを完全にしてゐたならば二點差は容易に回復し得たであらうと思はれる千葉はキックオフと共にセンター・スリーで正面を劃つて出たがこれに突つ込みを考へたならば實現のこの機會も强ち無理に終らなかつたであらう、押し手を知つて劃るを知らぬ憾みがある

◇…靑崎も決して上乘の出來栄えではなかつた、攻撃線は統さを見せてゐたが守備線は好えず國志も不足してゐた前半と共に1分早くも左にコーナーキックを得てFW線の凡失につゞくGKの誤れる動きから出來たチャンスを物したが千葉の運算に基くものである

◇…千葉は10分IR吉田IL石井の好パスで進み石井ゴロを放つてゴールを奪ひ同點となつたこで陣容を立て直し猛攻撃の衆に出るべきを貴重な一點として守らうとしたところに均衡を破る機會が待つてゐた、第二、三の續く失點はこの結果である

3―1と開くに及んで千葉は漸く心の平衡を得た、之が結局後半試合をタイに導び得たのであるが後半20分のOR飯野のドリヴルパスが左右相應する事になつてゐたならばよく一點を回復する事も出來たであらう

※次のページにつづく

S13-12-26

※前のページからつづく　関東中等蹴球

埼玉師範苦戰す

●埼玉師範 2（0―0）0 宇都宮中（埼玉）（2―0）（栃木）【宮本（主）平井、宮倉（線）三君審判、埼玉先攻】

◇…快勝を豫想された埼玉は宇都宮の思實なマークと果敢のプレイ、早い球場に阻られて前半意外にも無得點といふ記錄を作つた、宇都宮は敗れたりとはいへ實に堂々たる對戰振りで後半2―0と開いて既に大勢は決したが擧國を期して諦らず喰く迄喰ひさがらうとしたところ天晴れの武者振りといふ事が出來た

◇…後半6分後令コーナーキックを與へてもゴールアウトにして早く遊ぶべきを誤つてゴールを許し11分IR和田のドリブルを潰せずまた落したが6分失點後キックオフと共に正面を破つてゴール直前に出て失つた機會は絶好無二の惜しまれるものであつた

◇…腕せず怯まぬ堂々の對陣、擧國の期ゆる蹴戰は未完成ながら埼玉に眞ッ正面から挑み得た

【埼　玉】

田島田田田野藤田藤中木
（線）
栗吉池森（線）伊和近山鈴
GK　7
FB　3
HB　6
FW　14
上女見橋野野元田
山栄　森　月
外若　最五人大部人秋增

【宇　都　宮】

OK　2
OFG　0

湘南足技優る

湘南中等（神奈川）7（3―0）0 靜岡中等（靜岡）（4―0）（山口（主）安宅、茅根（線）三君審判、靜岡先攻】

◇…湘南の巧技とよいコンビネーションの前に靜岡は全く手も足も出す後半風上の有利も遂に役立たず惨敗を喫して止んだ、順當な戰績が認められたのではあるが靜岡にして宇都宮中等の不振不出の蹴組があればこの試合にもう少し目鼻をつけ得たであらうと思はれた前半深いW型に配したFW線はノウマークの好位を占めて球を得る事が屢々あつたが攻撃力の乏しさはこれさへも攻撃の口火となし得なかつた靜岡は技倆の相違で敗れたといふよりも反應、靜岡の氣組において敗れたといふも過言ではない

のである、コンビネーションを缺へたならば動きのあるチームだけに將來に期待する所は大きい

◇…よい出足を持つ宇都宮に對し埼玉は出鼻をおさへられ後手を引いたが纏めるところを纏めたのは流石である、然し生氣に欠けてゐる

◇…前半6分湘南はOR田中の好センターリングで左側が密集し專味のある攻撃線を布いて出でOL奥本シュートして最初のゴールを擧げたがGK金子が確保してゐたならばこの失點も見ずに濟んだであらうし第二點の27分に於けるOH小熊のそれも免かれ得たであらう、靜岡は試合の經驗が乏しい爲めに動きを知らぬが味方のゴールを安泰に導き相手のゴールを脅かれる事に氣を配り且つ動くといふ意識の欠けた事はこの試合の上に嚴然とあらはれてゐた此點に留意せねば今日以上に希望をかけ得ない

◇…湘南は優れた足技によいチームワークを見せてゐたが靜岡を加へるの力に乏しい、後半四點を加へはしたが靜岡の凡ぼによるもの多く胸のすくやうな得點の少かつたのはその結果であると言へよう

【靜　岡】

子井瀬井林
金新安吉小
GK　9
FB　8
HB　2
FW　0
屋野保熊田利中田島村本

【湘　南】

野遠田郷川
河田塚藤品
OKKKK
OFGPK
土大安小吉保田佐長田栗

S13－12－26

個人技の朝鮮優勝

三地域蹴球 關東も敗退す



關東對朝鮮蹴球戰　前半四十分關東GK淵田選手の防禦一大活躍

【大阪電話】三地域對抗蹴球戰の第二日關東朝鮮の試合は二十五日午後二時から甲子園運動場で後援（主）西川、岡部（線）三審判の下に擧行、觀衆から相當強い風が吹き寄せ關東は風上に陣して朝鮮の先蹴に開始した、關東は前半一點を朝鮮に先取されたゞけも朝鮮が二點目を加へるまでは得點機を數度迎へたに拘らずその都度シュート決らずして結局前半戰ひ終され朝鮮勝ちこれを以て朝鮮は二勝の成績を收めて優勝した

◇朝鮮は對關西戰における同樣のメンバーを以て極み關東は慎重に試合を進めて風上の有利な條件に乘つてバックスは長距球の戰法を採り頻りに朝鮮のゴール前へボールを集中し5分大山のキックはバーに當る等滑り出し極めて好かつたがFW線の調子が出ず機を逸する內朝鮮は15分FW金壽守のクロス・パスを關東バックスゴール前に余り間まり過ぎた爲OK金成玕は無防禦で受け二三歩ドリブルした後ゴールポスト右前廿五ヤード邊からスウイングを利かした猛烈なる强襲を敢行豈々たるゴールを擧げ先取點を擧げた

◇後半に入り前半不調に囁いた關東FWの川本、播園のキープ力が目立つて活躍となつたため開始後10分頃迄つて關東が優勢に試合を進めるに至つたが關東は此間3分後一二回一川本と廻はし川本のシュートは惜しくもゴールアウトとなり3分後川本のスルーパスは二寸よく引掛けて決定的のチャンスを迎へたにも拘らずこれ亦無念にもバーに當る不運等が繰返されて關東の强攻も遂に實を結ぶに至らなかつた、その後關東加茂の再三のゴール前突進は朝鮮GK趙鍾滿等バックスの固い守備に遭つて潰された

◇37分朝攻の朝鮮はOR金成玕の中央突破をOF李シュートして朝鮮又もゴールをあげその直後朝鮮はOL金壽守—OF李と鋭く流して李又も巨體を放つてゴール成つた、この得點を境として關東は朝に鞭撻し試合の終る前頃二三度朝鮮ゴールに肉薄するに過ぎぬといふ不振さに終つた

◇かくて朝鮮はこゝに當々二勝の成績を收めるに至つたがその勝利は實力以上の好運に惠まれたものといふべく結局は個人技倆の相違がこの結果を招いた（三宅二郎）

朝鮮 3（1—0 2—0）0 關東

【朝鮮】GK 趙鍾滿（大阪）
FB 金成玕（大阪）
FB 金壽守（大阪）
HB 李明（大阪）
HB 內成實（大阪）
FW 李龍金（大阪）
FW 金壽守（大阪）
FW 玄村孝（大阪）
FW 金壽守（大阪）
FW 李龍金（大阪）
FW 李龍金（大阪）

【關東】GK 淵田（山口）
FB 山原勘（關學）
FB 大山（關學）
HB 谷口（關學）
HB 內藤（關學）
FW 播園（關學）
FW 川本（關學）
FW 加茂（關學）
FW 岡部（關學）
FW 三浦（關學）

得點者 1 2 6 5
GK 1 1
GK 1 1
GF 1 1
GF 1 1
津吉大谷中 1 5 1 4

（線）西川、岡部

勵義雄

四校勝殘る

高工蹴球 第一日

全國高工蹴球大會第一日は二十六日午前十時から工大球場で二回戰四試合を行つたが名古屋、神戸、鹿島、松江四校が準決勝に進んだ

◇一回戰

名古屋 0（0000—0000）0 仙台（抽籤勝）

【仙台】GK 坂村戸司部（慶應）
FB 早河（慶應）
HB 佐阿古（慶應）
FW 堀大（慶應）
FW 與大（慶應）
FW 石沼（慶應）
FW 石川（慶應）
FW 佐藤（慶應）
FW 小野（慶應）
FW 三浦（慶應）

【名古屋】GK 都田中（名古屋）
FB 石岡（名古屋）
HB 象花水（名古屋）
HB 彭前少（名古屋）
FW 巢井（名古屋）
FW 村川（名古屋）
FW 野子（名古屋）
FW 武地（名古屋）
FW 田島（名古屋）
FW 都部（名古屋）

神戸 5（2—2 3—1）3 東工藝

【神戸】GK 林好（神戸）
FB 川係（神戸）
FB 鹿嶋（神戸）
HB 村（神戸）
HB 小三石（神戸）
FW 小神（神戸）
FW 新內（神戸）
FW 野島（神戸）
FW 戸買（神戸）
FW 林崎（神戸）

【東工藝】GK 田崎（東工藝）
FB 川上（東工藝）
FB 前宇（東工藝）
HB 石保中（東工藝）
HB 都（東工藝）
FW 田崎（東工藝）
FW 川口（東工藝）
FW 矢（東工藝）
FW 上（東工藝）
FW 岡（東工藝）

得點者 3 2 3 14
GK 1 1
FB 1 1
HB 1 1
FW 1 1
12 0 8

鹿島 4（1—0 3—1）1 山梨

【鹿島】GK 入間（鹿島）
FB 林（鹿島）
FB 岡手（鹿島）
HB 原口（鹿島）
HB 溝（鹿島）
FW 谷村（鹿島）
FW 藤本（鹿島）
FW 貞國（鹿島）
FW 米野（鹿島）
FW 本岡（鹿島）
FW 泉（鹿島）

【山梨】GK 中岩（山梨）
FB 林（山梨）
FB 長小（山梨）
HB 朝川（山梨）
HB 中山（山梨）
FW 野（山梨）
FW 須（山梨）
FW 西加（山梨）
FW 河中（山梨）
FW 津久中（山梨）
FW 坂武和（山梨）

得點者 4 4 10
GK 1 1
FB 1 1
HB 1 1
FW 1 1
4 4 10

松江 2（1—0 1—0）0 横濱

【松江】GK 村本（松江）
FB 本義（松江）
FB 澤野（松江）
HB 竹山（松江）
HB 田田（松江）
FW 淵北（松江）
FW 屋（松江）
FW 重（松江）
FW 原川（松江）
FW 內塚（松江）
FW 木（春）

【横濱】GK 中森（横濱）
FB 永西（横濱）
FB 坂佐（横濱）
HB 柄河（横濱）
HB 佐西（横濱）
FW 內（横濱）
FW 木（横濱）
FW 鈴（横濱）
FW 湯古（横濱）
FW 山石（横濱）
FW 鈴（横濱）

得點者 5 2 13
GK 1 1
FB 1 1
HB 1 1
FW 1 1
4 1 10

S13.12.27

S13-12-27

青師輝く連覇成る

埼師立遅れて前半に致命傷

本社後援 ― 關東中等蹴球閉幕

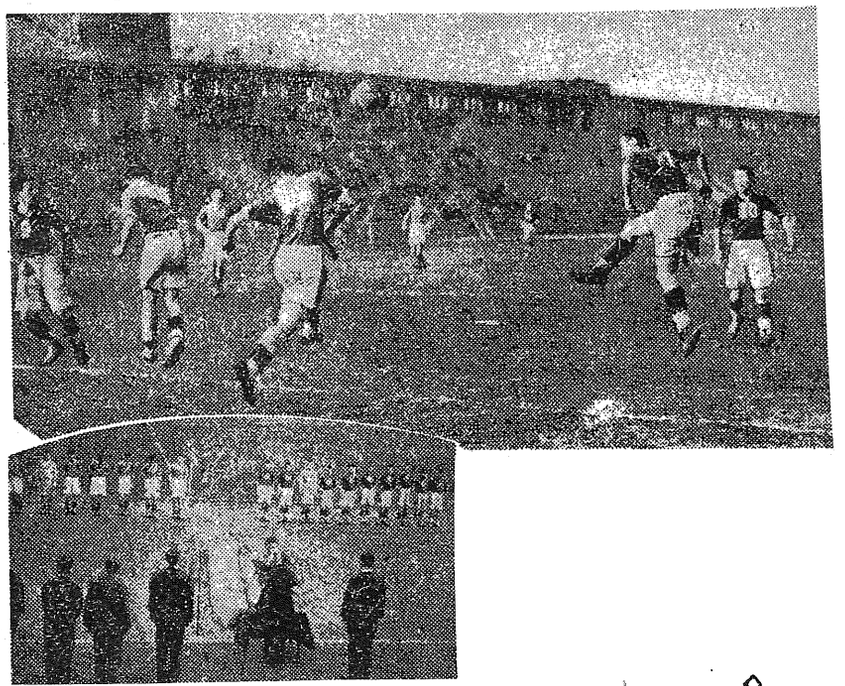
本社後援關東蹴球協會主催第六回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會第二日は廿六日午前十時から引續き神宮競技場で擧行、曇天無風なれども霜解けでフイールドのコンヂションは極めて惡かつたが粒を揃へた四強は勿論の前に死力を盡して相譲らず熱戰を演じた、斯てかつては本大會に輝やの業を遂げた非崎中學、嚮に四年の湘南中學は勝運盡きず遂に退き決勝は前回の如く關東の名門青山と埼玉の兩師範の間に行はれた、埼玉にとつては復讐の一戰、青山にとつては球史にかけても覇權を確保せねばならぬこの試合、互に全力を傾けて勇戰を續けたが青山先手を打つて出でその儘試合を押へて連覇を遂げ眞紅の大優勝旗は內野關會長から遠藤主將の手に授けられ連日熱闘に彩られた本大會は午後四時嚴かに諸式を終つて幕を閉ぢた

◇決勝

青山師範（東京） 4（2―0 2―2）2 埼玉師範（埼玉）

【工藤（主）、小長谷、鈴木（線）三君審判、青山先蹴】

◇…試合を冷靜に運んで機先を制する事に成功した青山が連覇を確保した、中盤にかける勞費を避けて試合をオープンに運び10分左CK後の縺れを衝いて小川シュートし先取點を擧げ更に26分RB窪藪のロングキック深くのびCF遠藤追走してゴール左を割つたがこの一點は埼玉にとつては致命的のものであり勝敗を分つたものである



青山師範優勝（上）　青師對埼師決勝戰前半15分埼師ゴール前の混戰（下）　優勝旗授與式――向つて右青師チーム、左埼師チーム

◇…青山がよい出足と優れたパスワークを以てしては當然のものであり寧ろ點差の少き憾みがあつた、機先を制せられた埼玉は前半猛攻を試みたのは兩三度に過ぎず然かもこれは青山の守備線の好餌となつて止んだ程試合は一方的に進められた

◇…後半に入つて青山は8分左CKを得太田のキックは漸くポストに達するものであつたがFBの崩れたヘッヂングは不幸にもゴールを割り10分青山は右CKをとり橋立のキックはノウタッチのゴールインとなつて四點と開いた、これ迄も亂れたパスワークで間斷的の攻撃を試みてゐた埼玉は忠實な動きを見せてゐた和田を中心に攻めて出で伊藤の左前送球を鈴木シュートして一點を擧回し更に伊藤の送球を山中きめて肉薄したが遂に拔き得なかつた

◇…埼玉はこの試合まさに立ち遲れで青山は極めて準直な球捌きにより速攻を期しイレヴンの調子がよく整つてゐたところにこの成功があつたと言へよう、勝敗は時の運とはいふものゝ埼玉には立ち遲れの失敗がある

【埼玉】	田藤田田田翔藤田藤中木			
	鹽吉池森榊伊和近山鈴			0 3 16
	GK			CK FK GK
	FB			
	HB			
	FW			
【青山】	岡藤里井藤村立山藤川田			9 3 6
	松瀬小藤加野橋小妻小太			

韮中猛攻及ばず

◇準決勝

青山師範（東京） 8（2―2 6―1）3 韮崎中學（山梨）

【小長谷（主）茅根、潤川（線）三君審判、青山先蹴】

◇…青山が7分橋立のセンターリングを小川ヘッヂングできめ先取點をあげれば韮崎は13分青山FB線の淺いタックルにのがれ新海のパスを飯野シュートしてゴールを破り1―1、15分青山は遠藤の捌いた球を橋立シュートして再びリード、暫らく激しい泥濘戰の末韮崎は29分前得點と同じコースをとつて再び同點とし後半に入り青山の强攻をのがれて右側から進み右CK後曾雌、中根と渡つて中根ヘッヂングで得點しはじめて韮崎のリード成る青山挽回につとめて强攻を試みたが韮崎の守備線死守して卻け大勢遽かに逆轉を許さぬものとなつて進められた、青山は13分小川のパスを橋立ヘッヂングでゴールを陷れ3―3の同點となつたが試合はこゝまでが山で四度目のリードを爭つて競り青山は競り勝つて16分右CK後の密集を破つて遠藤きめ均衡はこれを契機に破れこの後寄せの巧みな青山FW線が球をよく廻し韮崎の守備線は奮命に疲れて潰え韮崎は力戰の効なく敗退した

◇…均衡の綻びるまでは流石は甲子園の舞台を踏んだ猛者として首肯せしめるに足る個人技と泥濘の中にも鮮やかなパスワークを示した韮崎は守備線の疲勞によつて前線への供給が不足し、足技を持つFW線の活躍を十分に果たさせ得なかつたのは同情される

◇…青山は守備線の惡位と餘走凡守にゴールを破られたが寧ろこれを取上げるよりも韮崎の巧みにして執拗な攻撃の然らしめたものといふべきである

【韮崎】	水俣手村村原野武根海嘯			
	潤勝川中上栗飯飯中新曾			1 4 18
	GK			CK FK GK
	FB			
	HB			
	FW			
【青山】	岡藤里井藤村立定藤川田			2 3 9
	松瀬小藤加野橋國遠小太			

※次のページの下段につづく

S13-12-28

名古屋、濱松勝つ

全國高工蹴球準決勝

第十回全國高工蹴球大會第二日は二十七日午前十一時から工大球場に於て準決勝二試合を擧行、名古屋は神戸に快勝し、濱松對廣島の一戰は大接戰の末濱松辛勝して第三日の決勝は名古屋對濱松の東海に於ける二雄の間に於て行はれる事となつた

名古屋3（1―0）0神戸
（2―0）
【得點】部田中、石岡兼花水神前小
【審判】部巢、福井、岡三君神戸先發
【名古屋】
GK 木
FB 木
HB 木
FW 鈴
CK 1
CFG 4
CK 1
GK 1
GK 1
GK 1
CFG 4
CK 1
CK 1
CK 1
CFG 4
CK 1
CK 1
CK 1
CFG 4
CK 1
CK 1
C

關西中等蹴球第三日

【大阪電話】第一回關西中等選拔蹴球大會第三日は二十八日午前十時半から南甲子園球場で擧行

◇三回戰殘り

甲陽中 4―1 今宮中
第三神港 1―1 明星商
抽籤勝
神戸一中 2―0 兵庫縣工

關東倶樂部蹴球參加チーム

關東蹴球協會主催東倶樂部蹴球リーグ戰は明春一月十五日から約一月半に亙り行はれるが今回は參加チーム激增の爲全チームを抽籤に依りA、B兩組に分け各組の優勝チームを以て決勝戰を行ふ、參加チーム左の通り

【A組】東京蹴球團、Y・K・T（武藏高倶）K・F・S・E（慶應OB）アストラ、青蹴會（淨學中等部OB）Y・C・A・C

【B組】オール・ブラックス、成城蹴球倶樂部、アラン會、埼玉蹴球團、豐島サッカー、國際學友會、M・T・R（東高OB）

S13・12・29

關西中等蹴球第四日

【大阪電話】第一回關西中等蹴球選手權大會第四日は二十九日午前十一時から南甲子園球場で準決勝二試合を擧行

◇準決勝

甲陽中 1―0 0―0 0 第三神港
關學中 3―1 0―0 0 神戸一中

S13・12・30



◇…元日より本郷中及び東大球場で開催される第一回全國實業專門學校蹴球大會の優勝候補と見られてゐる實成專門學校蹴球チーム一行十八名は部長李丙學氏に引率され二十九日朝着京、日本青年館に投宿した

S13・12・30

全國專門校蹴球組合せ

第一回全國專門學校蹴球大會の組合せは卅日午後六時から東朝會議室に於ける主將會議の席上抽籤により左の通り決定した、尙靑山學院及び日歯兩校は故障のため棄權

◇第一日（一日）本郷中學球場

【一回戰】A名古屋高商對長崎高商（一時）B昭和高商對横商專（二時三十分）

◇第二日（二日）本郷中學球場

【一回戰】C和歌高商對早大專（一時）D高千穗高商對大倉高商（二時卅分）

◇第三日（三日）本郷中學球場

【二回戰】EAの勝者對Bの勝者（十時）F福島高商對實成專門（十一時卅分）G東商專對高松高商（一時）HCの勝者對Dの勝者（二時卅分）

◇第四日（四日）本郷中學球場

【準決勝】Eの勝者對Fの勝者（一時）Gの勝者對Hの勝者（二時卅分）

◇第五日（四日）帝大球場【決勝戰】（二時）

關學中優勝（關西中等蹴球）

【大阪電話】第一回關西中等選拔蹴球選手權大會最終日は卅日南甲子園で決勝戰を擧行、關學中優勝

關學中 3―1 2―0 0 甲陽中

S13・12・31